

トヨタ純正

バックモニター

08634-00170

バックガイドモニター

08634-00130

08634-00140

08634-00150

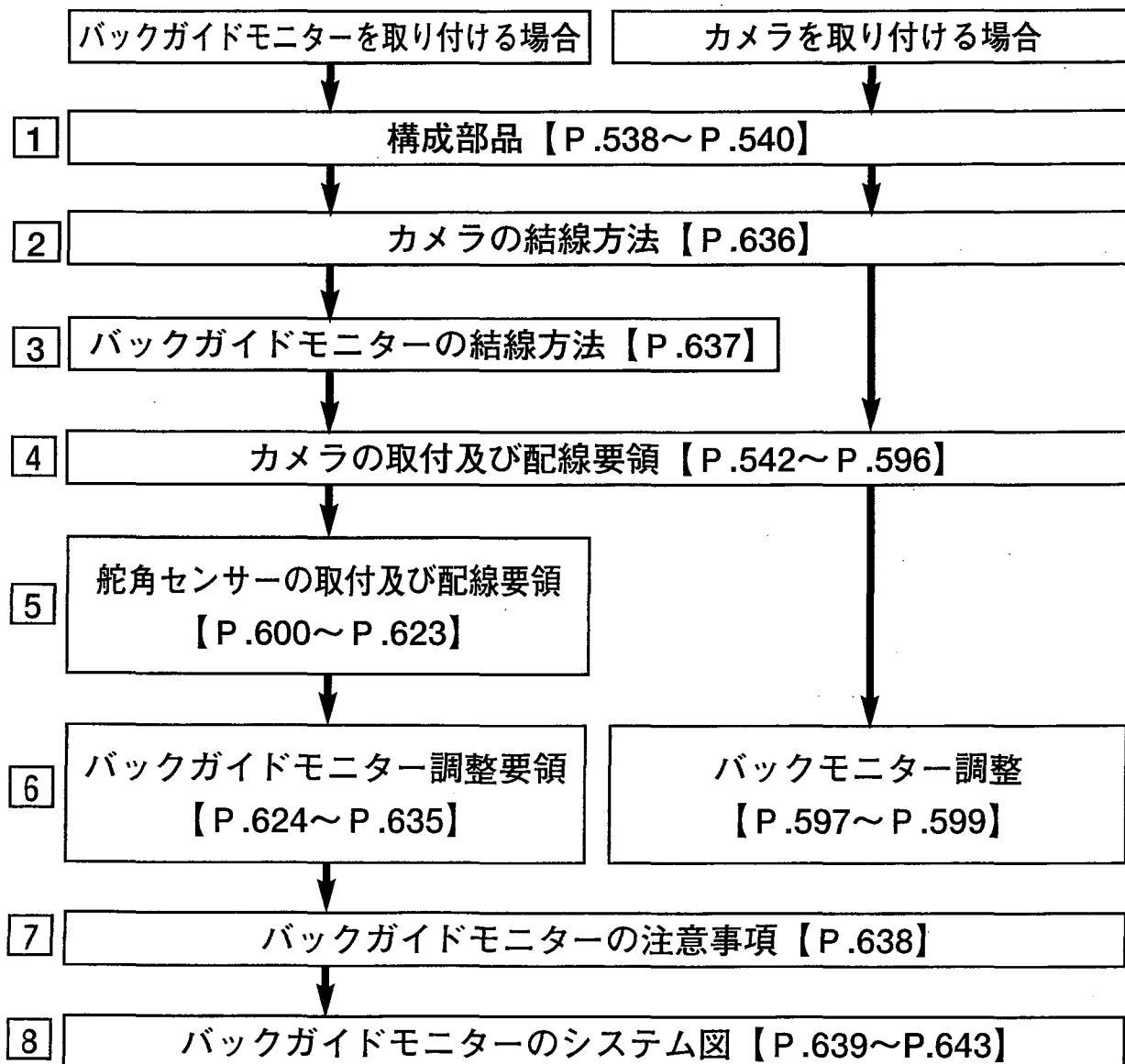
08634-00160

08634-00180

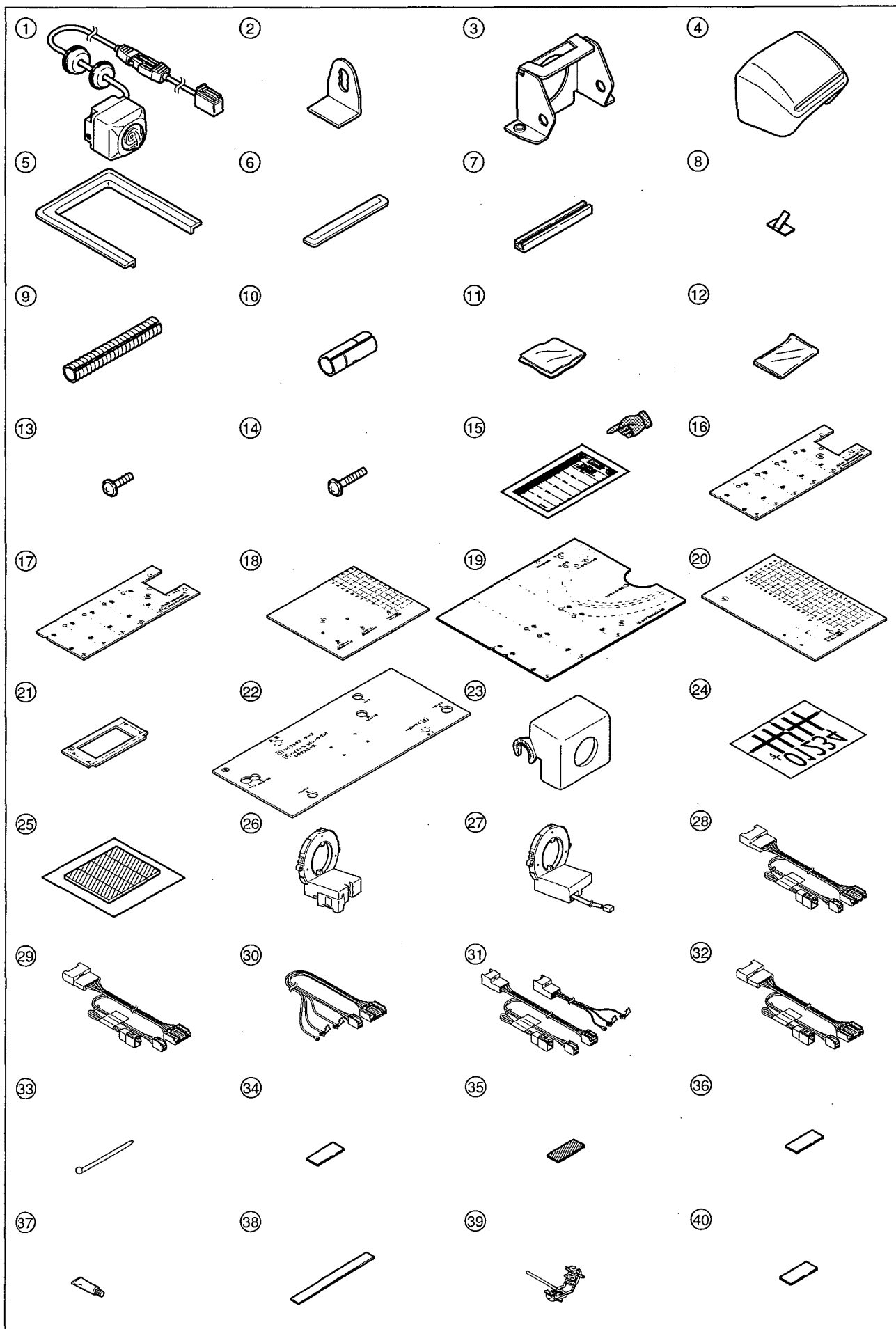
⚠ 注意

各車両の修理書に記載されているエアバックの取り外し、ステアリングの取り外しなどの注意事項を熟読し、正しい手順方法で作業を行ってください。

以下のフローによって取り付けてください。



構成部品



品名		バックモニター	バックガイドモニター				
		08634-00170	08634-00130	08634-00140	08634-00150	08634-00160	08634-00180
① カメラ (グロメット付)	個数	1	1	1	1	1	1
② L型ブラケット	個数	2	2	2	2	2	2
③ U型ブラケット (カバー用)	個数	1	1	1	1	1	1
④ カメラカバー	個数	1	1	1	1	1	1
⑤ 切り欠きカバー	個数	1	1	1	1	1	1
⑥ 切り欠きカバー	個数	1	1	1	1	1	1
⑦ コードレール	個数	6	6	6	6	6	6
⑧ クランパー	個数	5	5	5	5	5	5
⑨ コルゲートチューブ	個数	1	1	1	1	1	1
⑩ 防水クッション	個数	1	1	1	1	1	1
⑪ クリーナー	個数	1	1	1	1	1	1
⑫ ビニール袋	個数	1	1	1	1	1	1
⑬ スクリュー (M3×6)	個数	2	2	2	2	2	2
⑭ スクリュー (M3×10)	個数	2	2	2	2	2	2
⑮ 40mm用 (34mm用) 型紙 (ガーニッシュ加工用)	個数	1	1	1	1	1	1
⑯ カメラ貼付用型紙 (ライセンスランプ用(A))	個数	1	1	1	1	1	1
⑰ カメラ貼付用型紙 (ライセンスランプ用(B))	個数	1	1	1	1	1	1
⑱ カメラ貼付用型紙 (ライセンスランプ用(C))	個数	1	1	1	1	1	1
⑲ カメラ貼付用型紙 (トヨタマーク用(D))	個数	1	1	1	1	1	1
⑳ カメラ貼付用型紙 (トヨタマーク用(E))	個数	1	1	1	1	1	1

品名		バックモニター	バックガイドモニター				
		08634-00170	08634-00130	08634-00140	08634-00150	08634-00160	08634-00180
㉑ カメラ貼付用型紙 (ガーニッシュ貼付用 ㊦)	個数	1	1	1	1	1	1
㉒ カメラ貼付用型紙 (ボルト穴用 ㊧)	個数	1	1	1	1	1	1
㉓ カメラ角度調整治具	個数	1	1	1	1	1	1
㉔ 型紙 (ガイド線用)	個数	1	1	1	1	1	1
㉕ マスキングテープ	個数	1	1	1	1	1	1
㉖ 舵角センサー	個数	—	—	—	1	—	—
㉗ 舵角センサー	個数	—	—	—	—	1	—
㉘ 接続コードA	個数	—	1	—	—	—	—
㉙ 接続コードB	個数	—	—	1	—	—	—
㉚ 接続コードC	個数	—	—	—	1	—	—
㉛ 接続コードD	個数	—	—	—	—	1	—
㉜ 接続コードE	個数	—	—	—	—	—	1
㉝ バンドクランプ	個数	20	27	27	27	27	27
㉞ ハーネス固定テープ	個数	5	7	7	7	7	7
㉟ 保護テープ	個数	1	2	2	2	2	2
㊱ 両面テープ (大)	個数	—	1	1	—	1	1
㊲ グリス	個数	—	—	—	1	1	—
㊳ ターゲットバー	個数	—	1	1	1	1	1
㊴ 電源サブハーネス	個数	—	—	—	1	1	—
㊵ 両面テープ (小)	個数	1	1	1	1	1	1

■ メッキガーニッシュの加工について

△注意

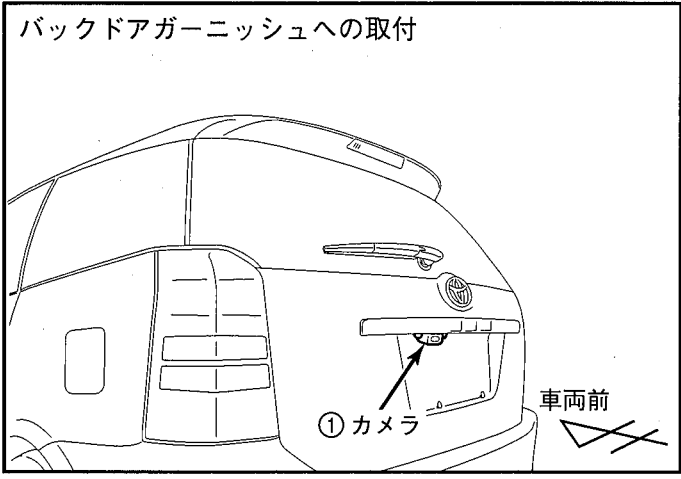
取付に際し、メッキガーニッシュを加工する場合は、加工面にタッチアップペイント、08866-00202の塗布が必要です。タッチアップペイントは購入してください。

■ メッキガーニッシュ対象車種

適用車種	年 式
アイシス	2004年 9月 以降
i s t	2004年 4月 以降
イプサム	2003年10月 以降
W I S H	2004年 4月 以降
カルディナ	2005年 1月 以降
クルーザー	2003年 9月 以降
サーフ	2004年 8月 以降
ノア/ヴォクシー	2004年 8月 以降
ハイエース/レジアスエース	2004年 8月 以降
プレミオ/アリオン	2004年12月 以降
プラッツ	2002年 8月 以降
マークX	2004年11月 以降
ラウム	2003年 5月 以降
ランドクルーザー プラド(5ドア)	2004年 8月 以降

上記車種は、2005年5月現在の車種を示しています。
2005年6月以降の車種については、車両カタログ等で確認してください。

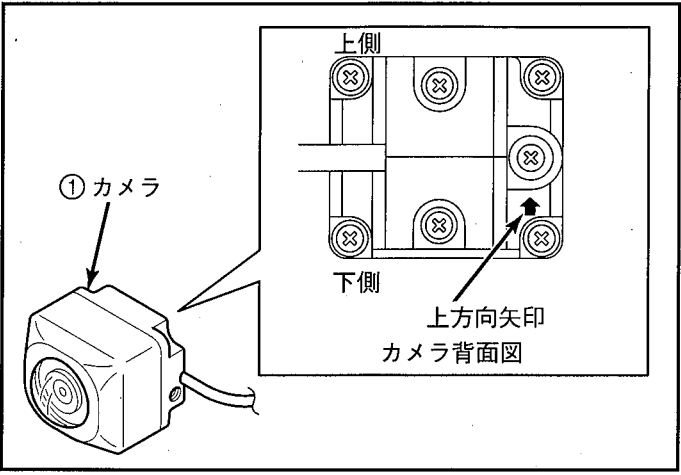
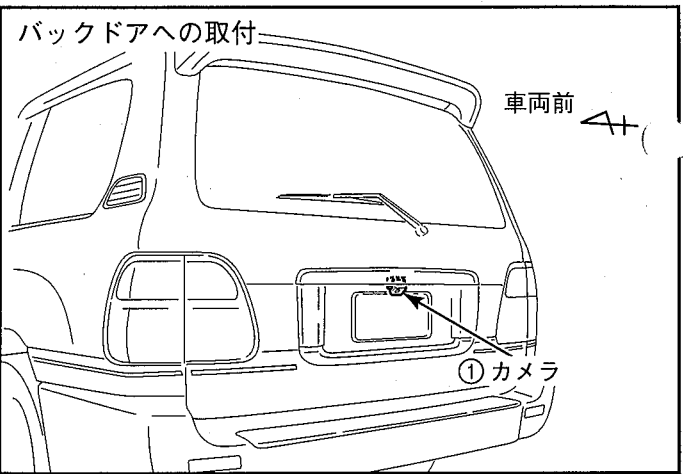
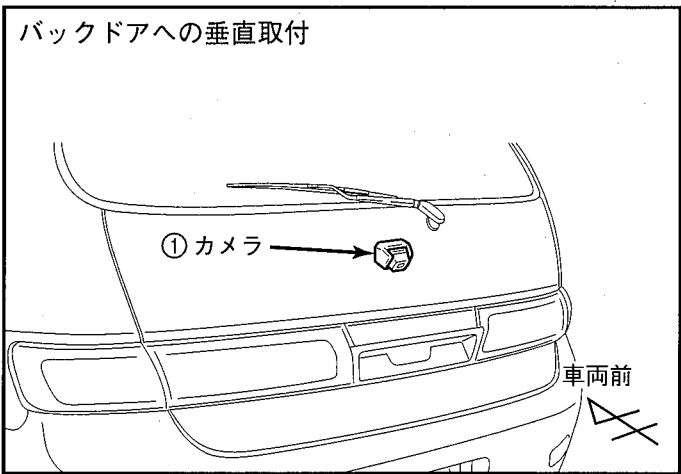
カメラ取付要領



カメラ取付位置 (例)

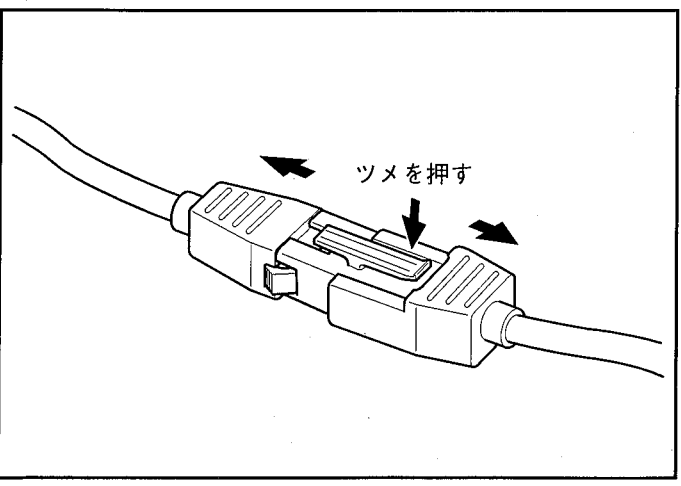
△注意
 各作業の際、カメラレンズ部に工具等を当てたり、保護シートがない場所にカメラを置いたりしないでください。カメラ本体、レンズ部等にキズがつくことがあります。

👉アドバイス
 取り付け位置は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。



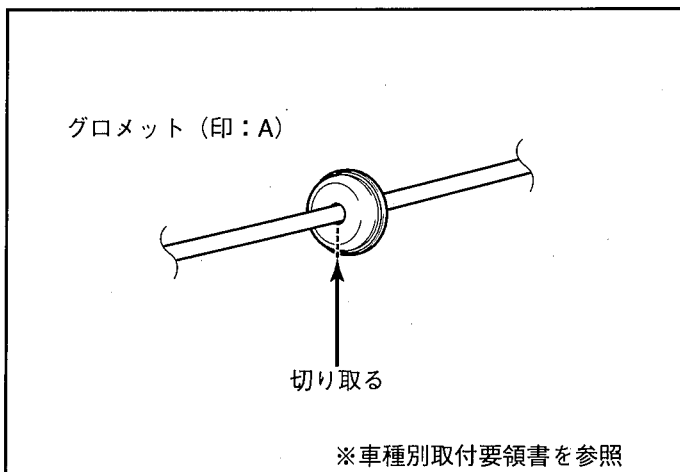
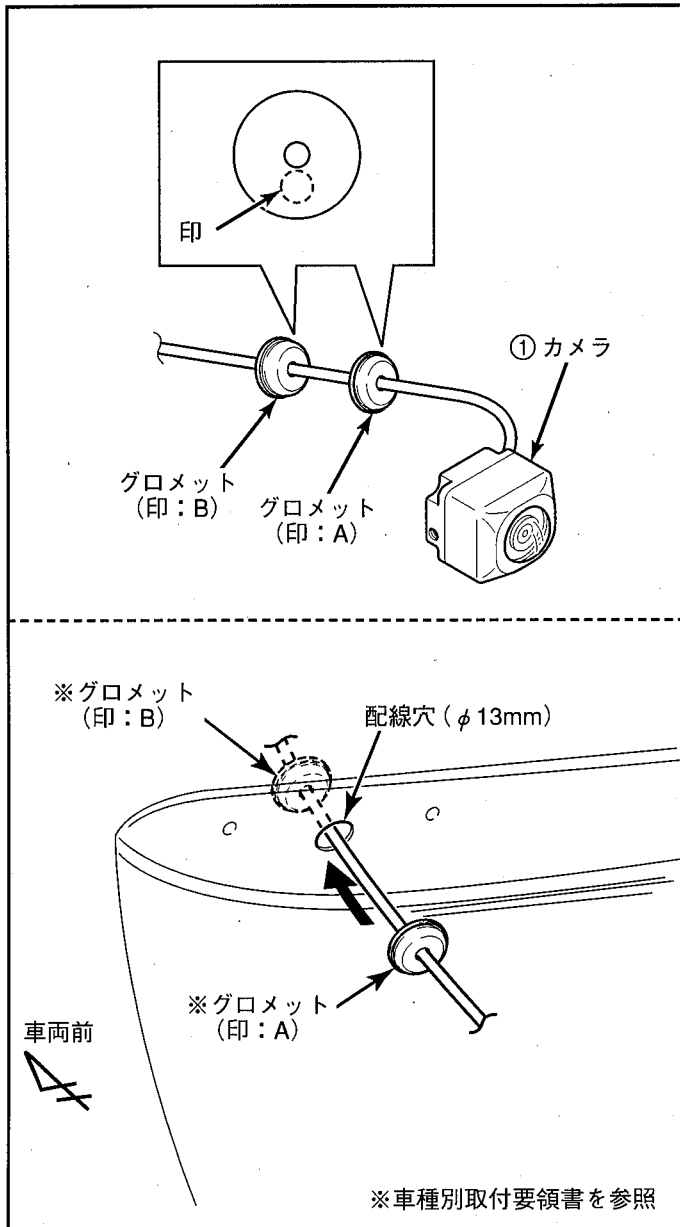
カメラの上下方向について

カメラの背面に上方向を示す刻印があります。矢印が上方向に向くように取り付けてください。



カメラの中継コネクタについて

カメラコードを配線する前に、カメラコードの中継コネクタを外してください。



グロメットについて

■ グロメット (印:A) を使用する場合

- (1) 車両ボデーの配線穴から使用しないグロメットをボデー内に押し込み、使用するグロメット (印:車種別取付要領書を参照) を取り付ける。

⚠ 注意

- ・グロメット (印:A) を使用する場合はグロメット (印:B) をボデー内に押し込んでください。
- ・グロメット (印:B) は、カットしないでください。

👉 アドバイス

- ・車種により使用するグロメットが異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・水入りする恐れがありますので、グロメットは隙間のないようにしっかりと取り付けてください。
- ・グロメットを取付後、コードがつっぱってグロメットが変形していないこと、隙間がないことを確認してください。

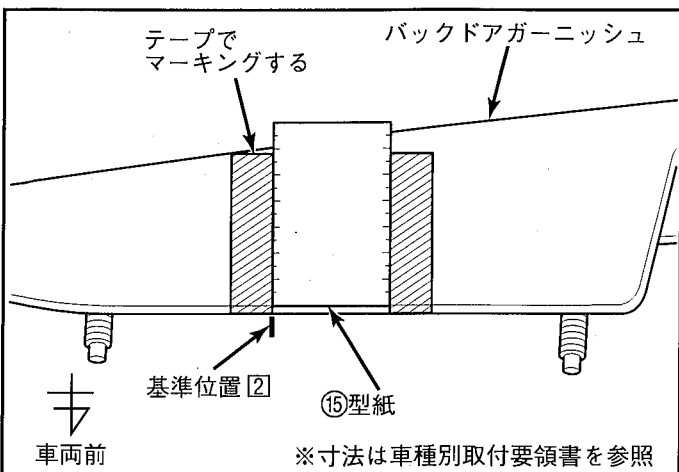
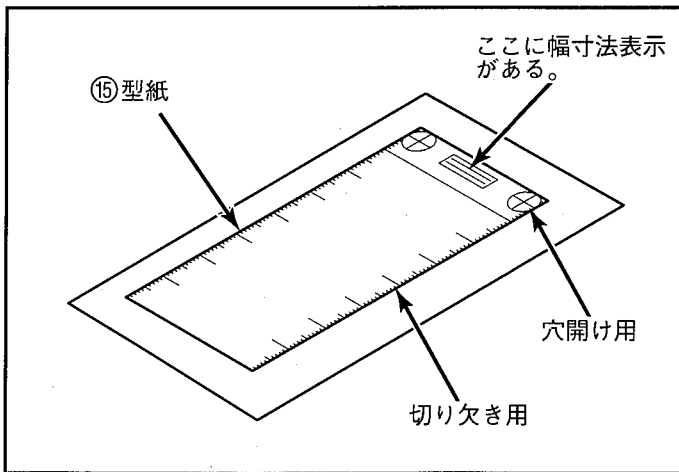
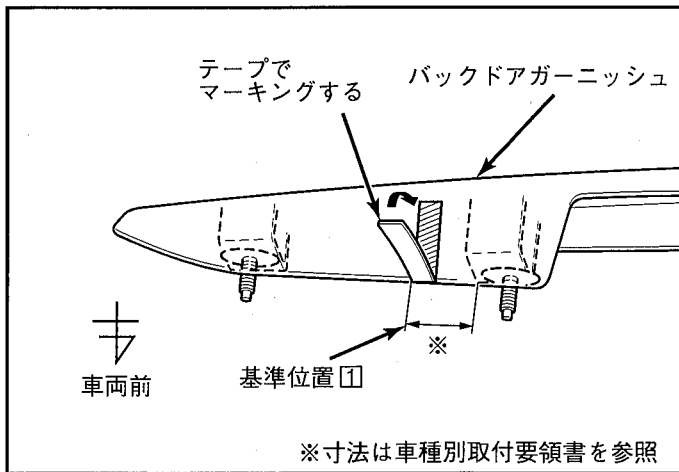
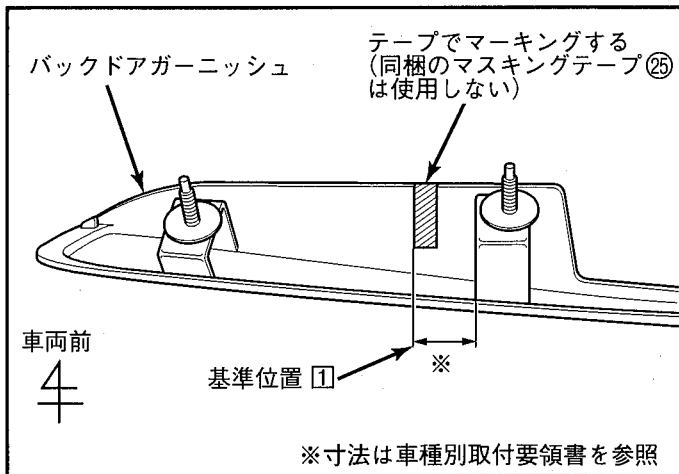
■ グロメット (印:B) を使用する場合

⚠ 注意

- ・「車種別取付要領書」で指示がない場合はグロメット (印:A) はカットしないでください。
- ・グロメット (印:B) を使用する場合のみグロメット (印:A) をカットしてください。
- ・グロメットをカットする際は、カメラコードにキズをつけないように注意してください。

👉 アドバイス

- 車種により使用するグロメットが異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。



バックドアガーニッシュへの取付要領

- バックドアガーニッシュを加工して取り付ける場合
 - ・バックドアガーニッシュの切り欠き加工要領 (コの字形に切り欠く場合)

⚠ 注意

マーキングには同梱されているマスキングテープ⑳は使用しないでください。

- (1) バックドアガーニッシュに切り欠き加工用の基準位置①をテープでマーキングする。

👉 アドバイス

- ・基準位置寸法および基準は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・テープでマーキングする場合、テープの外側が基準位置になるようにしてください。

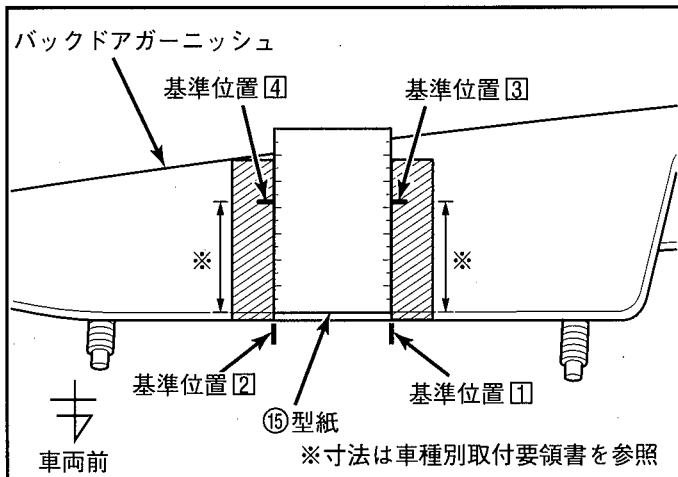
- (2) 基準位置①をバックドアガーニッシュ塗装面 (メッキ面) にもテープでマーキングする。

- (3) 型紙⑮のハクリ紙をはがす。

👉 アドバイス

切り欠き用のハクリ紙をはがしてください。

- (4) マーキングした基準位置②に型紙⑮の外側ラインを合わせ、切り欠き加工幅をテープでマーキングする。
(基準位置②)



⚠注意

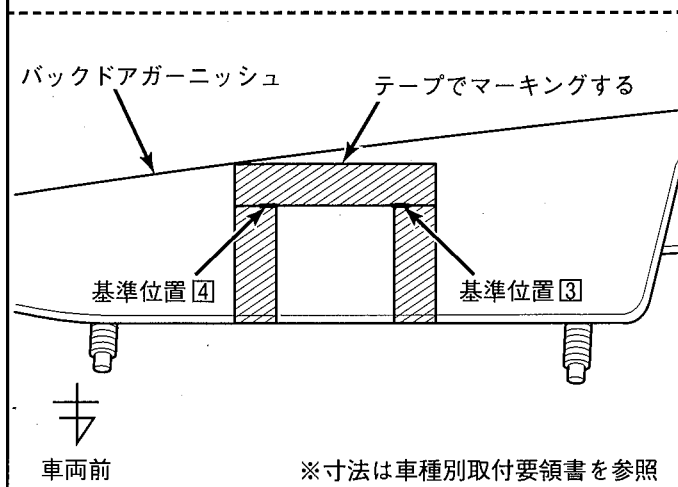
マーキングには同梱されているマスキングテープ⑮を使用しないでください。

👉アドバイス

切り込み加工幅は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。

(5)

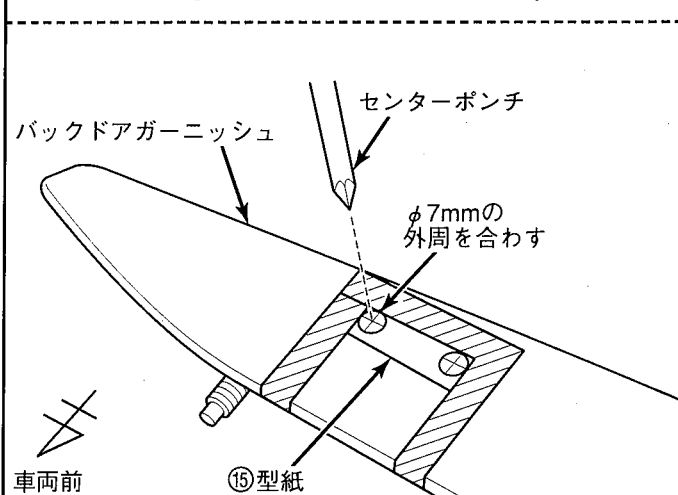
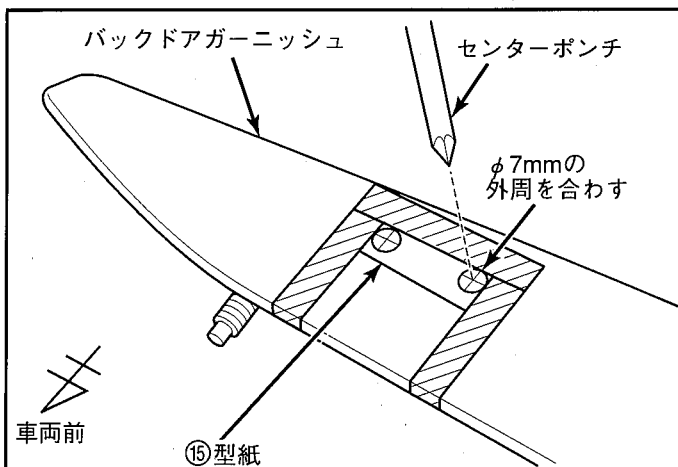
1. 基準位置①、②に型紙⑮の外側ラインを合わせ、切り込み寸法をテープにマーキングする。(基準位置③、④)
2. 基準位置③、④をテープで結び、マーキングする。

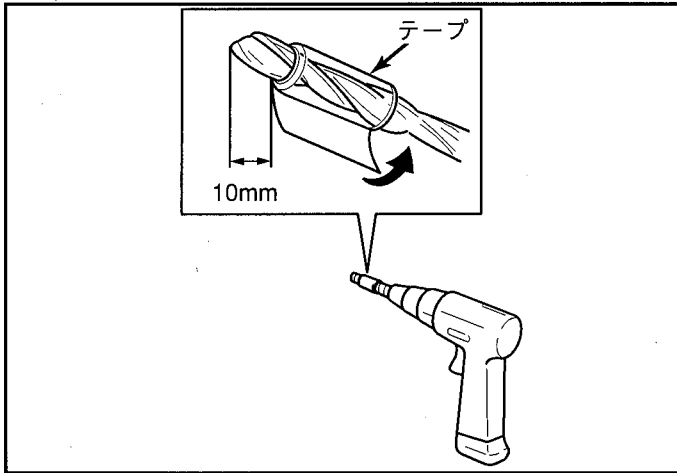


- (6) マーキングの内側ラインに、型紙⑮を合わせ、型紙⑮に示すφ7mmの中心にセンターポンチでマーキング(2箇所)する。

⚠注意

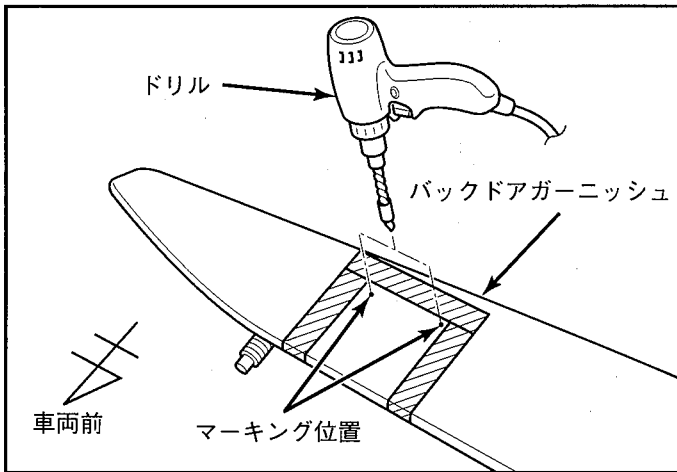
ガーニッシュにキズがつかないように注意してください。





アドバイス

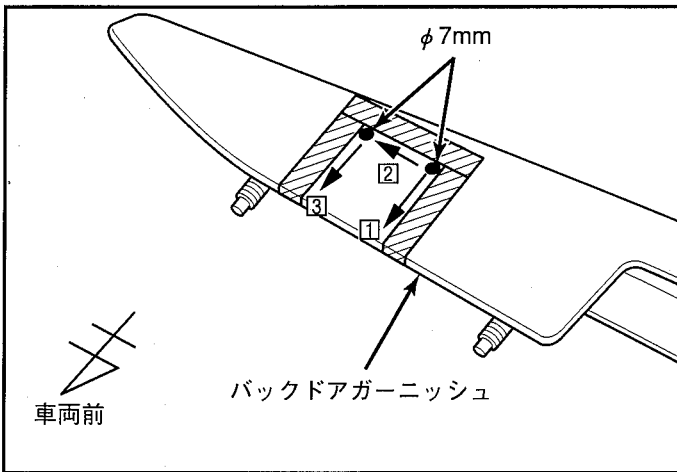
ドリルの刃が必要以上挿入しないように
ドリルの刃の先端から10mmの箇所に
テープを巻き付けてください。



(7) マーキングした位置にドリルで $\phi 3\text{mm}$
の穴をあけてから $\phi 7\text{mm}$ の穴をあけ
る。

注意

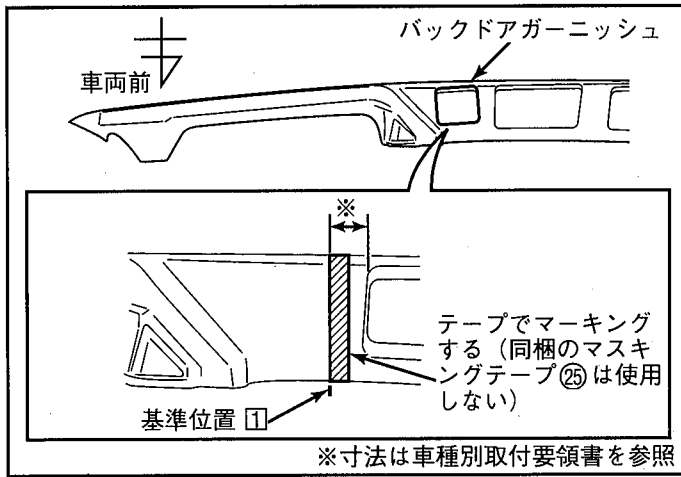
ドリルで穴をあけるときは、保護メガネ
等を使用してください。



(8) バックドアガーニッシュをマーキング
の内側ラインに沿ってエアソーで切り
欠く。

アドバイス

- ・エアソーの刃を $\phi 7\text{mm}$ の穴から入
れ、①~③の矢印に向かって切ってく
ださい。
- ・図に示す順番にエアソーで切り込みを
入れてください。



・バックドアガーニッシュの切り抜き加工要領
(口の字形に切り抜く場合)

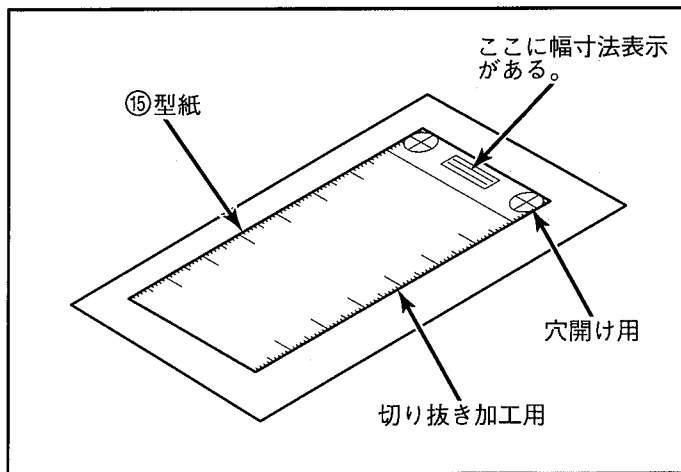
△注意

マーキングには同梱されているマスキングテープ⑳を使用しないでください。

- (1) バックドアガーニッシュに切り抜き加工用の基準位置①をテープでマーキングする。

👉アドバイス

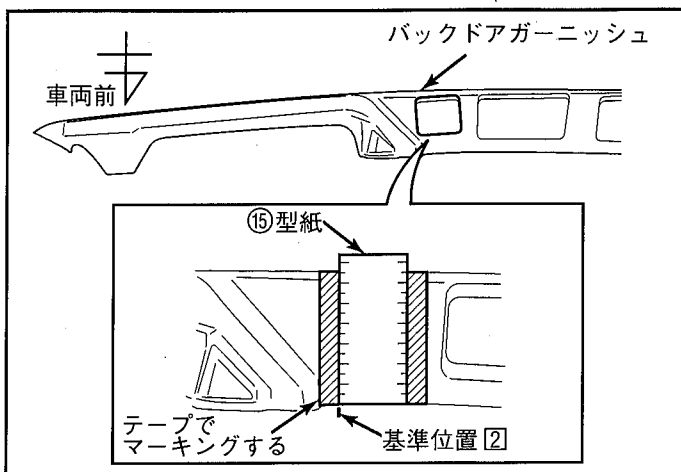
- ・基準位置寸法および基準は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・テープでマーキングする場合、テープの外側が基準位置になるようにしてください。



- (2) 型紙⑮のハクリ紙をはがす。

👉アドバイス

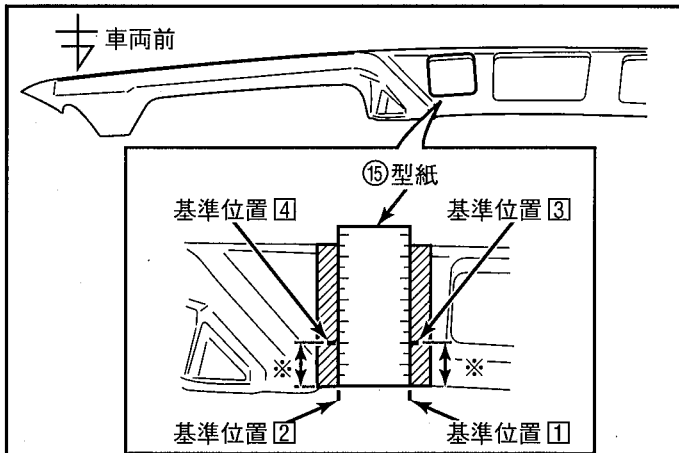
切り抜き用のハクリ紙をはがしてください。



- (3) マーキングした基準位置②に型紙⑮の外側ラインを合わせ、切り抜き加工幅をテープでマーキングする。
(基準位置②)

△注意

マーキングにはマスキングテープ⑳は使用しないでください。

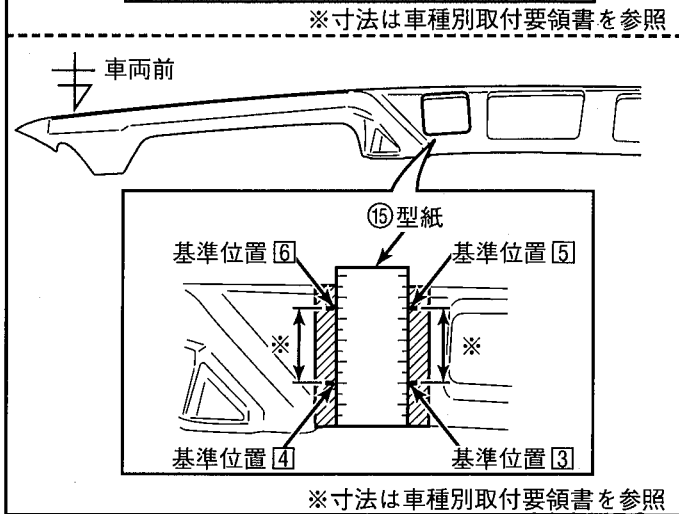


(4)

1. 基準位置①、②に型紙⑮の外側ラインを合わせ、切り込み寸法をテープにマーキングする。
(基準位置③、④、⑤、⑥)

△注意

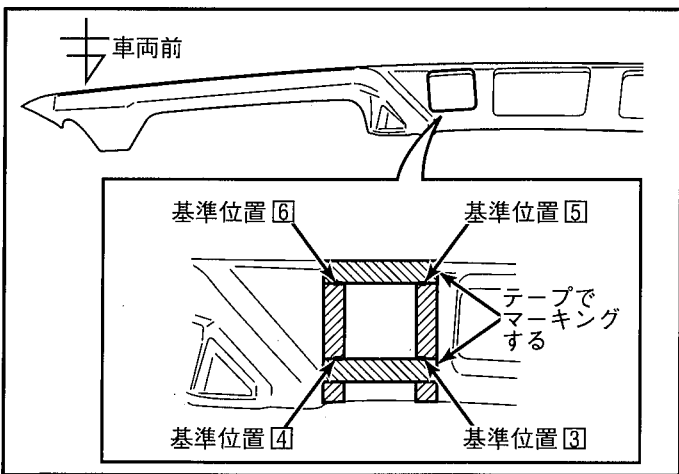
マーキングにはマスキングテープ⑳は使用しないでください。

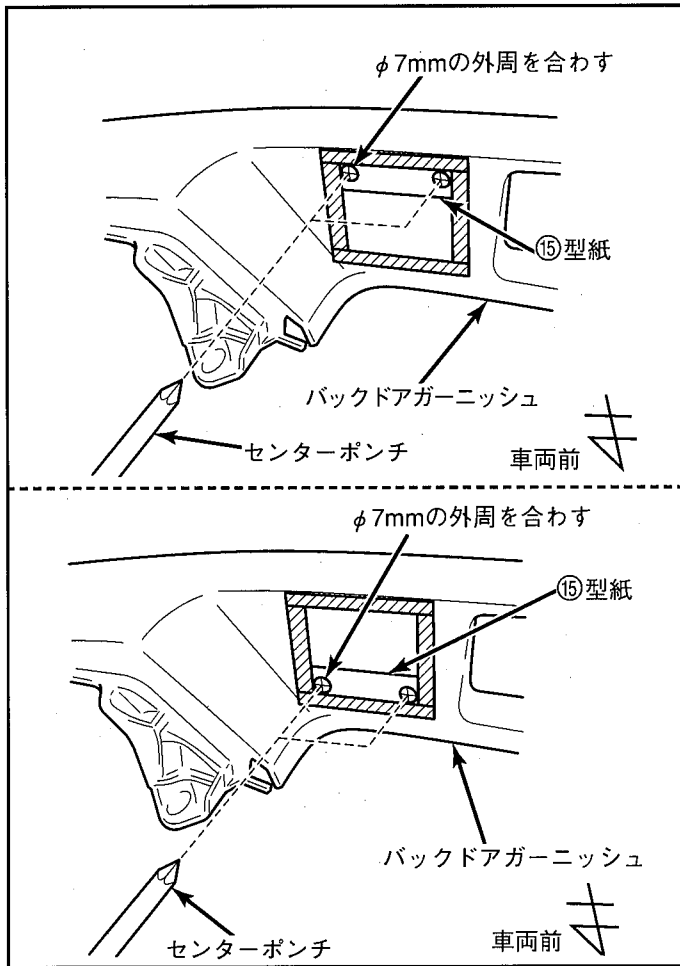


2. 基準位置③、④と基準位置⑤、⑥をテープで結び、マーキングする。

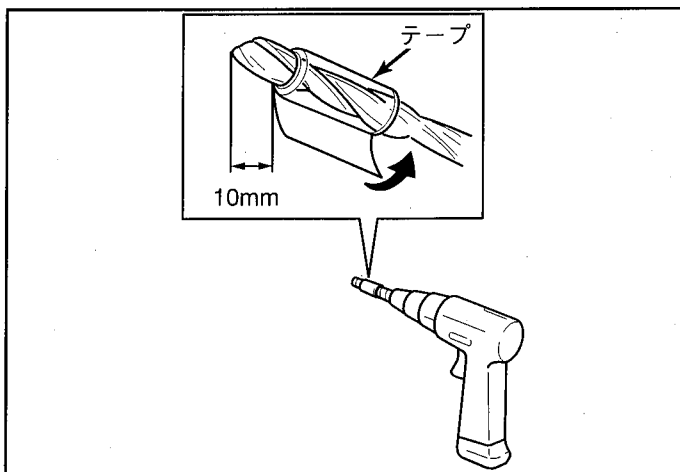
△注意

マーキングにはマスキングテープ⑳は使用しないでください。

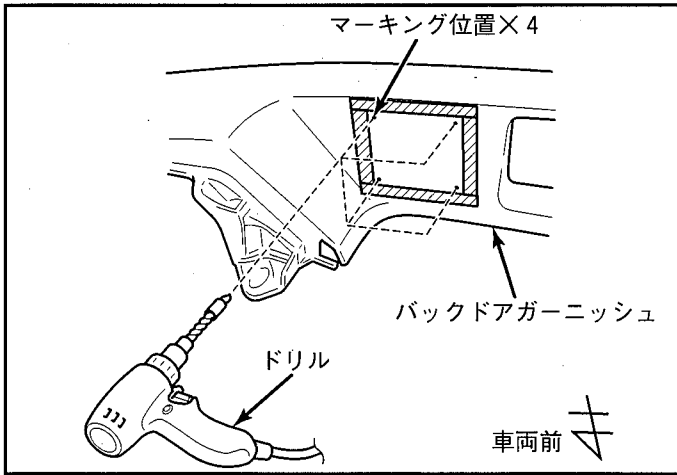




- (5) マーキングの内側ラインに、型紙⑮を合わせ、型紙⑮に示すφ7mmの中心にセンターポンチでマーキング(4箇所)する。



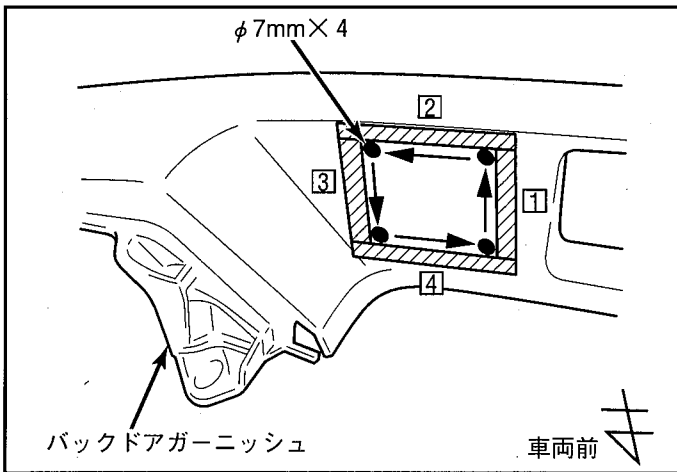
アドバイス
 ドリルの刃が必要以上挿入しないようにドリルの刃の先端から10mmの箇所にテープを巻き付けてください。



(6) マーキングした位置にドリルでφ3mmの穴をあけてからφ7mmの穴をあける。

⚠ 注意

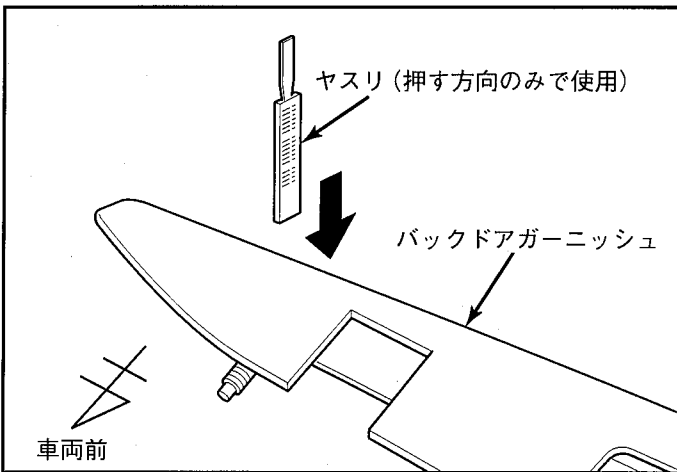
ドリルで穴をあけるときは、保護メガネ等を使用してください。



(7) バックドアガーニッシュをマーキングの内側ラインに沿ってエアソーで切り欠く。

👉 アドバイス

- ・エアソーの刃をφ7mmの穴から入れ、①～④の矢印に向かって切ってください。
- ・図に示す順番にエアソーで切り込みを入れてください。

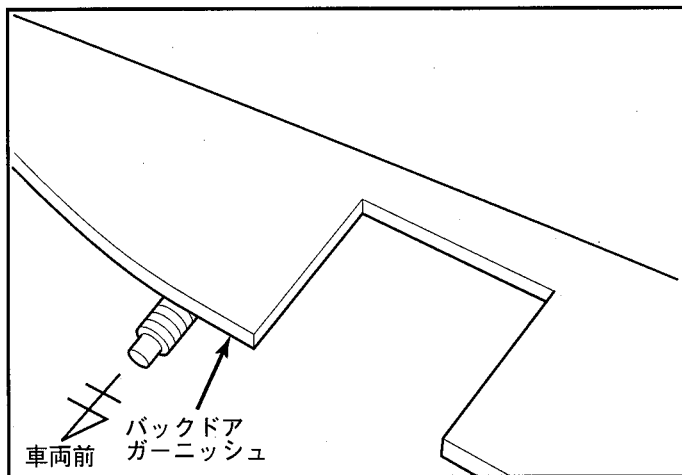


・ 共通

(1) ヤスリで仕上げ作業を行う。

⚠ 注意

- ・ヤスリを使用する際は、一定方向（バックドアガーニッシュ内側に対して押す方向）でかけるようにしてください。引く方向でかけるとメッキおよび塗装がはがれる恐れがあります。
- ・切り欠き加工面は、ヤスリでバリ取り処理を行い、形をきれいに整えてください。
- ・切り欠き加工面は糸面取りをしてください。

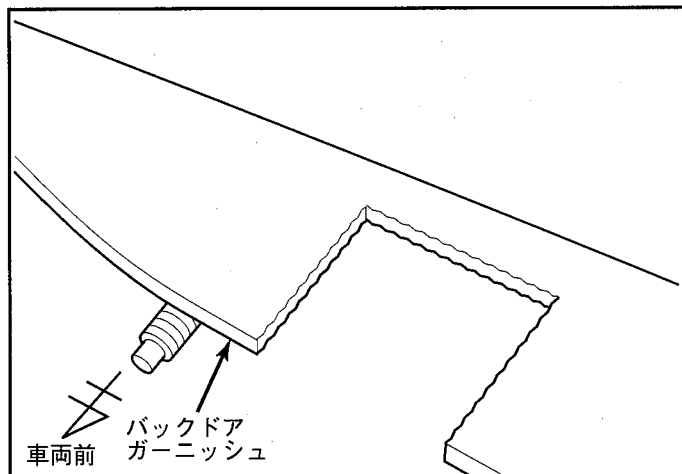


■ ガーニッシュの切り込み加工面について

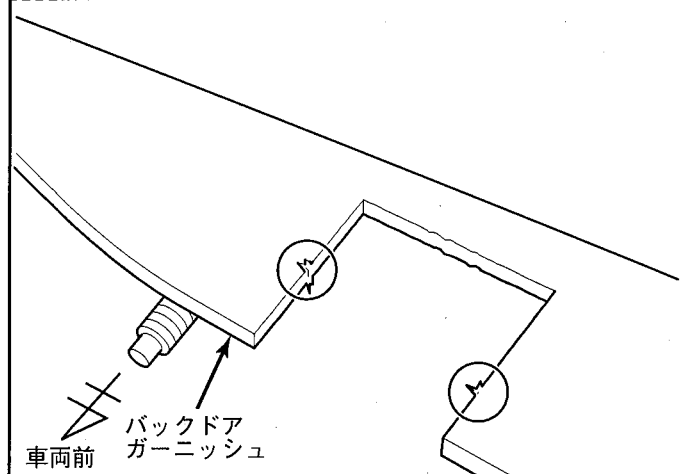
⚠ 注意

必ずヤスリで仕上げ作業を行ってください。

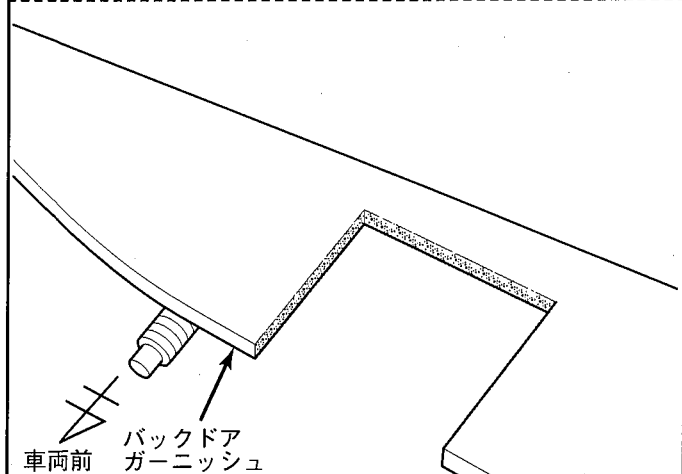
○ 良い例：加工面がきれいに仕上げられている。



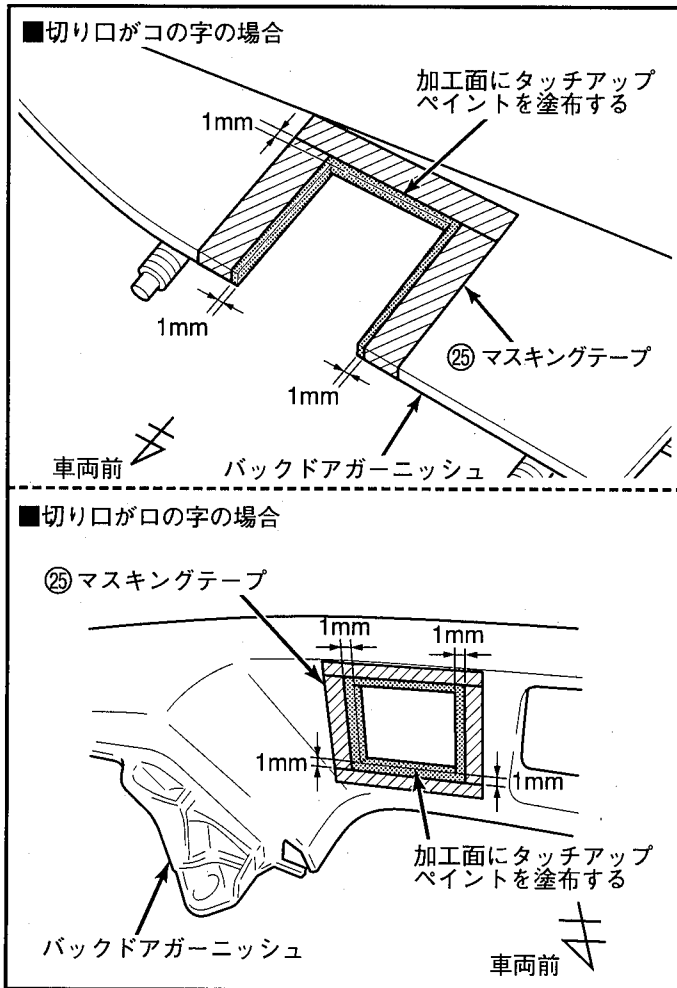
× 悪い例：加工面が波打っている。



× 悪い例：加工面にバリがたっている。



× 悪い例：加工面が荒い。



■ メッキガーニッシュの場合

- (1) 加工部より約1mmの位置にマスキングテープ㊸でマーキングする。
- (2) 仕上げ作業終了後に加工面にタッチアップペイント、08866-00202を塗布してください。

▲注意

- ・マスキングテープは空気が入らないようにしっかりと貼り付けて、タッチアップペイントが充分乾いてからマスキングテープをはがしてください。
- ・マスキングテープ貼付位置付近はクリーナー⑪を使用して、汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。(ホワイトガソリンは使用しないでください)
- ・タッチアップペイントは腐食防止のために必要です。(タッチアップペイントは、切り欠き加工面に塗布することが重要です。)

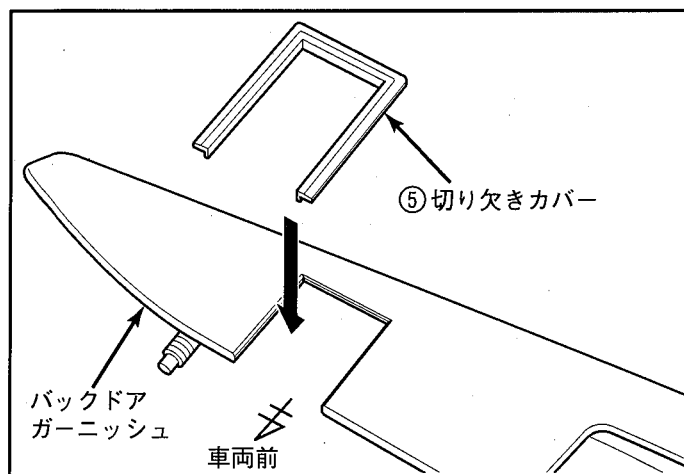
切り欠きカバーについて

⚠ 注意

メッキガーニッシュの場合、バックドアガーニッシュ加工面にタッチアップペイントを塗布した後、塗装面が完全に乾燥していない状態で切り欠きカバーを貼り付けると、切り欠きカバーが剥がれる恐れがあります。

塗装面をよく乾燥させる為、切り欠きカバーはバックドアガーニッシュを車両に組み付ける直前まで貼り付けないでください。

L型ブラケットをバックドアガーニッシュに貼り付けて、取り付ける場合は、塗装面を十分に乾燥させてから切り欠きカバーを貼り付け、カメラを取り付けてください。

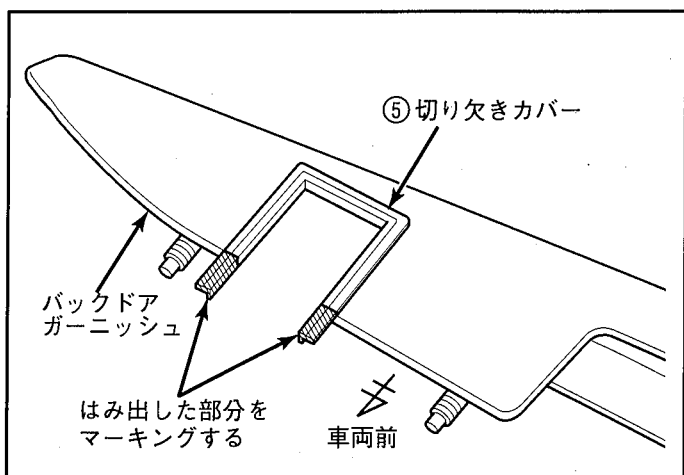


■コの字形の場合

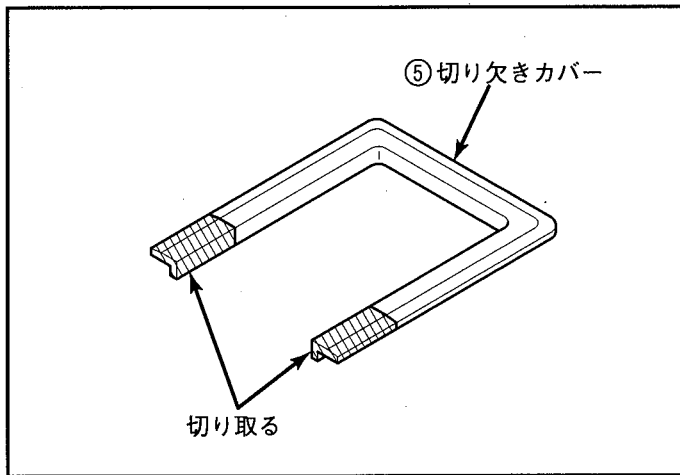
- (1) 切り欠きカバー ⑤をバックドアガーニッシュの切り欠き部に合わせる。

⚠ 注意

切り欠きカバーのハクリ紙をはがさないでください。



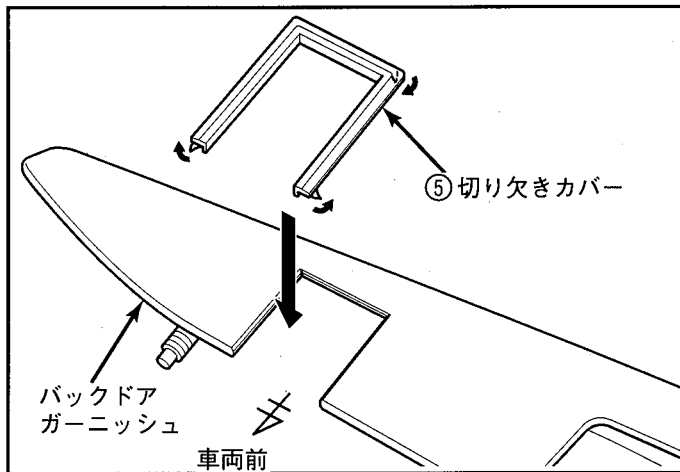
- (2) バックドアガーニッシュより、はみ出した切り欠きカバー部分をマーキングする。



- (3) 切り欠きカバー⑤をバックドアガーニッシュより取り外し、切り欠きカバーのマーキングした部分を切り取る。

アドバイス

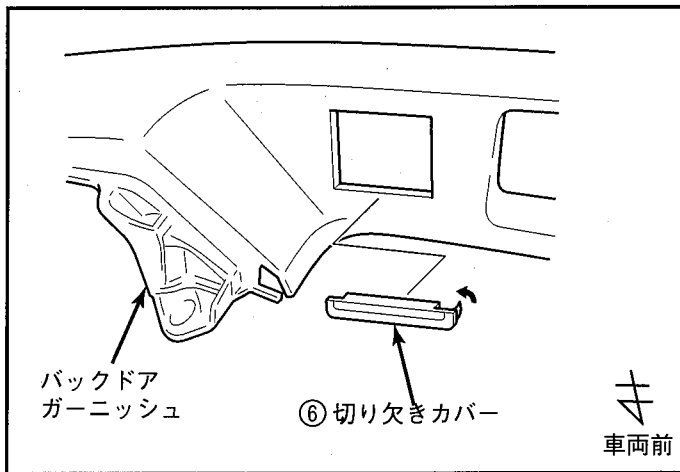
切り欠きカバーは、はさみ等で切り取ってください。



- (4) 切り欠きカバー⑤のハクリ紙をはがし、バックドアガーニッシュに貼り付ける。

注意

気温が低い(20°以下)と両面テープの粘着が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。

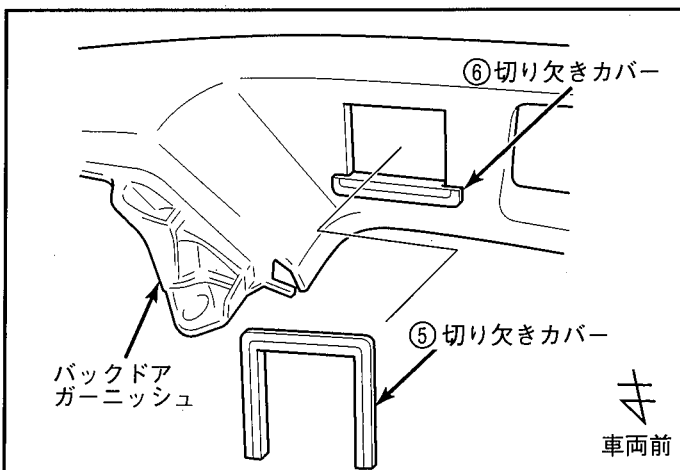


■口の字形の場合

- (1) 切り欠きカバー⑥のハクリ紙をはがし、バックドアガーニッシュの切り欠き部(車両前方向側)に貼り付ける。

注意

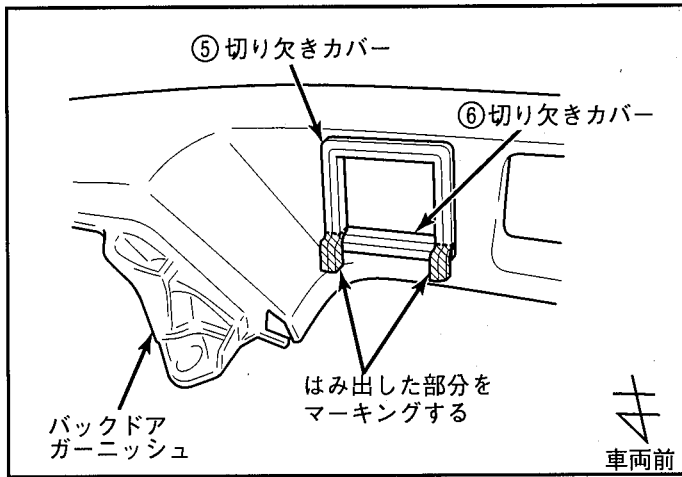
- ・切り欠きカバー貼付位置付近はクリーナー⑪を使用して、汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。(ホワイトガソリンは使用しないでください。)
- ・気温が低い(20°以下)と両面テープの粘着が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。



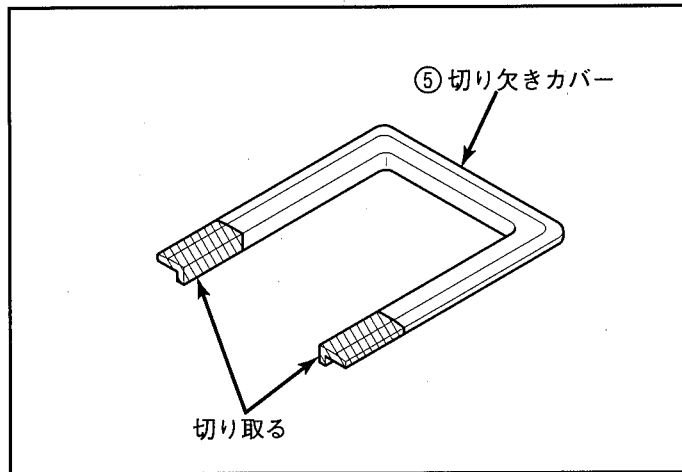
- (2) 切り欠きカバー⑤をバックドアガーニッシュの切り欠き部に合わせる。

注意

切り欠きカバーのハクリ紙をはがさないでください。



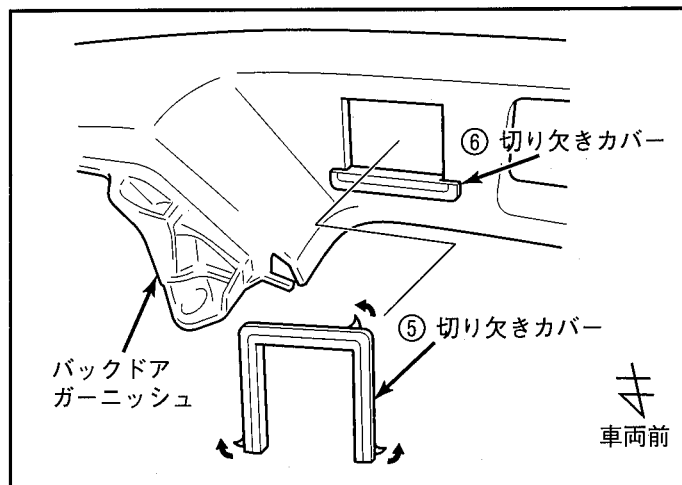
(3) バックドアガーニッシュより、はみ出した切り欠きカバー部分をマーキングする。



(4) 切り欠きカバー⑤をバックドアガーニッシュより取り外し、切り欠きカバー⑤のマーキングした部分を切り取る。

👉 アドバイス

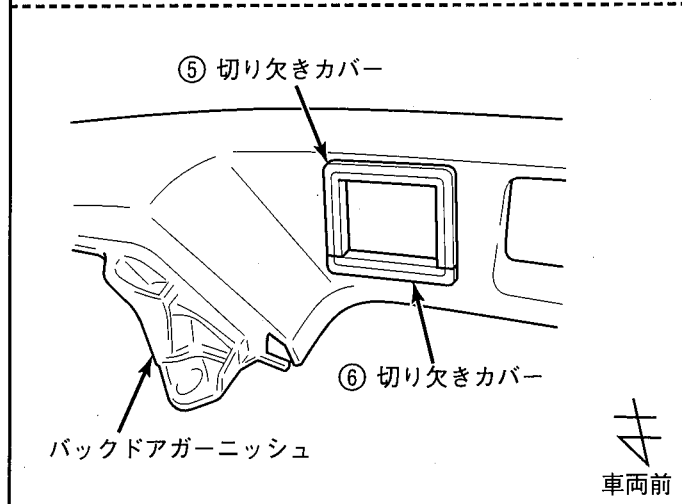
切り欠きカバー⑤は、はさみ等で切り取ってください。

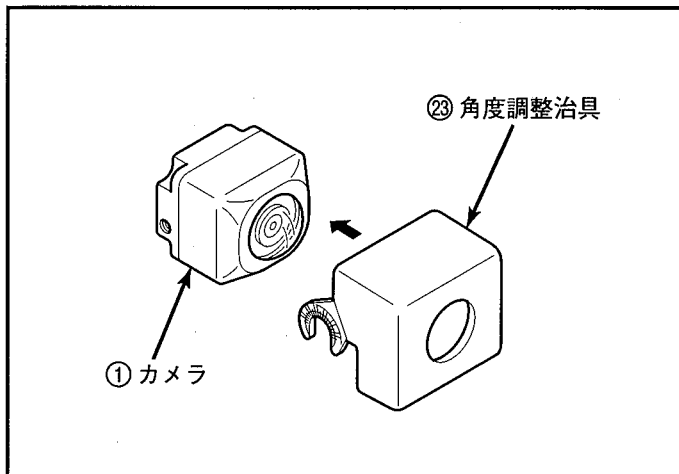


(5) 切り欠きカバー⑤のハクリ紙をはがし、バックドアガーニッシュに貼り付ける。

⚠️ 注意

- ・切り欠きカバー貼付位置付近はクリーナー⑪を使用して、汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。(ホワイトガソリンは使用しないでください。)
- ・気温が低い(20°以下)と両面テープの粘着が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。





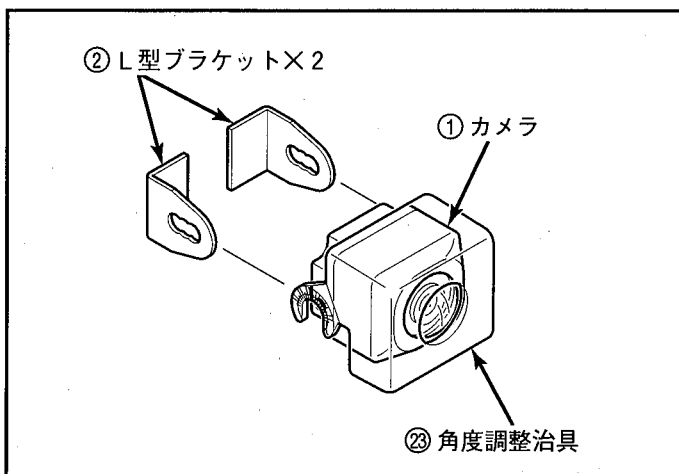
- ・L型ブラケットでの取付要領
(L型ブラケットを内向きで使用する場合)
- (1) 角度調整治具②③をカメラ①に組み付ける。

△注意

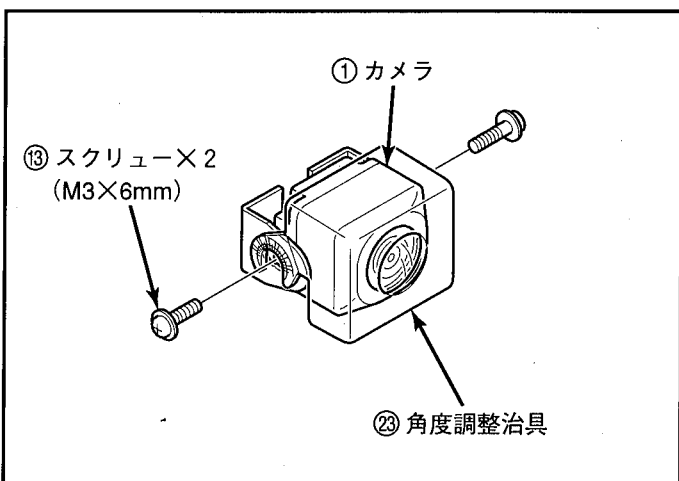
カメラのレンズ面に傷が付かないように注意してください。

👉アドバイス

角度調整治具②③がカメラのレンズ端面に当たるまで押し込んでください。



- (2) L型ブラケット②をカメラ①と角度調整治具②③の隙間から挿入する。

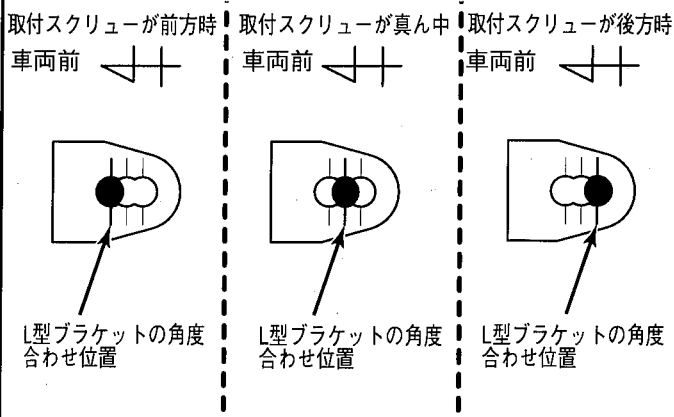


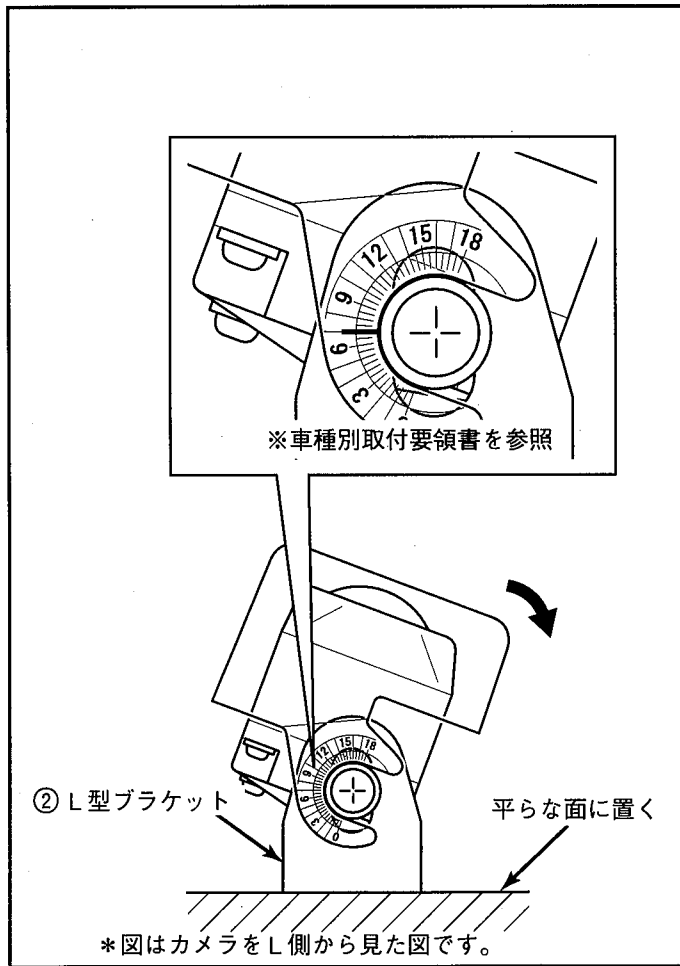
- (3) カメラ①の取り付けスクリュー⑬位置を合わせて取り付ける。

👉アドバイス

- ・カメラの角度調整が必要ですので本締めはしないでください。
- ・カメラの取り付けスクリュー位置は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・取り付けスクリュー位置の刻印がL型ブラケットの基準位置になります。
- ・L型ブラケットの基準位置は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。

取付スクリュー位置

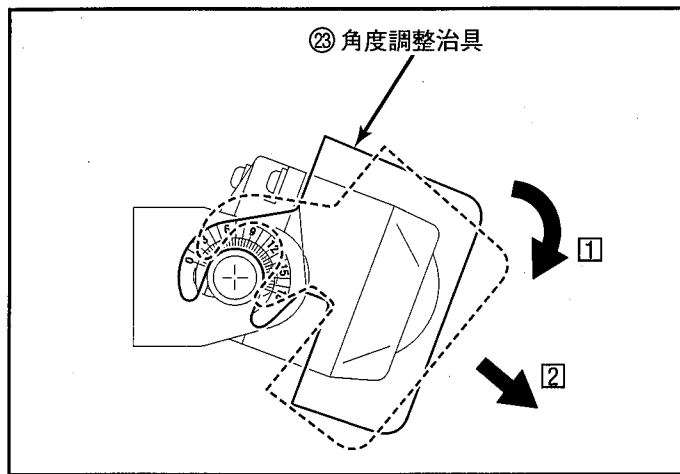




- (4) ブラケットの貼り付け面を下側にし、カメラを平らな面に置く。
- (5) L型ブラケット②の基準位置（刻印）と角度調整治具⑳の目盛りを合わせる。
- (6) カメラ①の取り付けスクリュー⑬を締め付ける。

👉 アドバイス

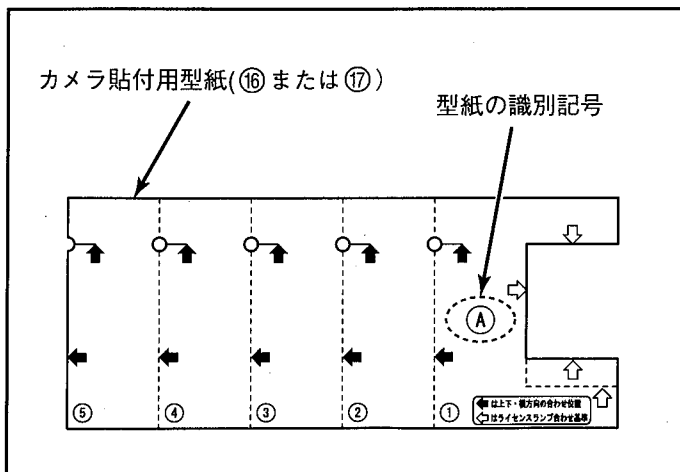
- ・角度調整治具の目盛りは車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・左右のL型ブラケット②の平行を出す作業ですので、必ず平らな面に置いて作業を行ってください。
- ・カメラの取り付けスクリュー⑬を締め付ける際、調整した角度がずれないように締め付けてください。
- ・カメラの取り付けスクリュー⑬を締め付け後、角度調整治具の目盛り合わせ位置とL型ブラケットの基準位置がずれていないことを確認してください。



- (7) 角度調整治具⑳をカメラ①から取り外す。

👉 アドバイス

左図の番号順に回転させながら取り外してください。

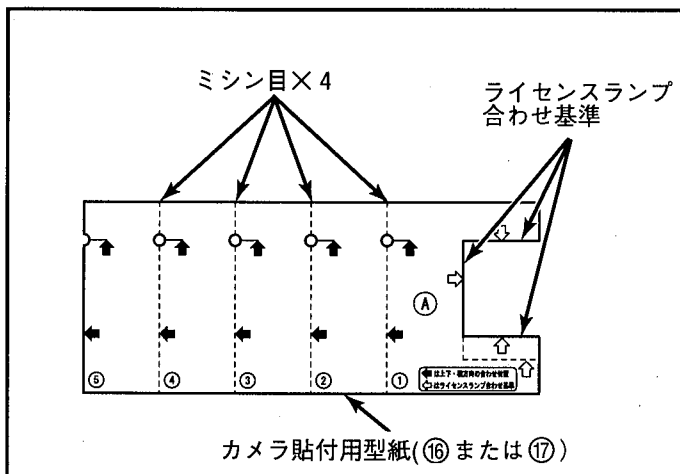


■基準位置にライセンスランプ取付穴を使用する場合

- (1) カメラ貼付用型紙（⑯または⑰）の識別記号を確認する。

👉 アドバイス

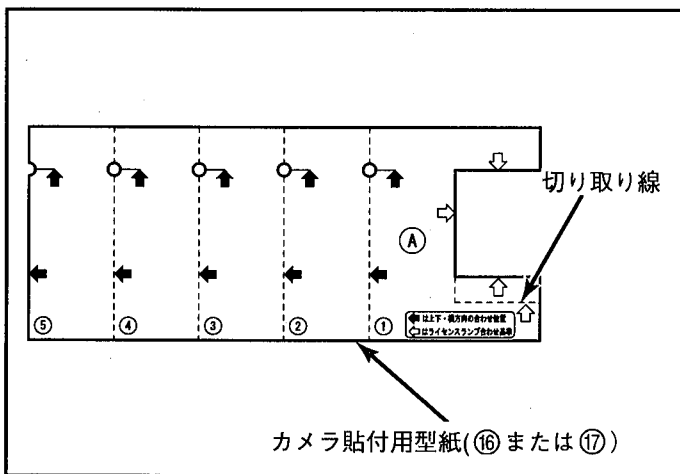
- ・使用するカメラ貼付用型紙は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・図はカメラ貼付用型紙⑯です。



(2) カメラ貼付用型紙 (⑩または⑰) をミシン目に沿って切り取る。

👉 **アドバイス**

カメラ貼付用型紙の切り取り位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

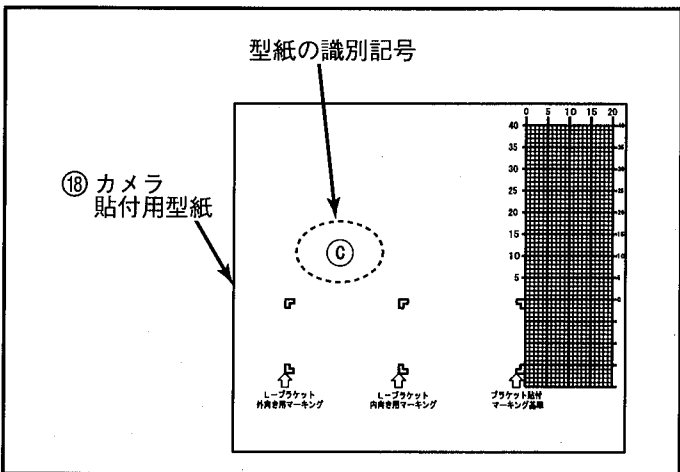


■ **ライセンスランプの幅に合わせて切り取る場合**

(3) カメラ貼付用型紙 (⑩または⑰) をライセンスランプの幅に合わせて切り取る。

👉 **アドバイス**

カメラ貼付用型紙のライセンスランプ切り取り位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

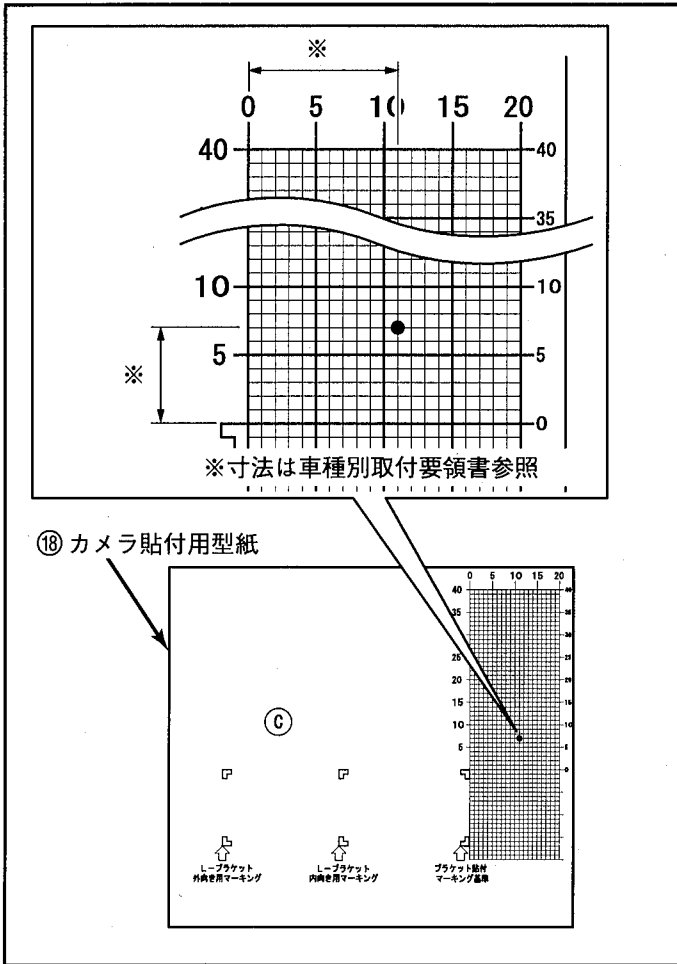


(4) カメラ貼付用型紙⑩の識別記号を確認する。

(5) カメラ貼付用型紙⑩に基準位置をマジック等でマーキングする。

アドバイス

カメラ貼付用型紙⑩の基準位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

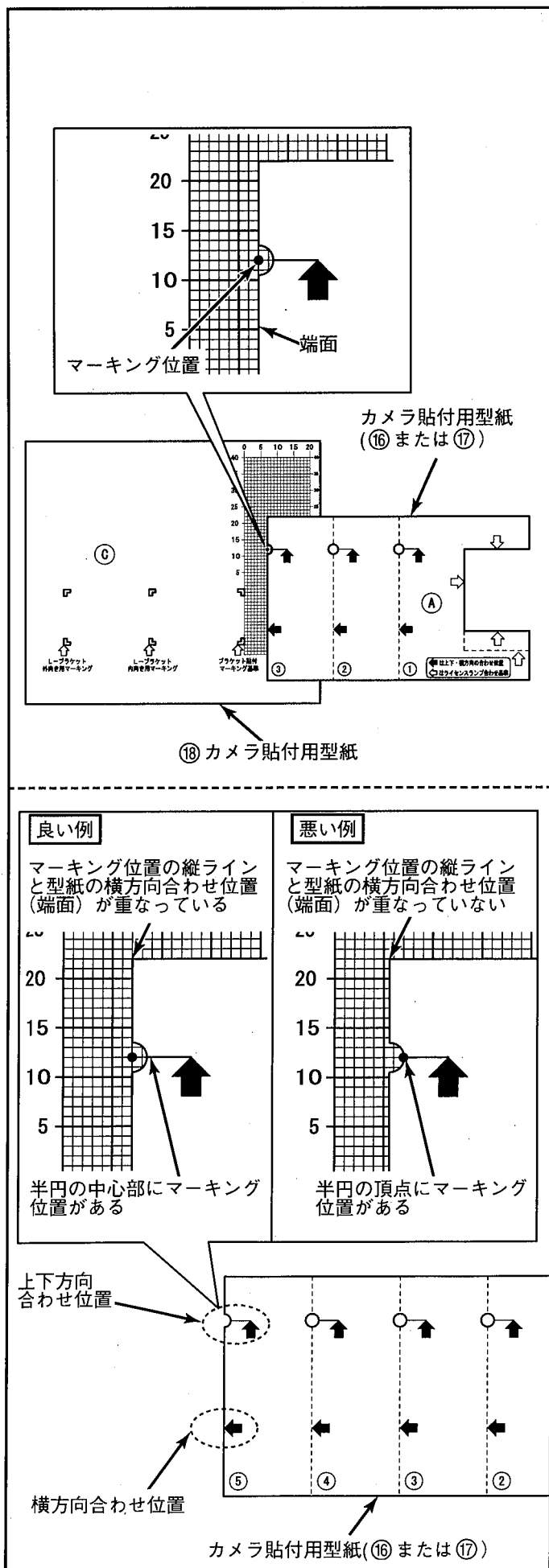


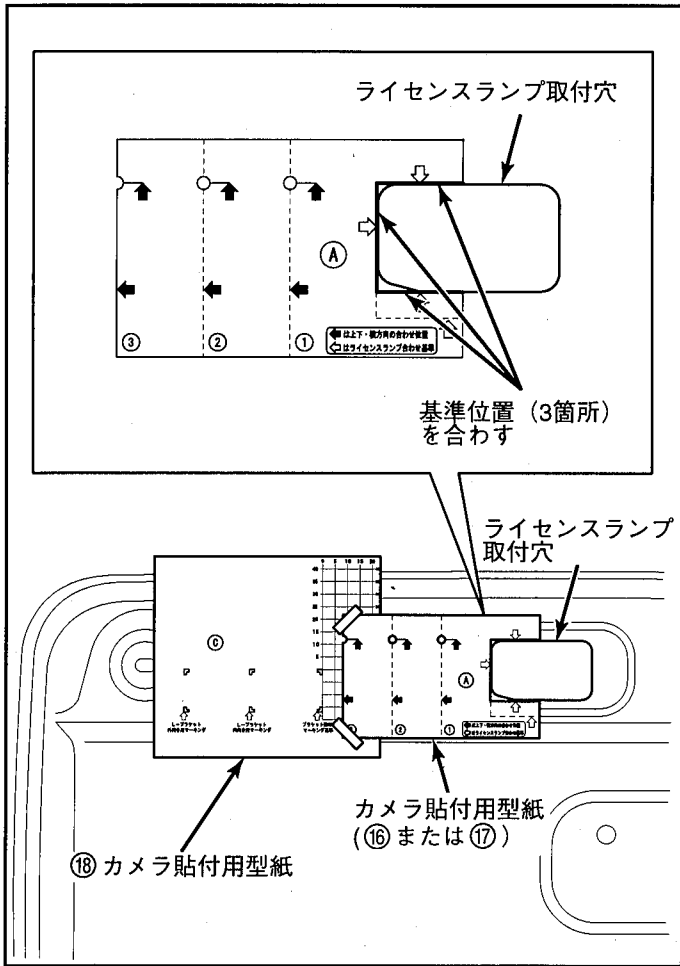
⑩ カメラ貼付用型紙

- (6) カメラ貼付用型紙⑱のマーキング位置にカメラ貼付用型紙(⑯または⑰)の合わせ位置(横方向合わせ位置と上下方向合わせ位置)を合わせ、テープ等で固定する。

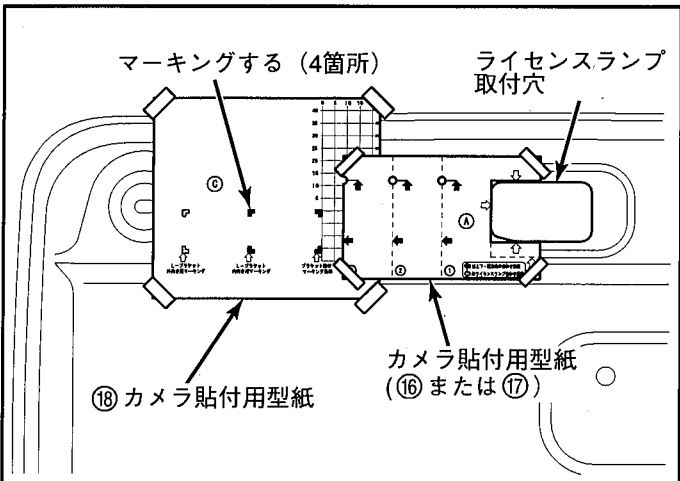
アドバイス

カメラ貼付用型紙⑱の目盛りとカメラ貼付用型紙(⑯または⑰)の横方向合わせ位置(端面)が重なっていることを確認してください。

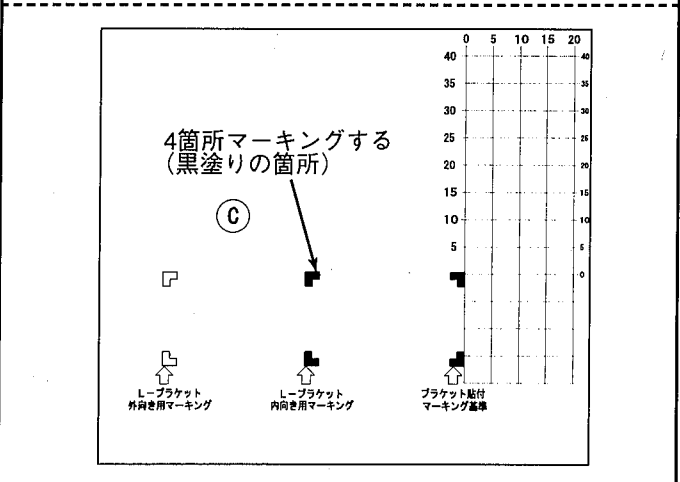


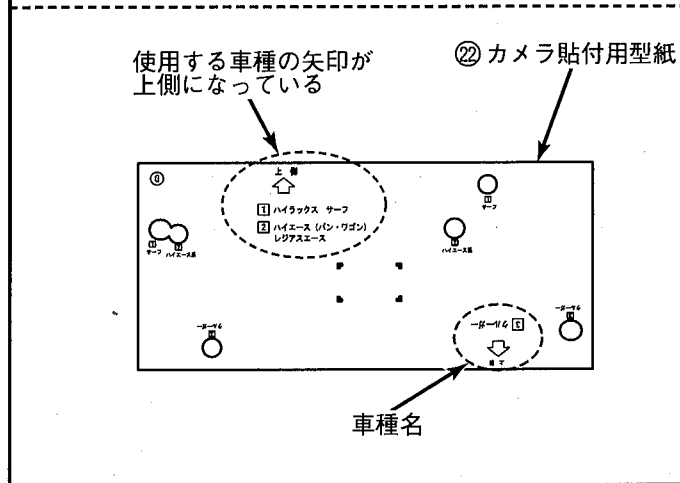
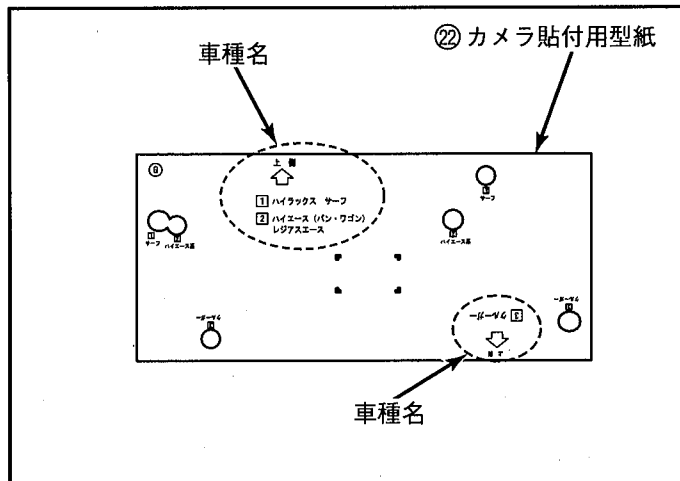
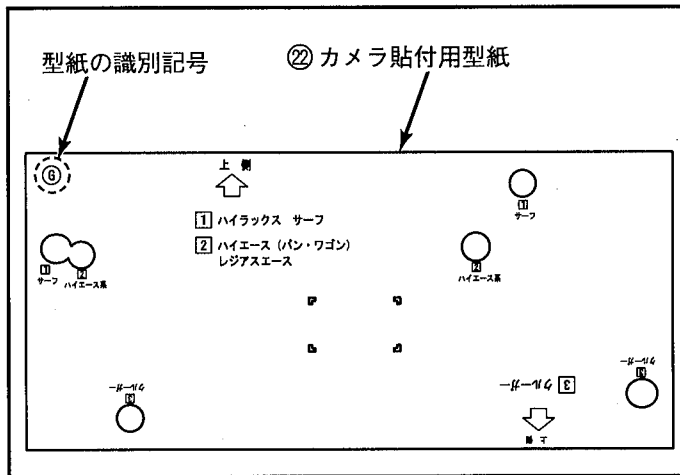


(7) 車両ボデーのライセンスランプ取付穴にカメラ貼付用型紙 (16または17)の基準位置 (3箇所) を合わせ。



(8) 車両ボデーにカメラ貼付用型紙 (16または17)、⑬をテープ等で固定する。
 (9) ブラケット取付位置をマジック等でマーキング (4箇所) する。





■ ボルト穴を使用して取り付ける場合

(1) カメラ貼付用型紙②の識別記号を確認する。

👉 アドバイス

使用するカメラ貼付用型紙は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

(2) カメラ貼付用型紙②の使用する車種名を確認する。

(3) 使用する車種名の矢印が上側になっていることを確認する。

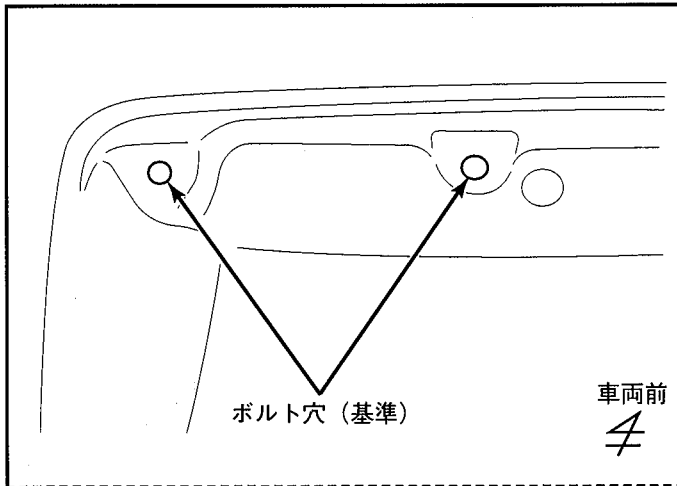
👉 アドバイス

使用する基準位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

(4) 使用する車種の基準位置（2箇所）を確認する。

👉 アドバイス

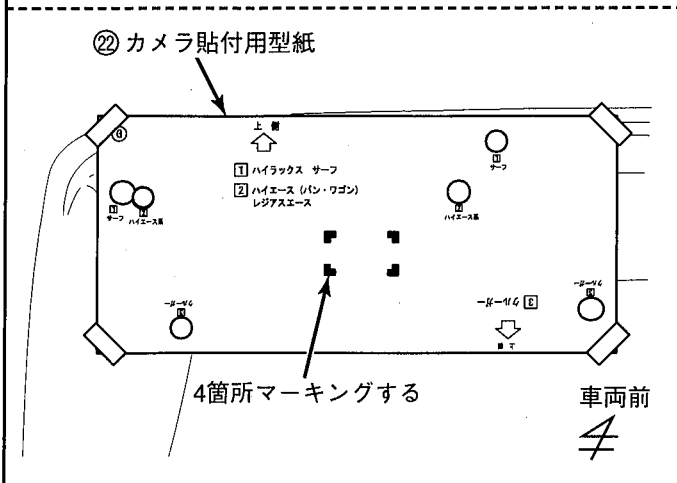
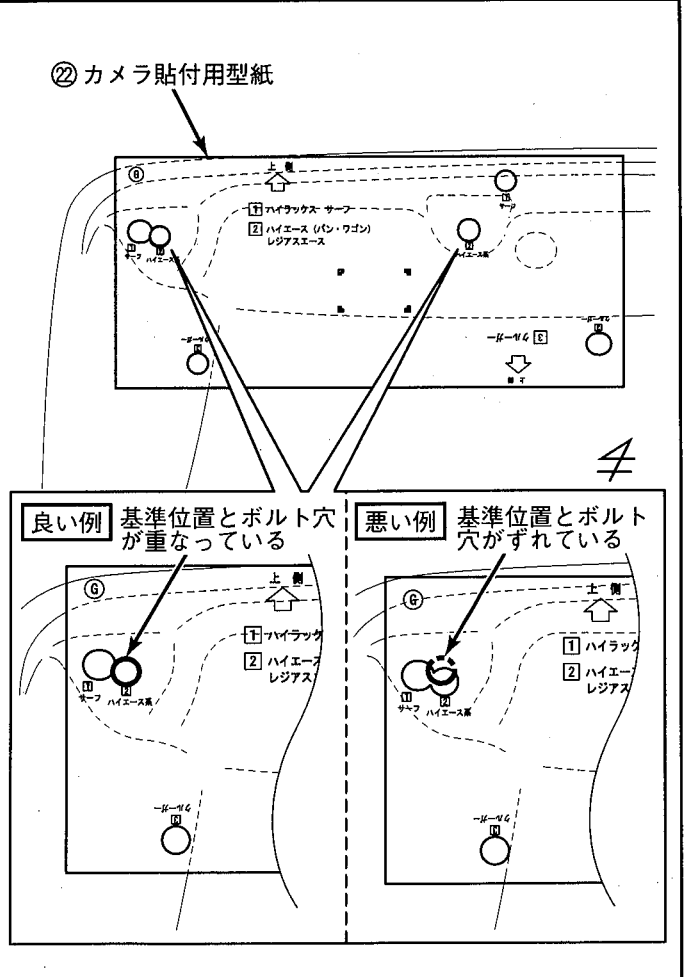
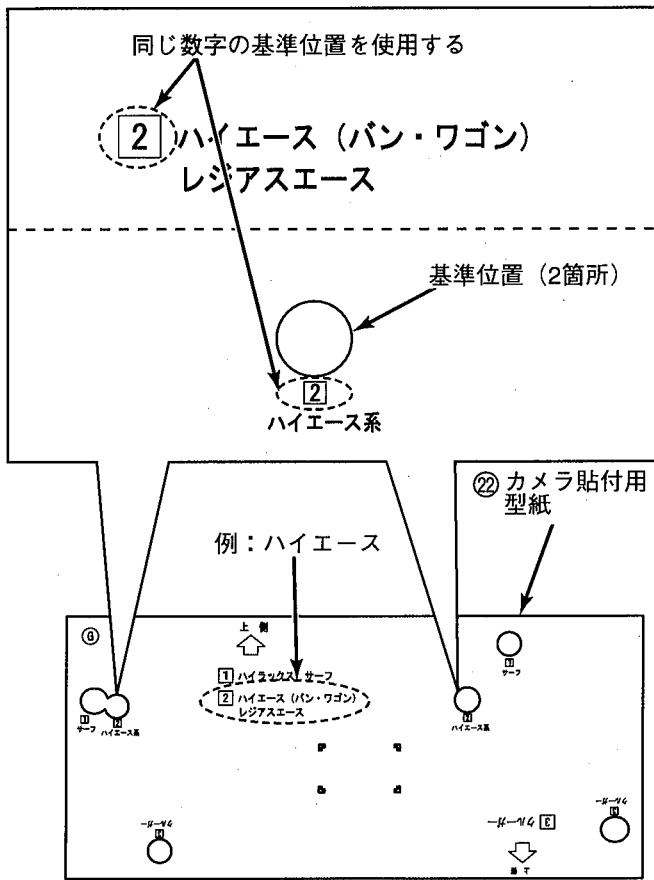
車種名の前に記載している数字を確認し、同じ数字の基準位置を使用してください。



(5) 車両ボデーのボルト穴(バックドアガーニッシュ部)にカメラ貼付用型紙②の基準位置(2箇所)を合わせます。

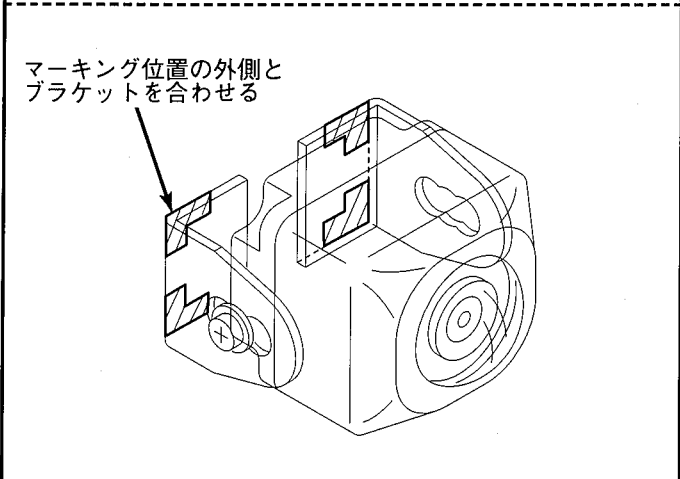
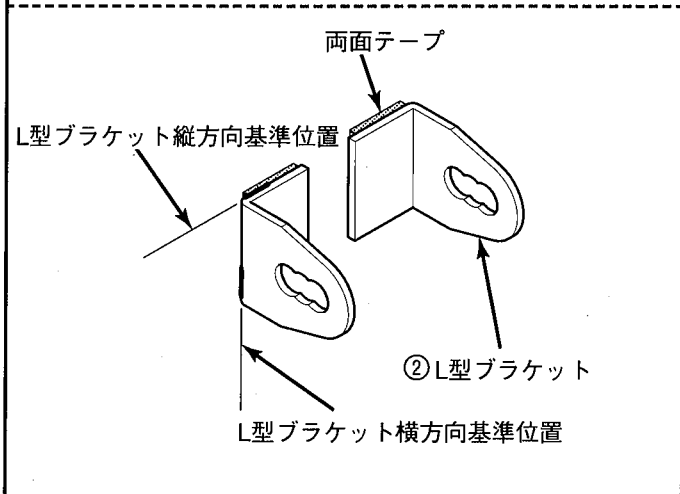
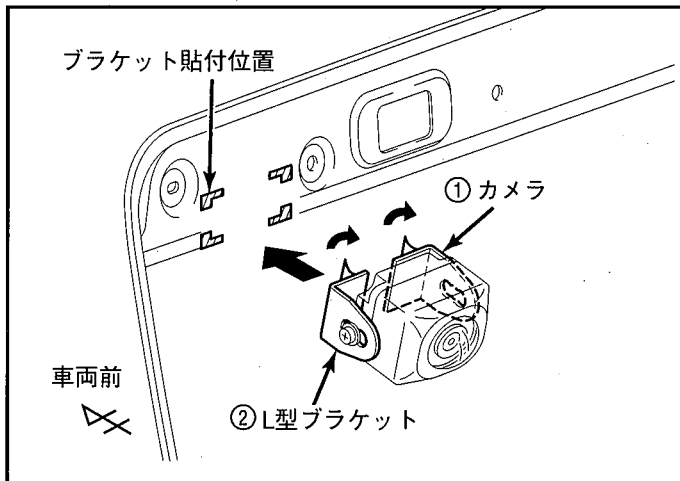
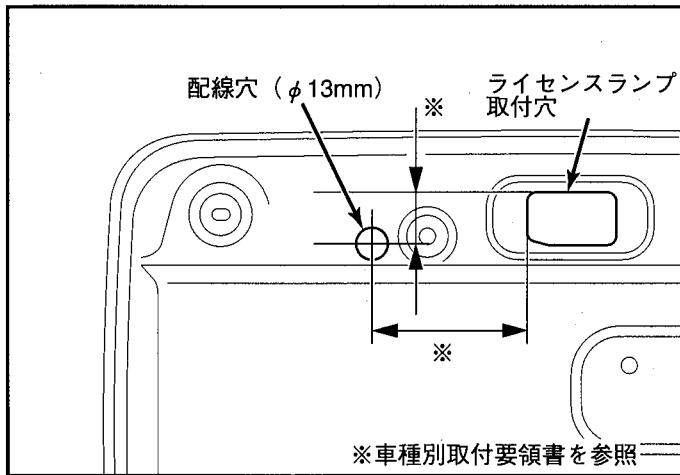
👉 アドバイス

カメラ貼付用型紙②の基準位置(2箇所)とボルト穴が重なっていることを確認してください。



(6) 車両ボデーにカメラ貼付用型紙②をテープ等で固定する。

(7) ブラケット取付位置をマジック等でマーキング (4箇所) する。



■共通

- (1) 車両ボデー（バックドアガーニッシュ部）に配線穴をマーキングし、 $\phi 13\text{mm}$ の穴をあける。

⚠注意

- ・ドリルおよびホルソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- ・穴あけ作業を行う際、裏側に車両ハーネス等がないことを確認してください。
- ・切り粉がボデー内部に残らないよう、ボデー内側にガムテープ等を貼ってください。
- ・穴あけ後エアガン等で切り粉を除去してください。
- ・穴あけ加工部はヤスリでバリ取り処理を行ってください。
- ・穴あけ加工部はバリ取り処理後に防錆剤を塗布してください。

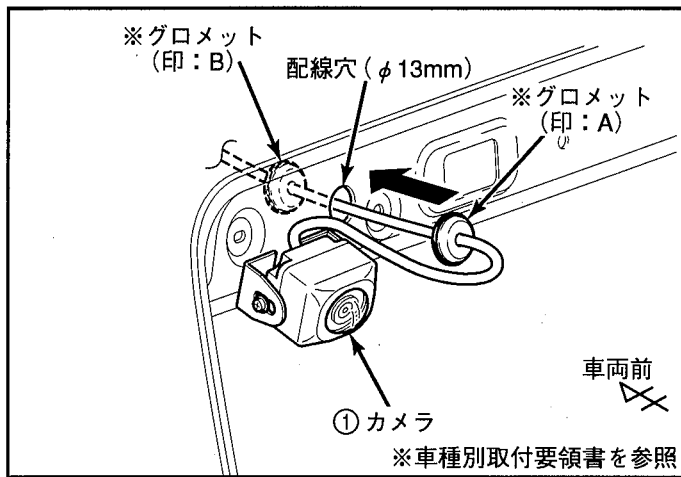
- (2) マーキングしたブラケット貼付位置にL型ブラケット②のハクリ紙をはがし、車両ボデーに貼り付ける。

⚠注意

- ブラケット貼付位置は、ブラケット端面を基準に貼り付けてください。
(両面テープを基準にしないでください。)

👉アドバイス

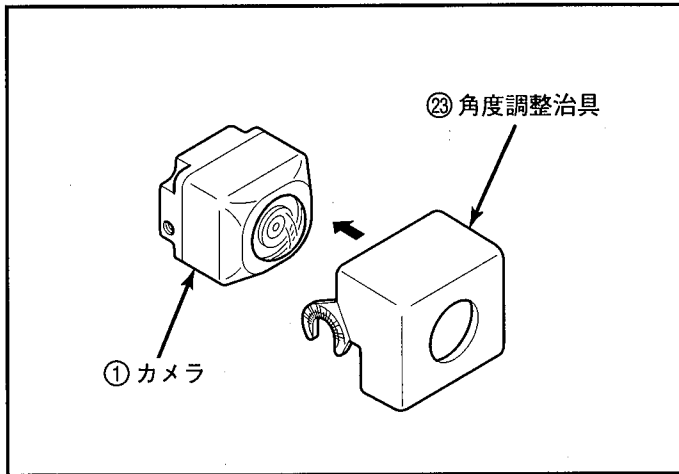
- ・貼り付け位置付近は、ホワイトガソリンをきれいな布につけて汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- ・気温が低い（ 20°C 以下）と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。
- ・カメラ背面の矢印が車両取付時に上方向に向くように取り付けてください。



- (3) 車両ボデーの配線穴から使用しないグロメットをボデー内に押し込み、使用するグロメット (印:車種別取付要領書を参照) を取り付ける。

👉 アドバイス

- 車種により使用するグロメットが異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- 水入りする恐れがありますので、グロメットは隙間のないようにしっかり取り付けてください。
- カメラを取り付けた後、車室内からコードを引っ張りコードのたるみがないようにしてください。
- グロメットを取り付けた後、車室内からコードを引っ張りコードのたるみがないようにしてください。
- カメラ取り付け及びカメラコード配線後、バックドアガーニッシュを復元する前に再度、コードがつっぱってグロメットが変形していないこと、隙間がないことを確認してください。



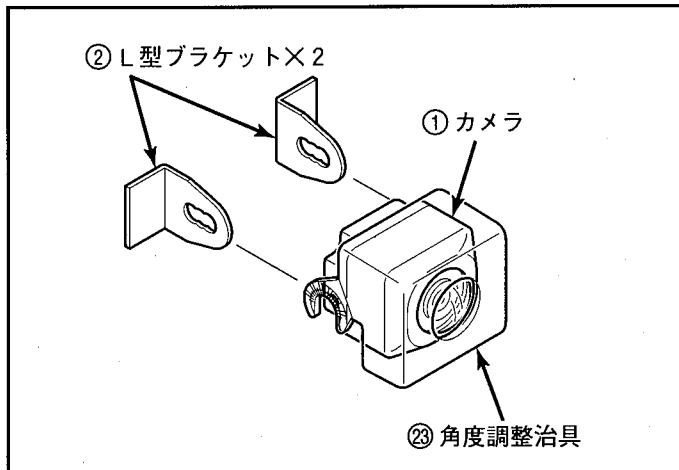
- ・L型ブラケットでの取付要領
(L型ブラケットを外向きで使用する場合)
- (1) 角度調整治具②③をカメラ①に組み付ける。

△注意

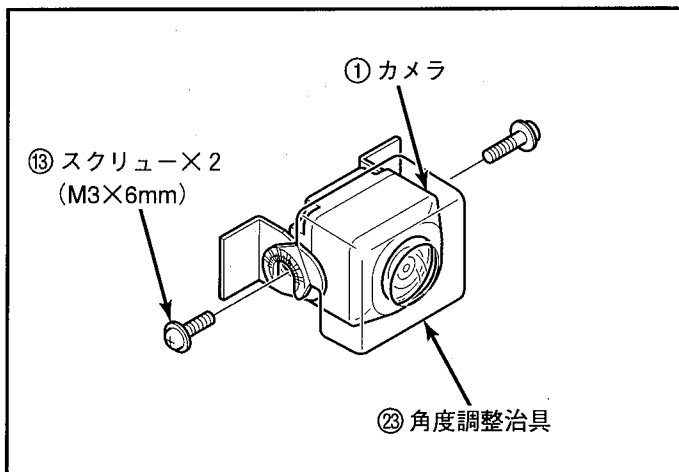
カメラのレンズ面に傷が付かないように注意してください。

👉アドバイス

角度調整治具②③がカメラのレンズ端面に当たるまで押し込んでください。



- (2) L型ブラケット②をカメラ①と角度調整治具②③の間から挿入する。

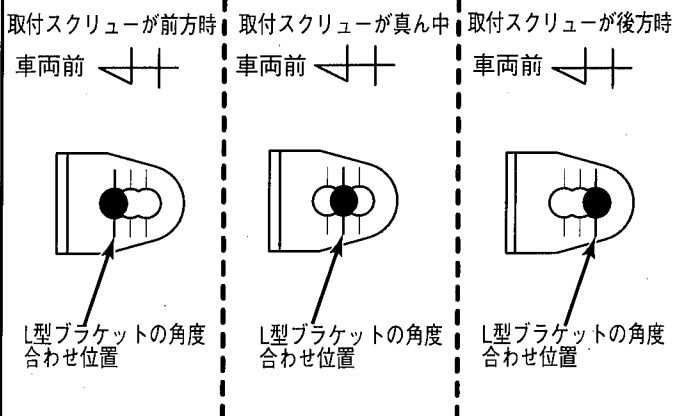


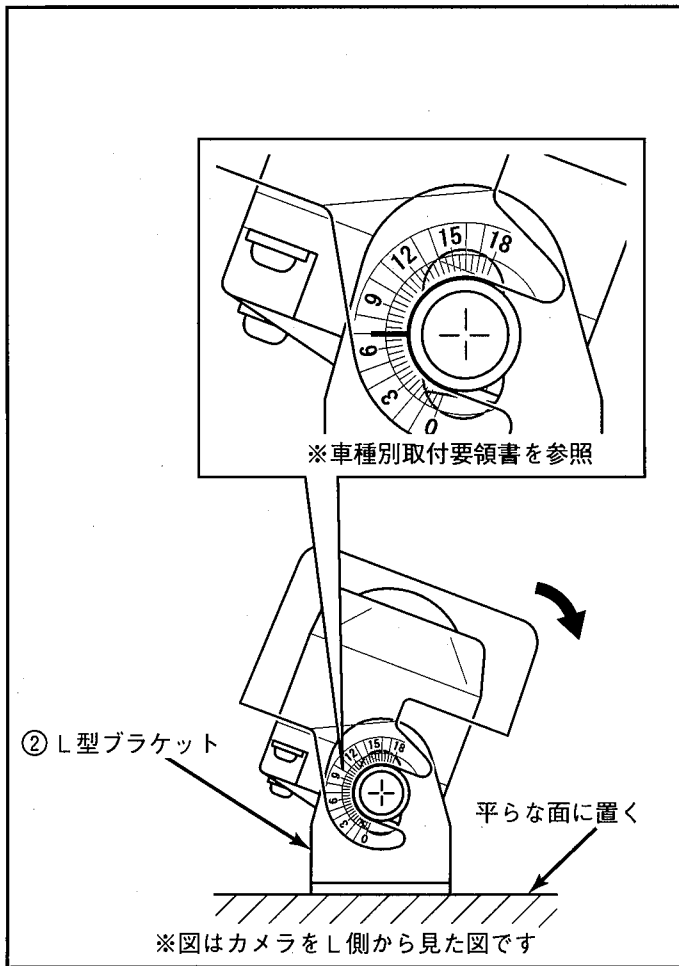
- (3) カメラ①の取り付けスクリュー⑬位置を合わせて取り付ける。

👉アドバイス

- ・カメラの角度調整が必要ですので本締めはしないでください。
- ・カメラの取り付けスクリュー⑬位置は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・取り付けスクリュー位置の刻印がL型ブラケットの基準位置になります。
- ・L型ブラケット②の基準位置は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。

取付スクリュー位置

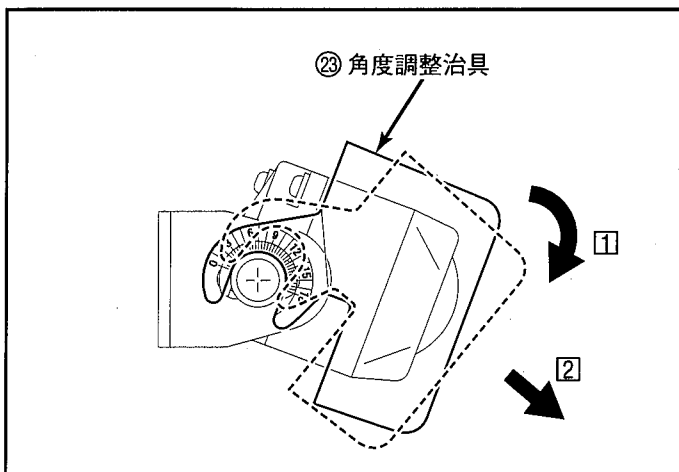




- (4) ブラケットの貼り付け面を下側にし、カメラを平らな面に置く。
- (5) L型ブラケット②の基準位置（刻印）と角度調整治具③の目盛りを合わせる。
- (6) カメラの取り付けスクリュー⑬を締め付ける。

👉 アドバイス

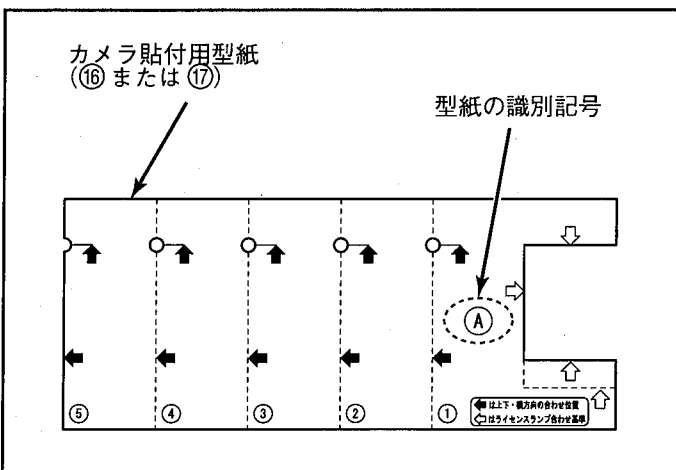
- ・角度調整治具の目盛りは車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・左右のL型ブラケットの平行を出す作業ですので、必ず平らな面に置いて作業を行ってください。
- ・カメラの取り付けスクリューを締め付ける際、調整した角度がずれないように締め付けてください。
- ・カメラの取り付けスクリューを締め付け後、角度調整治具の目盛り合わせ位置とL型ブラケットの基準位置がずれていないことを確認してください。



- (7) 角度調整治具③をカメラ①から取り外す。

👉 アドバイス

左図の番号順に回転させながら取り外してください。

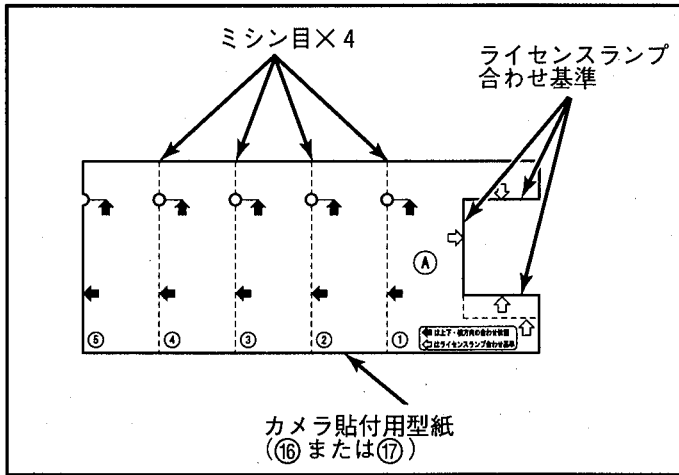


■基準位置にライセンスランプ取付穴を使用する場合

- (8) カメラ貼付用型紙（⑬または⑭）の識別記号を確認する。

👉 アドバイス

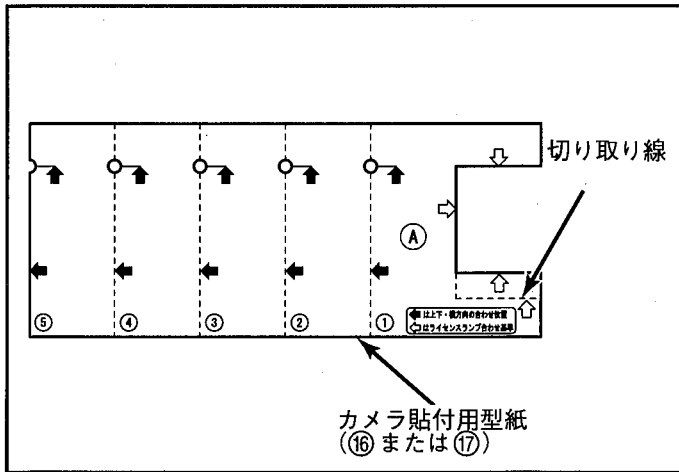
- ・使用するカメラ貼付用型紙は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・図はカメラ貼付用型紙⑬です。



(9) カメラ貼付用型紙 (16または17) をミシン目に沿って切り取る。

👉 アドバイス

カメラ貼付用型紙の切り取り位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

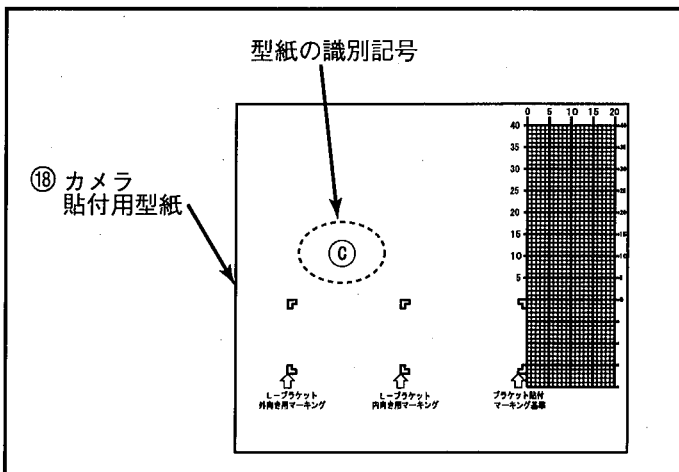


■ ライセンスランプの幅に合わせて切り取る場合

(10) カメラ貼付用型紙 (16または17) をライセンスランプの幅に合わせて切り取る。

👉 アドバイス

カメラ貼付用型紙のライセンスランプ切り取り位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

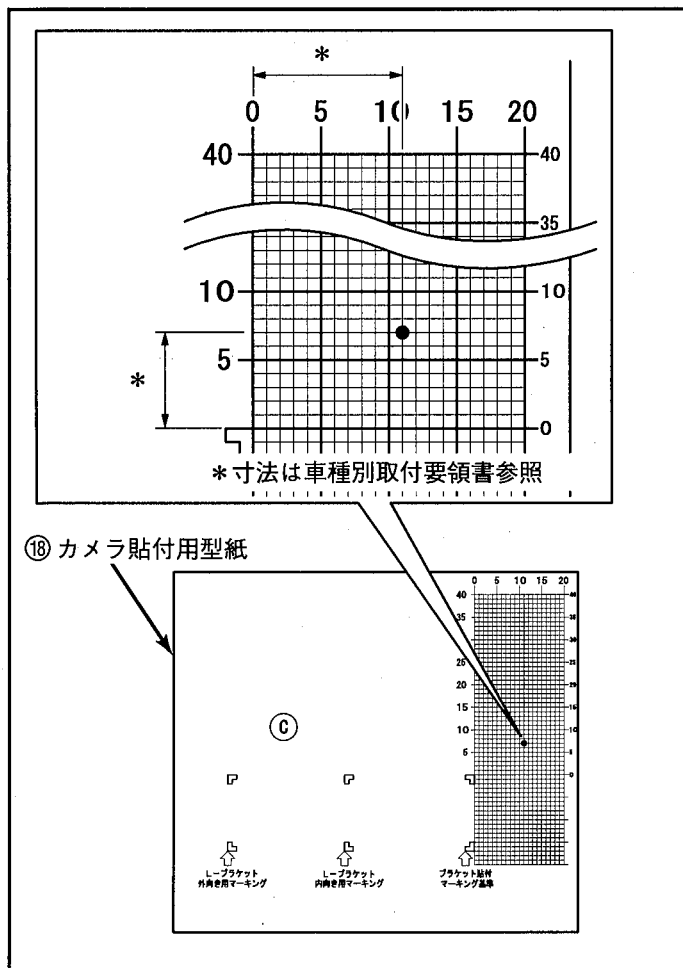


(11) カメラ貼付用型紙⑱の識別記号を確認する。

(12) カメラ貼付用型紙⑱に基準位置をマジック等でマーキングする。

👉 アドバイス

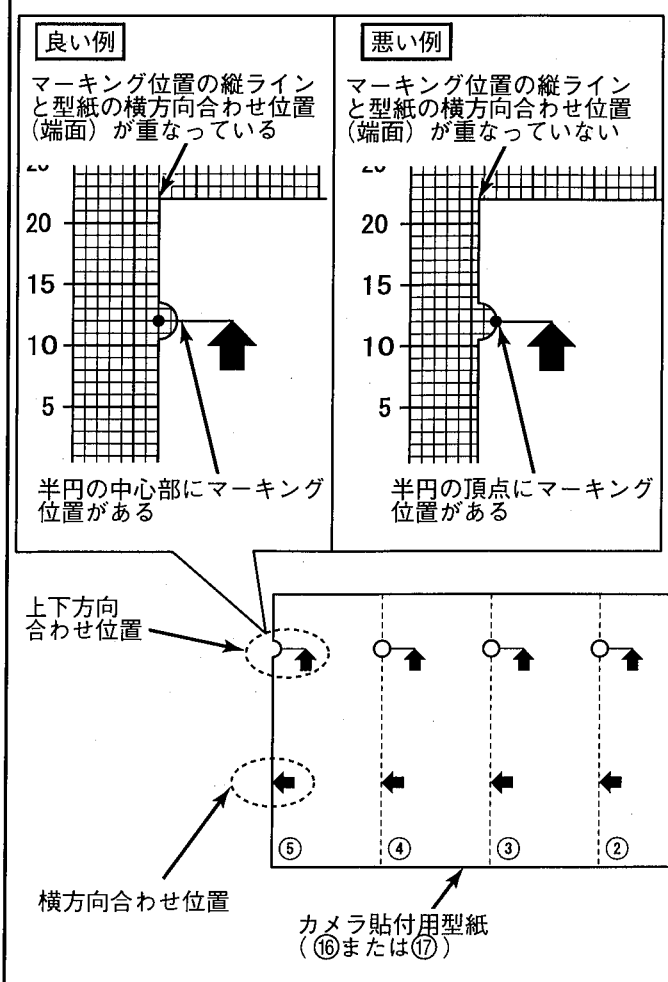
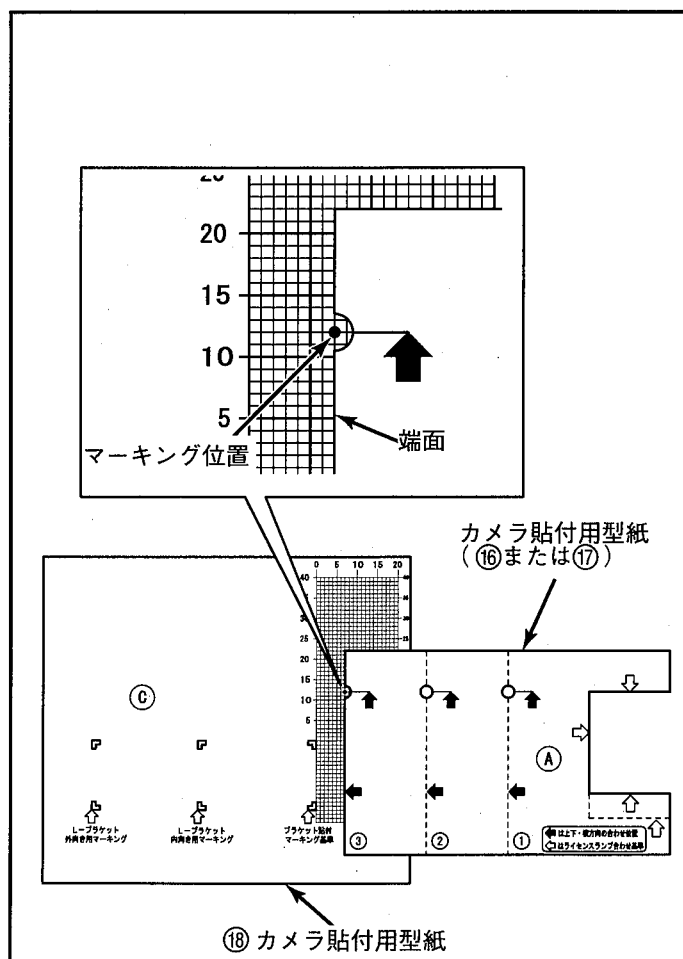
カメラ貼付用型紙⑱の基準位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

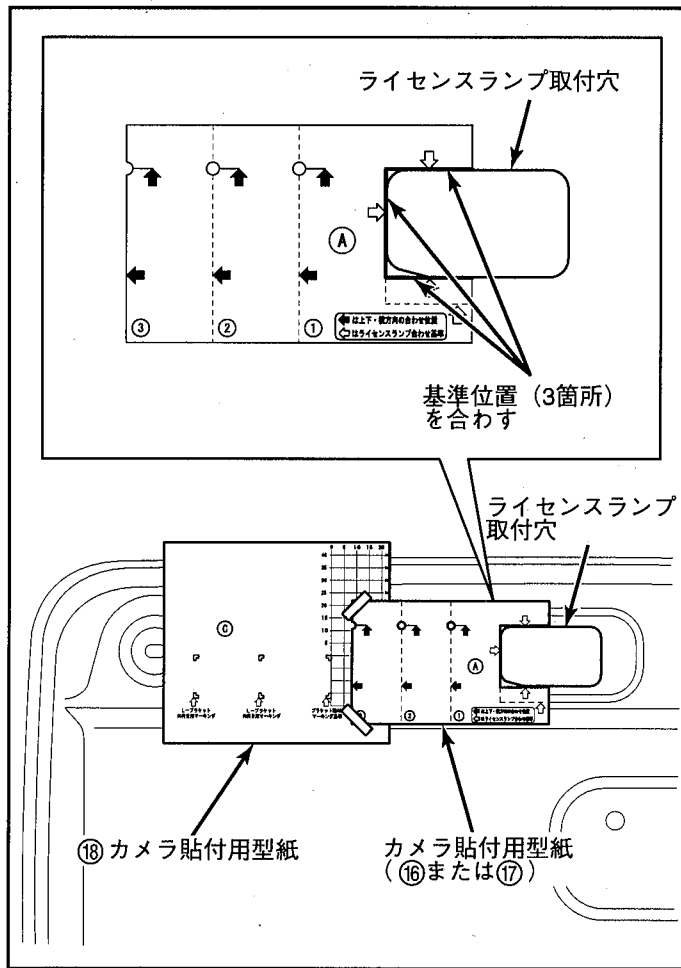


- (13) カメラ貼付用型紙⑩のマーキング位置にカメラ貼付用型紙(⑩または⑪)の合わせ位置(横方向合わせ位置と上下方向合わせ位置)を合わせ、テープ等で固定する。

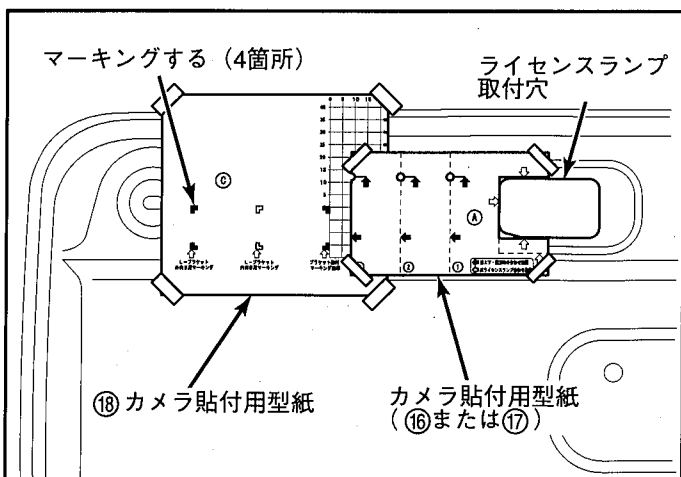
アドバイス

カメラ貼付用型紙⑩の目盛りとカメラ貼付用型紙(⑩または⑪)の横方向合わせ位置(端面)が重なっていることを確認してください。

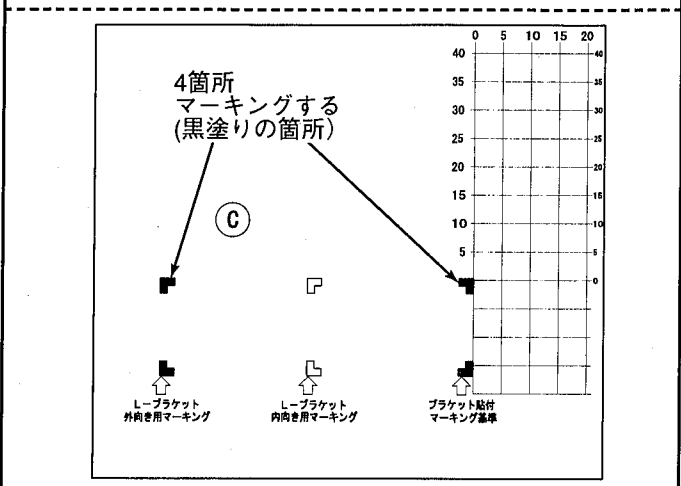


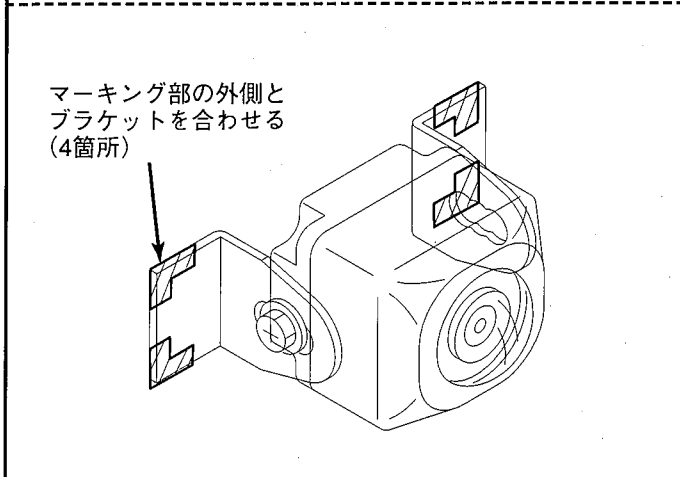
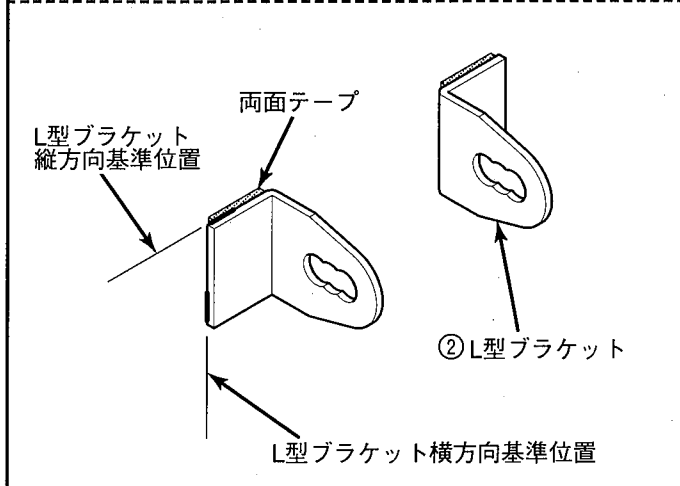
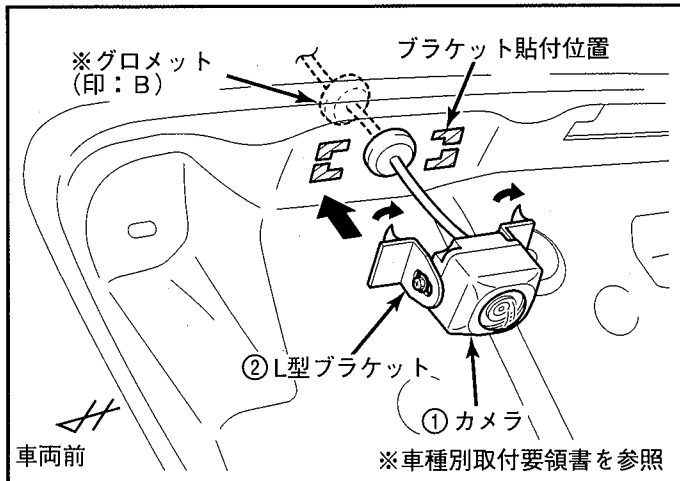
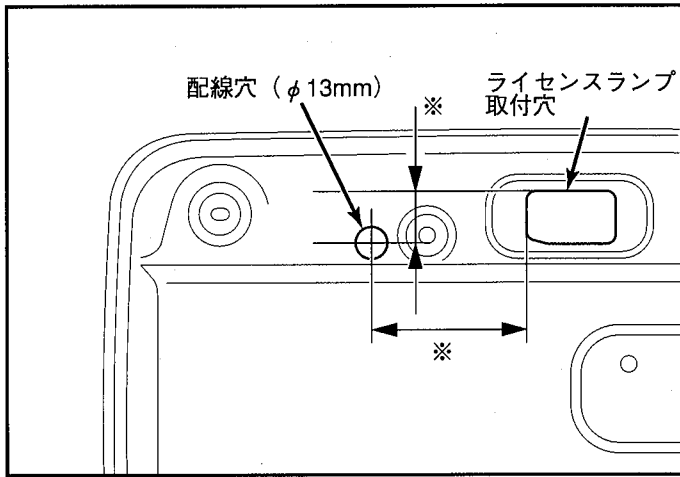


- (14) 車両ボデーのライセンスランプ取付穴にカメラ貼付用型紙 (16または17) の基準位置 (3箇所) を合わせる。



- (15) 車両ボデーにカメラ貼付用型紙 (16または17)、18をテープ等で固定する。
 (16) ブラケット取付位置をマジック等でマーキング (4箇所) する。





- (18) 車両ボデー（バックドアガーニッシュ部）に配線穴をマーキングし、φ13mmの穴をあける。

△注意

- ・ドリルおよびホルソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- ・穴あけ作業を行う際、裏側に車両ハーネス等がないことを確認してください。
- ・切り粉がボデー内部に残らないよう、ボデー内側にガムテープ等を貼ってください。
- ・穴あけ後エアガン等で切り粉を除去してください。
- ・穴あけ加工部はヤスリでバリ取り処理を行ってください。
- ・穴あけ加工部はバリ取り処理後に防錆剤を塗布してください。

- (19) 車両ボデーの配線穴から使用しないグロメットをボデー内に押し込み、使用するグロメット（印：車種別取付要領書を参照）を取り付ける。

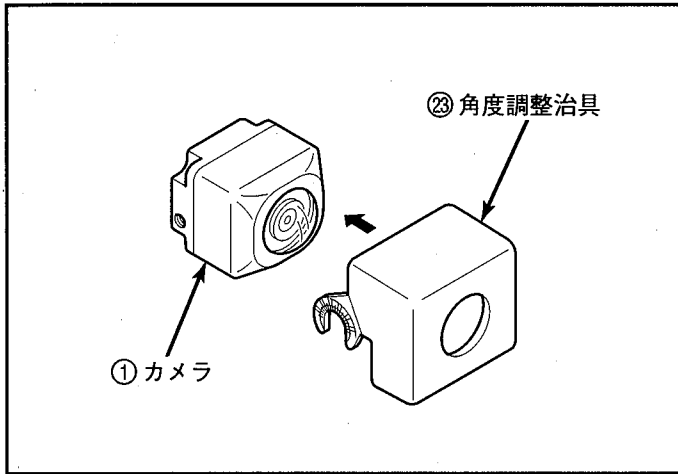
- (20) マーキングしたブラケット貼付位置にL型ブラケット②のハクリ紙をはがし、車両ボデーに貼り付ける。

△注意

ブラケット貼付位置は、ブラケット端面を基準に貼り付けてください。
(両面テープを基準にしないでください。)

👉アドバイス

- ・車種により使用するグロメットが異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・水入りする恐れがありますので、グロメットは隙間のないようにしっかり取り付けてください。
- ・カメラを取り付けた後、車室内からコードを引っ張りコードのたるみがないようにしてください。
- ・貼り付け位置付近は、ホワイトガソリンをきれいな布につけて汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- ・気温が低い（20℃以下）と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。
- ・カメラ背面の矢印が車両搭載時に上方方向に向くように取り付けてください。
- ・カメラを取り付けた後、車室内からコードを引っ張りコードのたるみがないようにしてください。
- ・グロメットを取り付けた後、車室内からコードを引っ張りコードのたるみがないようにしてください。
- ・グロメットを取付後、コードがつっぱってグロメットが変形していないこと、隙間がないことを確認してください。
- ・カメラ取り付け及びカメラコード配線後、バックドアガーニッシュを復元する前に再度、コードがつっぱってグロメットが変形していないこと、隙間がないことを確認してください。



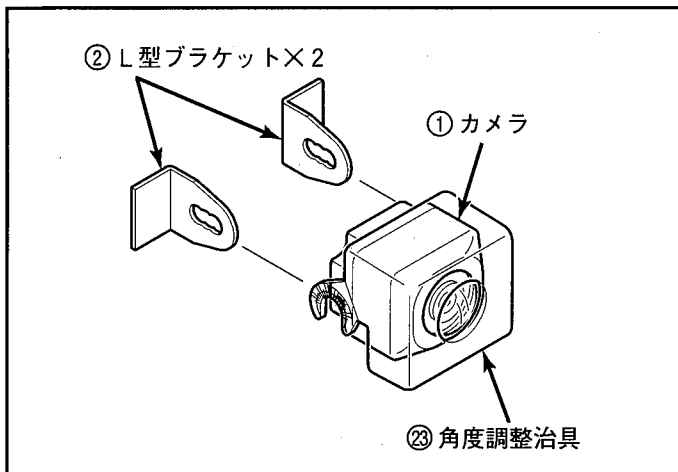
■L型ブラケットをバックアガーニッシュに貼り付ける場合
 (1) 角度調整治具②③をカメラ①に組み付ける。

⚠注意

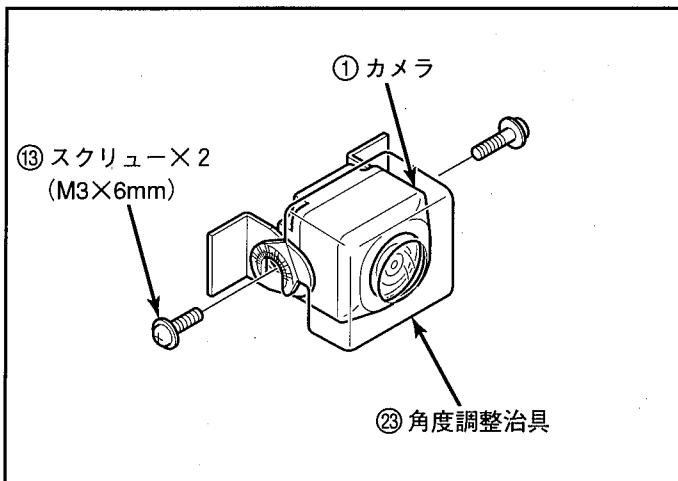
カメラのレンズ面に傷が付かないように注意してください。

👉アドバイス

角度調整治具②③がカメラのレンズ端面に当たるまで押し込んでください。



(2) L型ブラケット②をカメラ①と角度調整治具②③の隙間から挿入する。

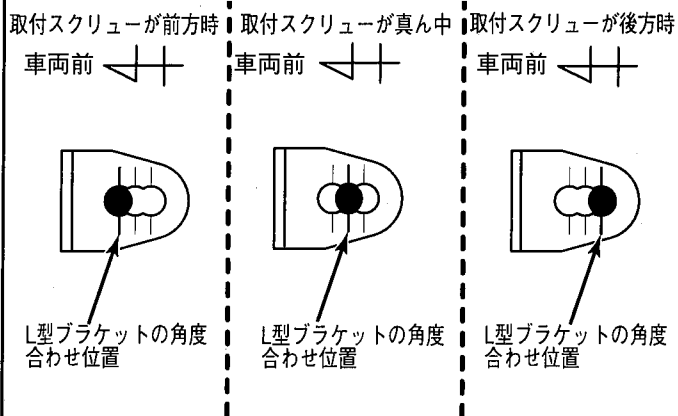


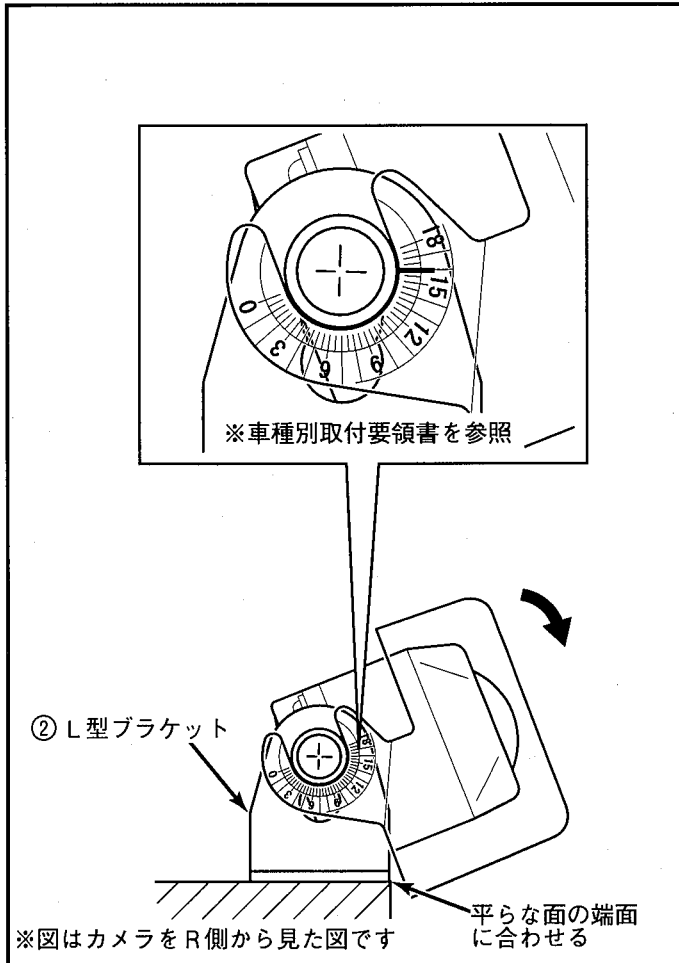
(3) カメラ①の取り付けスクリュー⑬位置を合わせて取り付ける。

👉アドバイス

- ・カメラの角度調整が必要ですので本締めはしないでください。
- ・カメラの取り付けスクリュー位置は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・取り付けスクリュー位置の刻印がL型ブラケットの基準位置になります。
- ・L型ブラケットの基準位置は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。

取付スクリュー位置

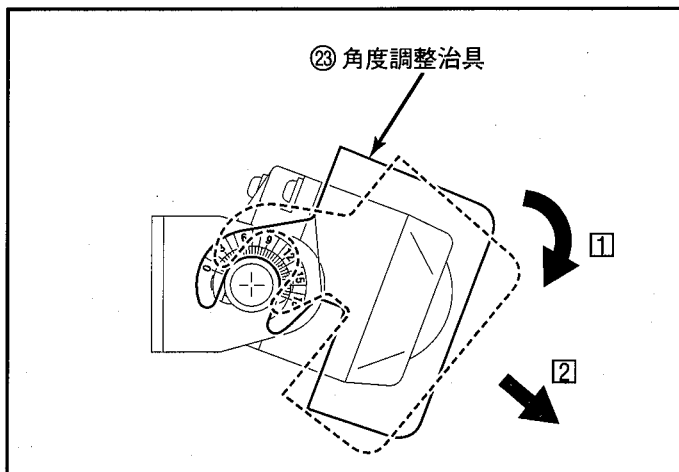




- (4) ブラケットの貼り付け面を下側にし、カメラを平らな面に置く。
- (5) ブラケットの端面と平らな面の端面を合わせる。
- (6) L型ブラケット②の基準位置(刻印)と角度調整治具③の目盛りを合わせる。
- (7) カメラ①の取り付けスクリュー⑬を締め付ける。

👉 アドバイス

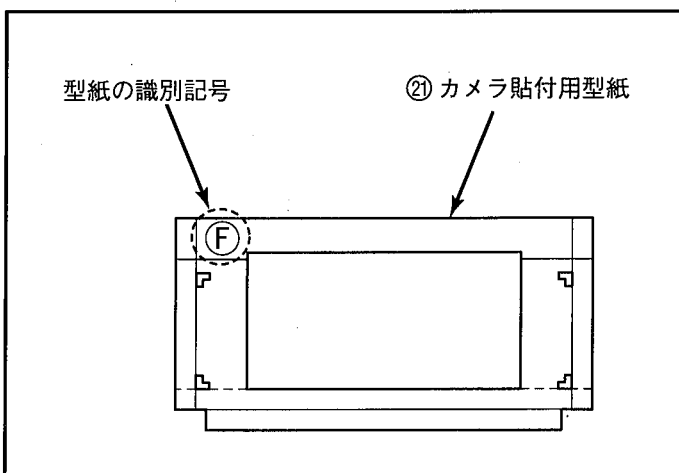
- ・角度調整治具の目盛りは車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・左右のL型ブラケットの平行を出す作業ですので、必ず平らな面に置いて作業を行ってください。
- ・カメラの取り付けスクリューを締め付ける際、調整した角度がずれないように締め付けてください。
- ・カメラの取り付けスクリューを締め付け後、角度調整治具の目盛り合わせ位置とL型ブラケットの基準位置がずれていないことを確認してください。



- (8) 角度調整治具③をカメラ①から取り外す。

👉 アドバイス

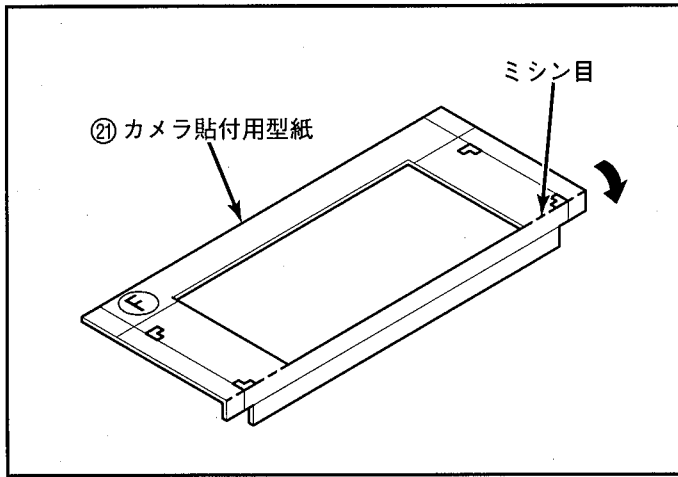
左図の番号順に回転させながら取り外してください。



- (9) カメラ貼付用型紙②の識別記号を確認する。

👉 アドバイス

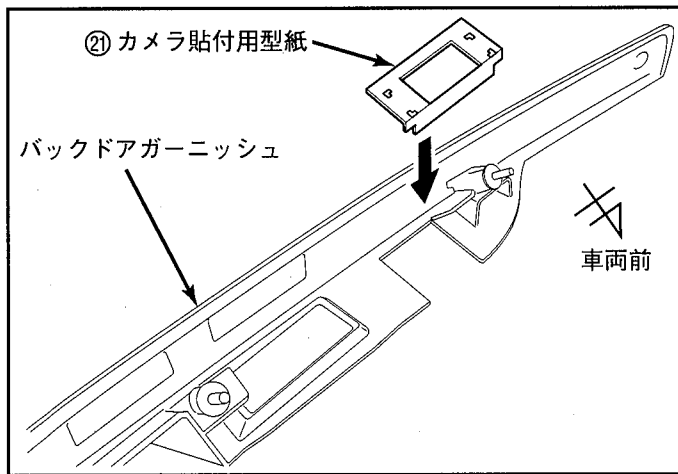
使用するカメラ貼付用型紙は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。



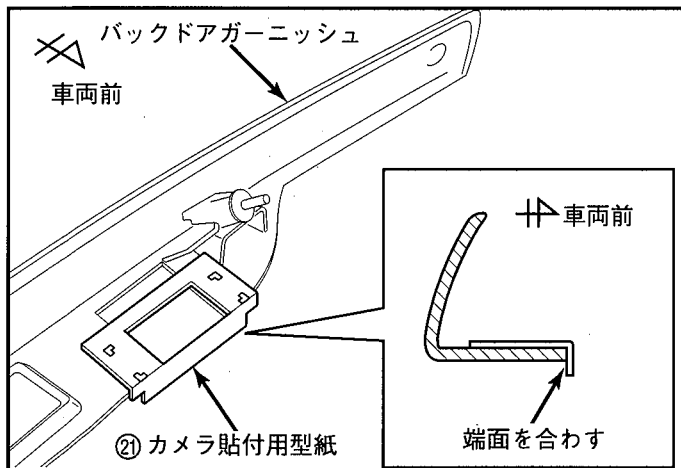
(10) カメラ貼付用型紙②1のミシン目に沿って、山折りする。

⚠注意

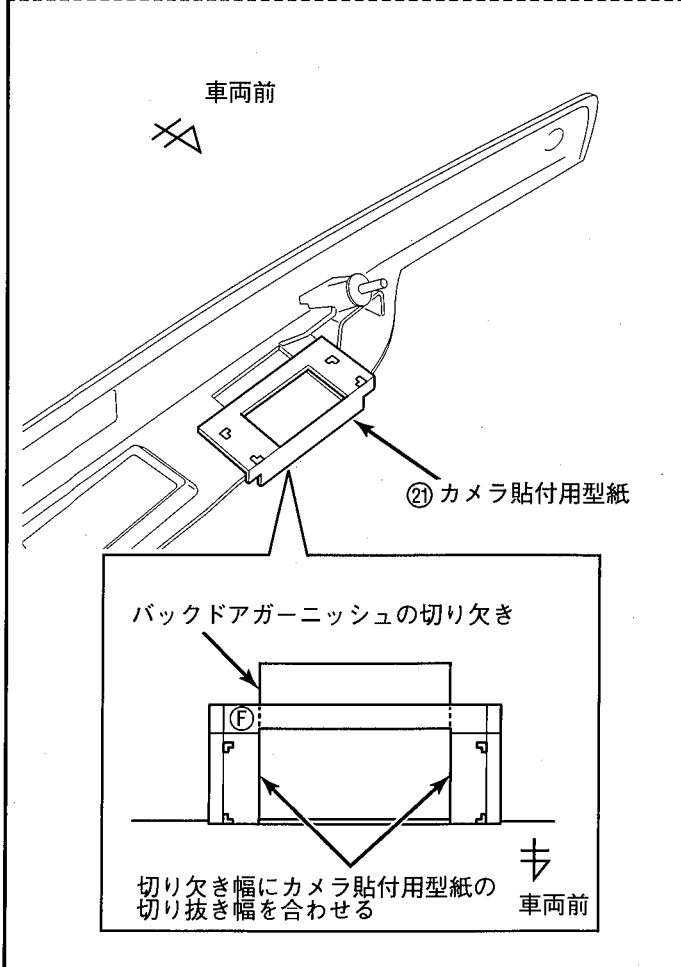
ミシン目は切り取らないように、折り曲げてください。



(11) バックドアガーニッシュ裏面にカメラ貼付用型紙②1を合わせる。

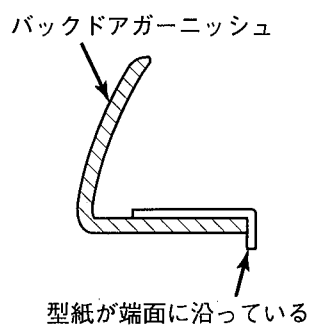


(12) カメラ貼付用型紙⑳をバックドアガーニッシュの端面に合わせます。

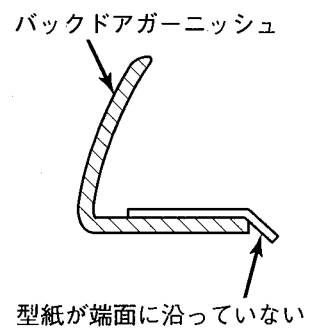


(13) バックドアガーニッシュの切り欠き（横方向端面）とカメラ貼付用型紙⑳の切り抜き部（横方向端面）を合わせる。

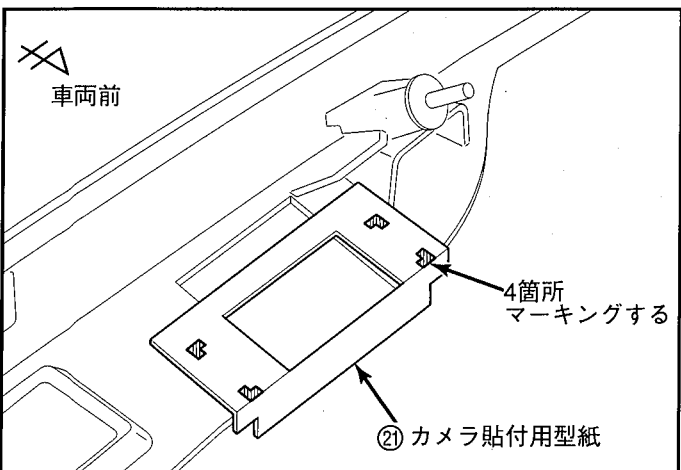
良い例

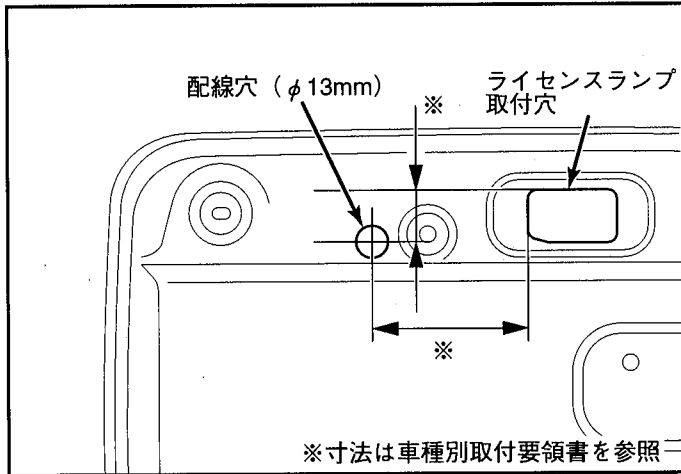


悪い例



(14) ブラケット取付位置をマジック等でマーキング（4箇所）する。

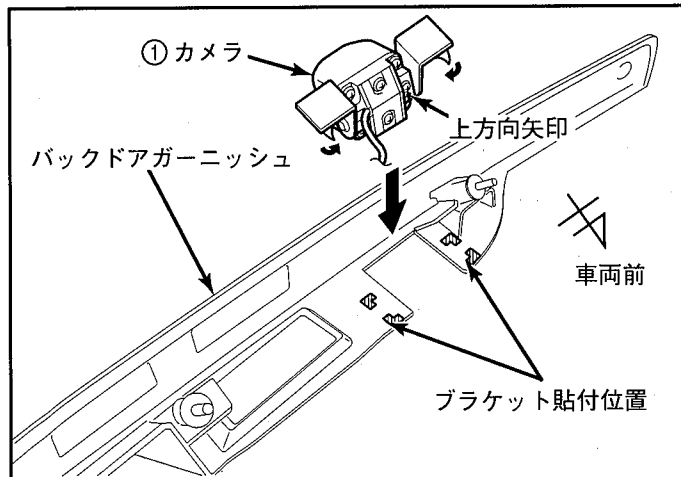




- (15) 車両ボデー（バックドアガーニッシュ部）に配線穴をマーキングし、φ13mmの穴をあける。

⚠注意

- ・ドリルおよびホルソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- ・穴あけ作業を行う際、裏側に車両ハーネス等がないことを確認してください。
- ・切り粉がボデー内部に残らないよう、ボデー内側にガムテープ等を貼ってください。
- ・穴あけ後エアガン等で切り粉を除去してください。
- ・穴あけ加工部はヤスリでバリ取り処理を行ってください。
- ・穴あけ加工部はバリ取り処理後に防錆剤を塗布してください。



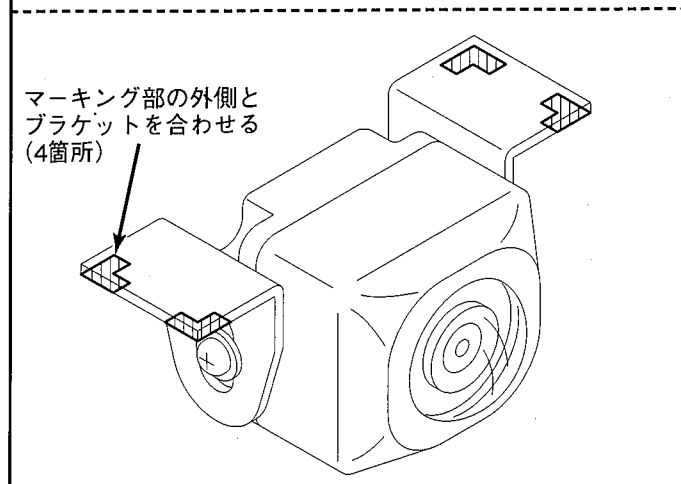
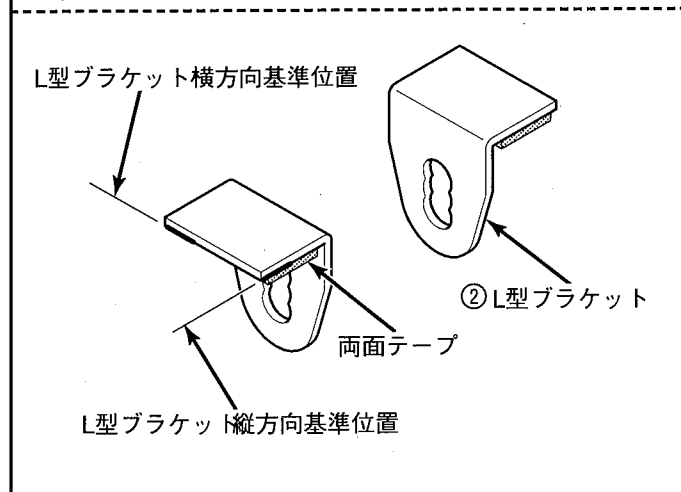
- (16) マーキングしたブラケット貼付位置にL型ブラケット②のハクリ紙をはがし、バックドアガーニッシュに貼り付ける。

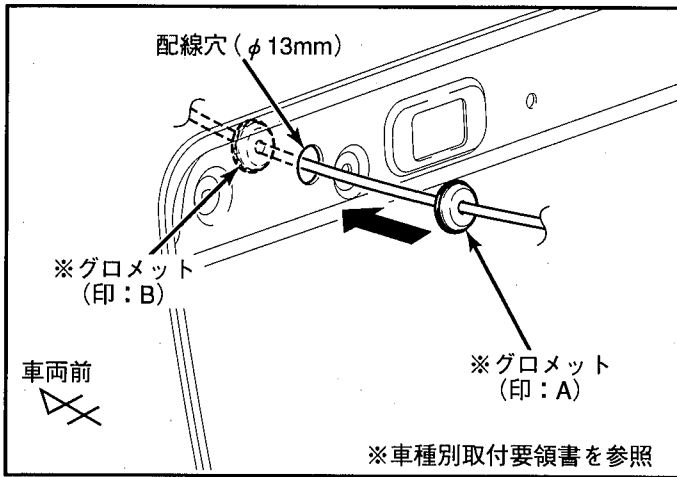
⚠注意

ブラケット貼付位置は、ブラケット端面を基準に貼り付けてください。
(両面テープを基準にしないでください。)

👉アドバイス

- ・カメラ背面の矢印が車両取付時に上方に向くように取り付けてください。
- ・貼り付け位置付近は、クリーナー⑩を使用して汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。(ホワイトガソリンを使用しないでください)
- ・気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。

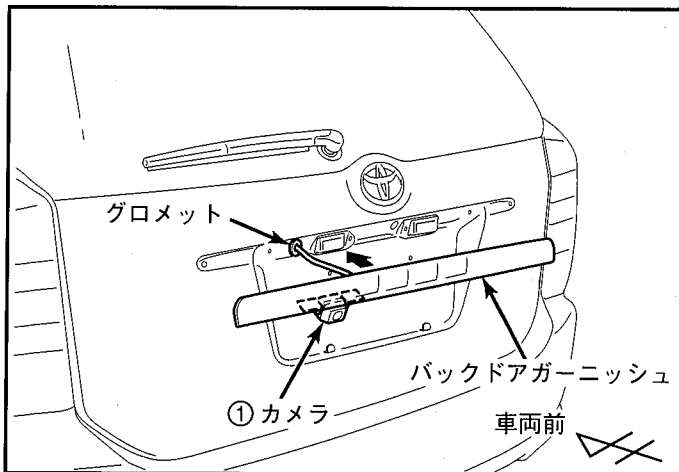




- (17) 車両ボデーの配線穴から使用しないグロメットをボデー内に押し込み、使用するグロメット (印：車種別取付要領書を参照) を取り付ける。

👉 アドバイス

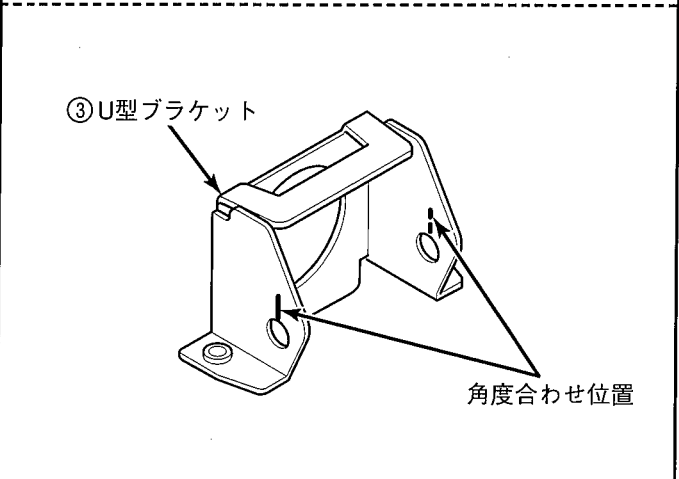
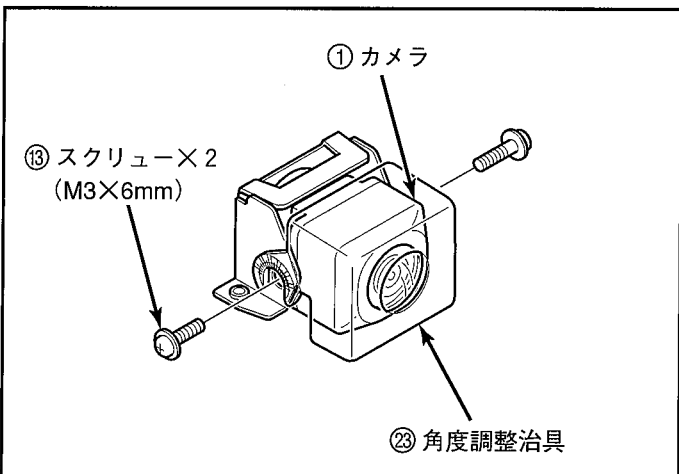
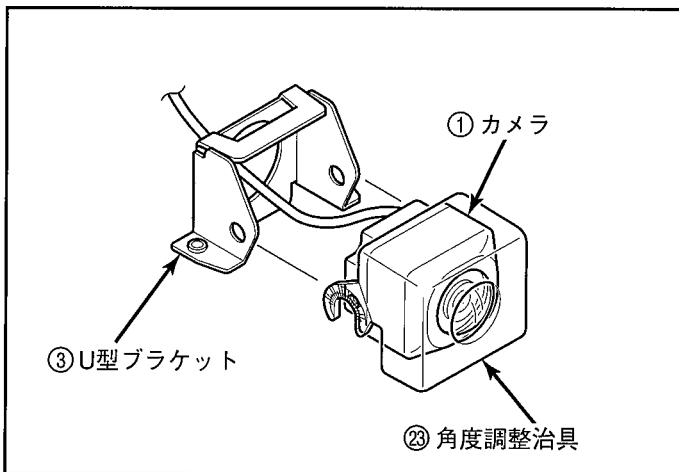
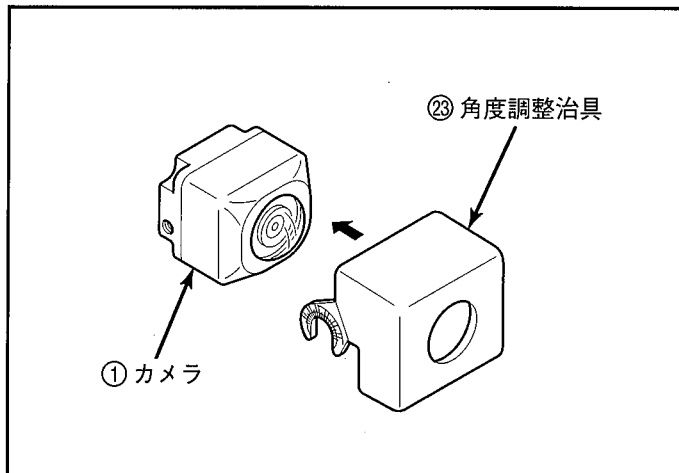
- 車種により使用するグロメットが異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- 水入りする恐れがありますので、グロメットは隙間のないようにしっかり取り付けてください。
- カメラ取り付け及びカメラコード配線後、バックドアガーニッシュを復元する前に再度、コードがつっぱってグロメットが変形していないこと、隙間がないことを確認してください。



- (18) バックドアガーニッシュを元通りに戻す。

👉 アドバイス

バックドアガーニッシュを戻した後、車室内からコードを引っ張りコードのたるみがないようにしてください。



バックドアへの取付要領

・バックドアへの垂直取付要領

(1) 角度調整治具②③をカメラに組み付ける。

⚠ 注意

カメラのレンズ面に傷が付かないように注意してください。

👉 アドバイス

角度調整治具②③がカメラのレンズ端面に当たるまで押し込んでください。

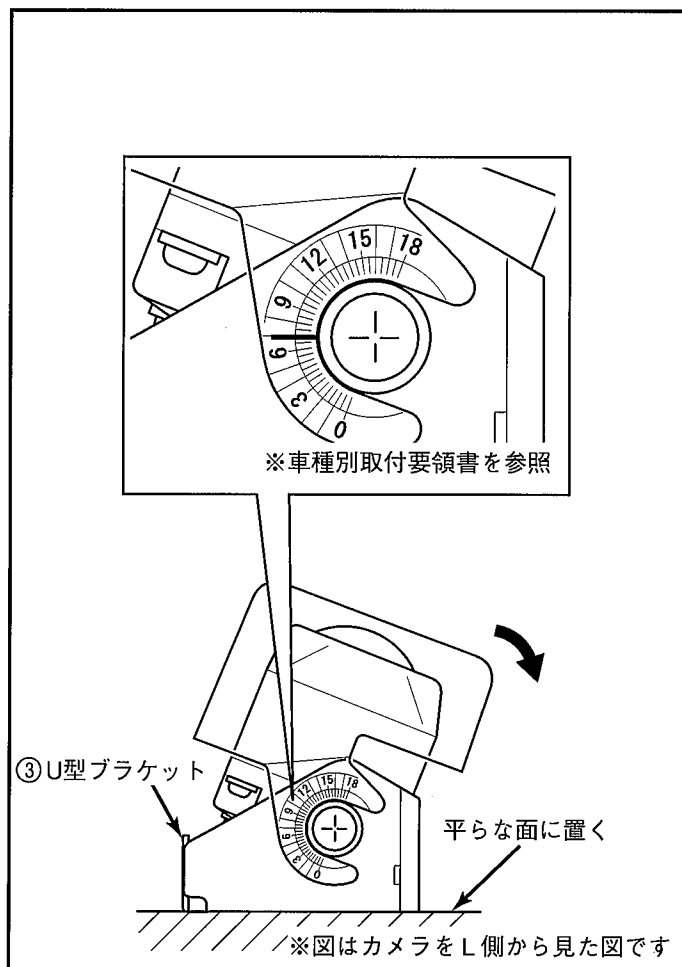
(2) カメラコードをU型ブラケット③の配線穴に通す。

(3) U型ブラケット②をカメラ①と角度調整治具③の間から挿入する。

(4) カメラ①に取り付けスクリュー⑬を取り付ける。

👉 アドバイス

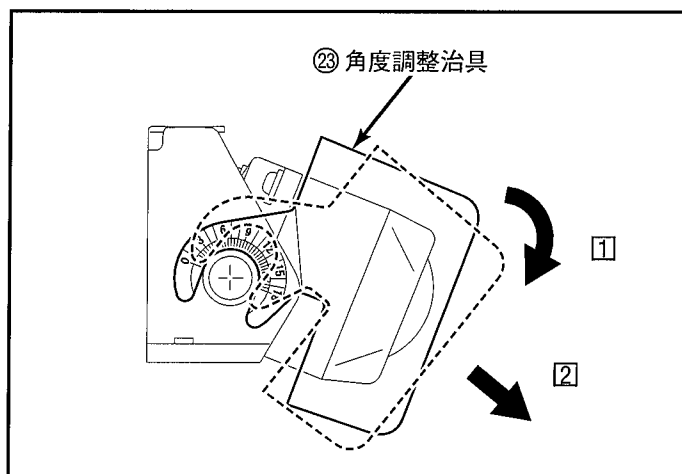
カメラの角度調整が必要ですので本締めはしないでください。



- (5) ブラケットの貼り付け面を下側にし、カメラ①を平らな面に置く。
- (6) U型ブラケット③の基準位置（刻印）と角度調整治具②の目盛りを合わせる。
- (7) カメラ①の取り付けスクリューを締め付ける。

👉 アドバイス

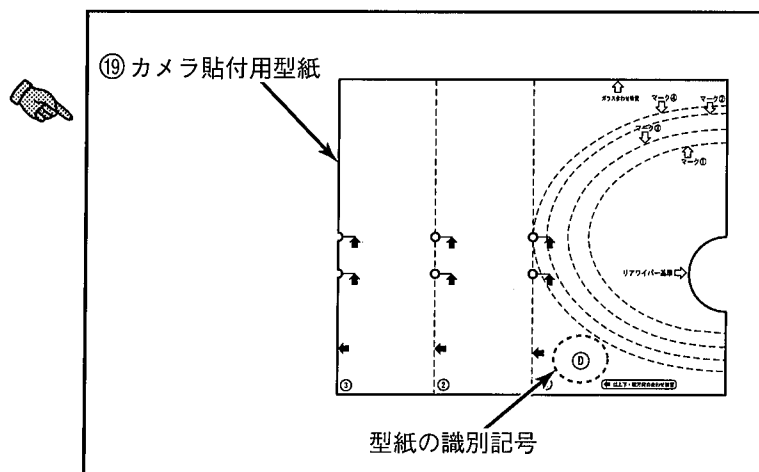
- ・角度調整治具の目盛りは車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・カメラの取り付けスクリューを締め付ける際、調整した角度がずれないように締め付けてください。
- ・カメラの取り付けスクリューを締め付け後、角度調整治具の目盛り合わせ位置とU型ブラケットの基準位置がずれていないことを確認してください。



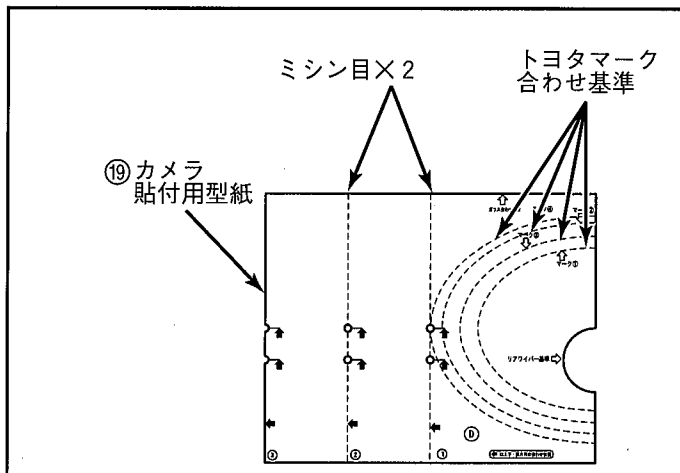
- (8) 角度調整治具②をカメラ①から取り外す。

👉 アドバイス

左図の番号順に回転させながら取り外してください。



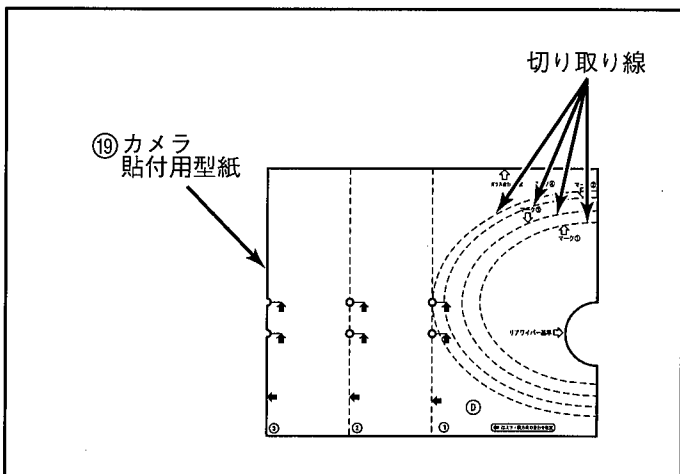
- (9) カメラ貼付用型紙①の識別記号を確認する。



(10) カメラ貼付用型紙⑱をミシン目に沿って切り取る。

👉 アドバイス

カメラ貼付用型紙の切り取り位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。



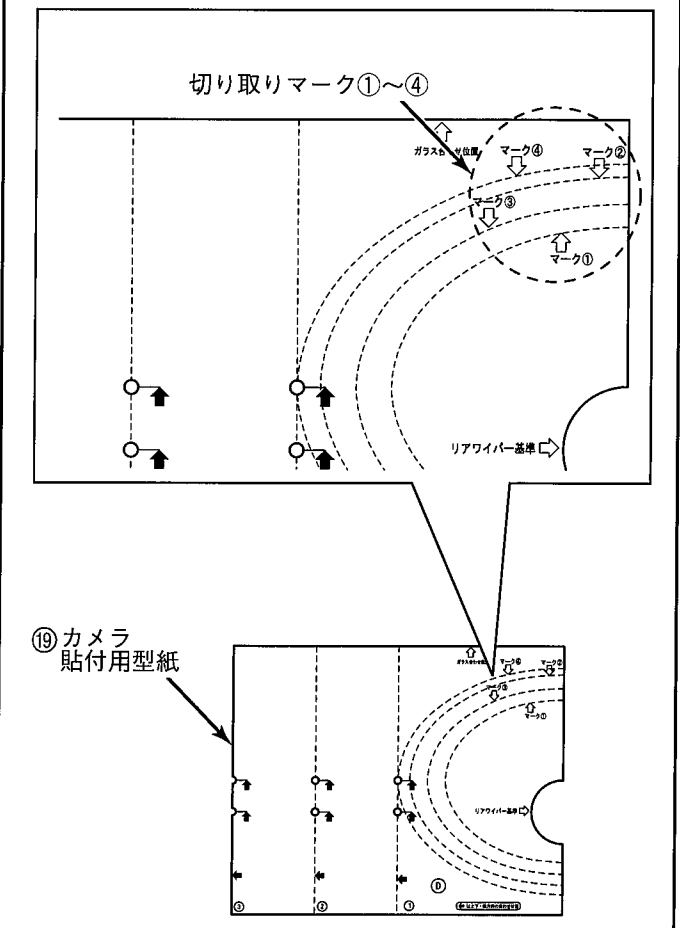
(11) カメラ貼付用型紙⑱をトヨタマークの大きさに合わせて切り取る。

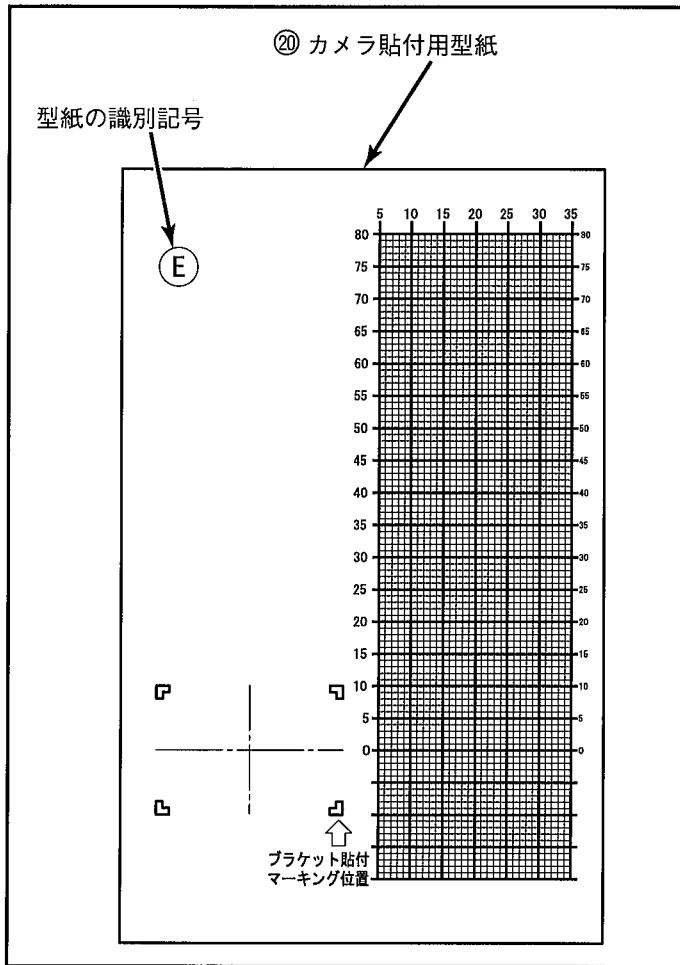
⚠️ 注意

ミシン目に沿って切り取る際に、必要な部位も切り取ってしまわないように注意して切り取ってください。

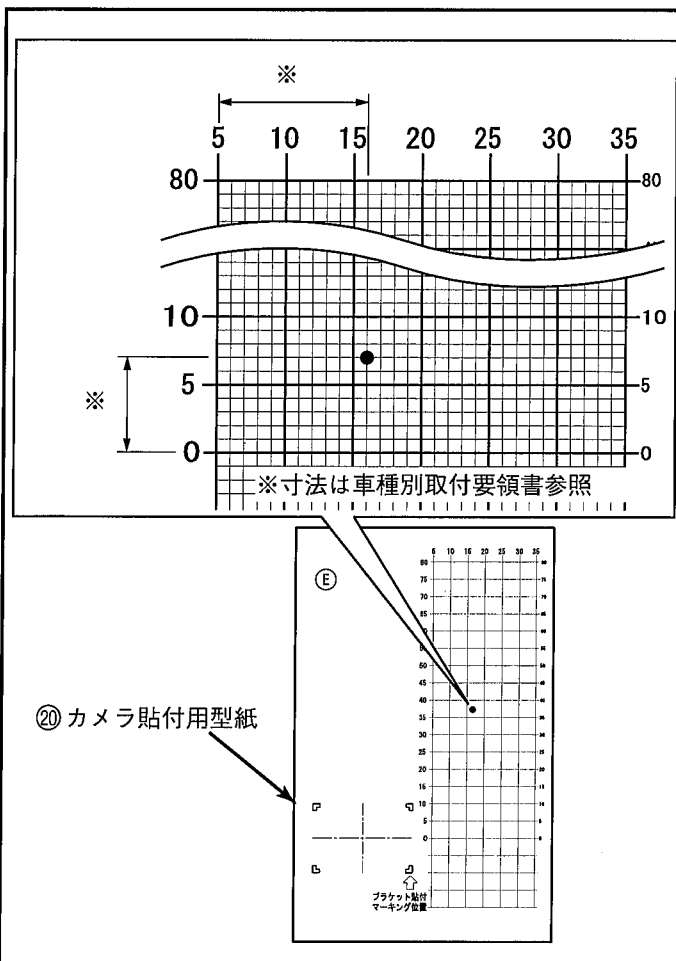
👉 アドバイス

カメラ貼付用型紙のトヨタマーク切り取り位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。





(12) カメラ貼付用型紙⑳の識別記号を確認する。



(13) カメラ貼付用型紙⑳に基準位置をマジック等でマーキングする。

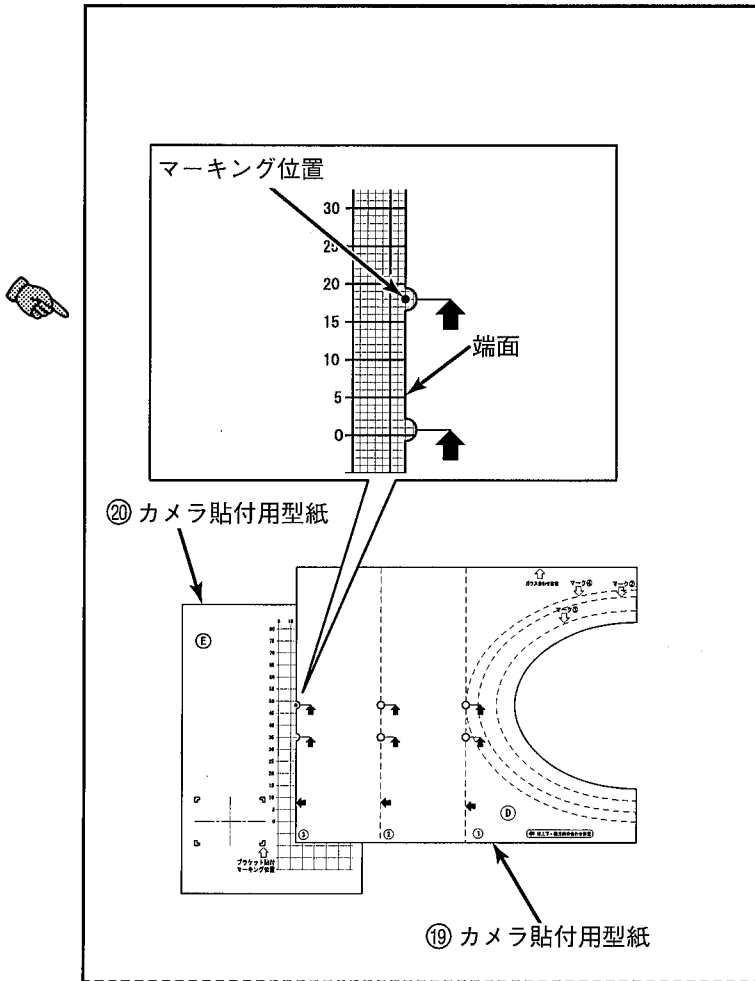
👉 アドバイス

カメラ貼付用型紙⑳の基準位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

(14) カメラ貼付用型紙⑳のマーキング位置にカメラ貼付用型紙㉑の基準位置（横方向基準と縦方向基準）を合わせ、テープ等で固定する。

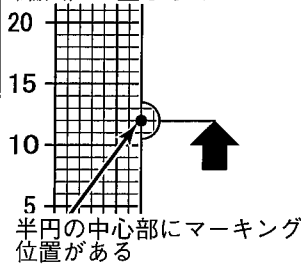
アドバイス

カメラ貼付用型紙㉑の目盛りとカメラ貼付用型紙㉑の横方向合わせ位置（端面）が重なっていることを確認してください。



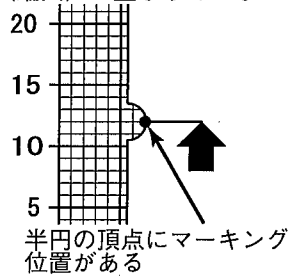
良い例

マーキング位置の縦ラインと型紙の横方向合わせ位置（端面）が重なっている



悪い例

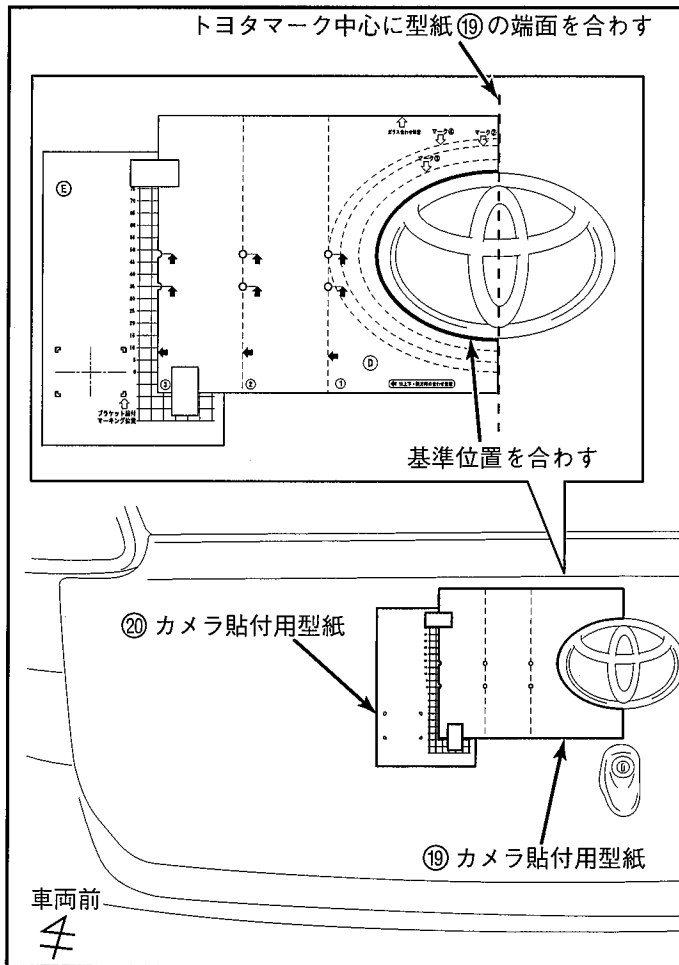
マーキング位置の縦ラインと型紙の横方向合わせ位置（端面）が重なっていない



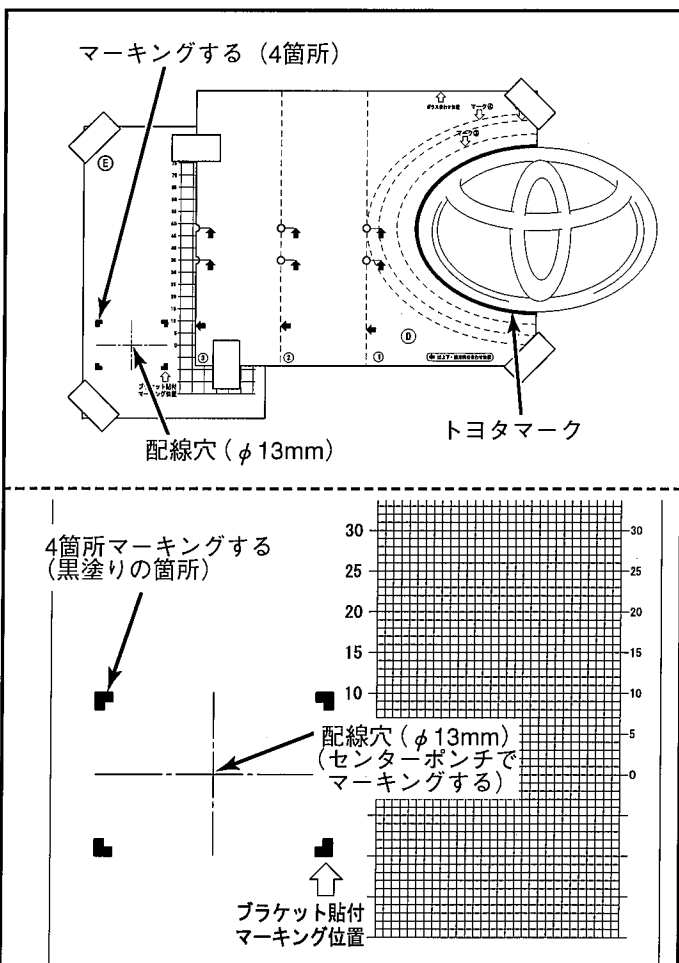
上下方向
合わせ位置

横方向
合わせ位置

㉒ カメラ貼付用型紙



(15) 車両ボデーにカメラ貼付用型紙⑱、⑳をテープ等で固定する。



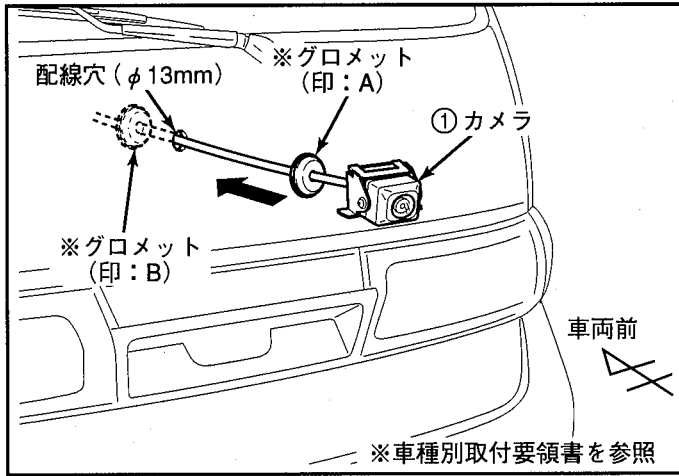
(16) ブラケット貼付位置をマジック等でマーキング(4箇所)する。
 (17) 車両ボデー(バックドア)に配線穴をセンターポンチでマーキングし、φ13mmの穴をあける。

⚠ 注意

- ・ドリルおよびホルソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- ・穴あけ作業を行う際、裏側に車両ハーネス等がないことを確認してください。
- ・切り粉がボデー内部に残らないよう、ボデー内側にガムテープ等を貼ってください。
- ・穴あけ後エアガン等で切り粉を除去してください。
- ・穴あけ加工部はヤスリでバリ取り処理を行ってください。
- ・穴あけ加工部はバリ取り処理後に、防錆剤を塗布してください。

👉 アドバイス

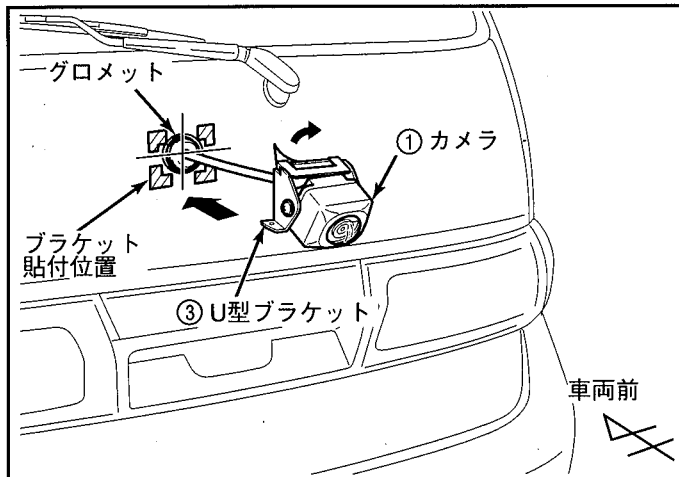
- ・配線穴位置寸法および基準は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。



- (18) 車両ボデーの配線穴にグロメット (印：車種別取付要領書を参照) を取り付ける。

👉 アドバイス

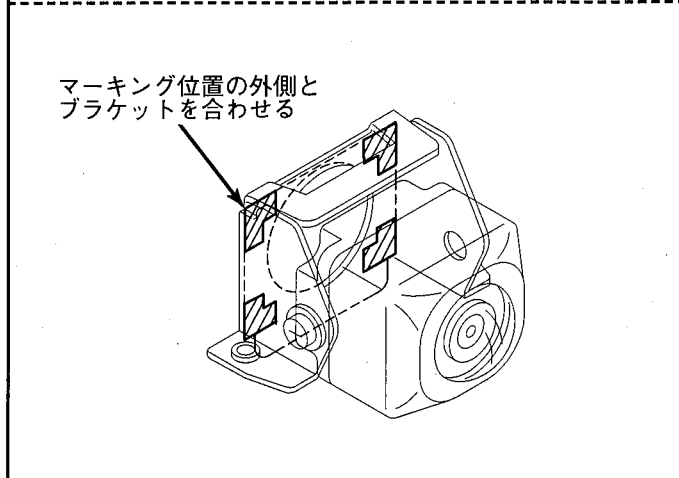
- ・車種により使用するグロメットが異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・水入りする恐れがありますので、グロメットは隙間のないようにしっかり取り付けてください。
- ・カメラ取り付け及びカメラコード配線後、バックドアガーニッシュを復元する前に再度、コードがつっぱってグロメットが変形していないこと、隙間がないことを確認してください。



- (19) マーキングしたブラケット貼付位置に U型ブラケット③のハクリ紙をはがし、車両ボデーに貼り付ける。

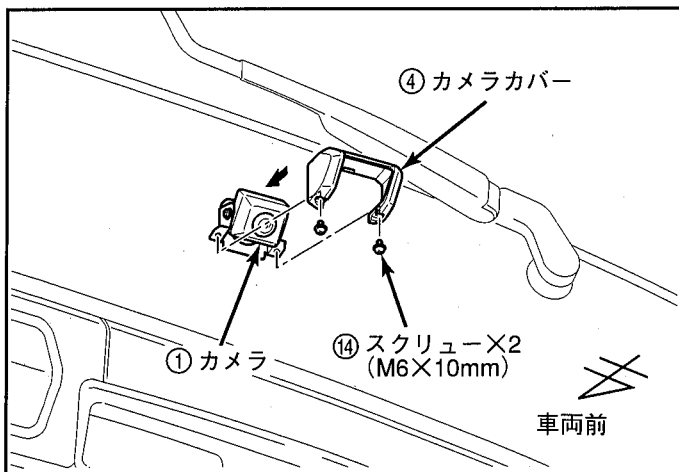
⚠️ 注意

ブラケット貼付位置は、ブラケット端面を基準に貼り付けてください。
(両面テープを基準にしないでください。)

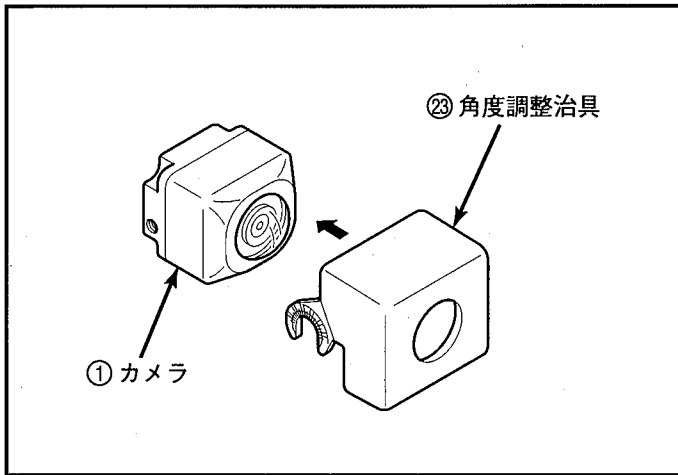


👉 アドバイス

- ・貼り付け位置付近は、ホワイトガソリンをきれいな布につけて汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- ・気温が低い (20℃以下) と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。



- (20) カメラカバー④を取り付ける。



・バックドアへの取付要領

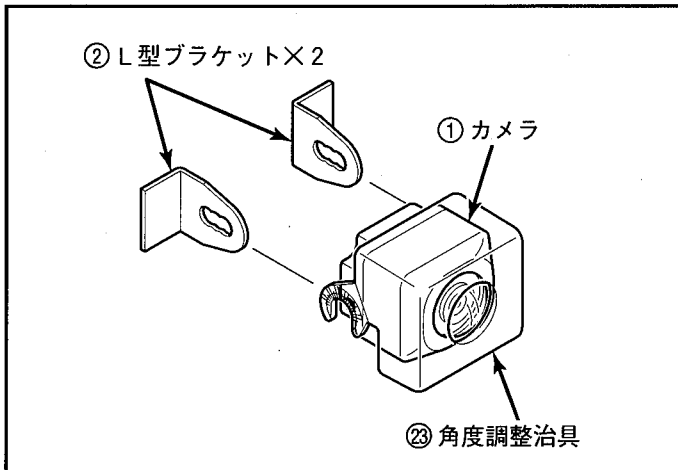
- (1) 角度調整治具②をカメラ①に組み付ける。

⚠ 注意

カメラのレンズ面に傷が付かないように注意してください。

👉 アドバイス

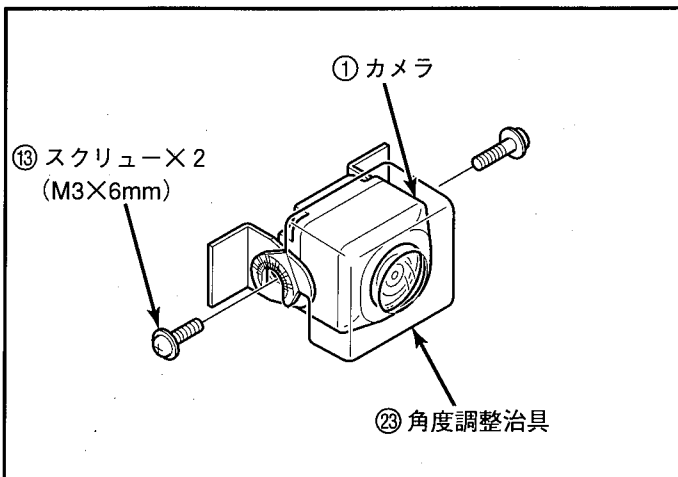
角度調整治具②がカメラのレンズ端面に当たるまで押し込んでください。



- (2) L型ブラケット②をカメラ①と角度調整治具②の間から挿入する。

👉 アドバイス

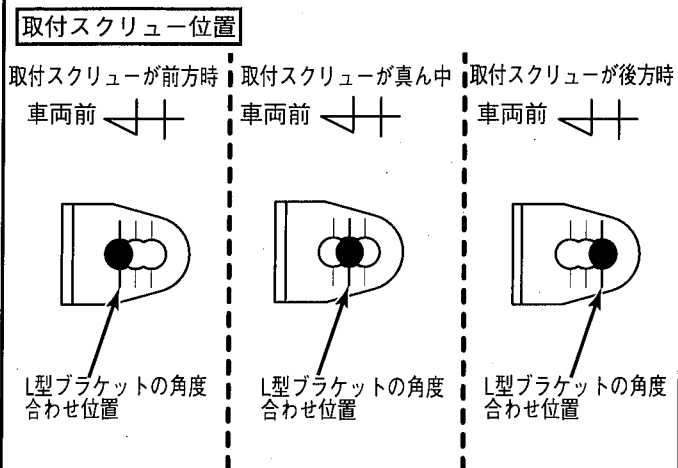
カメラと角度調整治具の間からL型ブラケットを入れてください。

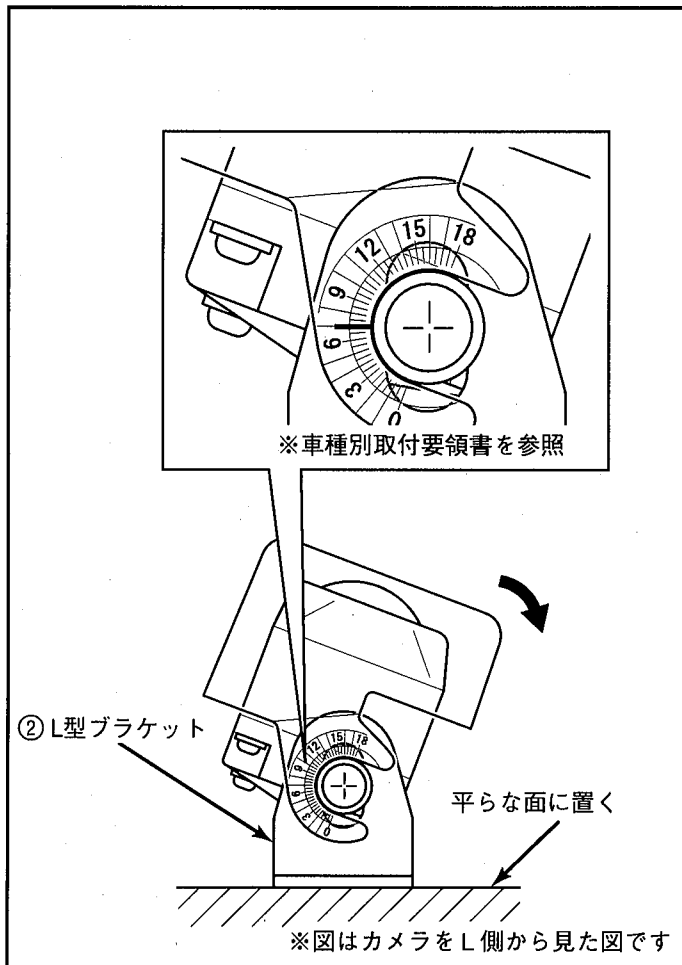


- (3) カメラ①の取り付けスクリュー⑬位置を合わせて取り付ける。

👉 アドバイス

- ・カメラの角度調整が必要ですので本締めはしないでください。
- ・カメラの取り付けスクリュー位置は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・取り付けスクリュー位置の刻印がL型ブラケットの基準位置になります。
- ・L型ブラケットの基準位置は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。

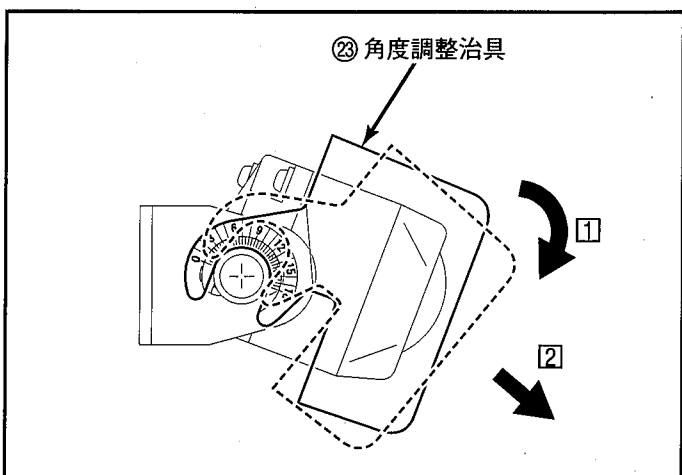




- (4) ブラケットの貼り付け面を下側にし、カメラを平らな面に置く。
- (5) L型ブラケット②の基準位置（刻印）と角度調整治具③の目盛りを合わせる。
- (6) カメラ①の取り付けスクリュー⑬を締め付ける。

👉 アドバイス

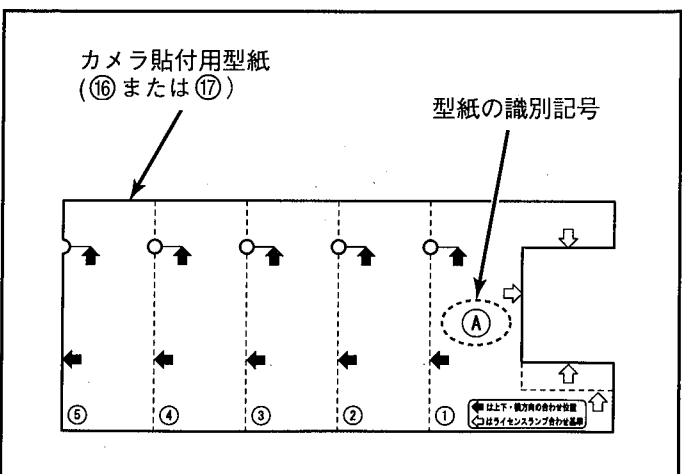
- ・角度調整治具の目盛りは車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・左右L型ブラケットの平行を出す作業ですので、必ず平らな面に置いて作業を行ってください。
- ・カメラの取り付けスクリューを締め付ける際、調整した角度がずれないように締め付けてください。
- ・カメラの取り付けスクリューを締め付け後、角度調整治具の目盛り合わせ位置とL型ブラケットの基準位置がずれていないことを確認してください。



- (7) 角度調整治具③をカメラ①から取り外す。

👉 アドバイス

左図の番号順に回転させながら取り外してください。

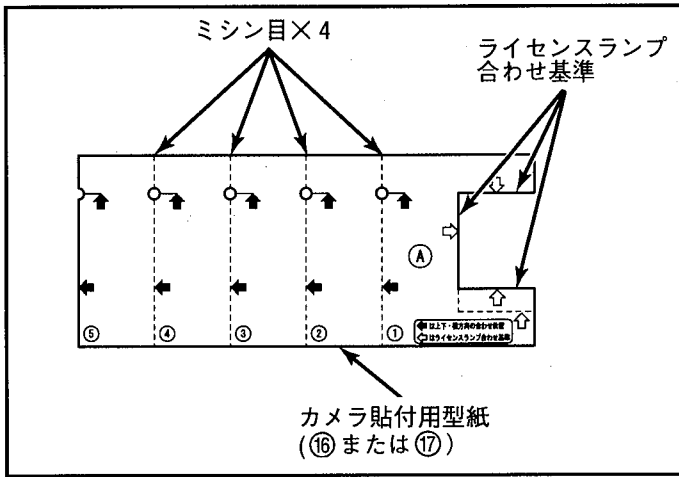


■基準位置にライセンスランプ取付穴を使用する場合

- (8) カメラ貼付用型紙（⑬または⑭）の識別記号を確認する。

👉 アドバイス

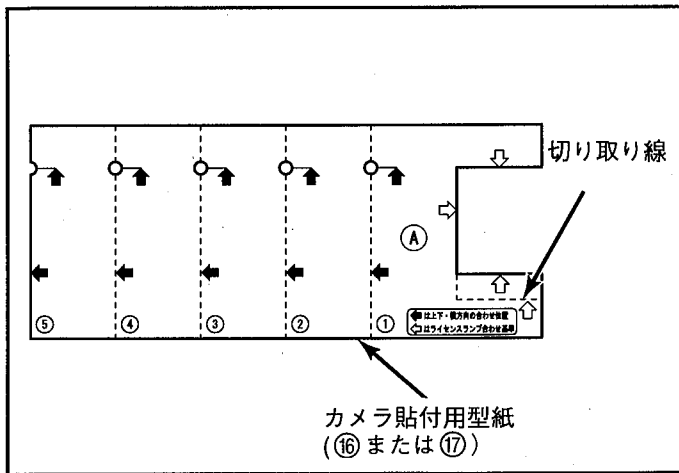
- ・使用するカメラ貼付用型紙は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・図はカメラ貼付用型紙⑬です。



(9) カメラ貼付用型紙 (16)または(17) をミシン目に沿って切り取る。

👉 アドバイス

カメラ貼付用型紙の切り取り位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

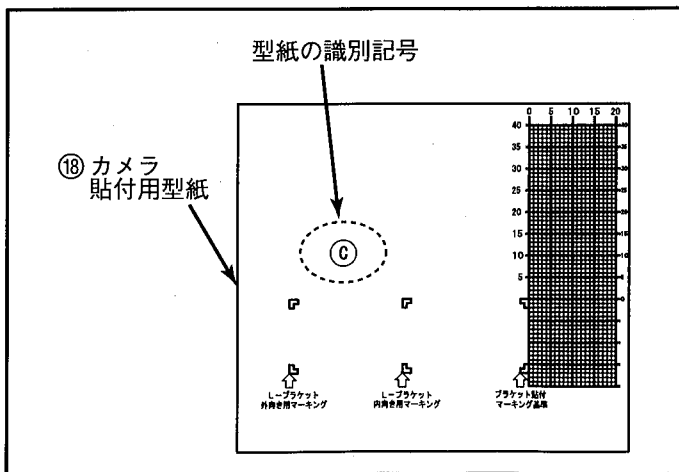


■ ライセンスランプの幅に合わせて切り取る場合

(10) カメラ貼付用型紙(16)または(17) をライセンスランプの幅に合わせて切り取る。

👉 アドバイス

カメラ貼付用型紙のライセンスランプ切り取り位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

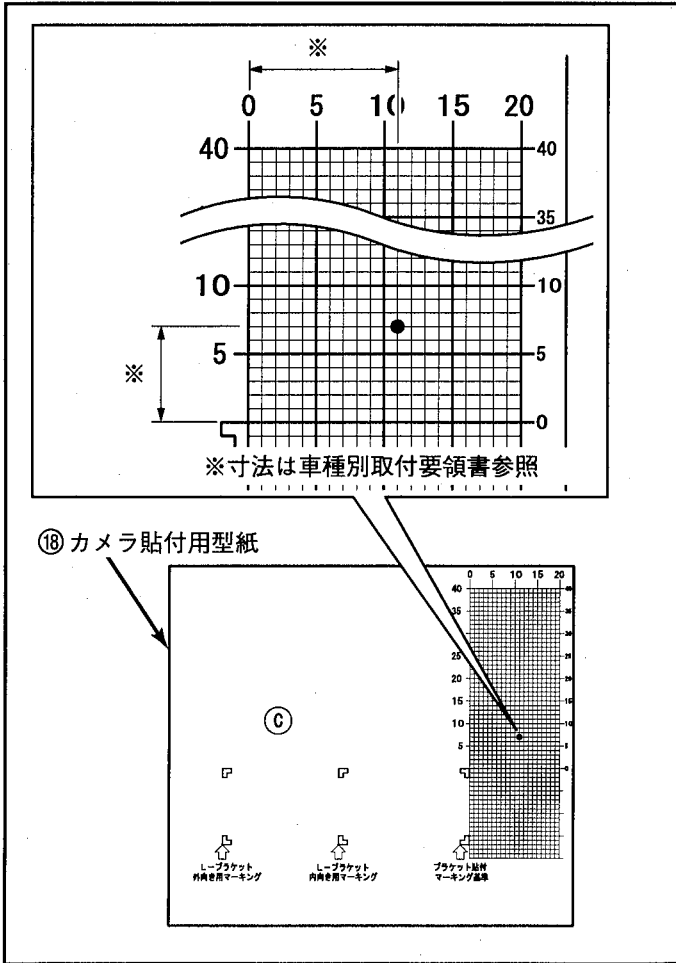


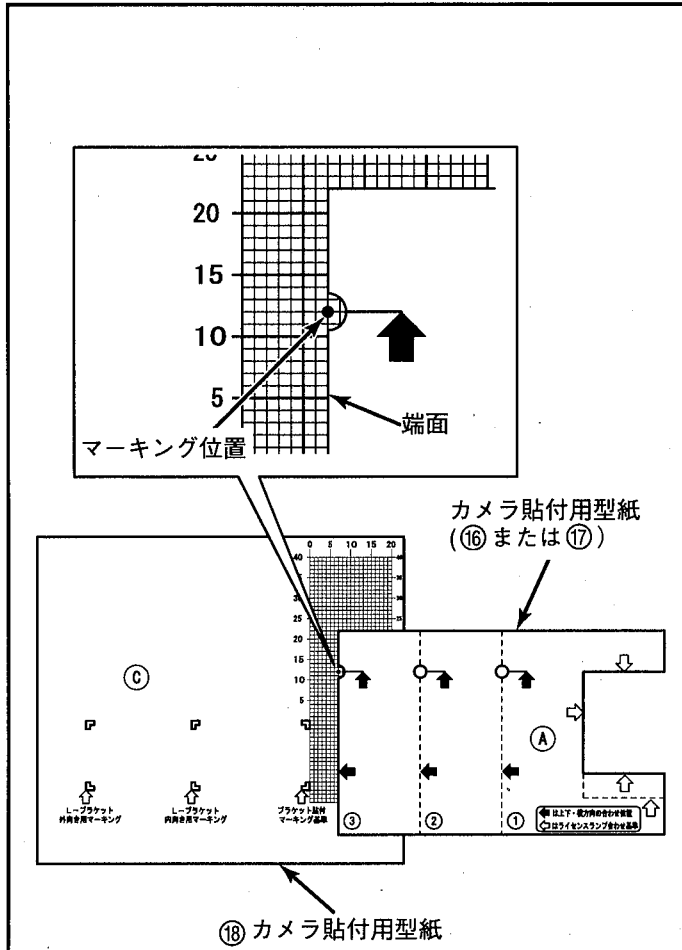
(11) カメラ貼付用型紙(18)の識別記号を確認する。

(12) カメラ貼付用型紙⑱に基準位置をマジック等でマーキングする。

アドバイス

カメラ貼付用型紙⑱の基準位置は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

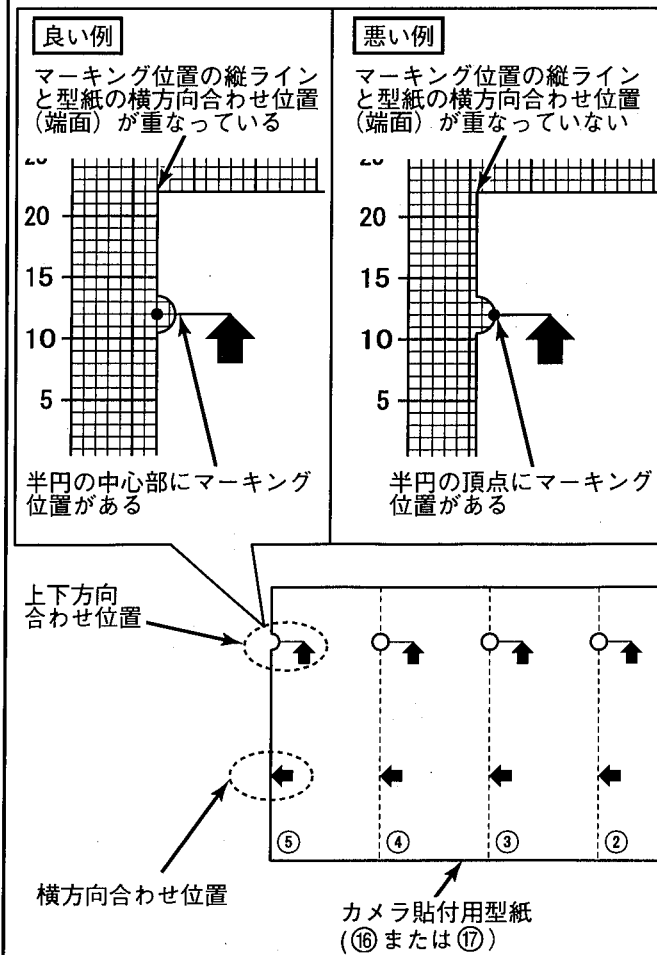


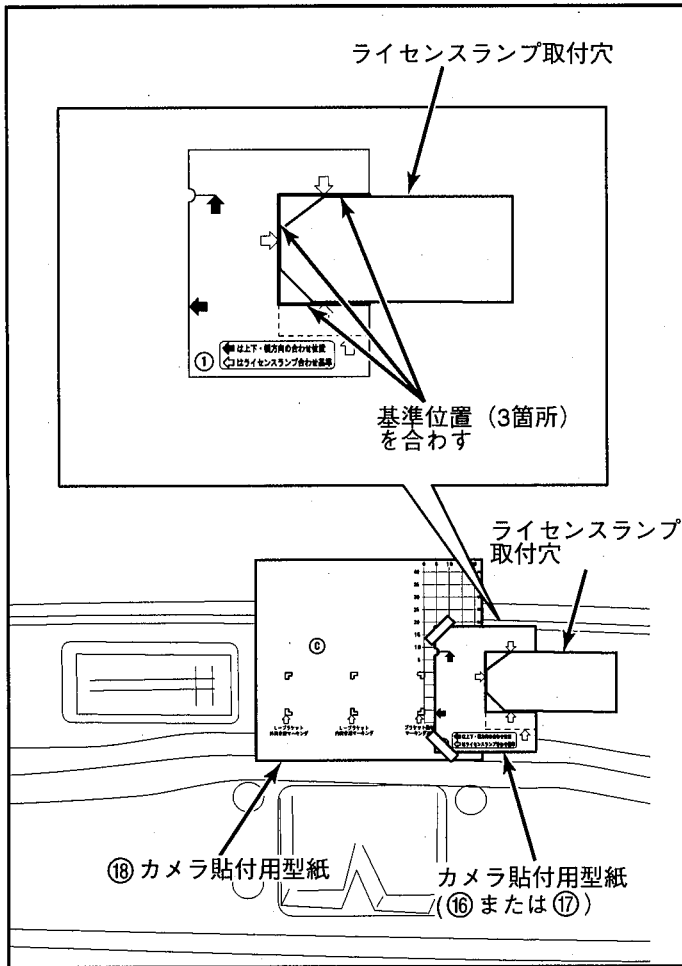


(13) カメラ貼付用型紙⑮のマーキング位置にカメラ貼付用型紙 (16 または 17) の合わせ位置 (横方向合わせと縦方向合わせ) を合わせ、テープ等で固定する。

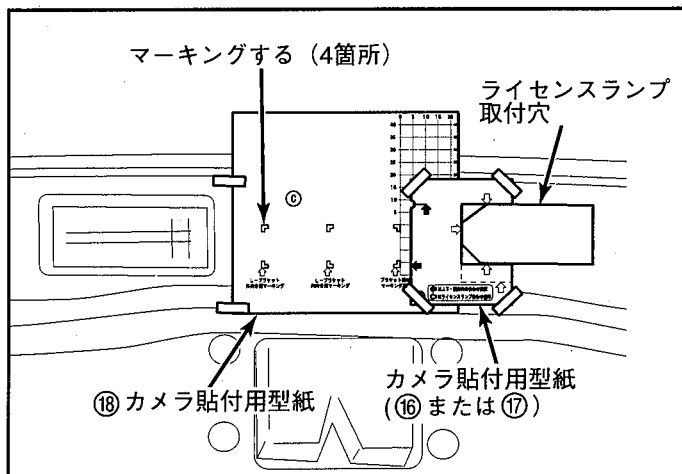
アドバイス

- ・カメラ貼付用型紙⑮の目盛りとカメラ貼付用型紙 (16 または 17) の横方向合わせ位置 (端面) が重なっていることを確認してください。

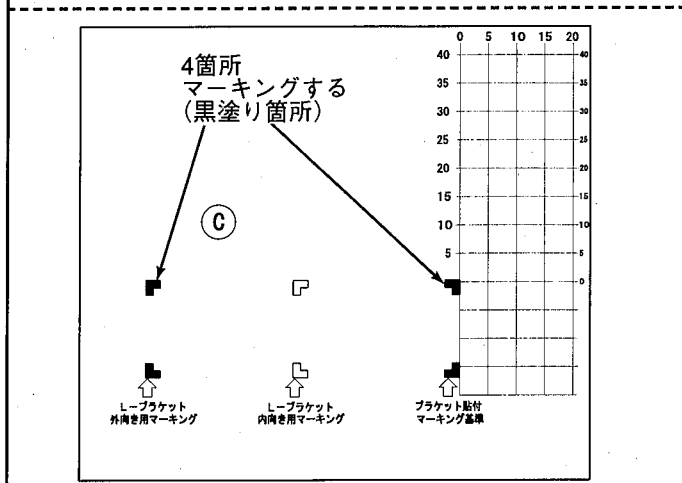


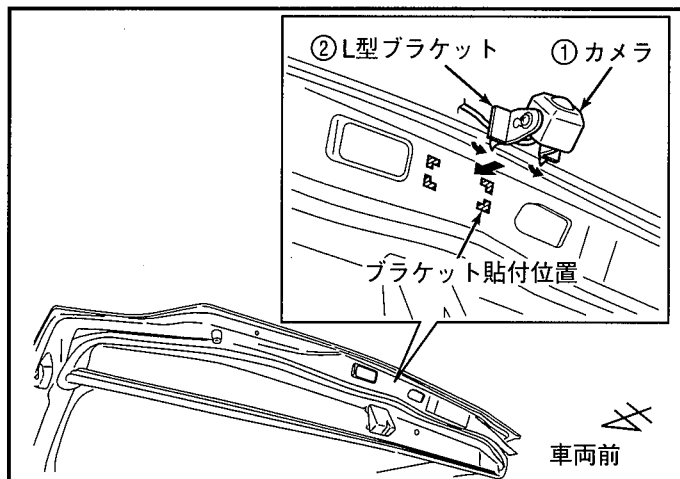


- (14) 車両ボデーのライセンスランプ取付穴にカメラ貼付用型紙 (16 または 17) の基準位置 (3箇所) を合わせる。



- (15) 車両ボデーにカメラ貼付用型紙 (16 または 17)、⑱ をテープ等で固定する。
- (16) ブラケット取付位置をマジック等でマーキング (4箇所) する。





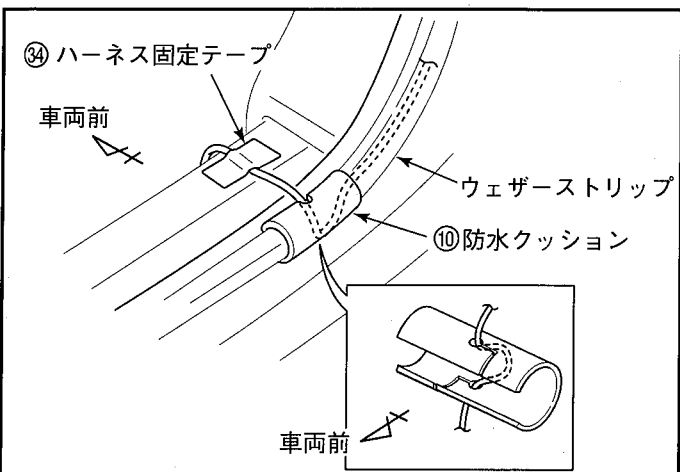
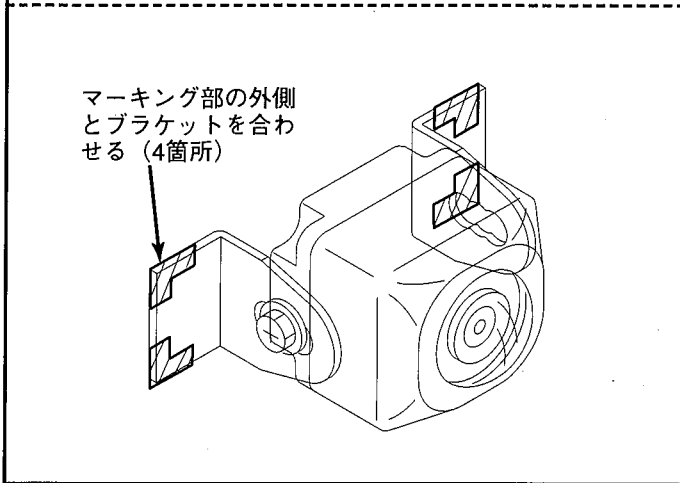
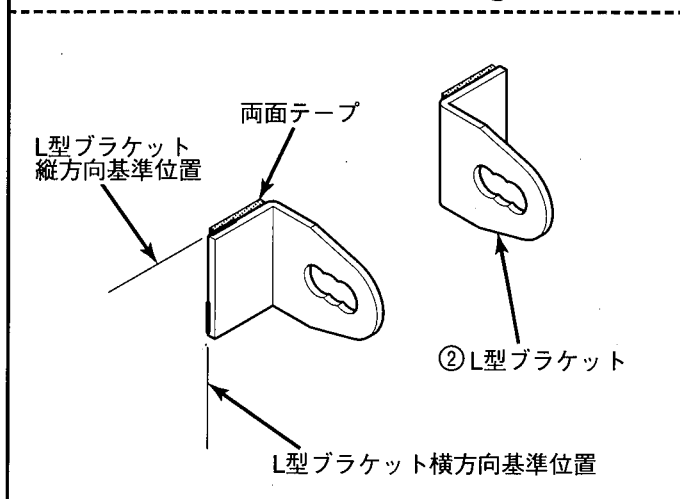
- (17) マーキングしたブラケット貼付位置に L型ブラケット②のハクリ紙をはがし、車両ボデーに貼り付ける。

△注意

ブラケット貼付位置は、ブラケット端面を基準に貼り付けてください。
(両面テープを基準にしないでください。)

👉アドバイス

- ・貼り付け位置付近は、ホワイトガソリンをきれいな布につけて汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- ・気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。
- ・カメラ背面の矢印が車両搭載時に上方に向くように取り付けてください。
- ・カメラを取り付けた後、車室内からコードを引っ張りコードのたるみがないようにしてください。

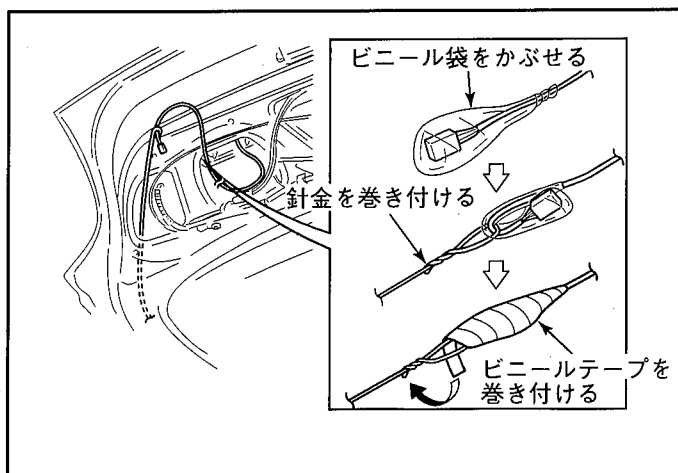
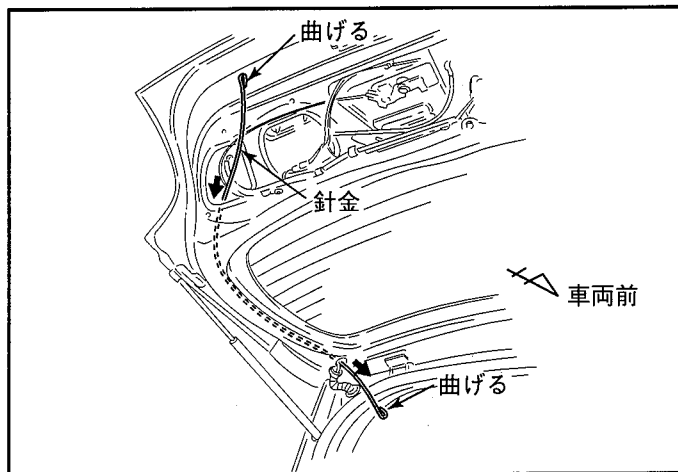
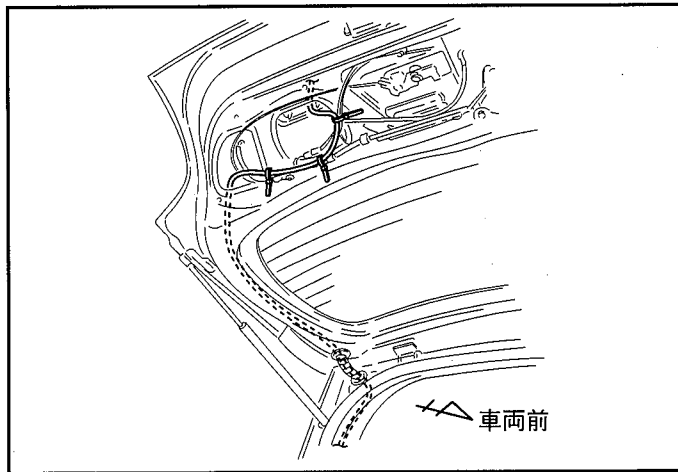
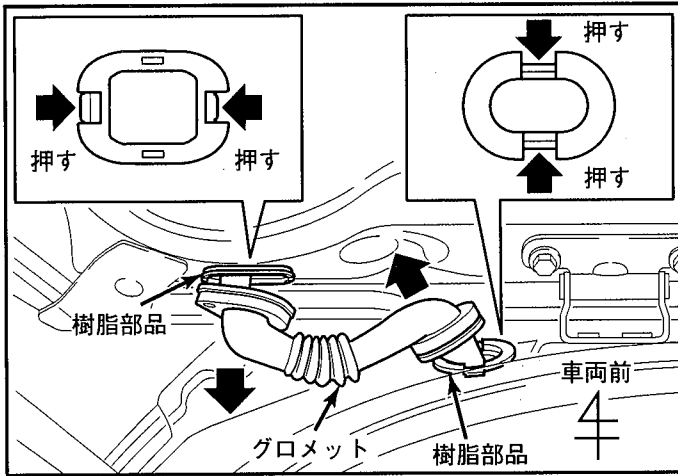


👉アドバイス

カメラコードの配線については車種別取付要領書を参照してください。

- (18) カメラコードを防水クッション⑩のスリット部に挿入する。
- (19) 防水クッション⑩をウェザーストリップに巻き付けるように取り付ける。

カメラコードの配線要領



■除く、バックドアへの取付要領の場合

- (1) グロメットを取り外す。
- (2) 樹脂部品のロック部を押しながら取り外す。

アドバイス

樹脂部品がついていない場合はグローメットだけ取り外してください。

- (3) カメラコードをバンドクランプおよびハーネス固定テープで固定しながら配線する。

注意

コードのかみ込み、コードにキズをつける、断線等になる可能性があります。「車種別取付要領書」に記載されている注意等を必ず守ってください。

アドバイス

カメラコードの配線については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領書」を必ず参照してください。

- (4) 針金の両端を曲げ、バックドアのサービホールから針金を入れ、バックドアのグローメット取り付け穴から引き出す。

アドバイス

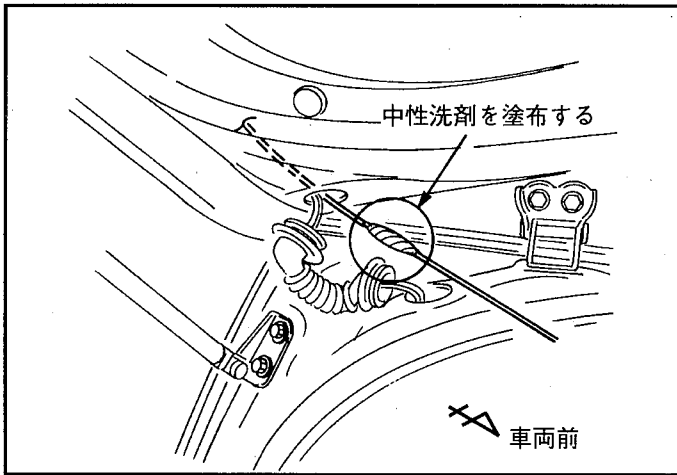
- ・針金が通しにくい場合は、針金の周辺の車両ハーネスのたるみをなくすよう少し引っ張りながら通してください。
- ・車両ハーネスは無理に引っ張らないでください。断線する恐れがあります。

- (5) カメラコードのコンネクターにビニール袋をかぶせる。

- (6) 針金にカメラコードを取り付けビニールテープを巻き付ける。

注意

- ・この作業は必ず行ってください。カメラコードにキズをつけたり、断線することがあります
- ・コンネクター部分はビニール袋⑫をかぶせて確実に防水してください。



(7) バックドアのグロメット取り付け穴からカメラコードを引き出す。

⚠ 注意

- ・カメラコードを無理に引っ張らないでください。断線することがあります。
- ・配線穴でカメラコードにキズをつけないように注意しながら配線してください。

(8) ビニールテープ部分に中性洗剤を塗布する。

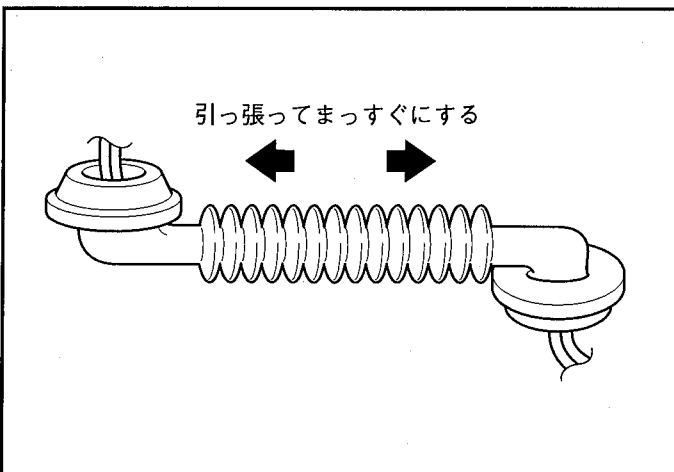
⚠ 注意

カメラコードと針金を巻きつけたビニールテープ部分に必ず中性洗剤を塗布してください。

(9) バックドア部分のグロメットから針金を入れ車両ボデー部分のグロメットからカメラコードを引き出す。

⚠ 注意

針金でグロメットおよびグロメット内のハーネスに傷を付けないように注意してください。

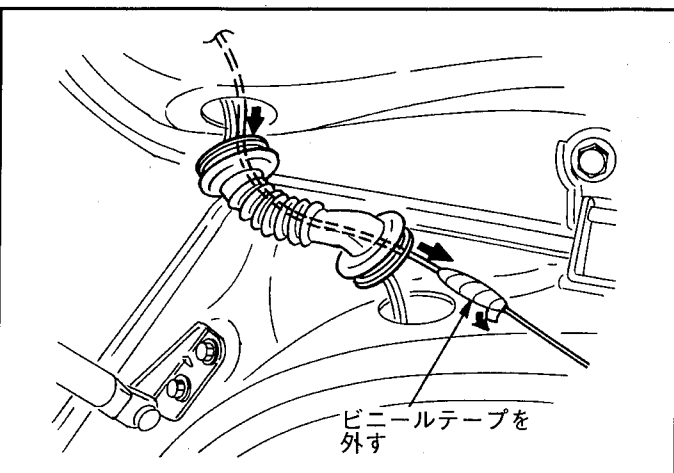


⚠ 注意

グロメットは無理に引っ張らないでください。破損する可能性があります。

👉 アドバイス

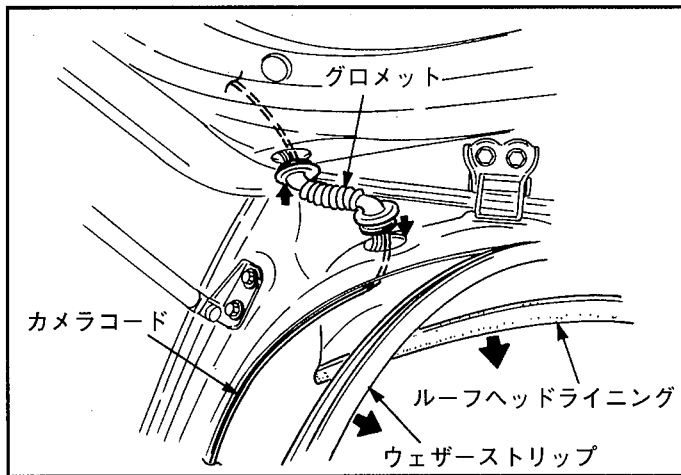
曲がっているグロメットは、まっすぐにしてから配線を通してください。



(10) ビニールテープとコネクター部のビニール袋を外す。

👉 アドバイス

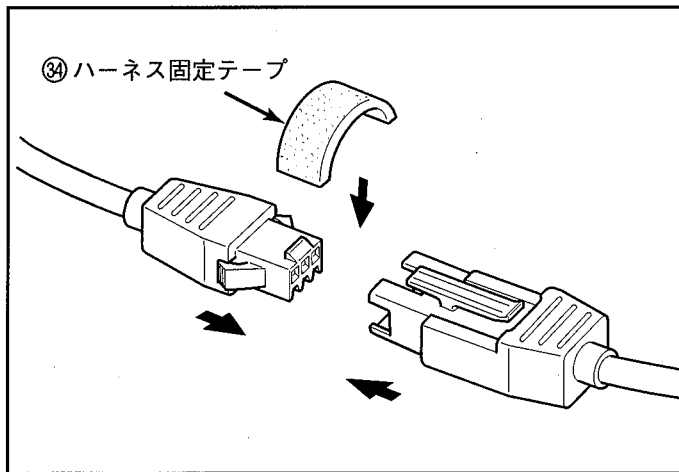
- ・ビニールテープ部分の中性洗剤を完全にふきとってからビニールテープを外してください。
- ・ビニールテープを外す際、コードを切らないように注意してください。



- (11) ルーフヘッドライニング、ラゲージサイドトリムを浮かせる。
- (12) カメラコードを車両ボデー側のグロメット取り付け穴から引き入れラゲージサイドトリム内側に配線する。

⚠ 注意

- ・ルーフヘッドライニング、ラゲージサイドトリムに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。
- ・配線穴でカメラコードにキズをつけないように注意しながら配線してください。



■ 共通

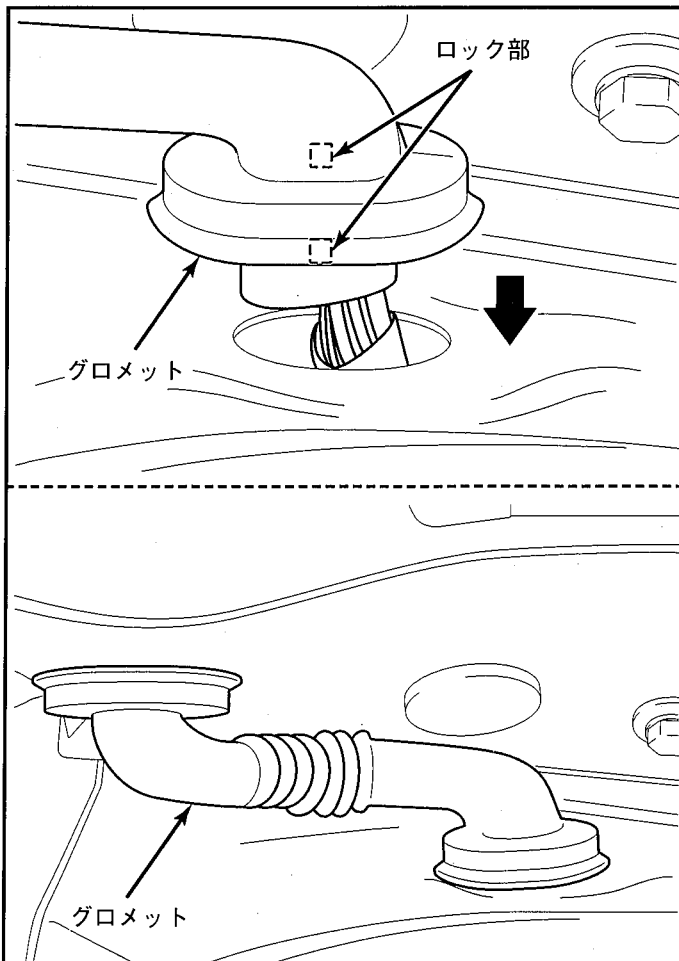
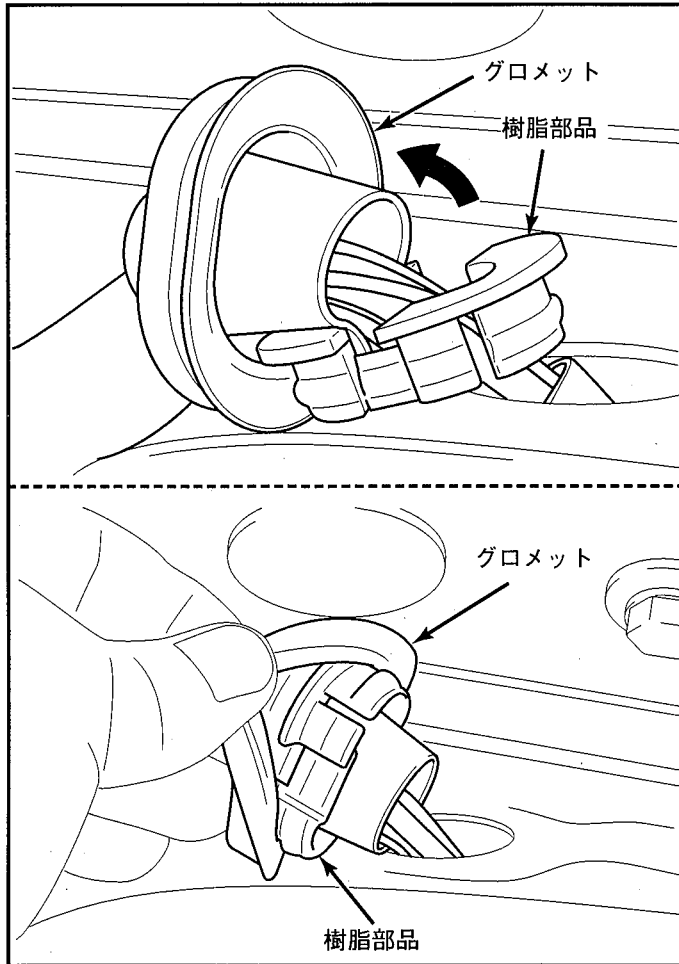
- (13) カメラコードを車室内に引き込み後に、中継コネクタを接続する。

👉 アドバイス

異音防止の為、コネクタ部にハーネス固定テープを巻きつけてください。

⚠ 注意

- ・接続は、確実に行ってください。
- ・ラゲージサイドトリム等の車両部品にコネクタ部がかみ込まない位置で固定してください。



・車両グロメットの組付要領

■除く、バックドアへの取付要領の場合

(1) 樹脂部品をグロメットの溝にはめる。

△注意

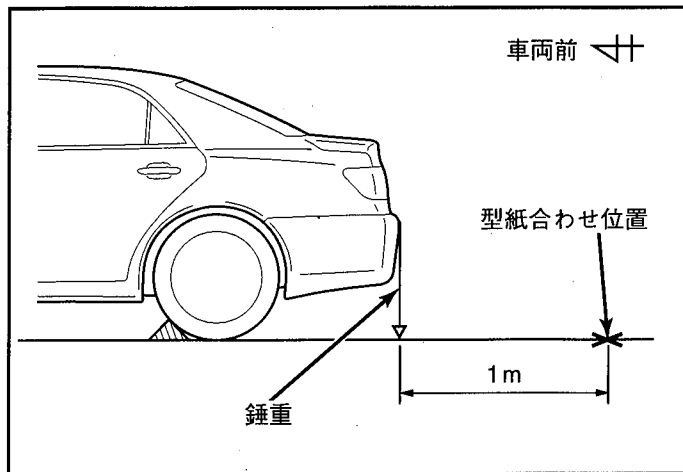
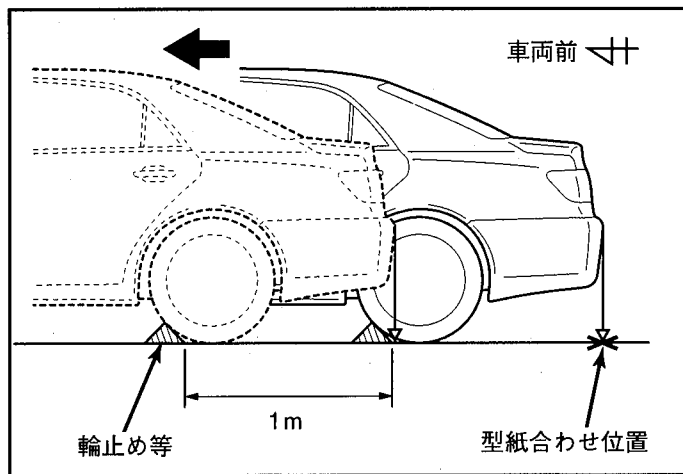
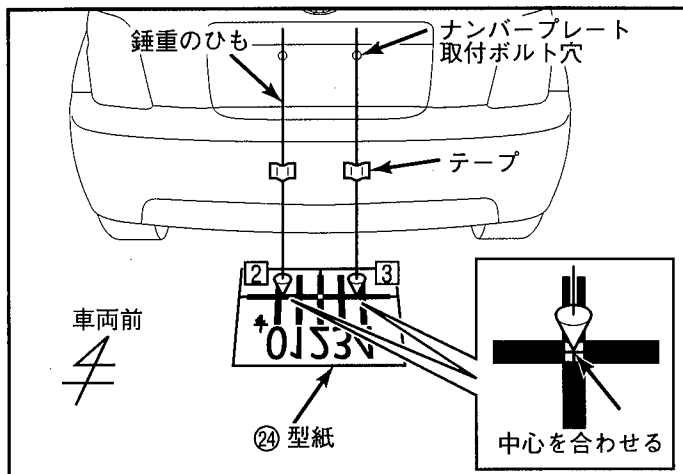
- ・グロメットの溝に樹脂部品がしっかりはまっているか確認してください。
- ・樹脂部品がしっかり溝にはまっていないと水入りする恐れがあります。

(2) グロメットをボデーに取り付ける。

△注意

- ・カチッと音がするまで押し込んでください。
- ・樹脂部品のロックがボデーにしっかり引っかかっていることを確認してください。
- ・ボデーとグロメットの接合部および接合部の周囲を目視で浮いていないことを確認してください。
- ・グロメットが浮いていると水入りする恐れがあります。
- ・グロメットを軽く引っ張り(グロメットが外れない程度)グロメットがしっかり付いていることを確認してください。

バックモニター調整方法



・型紙（ガイド線用）固定方法

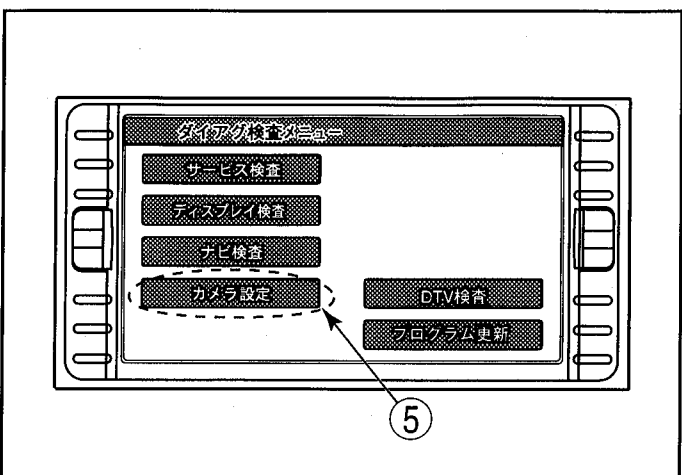
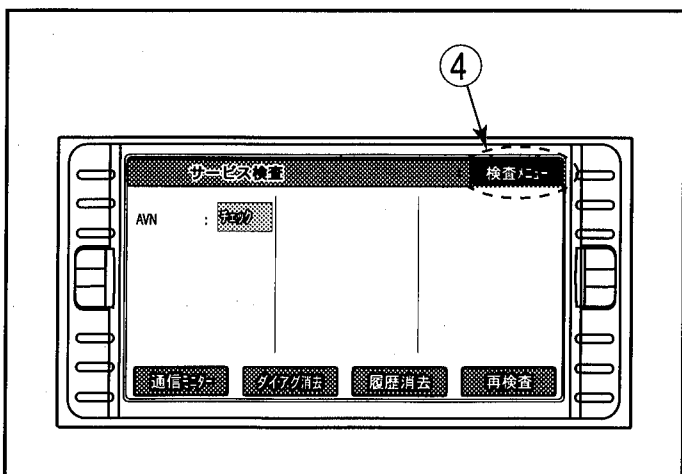
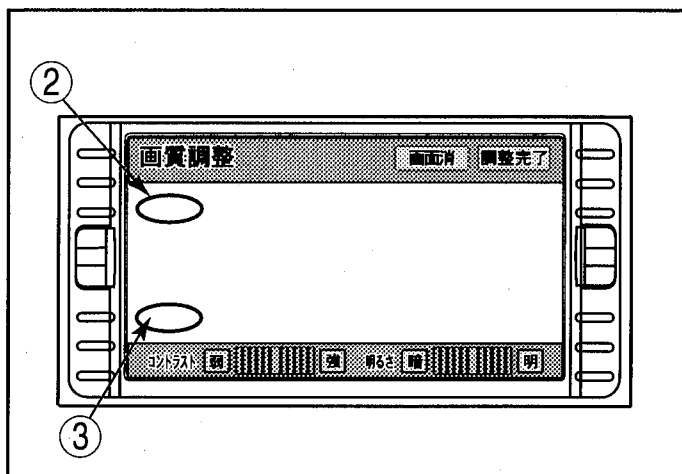
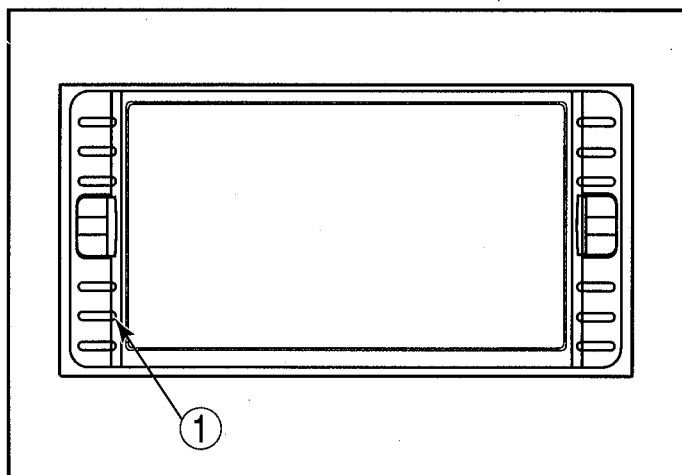
- (1) 錘重のひもをナンバープレート取付ボルト穴の中心に合わせ、錘重の先端が地面に垂直に接する位置で、錘重のひもを車両ボデーに固定する。
- (2) 錘重の先端を型紙⑳ (十字部) に合わせる。

- (3) 車両後輪の前側に輪止め等を置く。
- (4) 輪止め等を置いた位置から、1m前方の位置に輪止め等を移動させる。
- (5) 輪止め等に車両後輪が当たるまで車両を前方に移動させる。

アドバイス

ハンドル位置、タイヤ角度が中立位置（ハンドル直進状態）であることを必ず確認してから車両を移動させてください。車両移動の際に周囲の安全を必ず確かめてから移動してください。

- (6) 車両後端部（錘重の先端部）から型紙⑳ 合わせ位置までの距離が1mであることを確認する。



・ガイド線調整方法

(1) バッテリーにケーブルを接続し、エンジンを始動する。

(2) AVNの① (画質・消) ボタンを押し、「画質調整」画面を表示させる。

(3) 「画質調整」画面の四隅の内、左上部②と左下部③を②→③→②→③→②→③の順にタッチし、「サービス検査」画面を表示させる。

(4) 「サービス検査」画面の④ **検査メニュー** をタッチし、「ダイアグ検査メニュー」画面を表示させる。

(5) 「ダイアグ検査メニュー」画面の

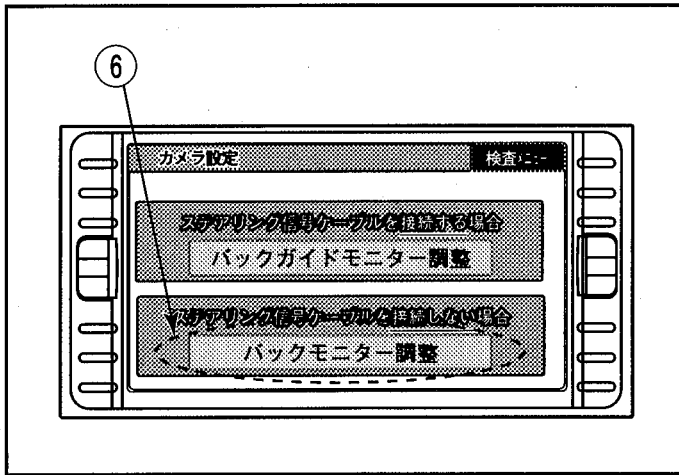
⑤ **カメラ設定** をタッチし、「カメラ設定」画面を表示させる。

△注意

カメラがAVNに接続されていない場合は、⑤ **カメラ設定** はトーンダウンしています。カメラの接続を確認してください。

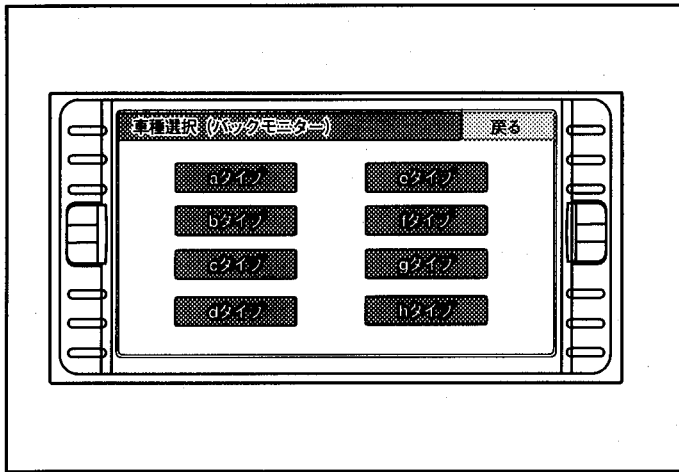
👉アドバイス

「ダイアグ検査メニュー」画面は、機種により異なる場合があります。指定項目 **カメラ設定** を選んでタッチしてください。



(6) 「カメラ設定」画面の

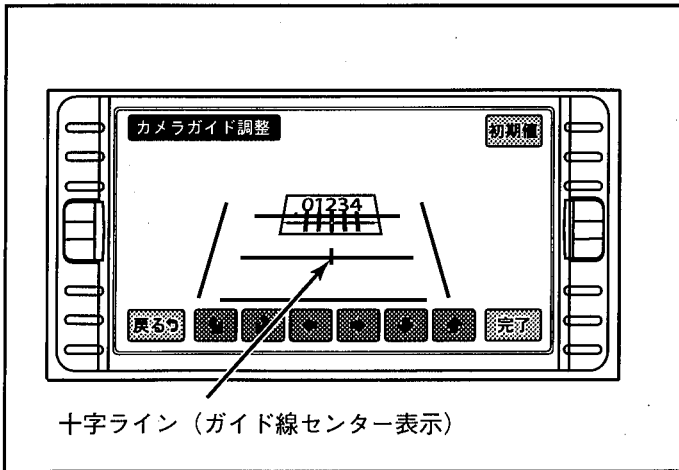
⑥ **バックモニター調整** をタッチし、「車種選択 (バックモニター)」画面を表示させる。



(7) 「車種選択」画面の該当タイプをタッチする。

👉 アドバイス

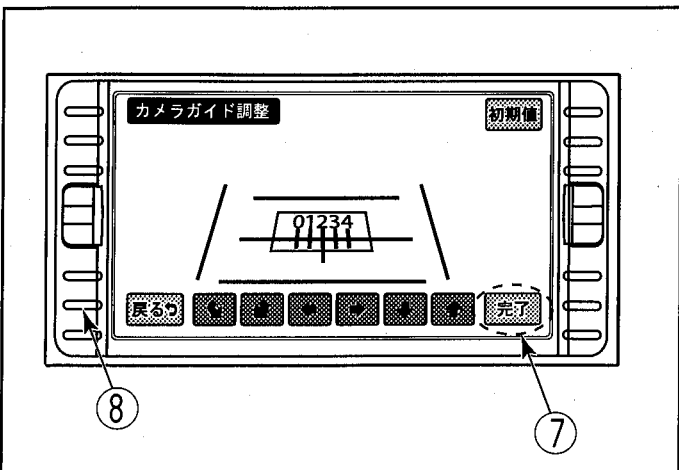
- ・該当タイプは車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・画面は、機種により異なる場合があります。



(8) 「ガイド調整」画面の十字ラインを画面下の矢印キー (↓、↑、←、→、↵、⇩) を操作し型紙⑳の十字線 (合わせ位置) に合わせる。

👉 アドバイス

- ・型紙⑳の十字線 (合わせ位置0,1,2,3,4) は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・画面は、機種により異なる場合があります。



(9) カメラガイド調整終了後、⑦ (完了 or セット or 設定終了) をタッチする。

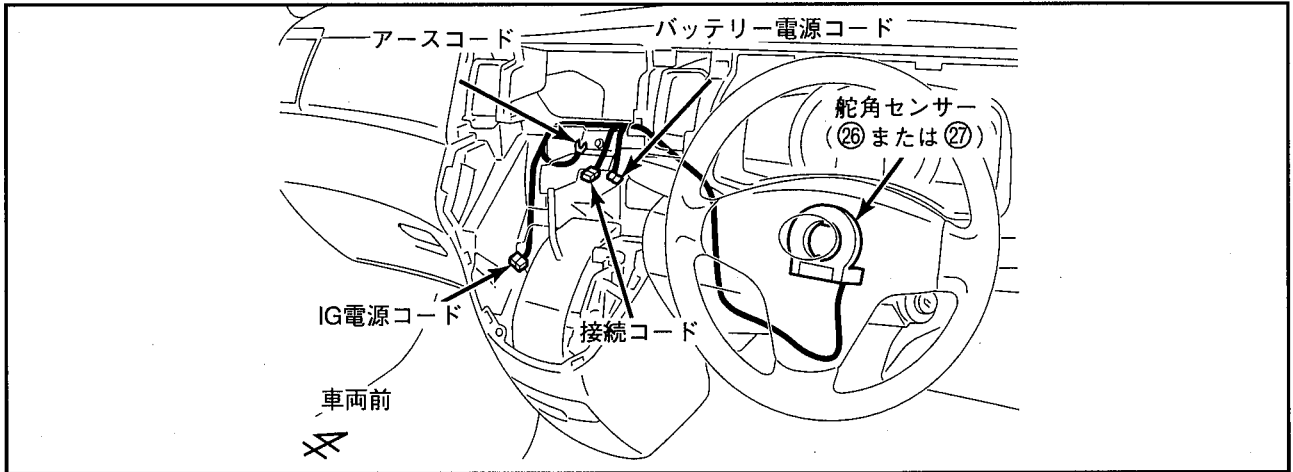
(10) AVNの⑧ (画質消) ボタンを長押しし終了する。

👉 アドバイス

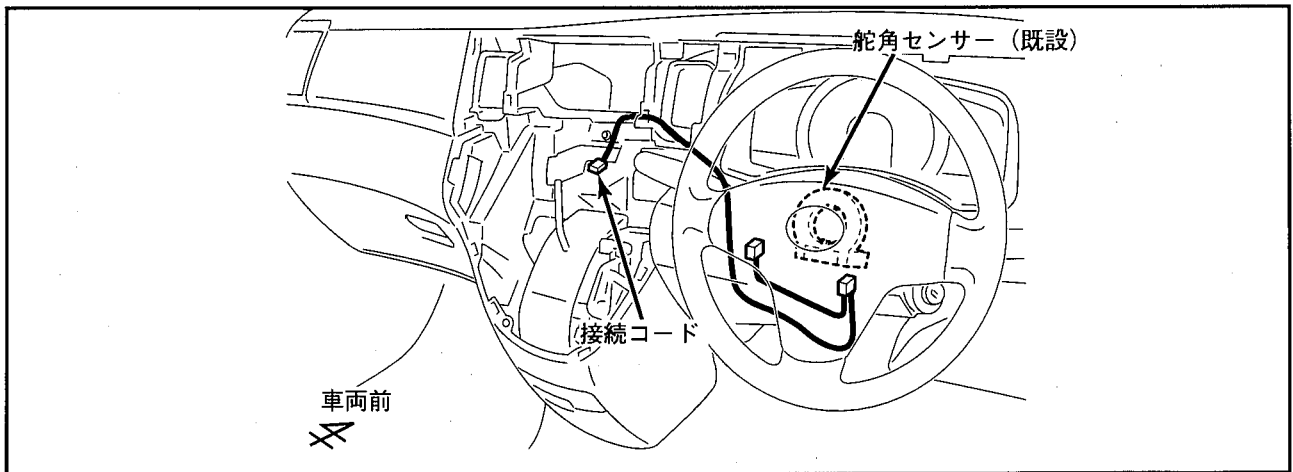
画面は、機種により異なる場合があります。

バックガイドモニター配線概要

【車両に舵角センサーがついていない場合】



【車両に舵角センサーがついている場合】



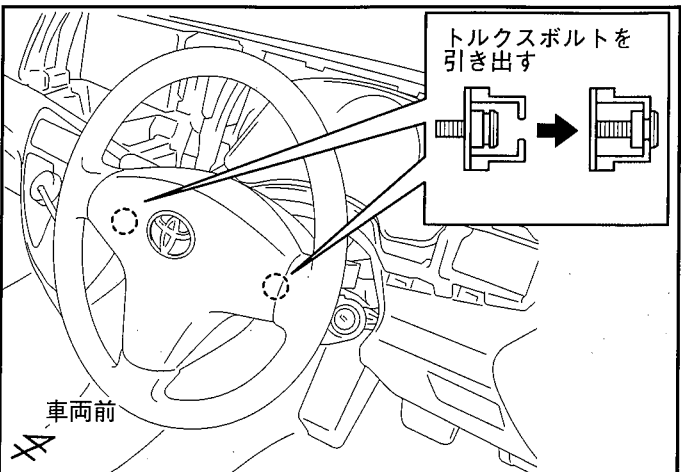
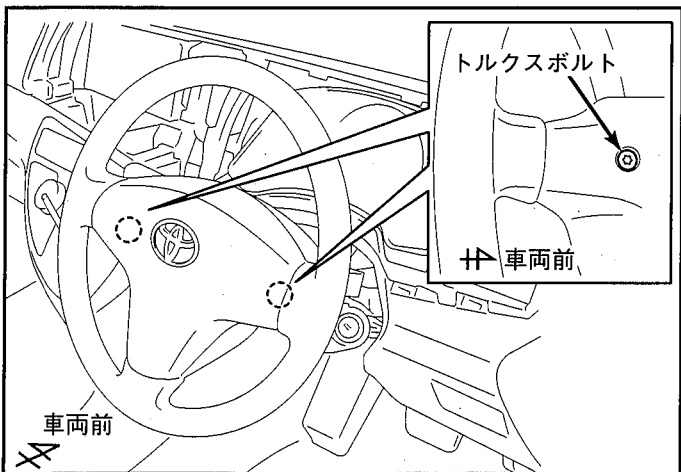
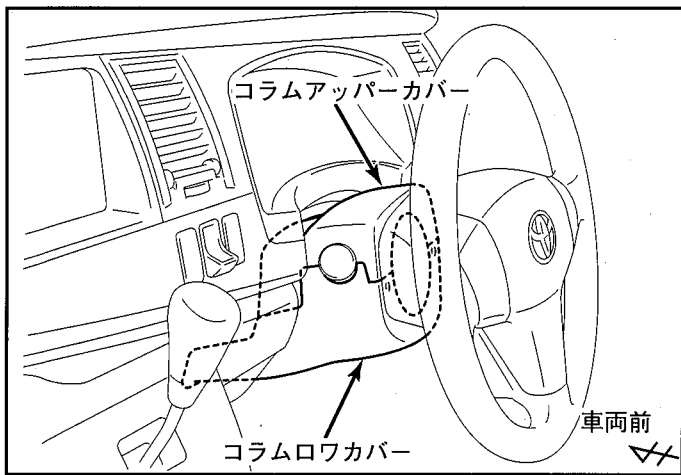
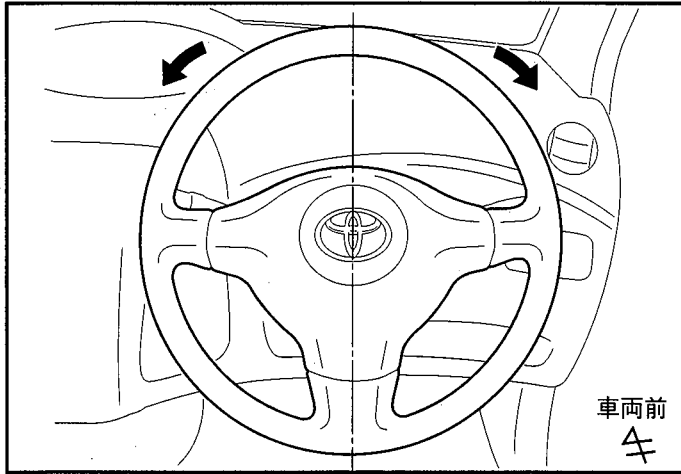
⚠ 注意

エアバッグシステムはバックアップ電源を備えているため、バッテリーの⊖ターミナルを外してから90秒経過しないうちに作業を開始するとエアバッグが作動する可能性があります。作業開始は必ずバッテリーの⊖ターミナルを外した後、90秒以上経過してから開始してください。

👉 アドバイス

配線概要は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

バックガイドモニター取付要領



■ 車両に舵角センサーがついていない場合

👉 アドバイス

- ・実際に車両を走行して、ステアリングホイールASS'Yが中立位置（ハンドル直進状態）であることを確認してください。
- ・ハンドル位置、タイヤ角度を目視で確認してから作業を行ってください。
- ・走行する際は、必ず平坦な舗装路で行ってください。

(1) コラムカバーを取り外す。

👉 アドバイス

脱着要領は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

(2) ホーンボタンASS'Yのトルクスボルトを緩める。

⚠️ 注意

元に戻す際は、「車種別取付要領書」のトルク値（T）N・mにて締め付けてください。

👉 アドバイス

脱着要領は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

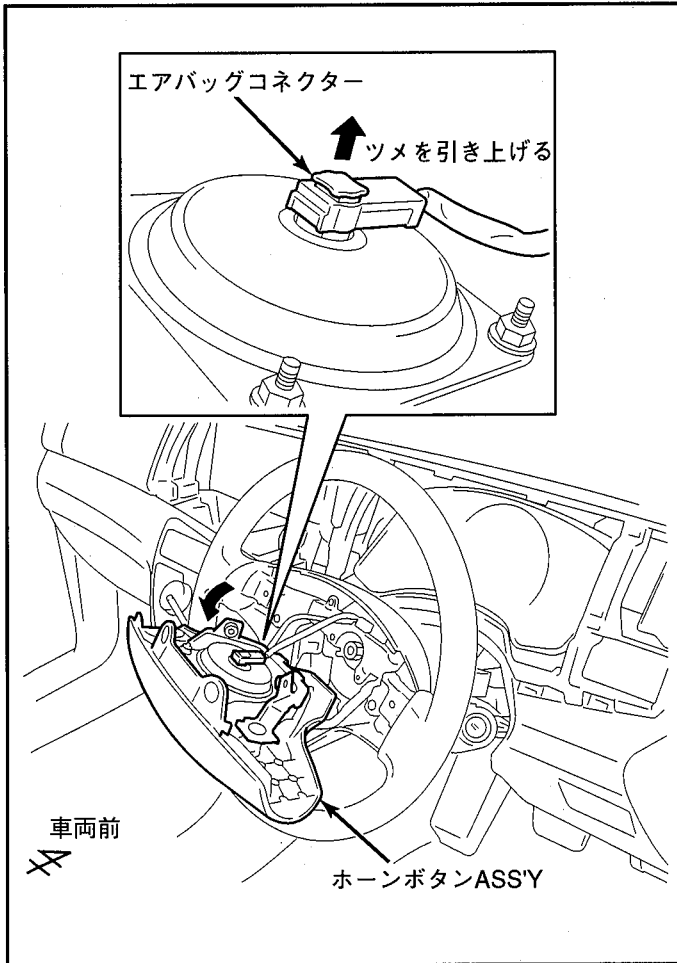
(3) トルクスボルト（2本）を引き出す。

⚠️ 注意

トルクスボルトの締めトルクは、車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。

👉 アドバイス

- ・ニードルノーズプライヤー等でつまんでトルクスボルトを引き出してください。
- ・トルクス部分にキズを付けないようにしてください。



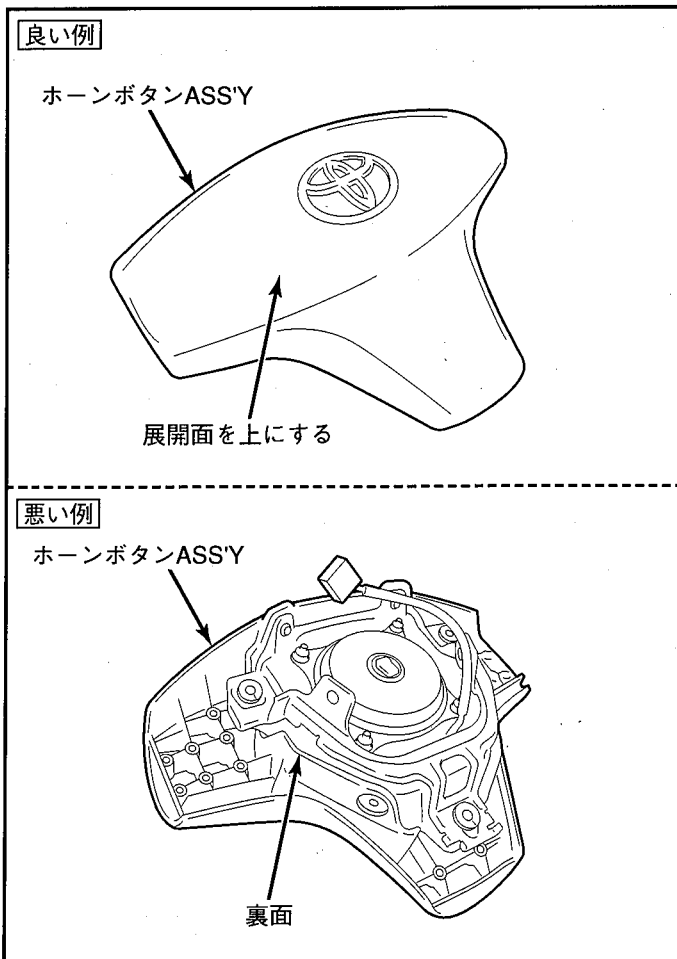
- (4) ホーンボタンASS'Yを浮かしながら、エアバッグコネクタを取り外す。
- (5) ホーンボタンASS'Yを取り外す。

⚠ 注意

エアバッグシステムはバックアップ電源を備えているため、バッテリーの⊖ターミナルを外してから90秒経過しないうちに作業を開始するとエアバッグが作動する可能性があります。作業開始は必ずバッテリーの⊖ターミナルを外した後、90秒以上経過してから開始してください。

👉 アドバイス

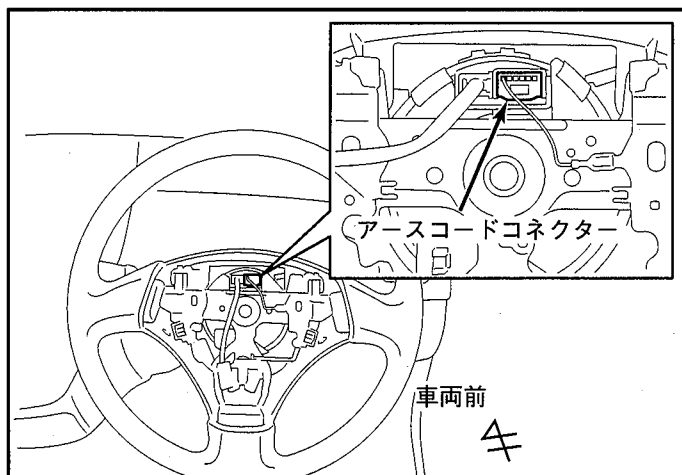
- ・エアバッグコネクタの黄色いツメを上へ引き上げて取り外してください。
- ・エアバッグコネクタの形状が車種により異なりますが、同様にツメを引き上げて取り外してください。



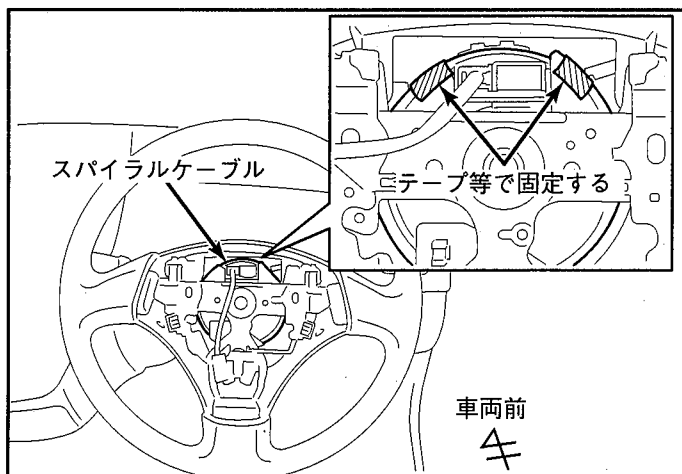
- (6) ホーンボタンASS'Y (エアバッグ) を取り外した後、必ず展開面を上にして保管する。

⚠ 注意

- ・エアバッグの上に物を置いたり、エアバッグの重ね置きをしないでください。
- ・万一、何らかの原因でエアバッグが作動した時、展開面が下を向いていると重大な事故につながる恐れがあります。



- (7) スパイラルケーブル側のアースコードコネクタを取り外す。



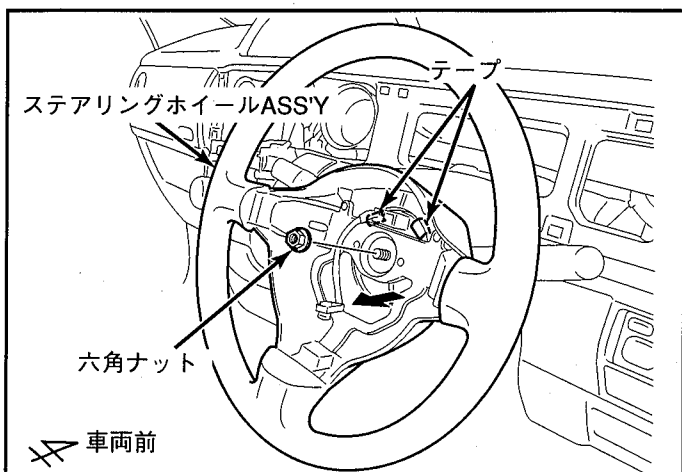
- (8) スパイラルケーブルをテープ等で固定する。

⚠ 注意

- ・ステアリングホイールASS'Yが中立位置（ハンドル直進状態）であることを確認後にテープ等で固定してください。
- ・ステアリングホイールASS'Yを取り外した後、スパイラルケーブルが回らないようにテープ等で固定してください。
- ・スパイラルケーブルは左回り（または右回り）に2.5回転以上回すと、スパイラルケーブルを破損します。

👉 アドバイス

テープはステアリングホイールASS'Yを復元した後、取り外してください。



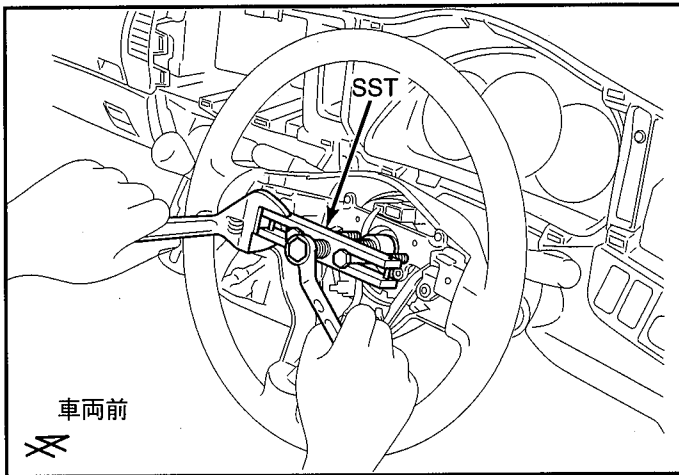
- (9) ステアリングホイールASS'Yの六角ナットを取り外す。

⚠ 注意

- ・ステアリングホイールASS'Yの六角ナットの締付トルクは、車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・必ずバッテリーの⊖ターミナルを外した状態で作業を行ってください。万一、バッテリーを接続した状態でスパイラルケーブルが回転すると、タイヤが直進状態でないにもかかわらず、舵角センサーは直進と認識する恐れがあります。

👉 アドバイス

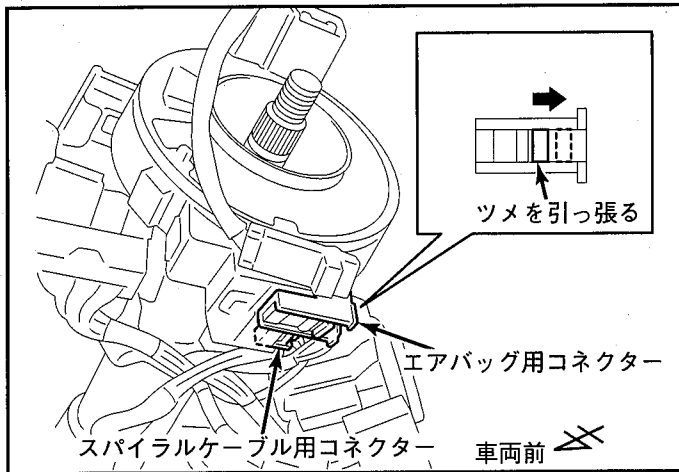
ステアリングホイールASS'Yの六角ナットを取り外す際に、ステアリングホイールASS'Yが回らないようにしてください。



- (10) SSTをステアリングホイールASS'Yにセットし、SSTを使用してステアリングホイールASS'Yを取り外す。

△注意

- SST品番は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
1. SSTのセンターボルト（ネジ部および先端部）は、グリス等を塗布してから使用してください。
 2. ステアリングホイールASS'Yは、必ず中立位置（ハンドル直進状態）にしてから取り外し作業を行ってください。



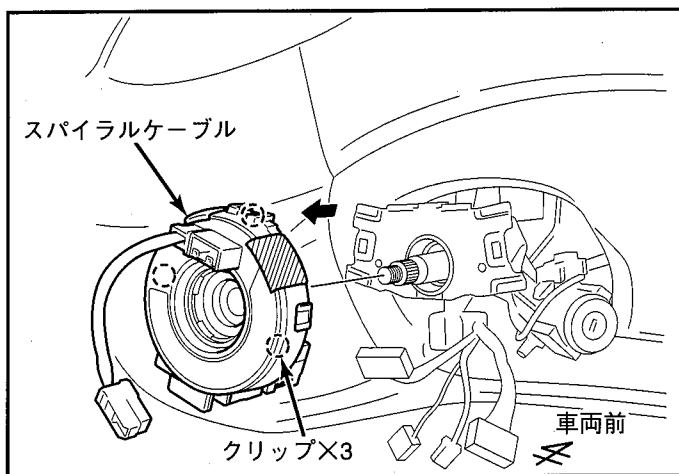
- (11) スパイラルケーブルのコネクター（2箇所）を取り外す。

△注意

- 必ずバッテリーの⊖ターミナルを外した状態で作業を行ってください。万一、バッテリーを接続した状態でスパイラルケーブルが回転すると、タイヤが直進状態でないにもかかわらず、舵角センサーは直進と認識する恐れがあります。

👉アドバイス

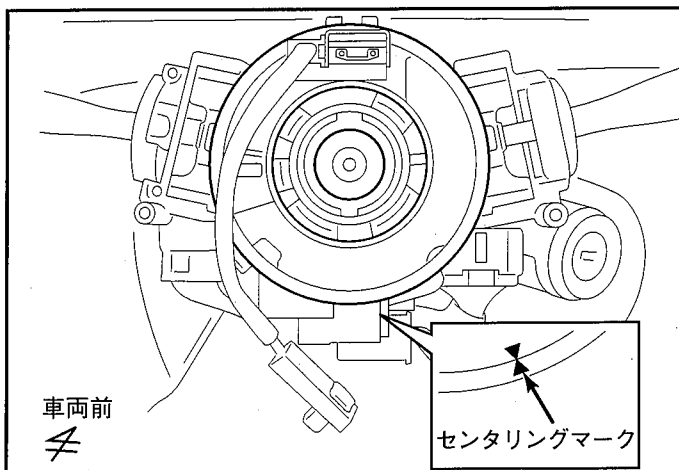
- エアバッグ用コネクタ（黄色）は、コネクタのツメを引っ張りながら取り外してください。



- (12) スパイラルケーブルを取り外す。

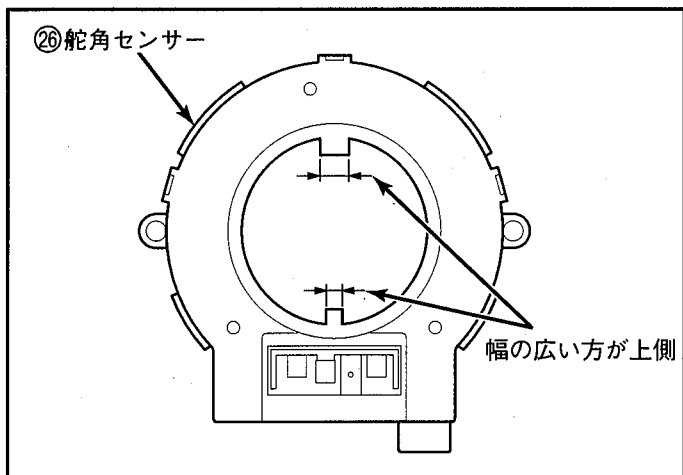
👉アドバイス

- スパイラルケーブルを取り外す際、スパイラルケーブルが回らないように注意して取り外してください。



・スパイラルケーブルセンター出しのチェック方法（誤ってスパイラルケーブルを回してしまった場合）

1. スパイラルケーブルを反時計方向に軽くロックするまで回してください。
2. ロック位置から時計回り方向に2.5回転戻し、左図の△と▽のセンターリングマークに合わせてください。

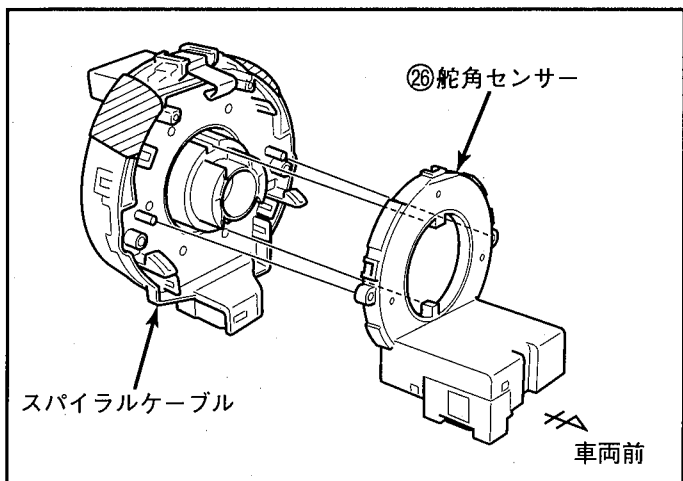


・ 舵角センサー②⑥ (フライリードコード無し) の取付要領

(1) 舵角センサー合わせ面の位置を確認する。

👉 アドバイス

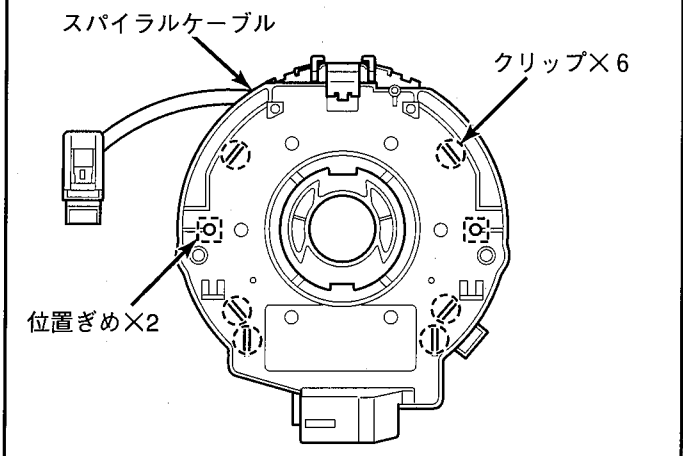
- ・ 舵角センサー内側部分 (白い部分) の凸部は、幅が広い方を上側に向けてください。

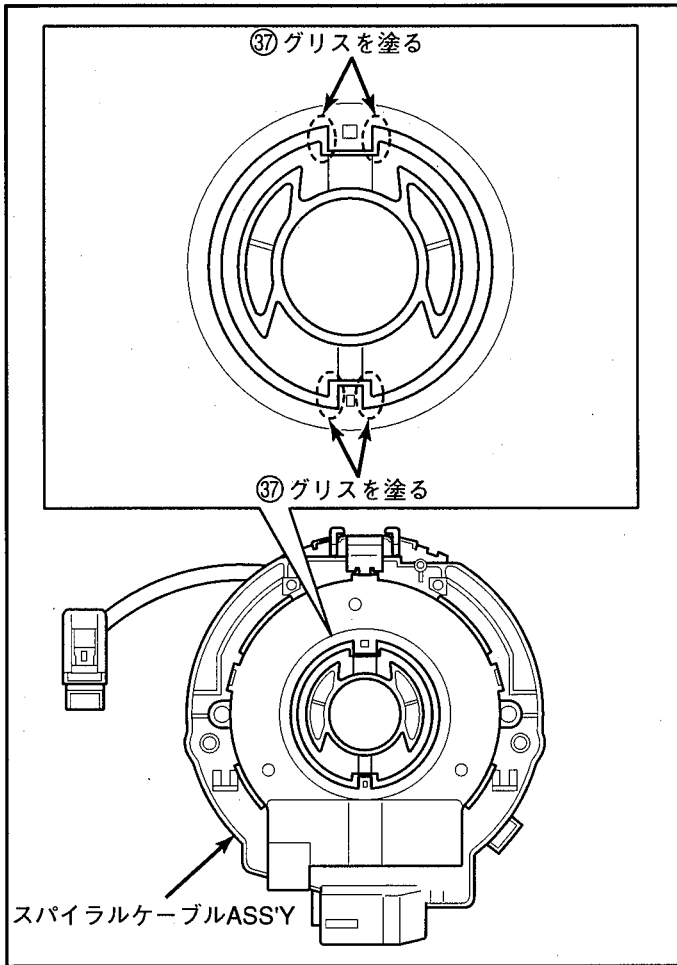


(2) スパイラルケーブルに舵角センサーを組み付ける。

👉 アドバイス

- ・ スパイラルケーブルと舵角センサーの位置決めを合わせながら組み付けてください。
- ・ スパイラルケーブル側のクリップがカチッと音がするまで押し込んでください。
- ・ クリップ6箇所がきちんと嵌合していることを確認してください。

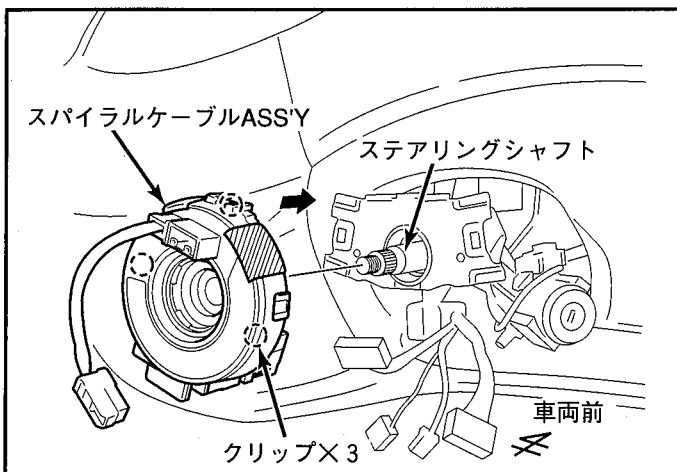




(3) スパイラルケーブルASS'Yの合わせ部分にグリス③⑦を塗布する。

👉 アドバイス

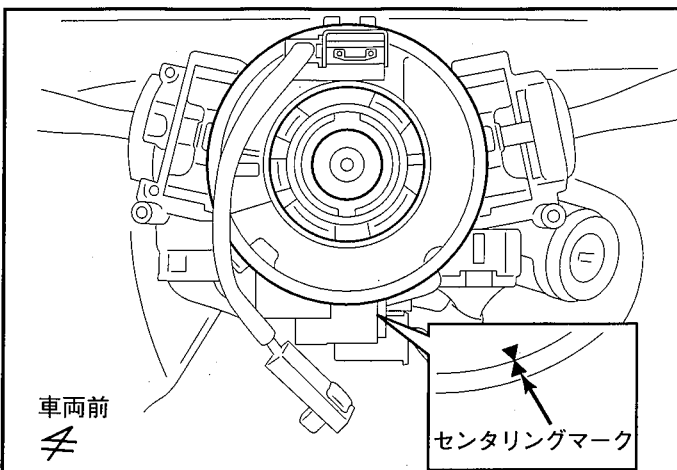
- ・スパイラルケーブルASS'Yの合わせ部分（4箇所）にグリス③⑦を適量（米粒1粒ぐらい）塗布してください。グリス③⑦を塗布しないと、異音発生の原因になります。
- ・グリス③⑦は表面に塗布してください。



(4) スパイラルケーブルASS'Yを車両（ステアリングシャフト）に組み付ける。

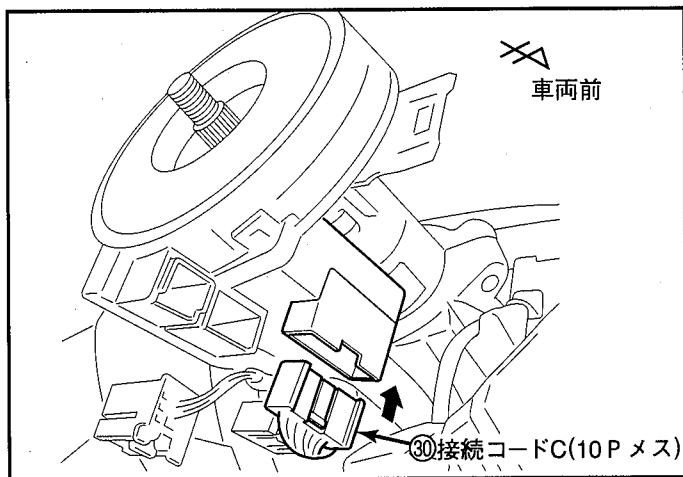
👉 アドバイス

- ・スパイラルケーブルのクリップ（3箇所）がカチッと音がするまで押し込んでください。
- ・クリップ3箇所がきちんと嵌合していることを確認してください。
- ・スパイラルケーブルが回っていないことを確認してください。



⚠️ 注意

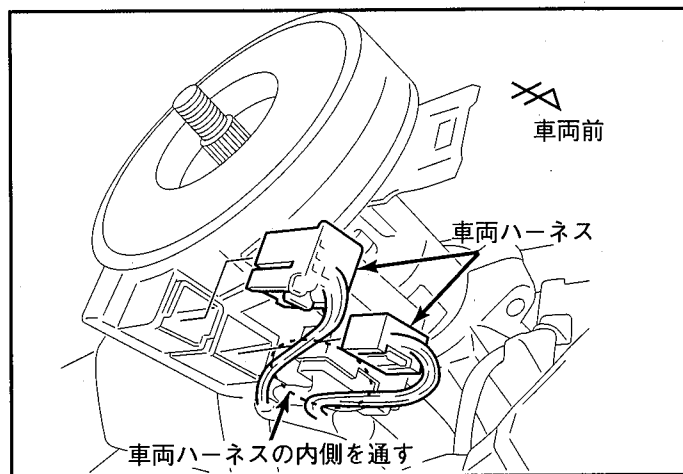
スパイラルケーブルのセンターリングマーク▲と▼が合っていることを確認してください。



(5) 舵角センサー⑥に接続コードC (10Pメス)⑩を接続する。

⚠注意

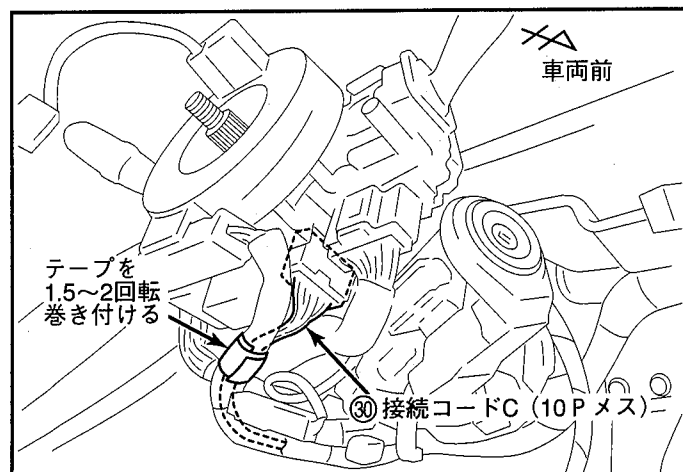
- ・接続コードは、車両ハーネスの内側を通し配線してください。
- ・チルト機構、ワイパーレバーやテレスコなどの動作を妨げないように注意してください。
- ・接続コードは、つっぱると断線の可能性があり、膨らみすぎるとコラムカバーと干渉しますので、注意してください。
- ・接続コードがかみ込まないように注意して配線してください。



(6) スパイラルケーブルに車両ハーネスを戻す。

👉アドバイス

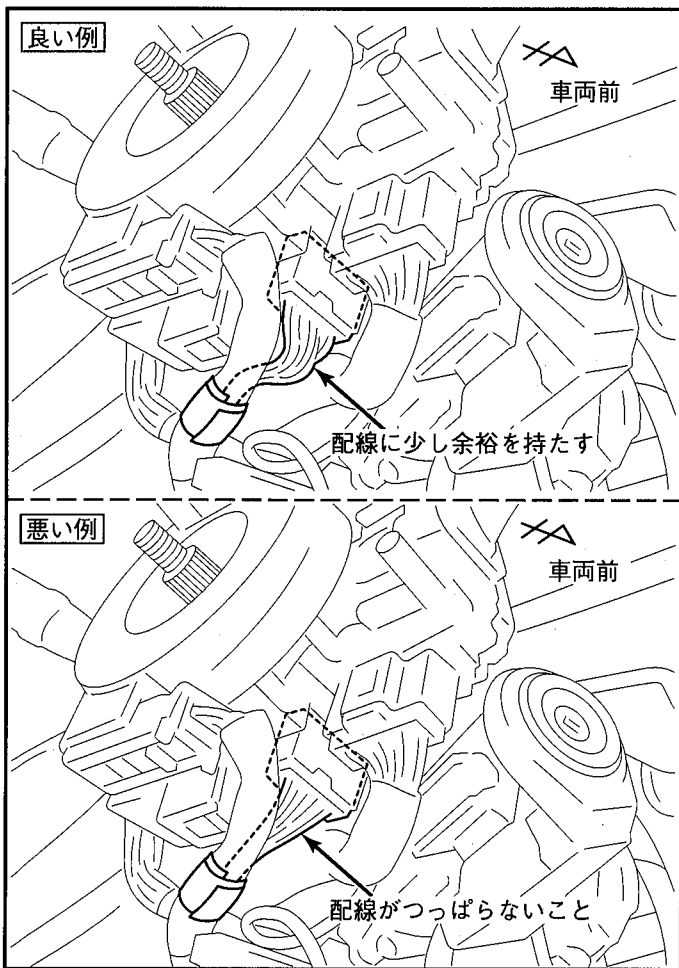
- ・接続コードは、車両ハーネスの内側を通して配線してください。
- ・車両ハーネスのコネクター嵌合後、スパイラルケーブルのクリップ3箇所がきちんと嵌合していることを確認してください。



(7) 接続コードC (10Pメス)⑩をテープで固定しながら配線する。

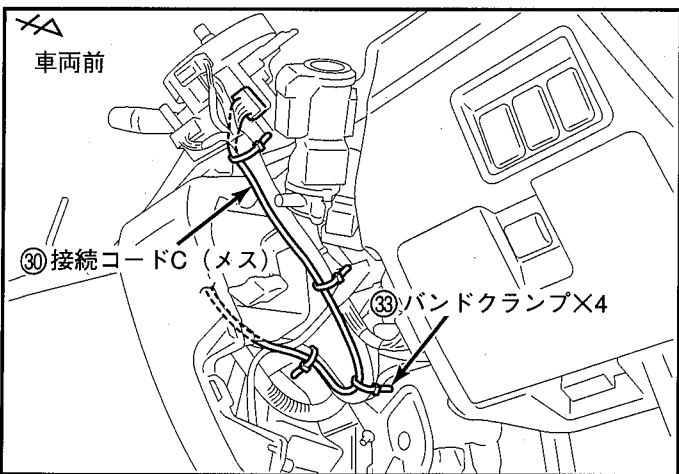
👉アドバイス

- ・接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・最初の固定場所がテープの場合は、1.5~2回転テープを巻き付けてください。



▲注意

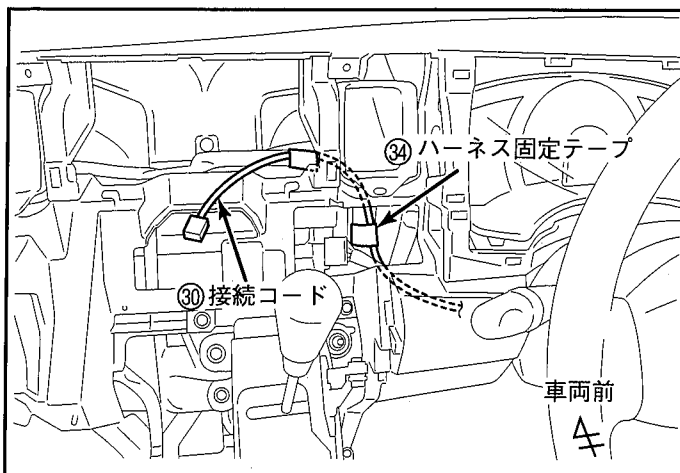
左図の悪い例のように配線がつっぱらないように、少し余裕を持たせてテープで固定してください。



(8) 接続コードC(10Pメス)③⑩をバンドクランプ③③で固定しながら配線する。

👉アドバイス

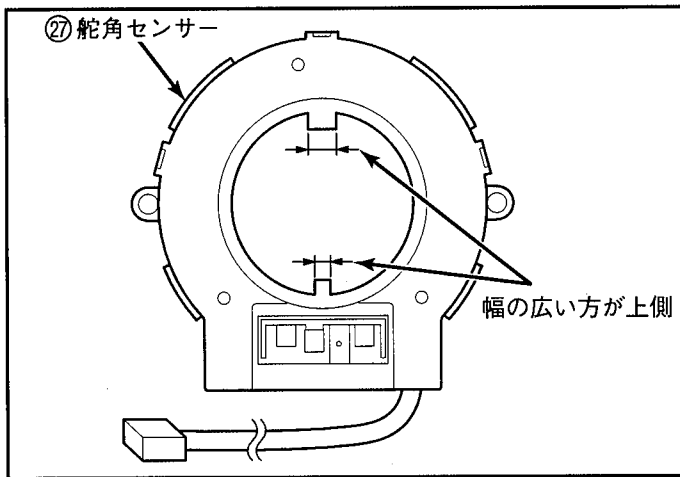
接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。



(9) 接続コードC(10Pメス)③⑩をハーネス固定テープ③④で固定しながらオーディオ取り付け位置まで配線する。

👉アドバイス

接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。

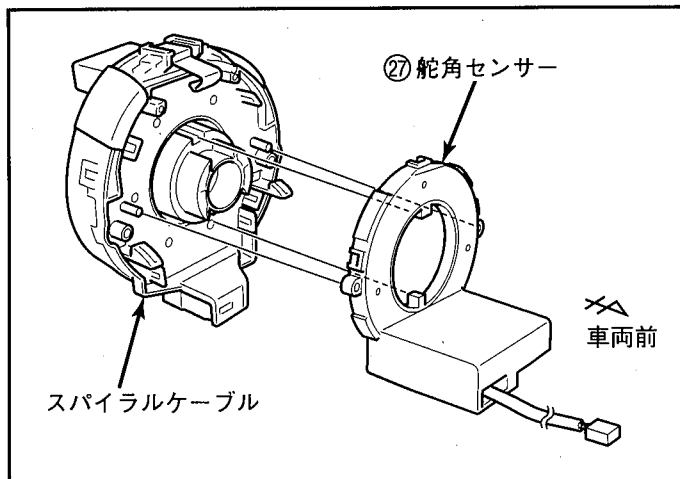


・舵角センサー②⑦ (配線付き)の取付要領

(1) 舵角センサー合わせ面の位置を確認する。

👉 アドバイス

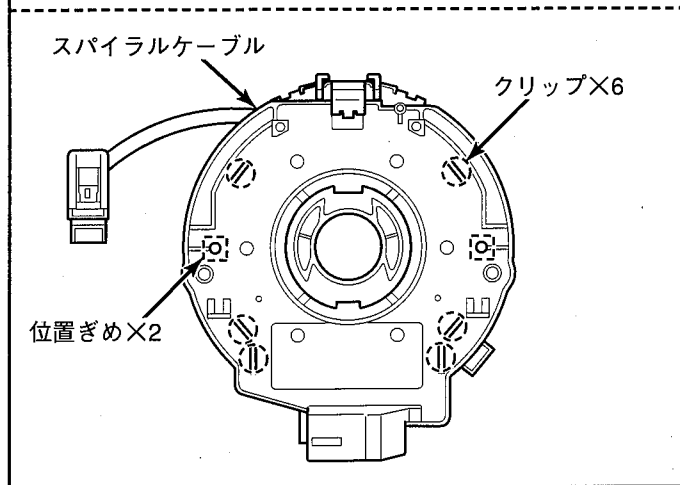
舵角センサー内側部分 (白い部分) の凸部は、幅が広い方を上側に向けてください。

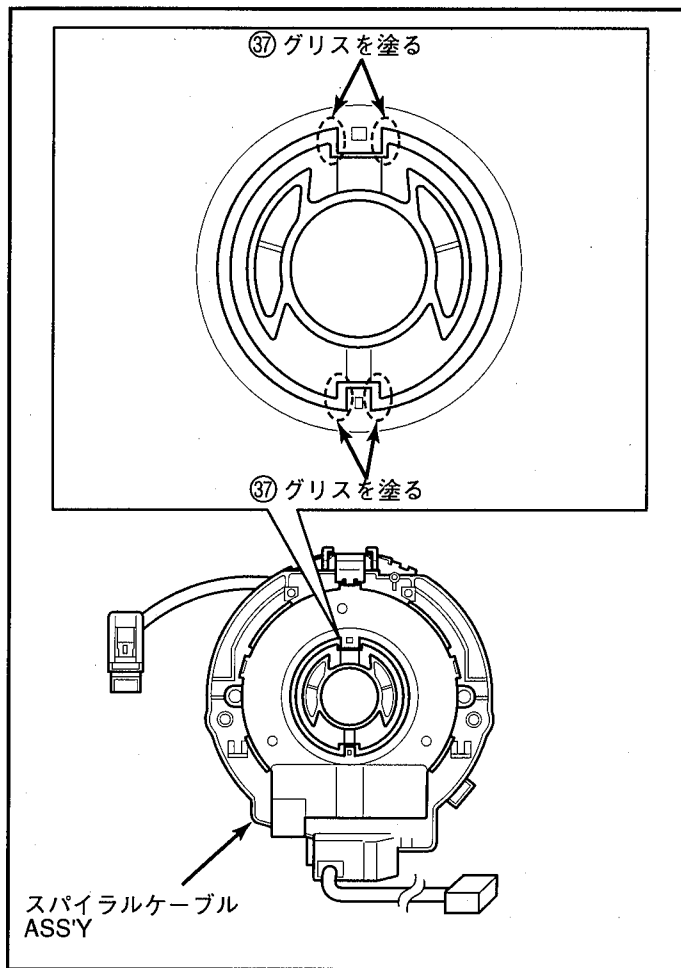


(2) スパイラルケーブルに舵角センサー②⑦を組み付ける。

👉 アドバイス

- ・スパイラルケーブルと舵角センサー②⑦の合わせ面と位置決めを合わせながら組み付ける。
- ・スパイラルケーブル側のクリップがカチッと音がするまで押し込んでください。
- ・クリップ6箇所がきちんと嵌合していることを確認してください。

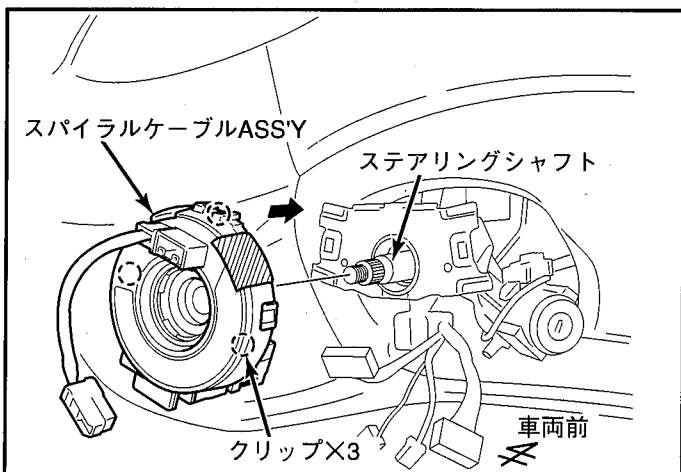




(3) スパイラルケーブルASS'Yの合わせ部分にグリス㊿を塗布する。

👉 アドバイス

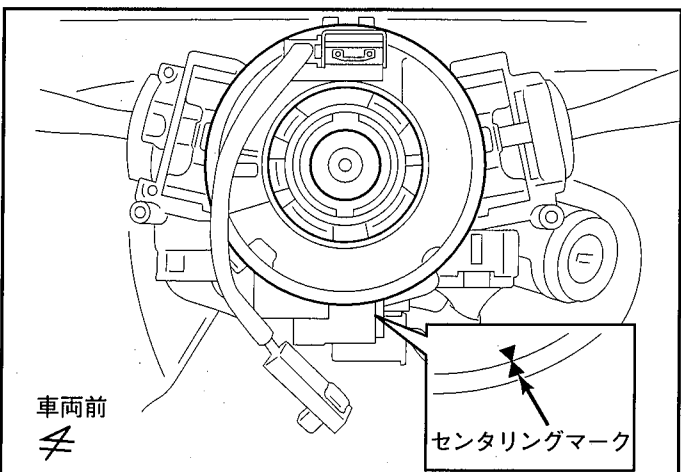
- ・スパイラルケーブルASS'Yの合わせ部分（4箇所）にグリス㊿を適量（米粒1粒ぐらい）塗布してください。グリス㊿を塗布しないと、異音発生の原因になります。
- ・グリス㊿は表面に塗布してください。



(4) スパイラルケーブルASS'Yを車両（ステアリングシャフト）に組み付ける。

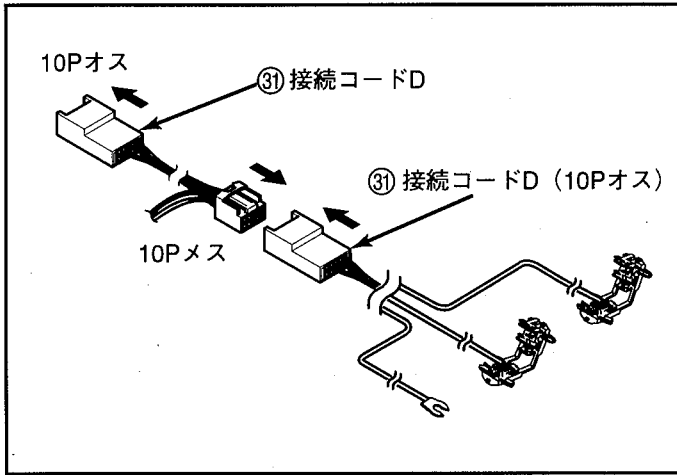
👉 アドバイス

- ・スパイラルケーブルのクリップ（3箇所）がカチッと音がするまで押し込んでください。
- ・スパイラルケーブルが回っていないことを確認してください。

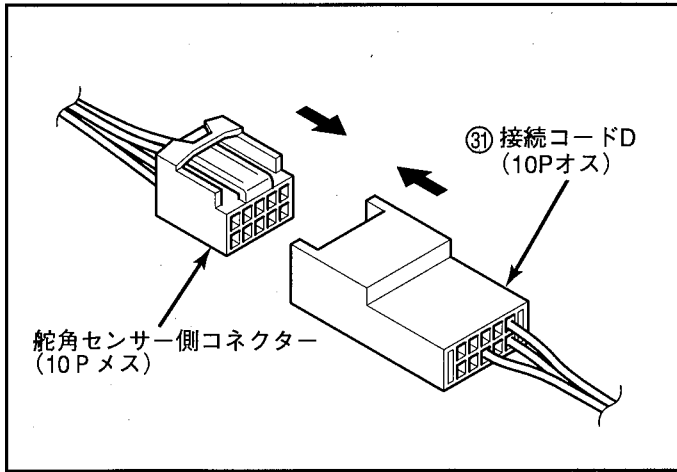


⚠ 注意

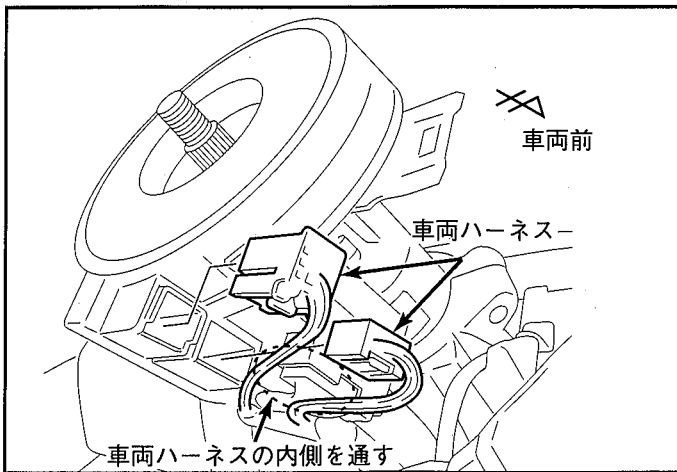
スパイラルケーブルのセンターリングマーク▲と▼が合っていることを確認してください。



- (5) 接続コードD(10Pオス)③の電源取り出し用コードを接続する。



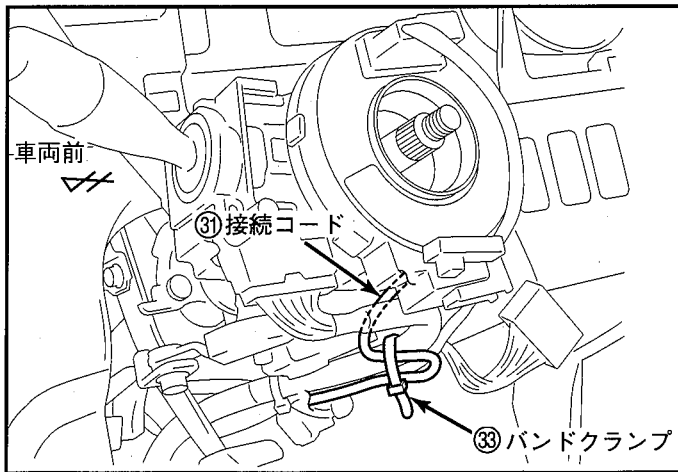
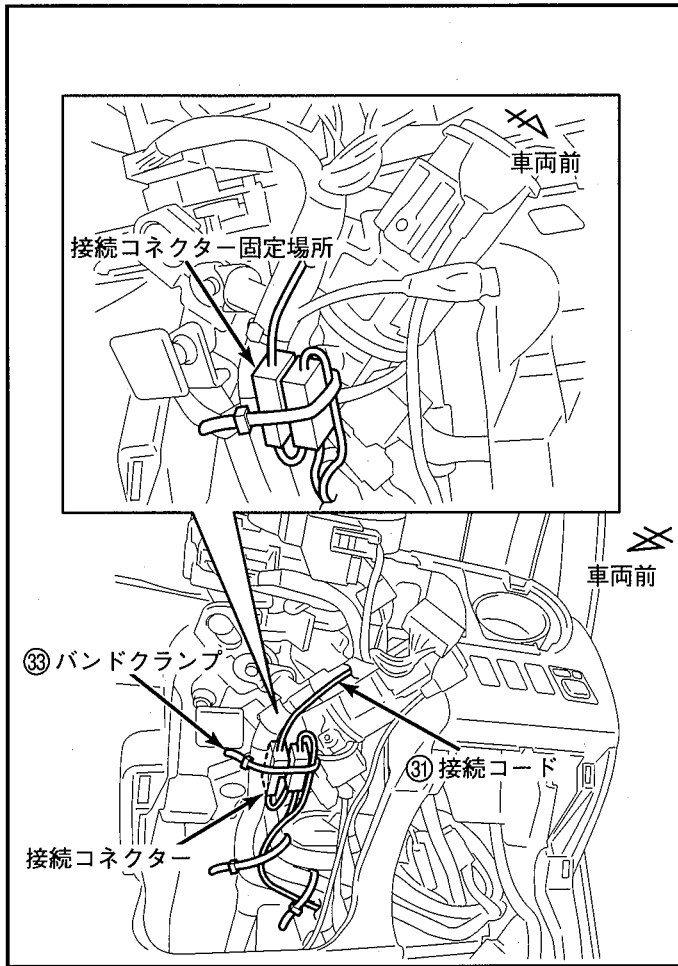
- (6) 舵角センサー②に接続コードD(10Pオス)③を接続する。



- (7) スパイラルケーブルに車両ハーネスを戻す。

アドバイス

接続コードは、スパイラルケーブル用ハーネスの内側を通し配線してください。



(8) 接続コードD (10P オス) (31) をバンドクランプ (33) で固定しながら配線する。

⚠ 注意

- ・チルト機構、ワイパーレバーやテレスコなどの動作を妨げないように注意してください。
- ・接続コードは、つっぱると断線の可能性があり、膨らみすぎるとコラムカバーと干渉しますので、注意してください。
- ・接続コードがかみ込まないように注意して配線してください。

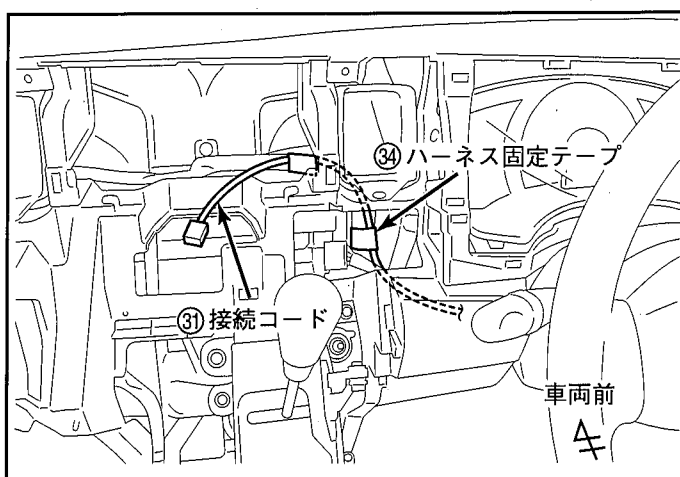
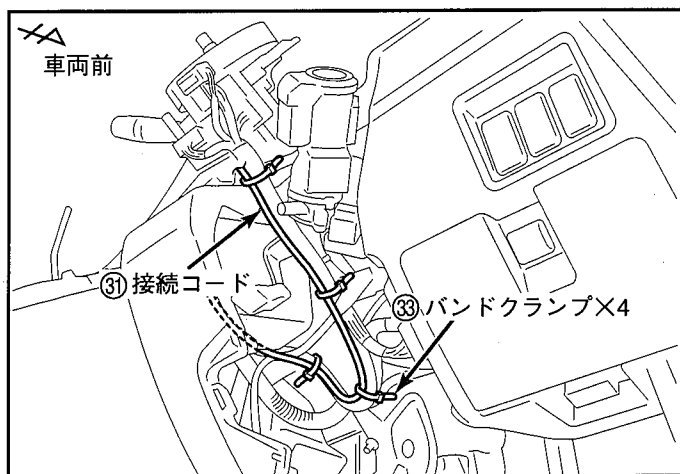
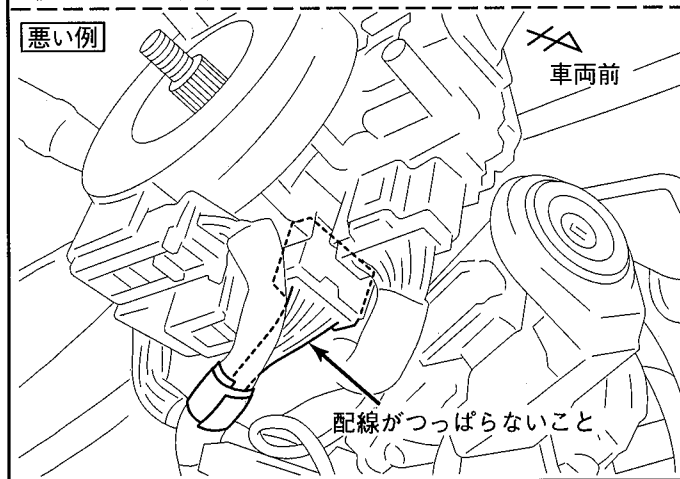
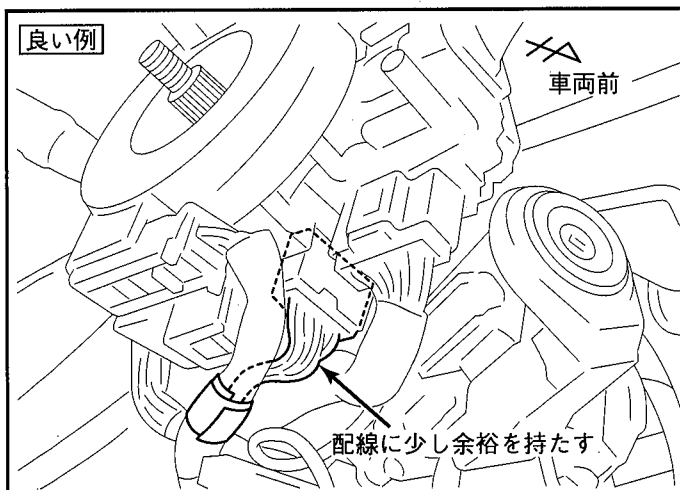
👉 アドバイス

- ・接続コネクタの固定場所は車種により異なります。「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・接続コードは、車両ハーネスの内側を通し配線してください。
- ・接続コードの配線は、膨らみすぎないようにしてください。
- ・コラムカバーと干渉しないことを確認し、確実にコラムカバーを復元してください。

(8) 接続コードD (10P オス) (31) をバンドクランプ (33) で固定しながら配線する。

👉 アドバイス

- ・接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・接続コネクタの固定場所によりコードの余長がある場合は、バンドクランプで固定してください。



△ 注意

左図の悪い例のように配線がつつばらないように、余裕を持たせてテープで固定してください。

👉 アドバイス

最初の固定場所がテープの場合は、1.5～2回転テープを巻き付けてください。

(9) 接続コード③①をバンドクランプ③③で固定しながら配線する。

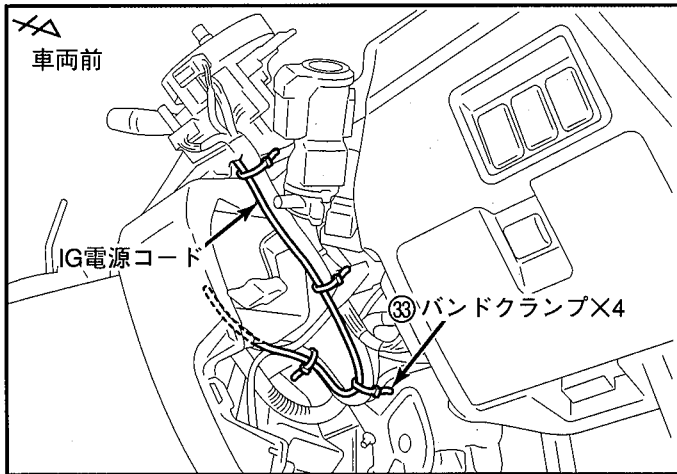
👉 アドバイス

接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。

(10) 接続コード③①をハーネス固定テープ③④で固定しながらオーディオ取り付け位置まで配線する。

👉 アドバイス

接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。

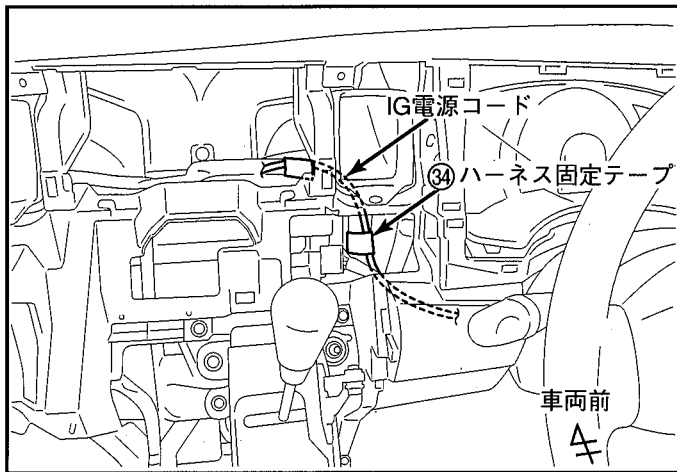


・IG電源コードの配線要領

- (1) 接続コードCまたはD(㉔または㉕)のIG電源コードをバンドクランプ㉓で固定しながら配線する。

👉 アドバイス

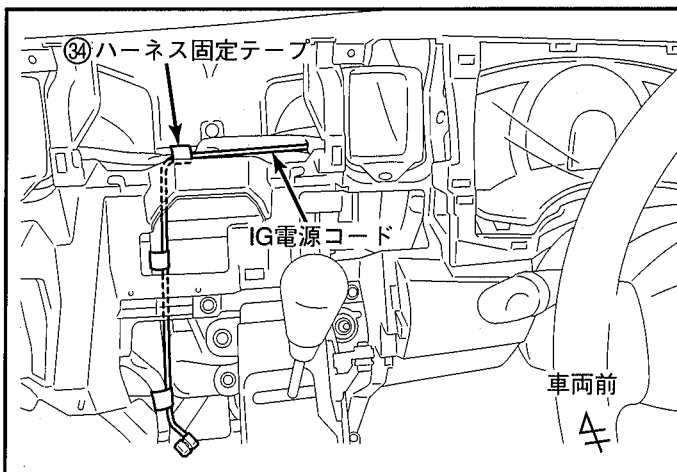
IG電源コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。



- (2) IG電源コードをハーネス固定テープ㉔で固定しながら配線する。

👉 アドバイス

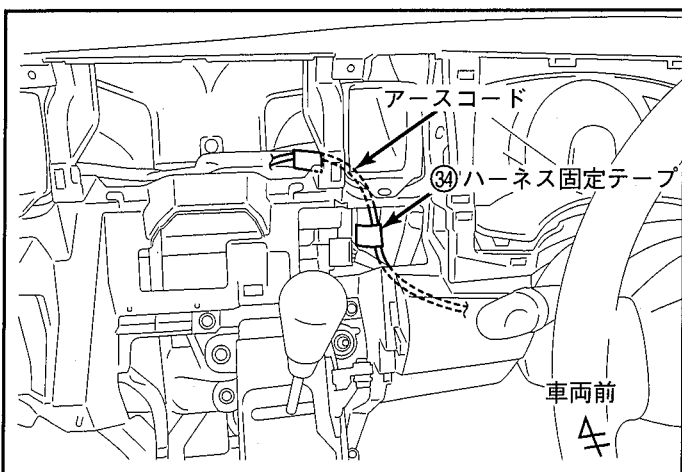
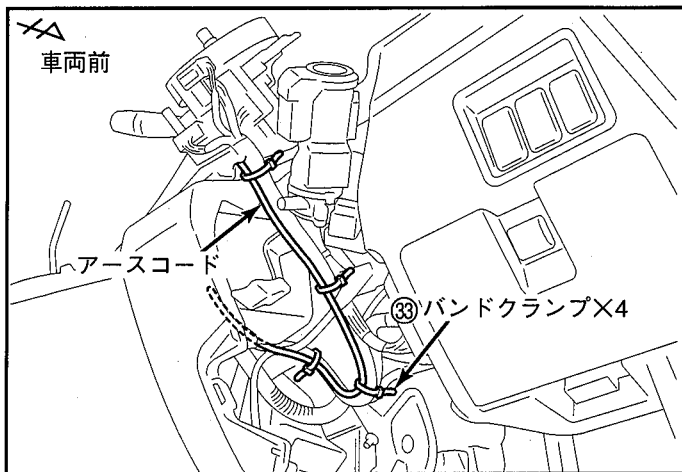
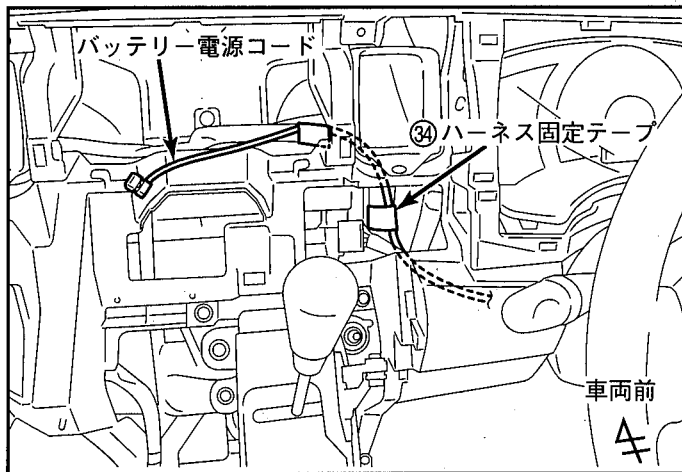
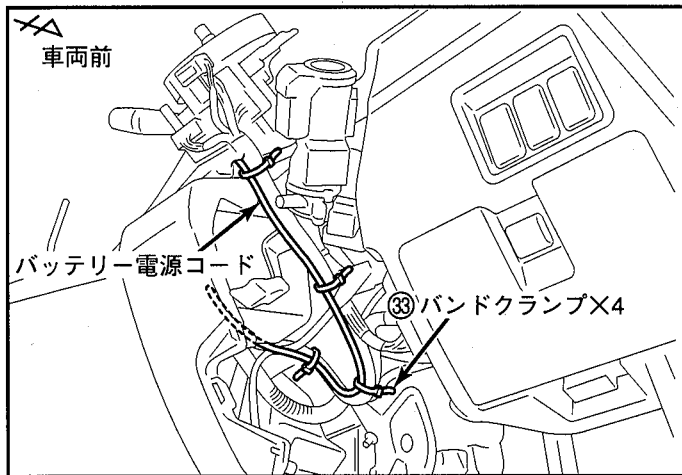
IG電源コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。



- (3) IG電源コードをハーネス固定テープ㉔で固定しながらIG電源取り出し位置まで配線する。

👉 アドバイス

IG電源コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。



・バッテリー電源の配線要領

- (1) 接続コードCまたはD(③①または③②)のバッテリー電源コードをバンドクランプ③③で固定しながら配線する。

👉 アドバイス

バッテリー電源コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。

- (2) バッテリー電源コードをハーネス固定テープ③④で固定しながらバッテリー電源取り出し位置まで配線する。

👉 アドバイス

バッテリー電源の配線については「車種別取付要領書」を参照してください。

・アースコードの配線要領

- (1) 接続コードCまたはD(③①または③②)のアースコードをバンドクランプ③③で固定しながら配線する。

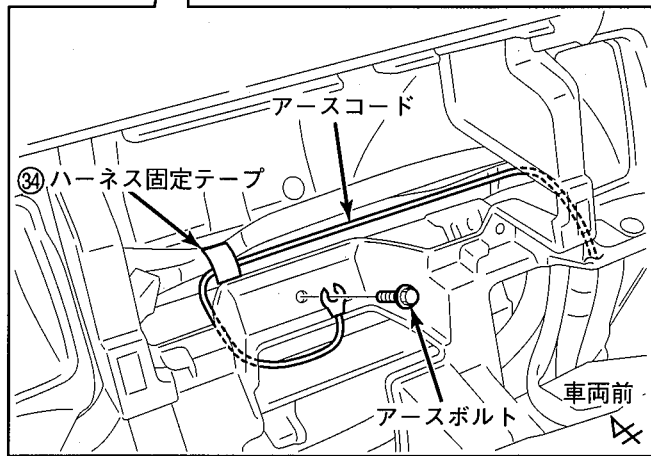
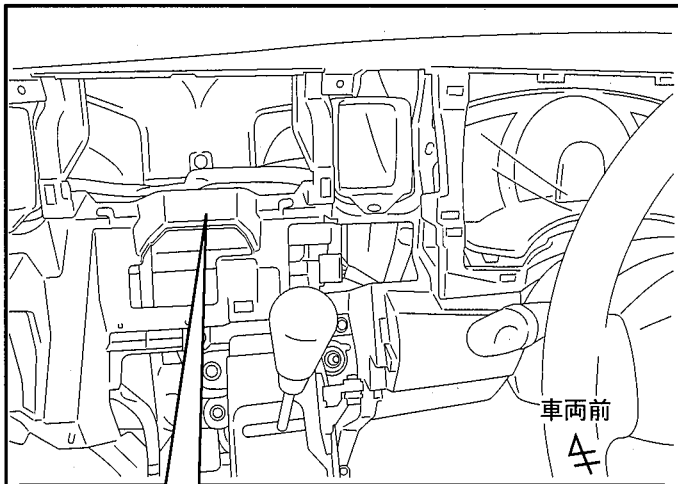
👉 アドバイス

アースコードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。

- (2) アースコードをハーネス固定テープ③④で固定しながら配線する。

👉 アドバイス

アースコードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。

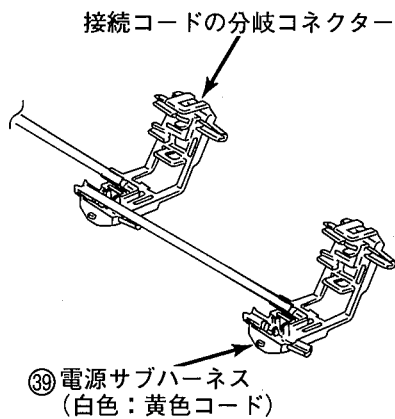


- (3) アースコードをハーネス固定テープ⑳で固定しながらアース取り出し位置まで配線する。

アドバイス

- ・ボデーアースが確実に取れていることをテスターで確認してください。
- ・アースコードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。

電源サブハーネスを使用する場合



分岐コネクタの使用法

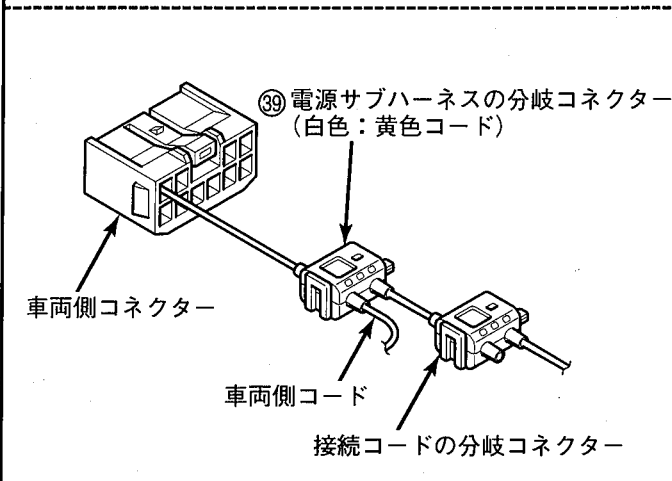
電源サブハーネスを使用する場合

- (1) 車両側電源コードの線径に合わせて電源サブハーネス㉑を接続する。

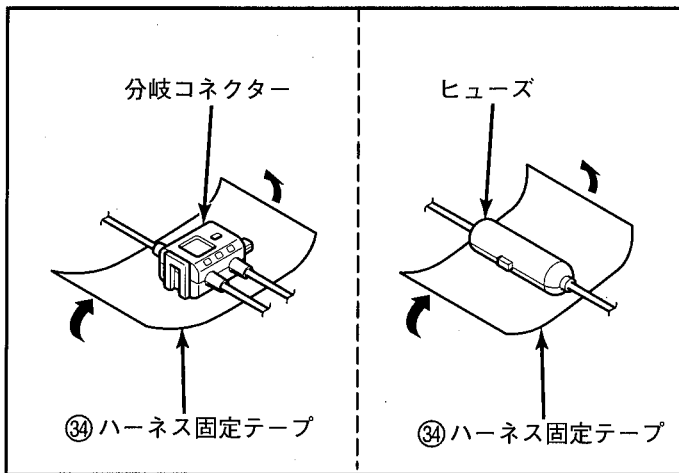
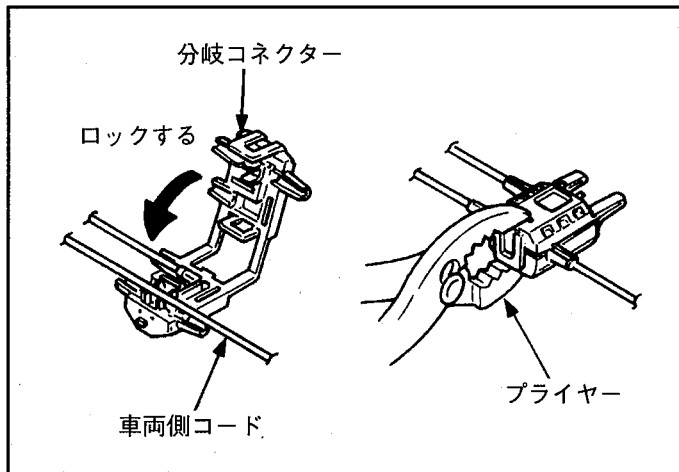
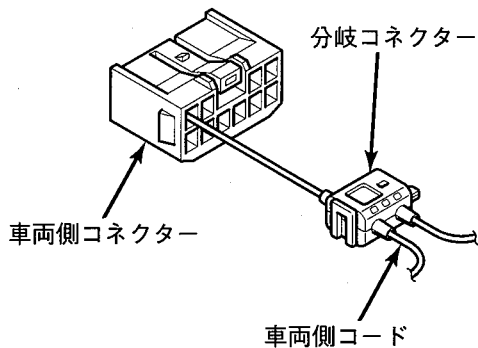
アドバイス

電源サブハーネス使用の有無については、「車種別取付要領書」を参照してください。

- (2) 車両側電源コードに電源サブハーネスをかみ込ませる。



■電源サブハーネスを使用しない場合



■電源サブハーネスを使用しない場合

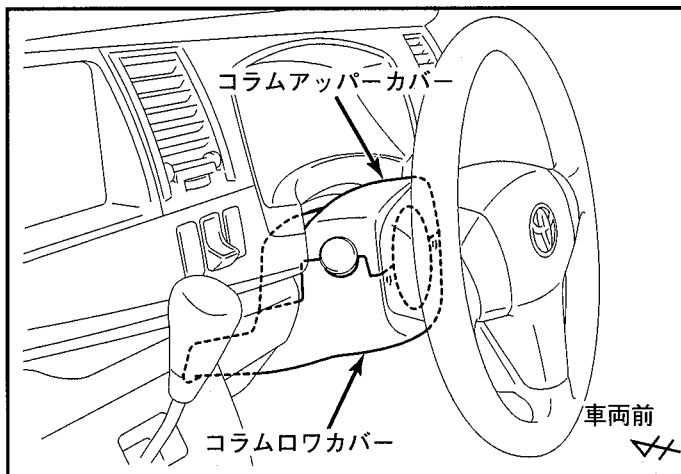
- (3) 車両側電源コードに接続コードCまたはD(③④または③⑤)の分岐コネクタをかみ込ませる。

■共通

- (4) プライヤー等でロックがかかるまではさみ込む。

⚠注意

- ・車両側コードのビニール等がジョイントの邪魔になる場合は、ニッパ等でビニール等に切れ込みを入れて作業を行ってください。分岐コネクタ接続後、切り込み部分にテープを巻いて絶縁処理してください。
- ・仮止めロックは片側にしかついていないため、本止めのロックが上下合わさるところで「カチッ」と音がするまで確実にプライヤーでロックしてください。取り付け後、車両側コードを軽く引っ張って断線していないことを確認してください。
- ・分岐コネクタ接続後、テープを巻き付けて分岐コネクタおよびヒューズを保護してください。
- ・取り外す場合は、分岐コネクタを付けたまま接続コードを30mm残して切り離し、テープ等で絶縁処理してください。
- ・ヒンジが折れた場合でも性能に影響がないため使用可能です。

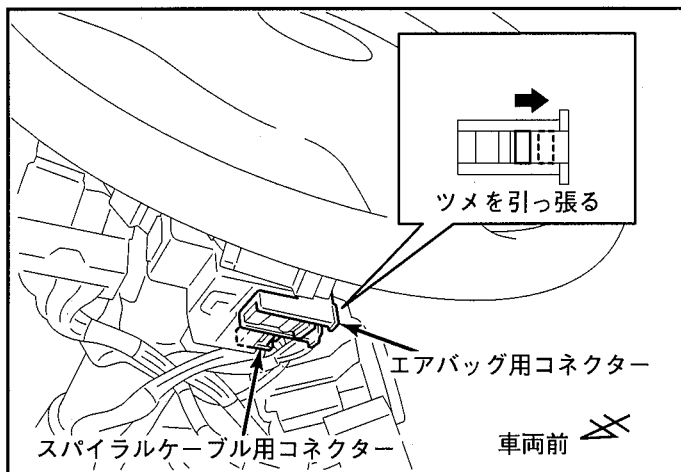


■ 車両に舵角センサーがついている場合
 ・ハーネスキット08634-00130、
 08634-00140、08634-00180の取付要領

(1) コラムカバーを取り外す。

👉 アドバイス

脱着要領は車種により異なりますので、「車種別取付要領書」を参照してください。



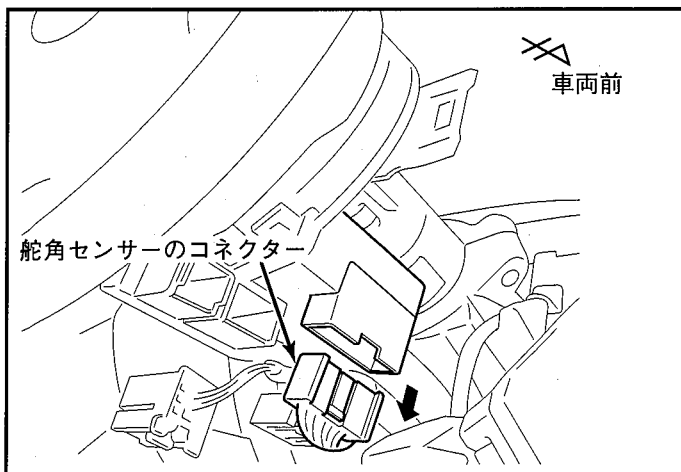
(2) スパイラルケーブルのコネクタ（2箇所）を取り外す。

⚠ 注意

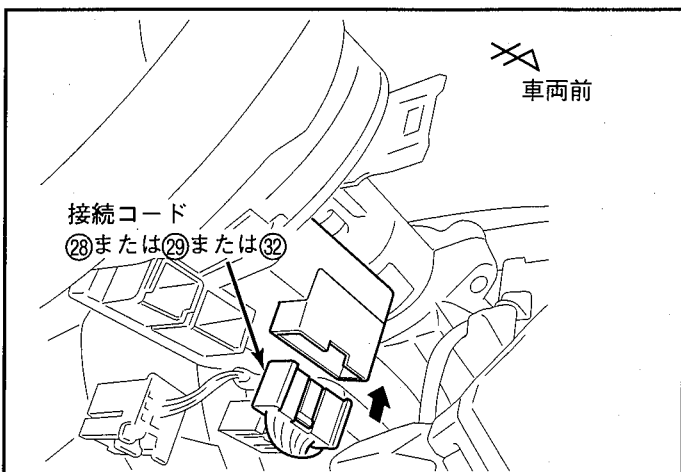
エアバッグシステムはバックアップ電源を備えているため、バッテリーの⊖ターミナルを外してから90秒経過しないうちに作業を開始するとエアバッグが作動する可能性があります。作業開始はバッテリーの⊖ターミナルを外した後、90秒以上経過してから開始してください。

👉 アドバイス

エアバッグ用コネクタ（黄色）は、コネクタのツメを引っ張りながら取り外してください。



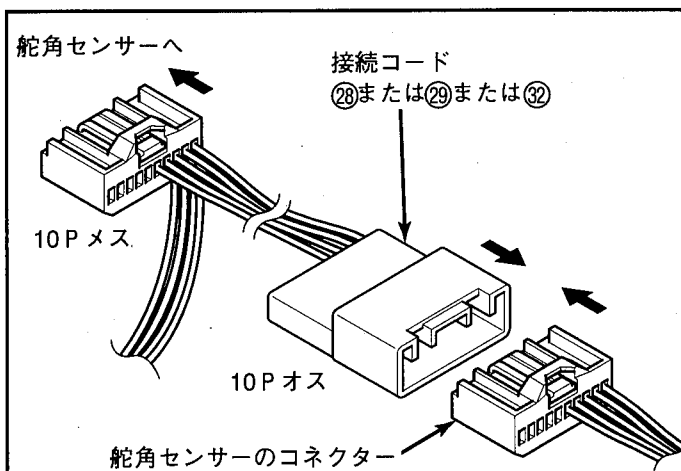
(3) 舵角センサーのコネクタ（車両ハーネス）を取りはずす。



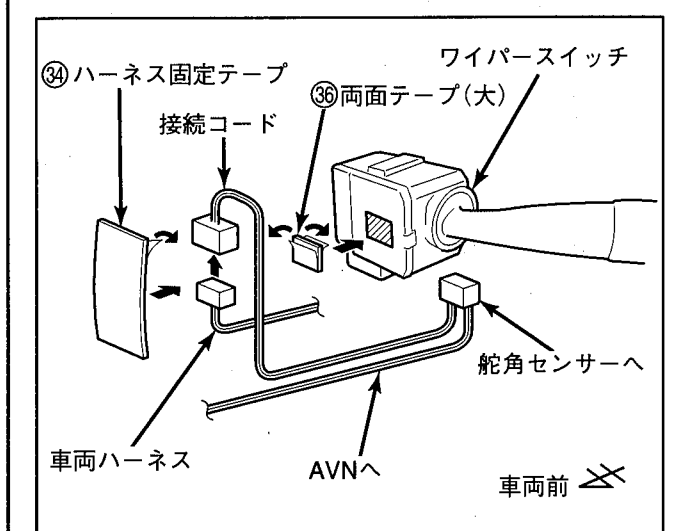
(4) 舵角センサーに接続コード（10Pメス）を接続する。

👉 アドバイス

- ・接続コードは、スパイラルケーブル用ハーネスの内側を通し配線してください。
- ・コラムカバーが復元できるように、配線が膨らみすぎないように配線してください。



(5) 舵角センサーと車両ハーネスの間に接続コード(㉘または㉙または㉚)を接続する。



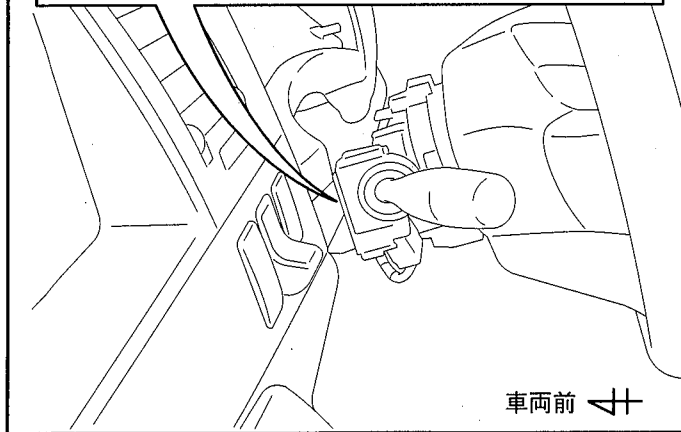
(6) 接続したコネクターをワイパースイッチ裏に両面テープ㉞およびハーネス固定テープ㉜で固定する。

⚠ 注意

- ・チルト機構、ワイパーレバーやテレスコなどの動作を妨げないように注意してください。
- ・接続コードは、つっぱると断線の可能性があり、膨らみすぎるとコラムカバーと干渉しますので、注意してください。
- ・接続コードがかみ込まないように注意して配線してください。

👉 アドバイス

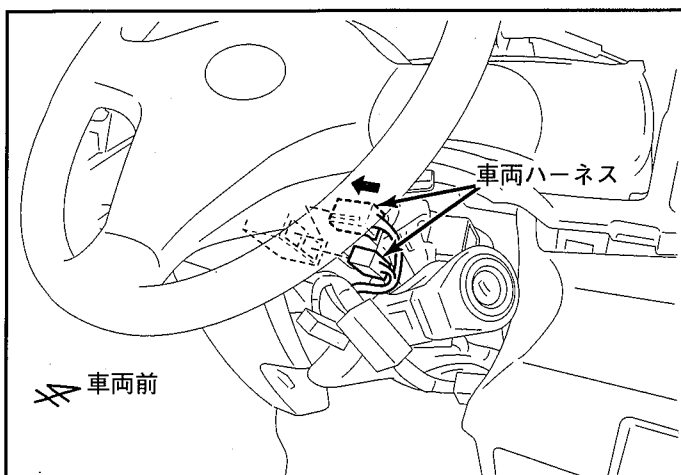
- ・貼り付け位置付近は、水分、油分を十分にふき取ってください。
- ・気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。
- ・接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・接続コードは、車両ハーネスの内側を通し配線してください。
- ・コラムカバーと干渉しないことを確認し、確実にコラムカバーを復元してください。
- ・コネクターの固定場所は、車種により異なります。「車種別取付要領書」を参照してください。

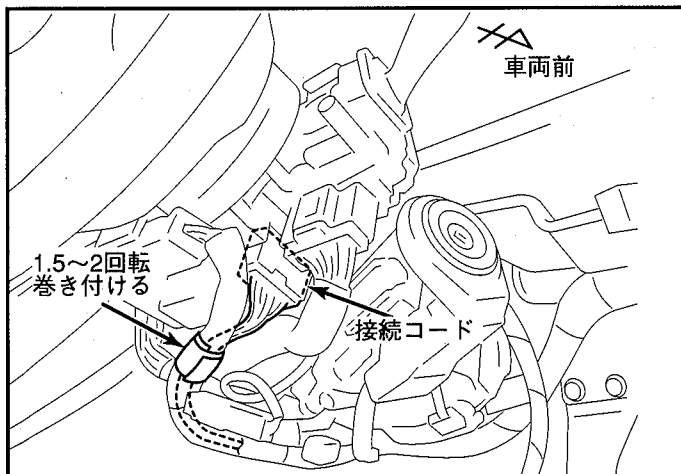


(7) スパイラルケーブルに車両ハーネスを戻す。

👉 アドバイス

接続コードは、車両用ハーネスの内側を通して配線してください。

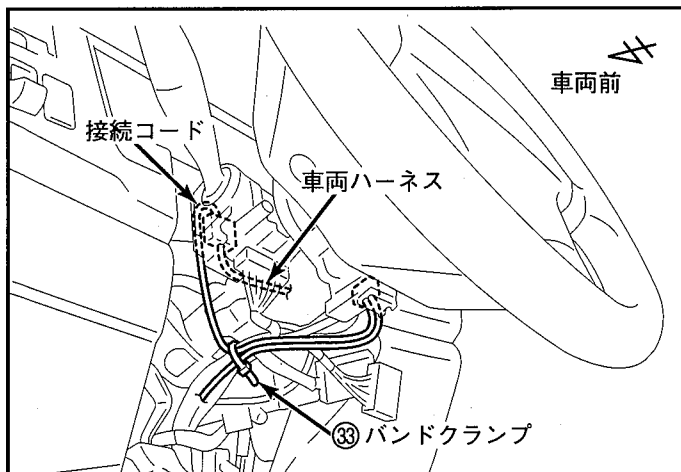




(7) 接続コードをテープで固定しながら配線する。

👉 アドバイス

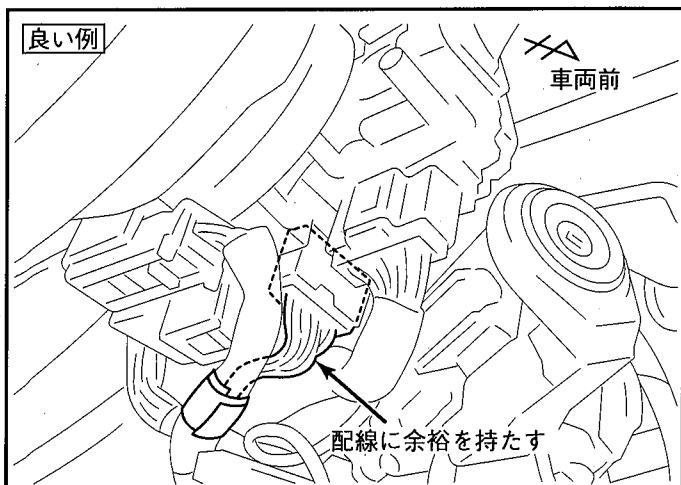
- ・ 接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・ 最初の固定場所がテープの場合は、1.5～2回転テープを巻き付けてください。



(8) 接続コードをバンドクランプ㊸で固定しながら配線する。

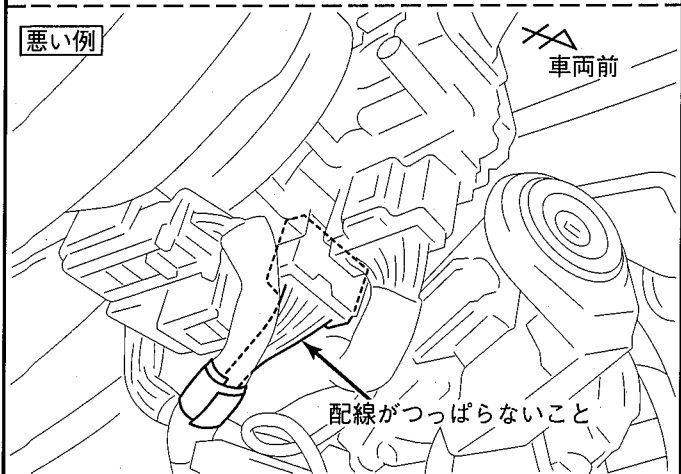
👉 アドバイス

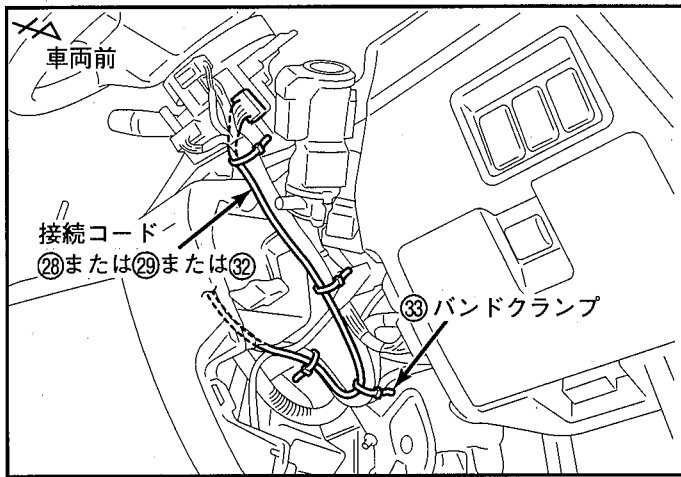
接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。



⚠️ 注意

左図の悪い例のように配線がつつばらないように、少し余裕を持たせてテープで固定してください。

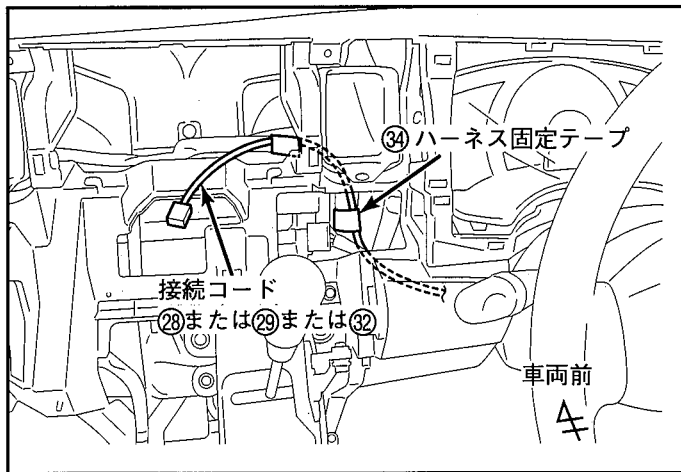




- (9) 接続コード(㉒または㉑または㉒)をバンドクランプ㉓で固定しながら配線する。

👉 アドバイス

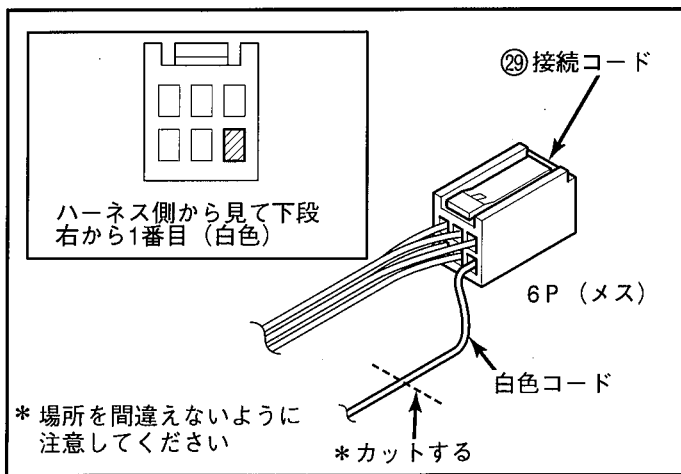
接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。



- (10) 接続コード(㉒または㉑または㉒)をハーネス固定テープ㉔で固定しながらオーディオ取り付け位置まで配線する。

👉 アドバイス

接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。



■ ハーネスキット08634-00140のトリガー信号を切断する場合

- (1) 接続コード㉑6P(メス)コネクタの白色コードをカットする。

⚠️ 注意

コードをカットする際は、他のコードに傷をつけないように注意してください。

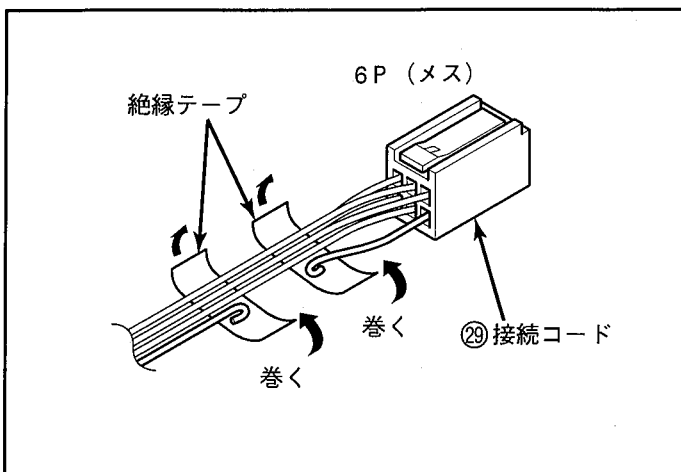
👉 アドバイス

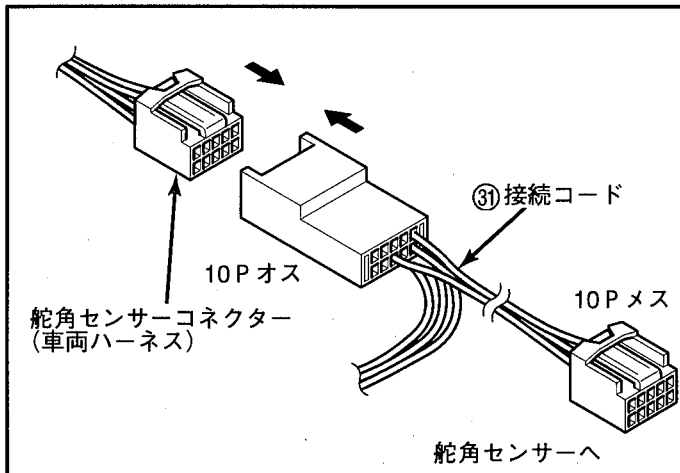
トリガー信号の切断については「車種別取付要領書」を参照してください。

- (2) カットした白色コードを接続コード㉑に、絶縁テープで固定する。

⚠️ 注意

切断したコード部分は、必ず絶縁処理を行ってください。

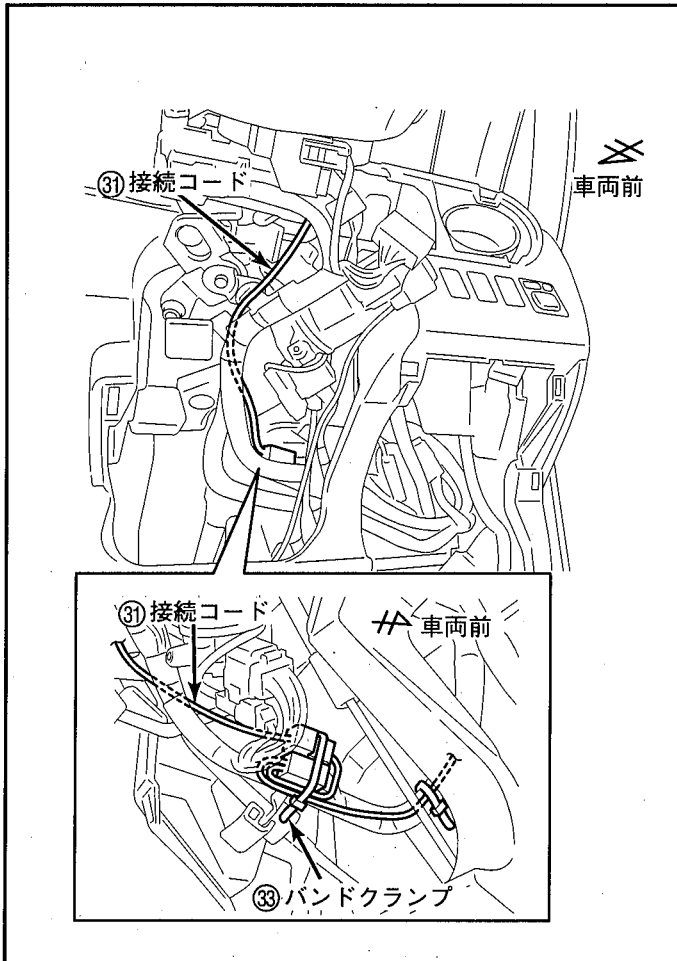




- ・ハーネスキット08634-00160の取付要領
- (11) 舵角センサーと車両ハーネスの間に接続コード③①を接続する。

アドバイス

接続コードの電源取り出し用コードは使用しません。



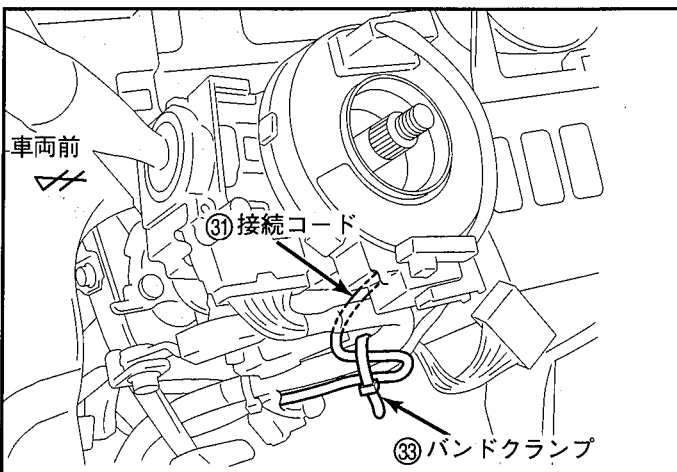
- (12) 接続コード③①をバンドクランプ③③で固定しながら配線する。

注意

- ・チルト機構、ワイパーレバーやテレスコなどの動作を妨げないように注意してください。
- ・接続コードは、つっぱると断線の可能性があり、膨らみすぎるとコラムカバーと干渉しますので、注意してください。
- ・接続コードがかみ込まないように注意して配線してください。

アドバイス

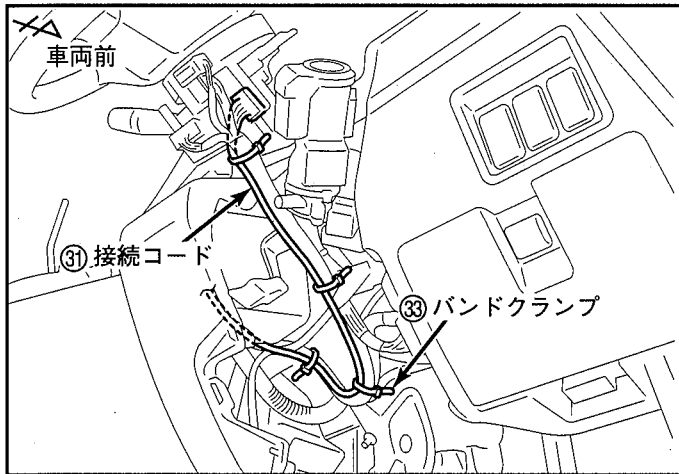
- ・接続コネクタの固定場所は車種により異なります。「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・接続コードは、車両ハーネスの内側を通し配線してください。
- ・接続コードの配線は、膨らみすぎないようにしてください。
- ・コラムカバーと干渉しないことを確認し、確実にコラムカバーを復元してください。



- (11) 接続コード③①をバンドクランプ③③で固定しながら配線する。

アドバイス

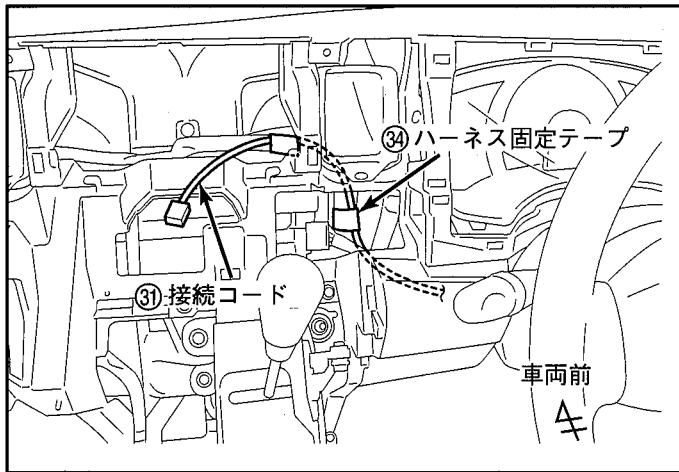
- ・接続コネクタの固定場所によりコードの余長がある場合は、バンドクランプで固定してください。
- ・接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。



- (14) 接続コード③①をバンドクランプ③③で固定しながら配線する。

👉 アドバイス

接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。



- (15) 接続コード③①をハーネス固定テープ③④で固定しながらオーディオ取り付け位置まで配線する。

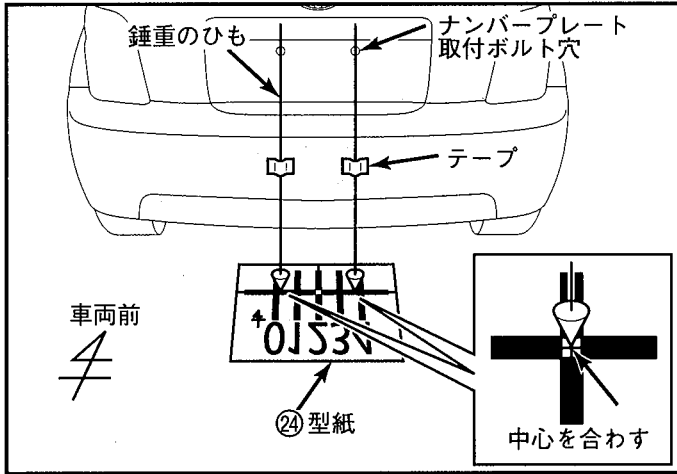
👉 アドバイス

接続コードの配線については「車種別取付要領書」を参照してください。

取付完了後

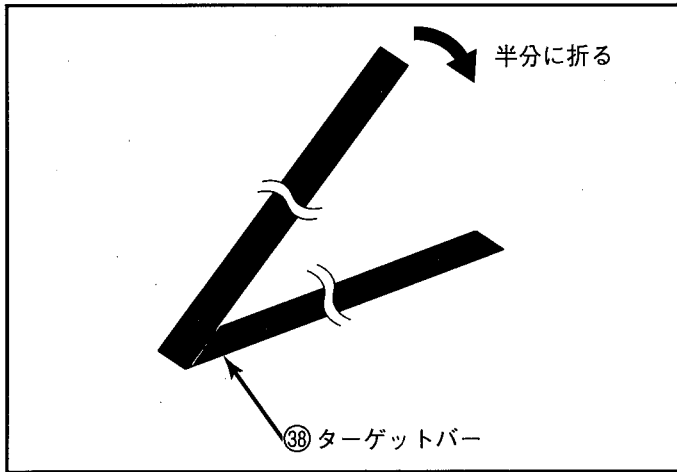
- ・イグニッションON位置でコンビネーションメーターのインジケータ類（エアバック、ABS、VSC、4WDなど）が異常点灯または不灯がないことを確認してください。
作業前とインジケータ類の点灯が同じであることを確認してください。
- ・ホーンが正常に吹鳴することを確認してください。

バックガイドモニター線調整方法

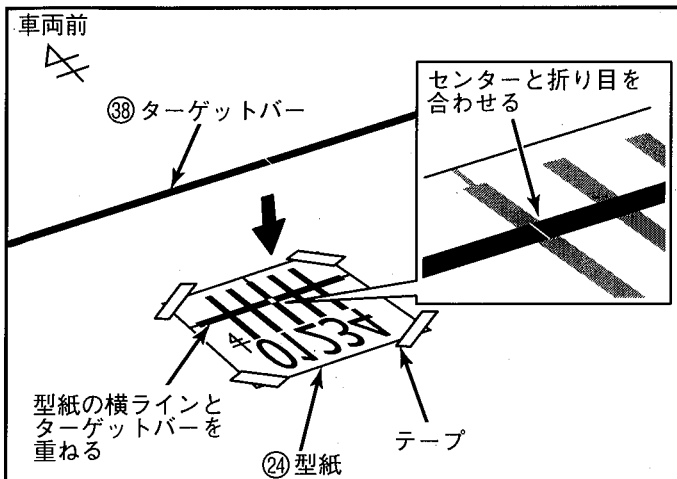


・ターゲットバー調整方法

- (1) 錘重のひもをナンバープレート取付ボルト穴の中心に合わせ、錘重の先端が地面に垂直に接する位置で、錘重のひもを車両ボデーに固定する。
- (2) 錘重の先端を型紙②④(端部)に合わせ。



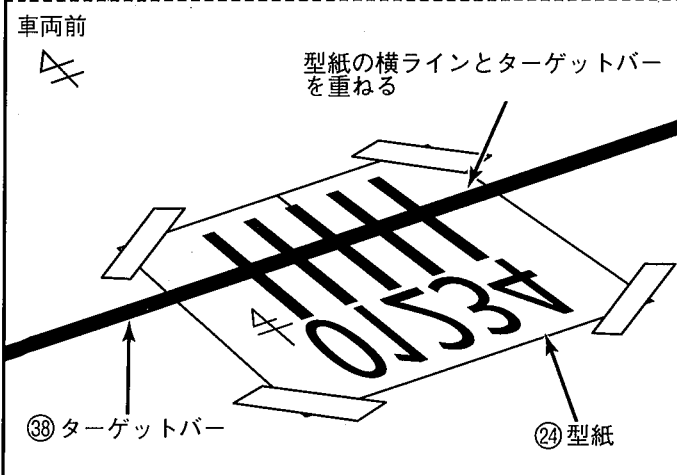
- (3) ターゲットバー③⑧を半分に折る。



- (4) 型紙②④をテープで固定する。
- (5) 型紙②④の横ラインとターゲットバー③⑧を重ねる。

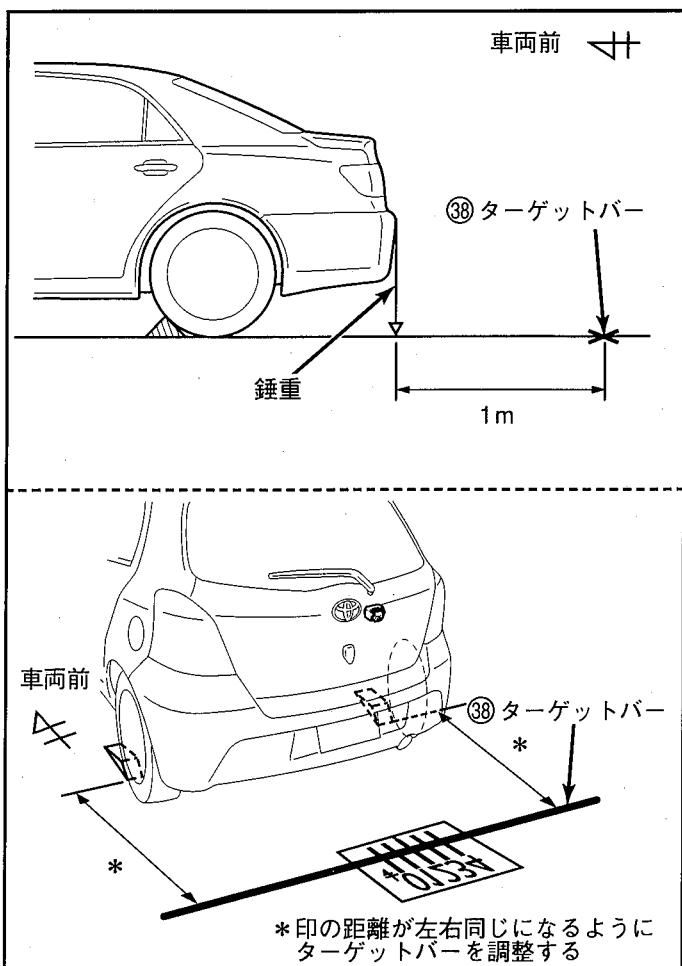
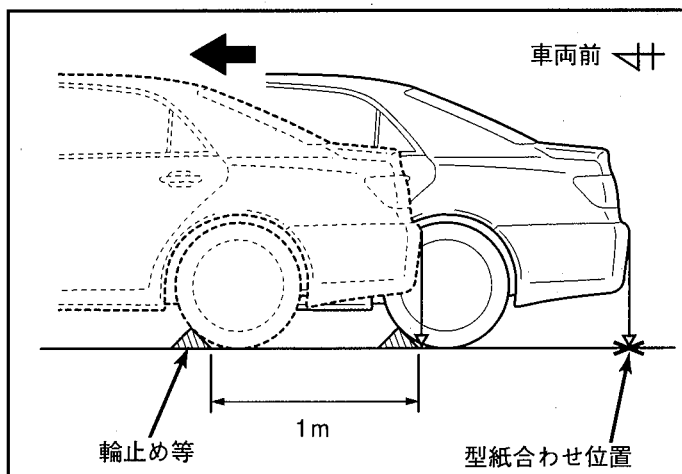
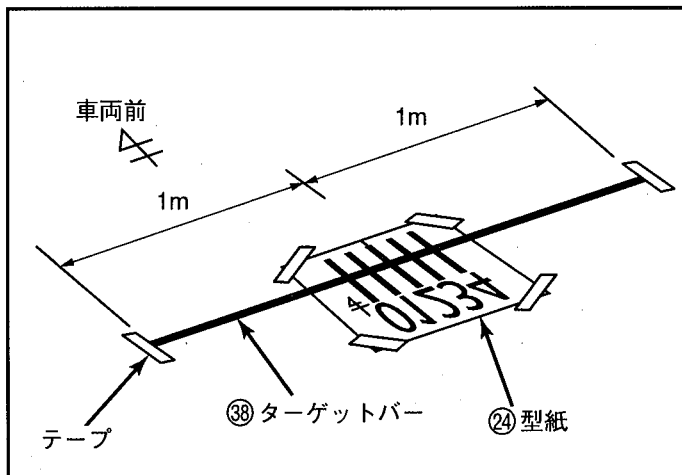
👉 アドバイス

ターゲットバー③⑧の折り目と型紙②④のセンターを合わせてください。



👉 アドバイス

型紙の横ラインとターゲットバーがきちんと重なっていることを確認してください。



(6) ターゲットバー⑳の両端をテープで固定する。

- (7) 車両後輪の前側に輪止め等を置く。
 (8) 輪止め等を置いた位置から、1m前方の位置に輪止め等を置く。
 (9) 車両を前方に移動し、輪止め等に車両後輪が当たるまで移動する。

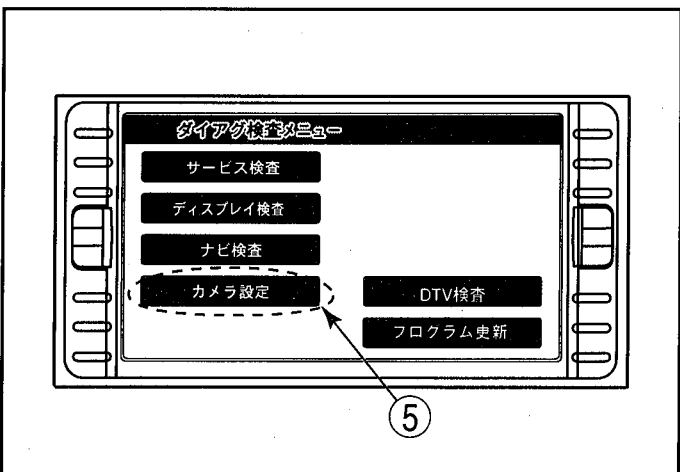
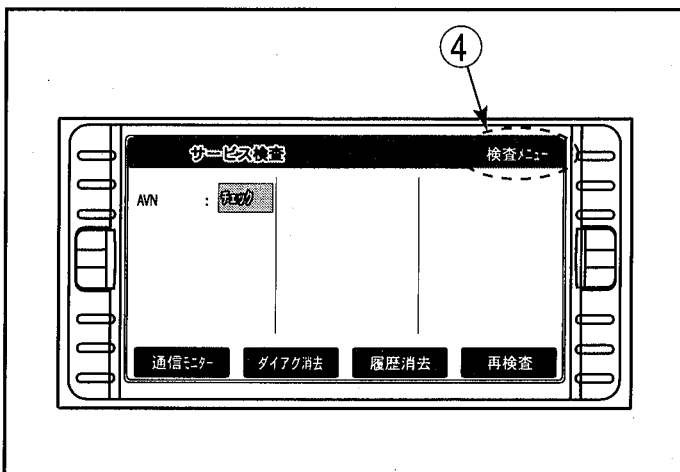
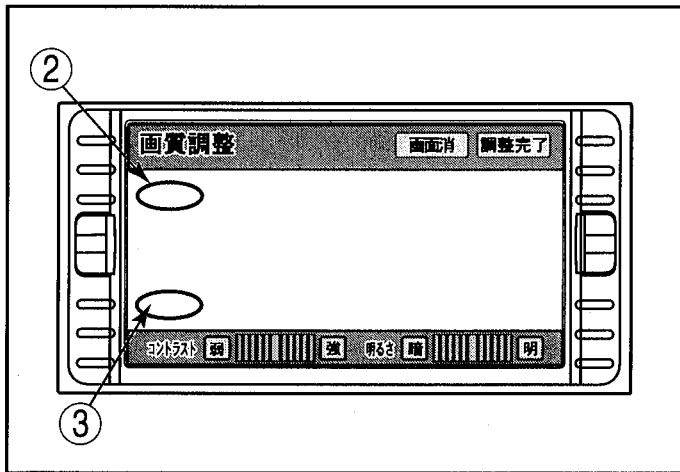
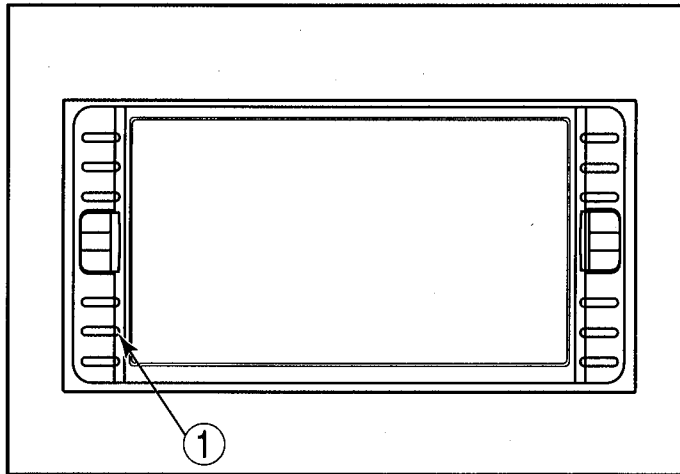
👉 アドバイス

ステアリングホイール位置、タイヤ角度が中立位置（ステアリングホイール直進状態）を目視で確認してから車両を移動させてください。

- (10) 車両後端部（錘重の先端部）からターゲットバー⑳までの距離が1mであることを確認する。
 (11) 輪止め等からターゲットバー⑳までの寸法を測定する。

👉 アドバイス

- ・ 輪止め等からターゲットバーまでの寸法が左右同じになるようにターゲットバーを調整してください。
- ・ 車両とターゲットバーを平行にするための作業なので、正確に作業を行ってください。
- ・ 車両とターゲットバーが平行でないと予想進路線が正しく表示されません。



・バックガイドモニター線調整方法

- (1) バッテリーにケーブルを接続し、エンジンを始動する。
- (2) 地図DISCをAVNに挿入する。

👉 アドバイス

HDDナビの場合は地図DISCはありません。

- (3) AVNの① (画質・消) ボタンを押し、「画質調整」画面を表示させる。

- (4) 「画質調整」画面の四隅の内、左上角②と左下角③を②→③→②→③→②→③の順にタッチし、「サービス検査」画面を表示させる。

- (5) 「サービス検査」画面の④ **検査メニュー** をタッチし、「ダイアグ検査メニュー」画面を表示させる。

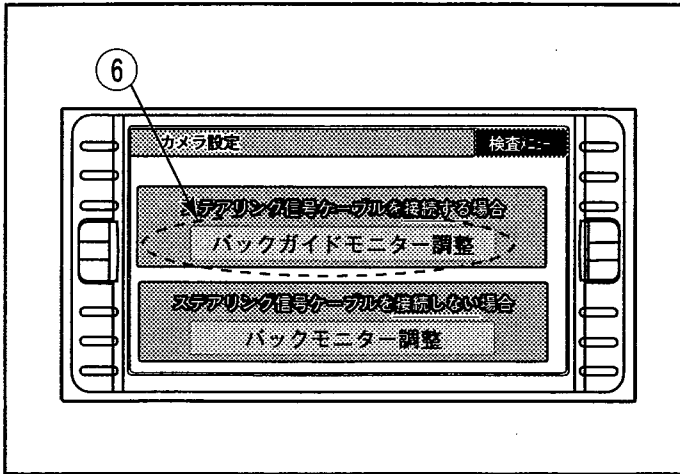
- (6) 「ダイアグ検査メニュー」画面の⑤ **カメラ設定** をタッチし、「カメラ設定」画面を表示させる。

⚠️ 注意

カメラがAVNに接続されていない場合は、⑤ **カメラ設定** はトーンダウンしています。カメラの接続を確認してください。

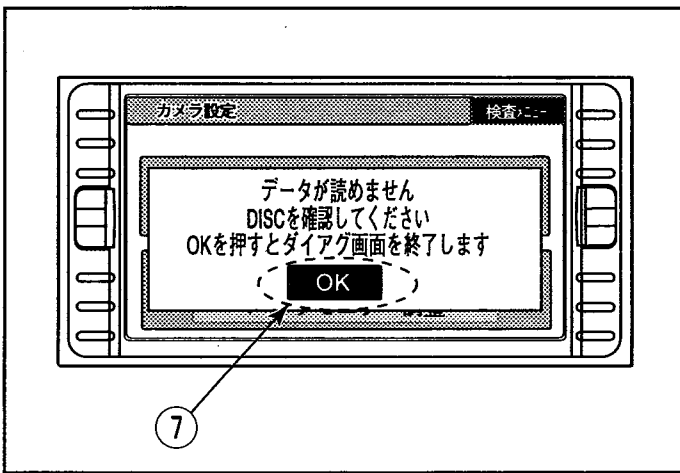
👉 アドバイス

「ダイアグ検査メニュー」画面は、機種により異なる場合があります。指定項目 **カメラ設定** を選んでタッチしてください。



(7) 「カメラ設定」画面の

⑥ **バックガイドモニター調整** をタッチし、「車両データ確認 (バックガイドモニター) 画面を表示させる。

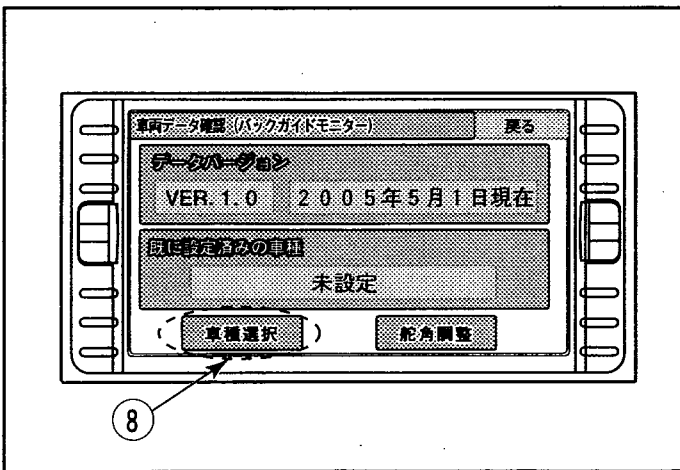


■データが読めなかった場合

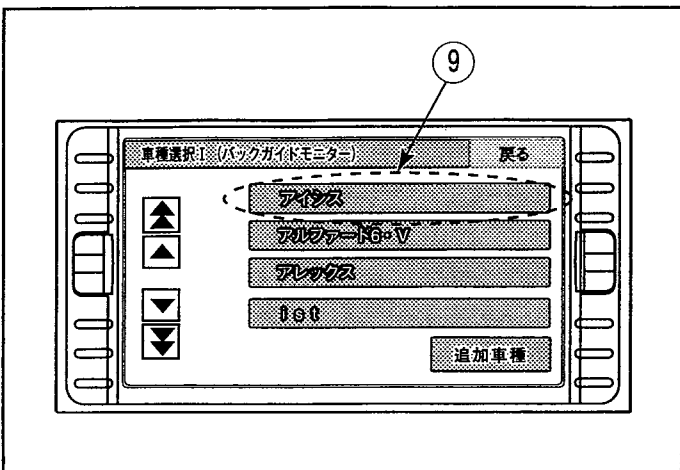
(8) 「カメラ設定」画面の⑦ **OK** をタッチし、ダイアグ画面を終了する。

👉アドバイス

- ・AVN内に入っているDISCを取り出し、再度正しいDISCを挿入し、始めからやり直してください。
- ・HDDナビの場合はDISCはありません。



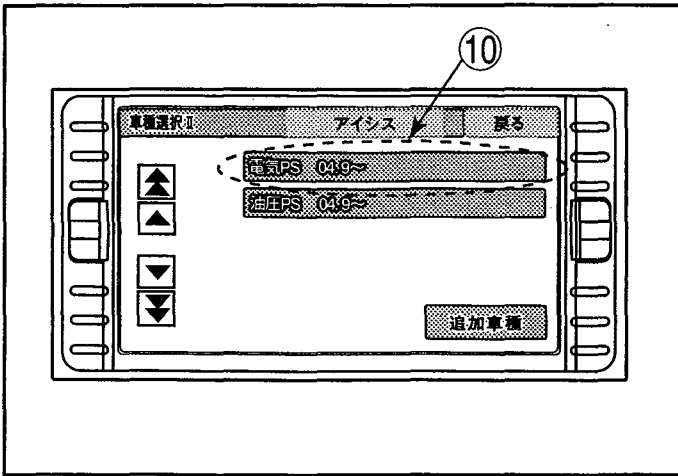
(9) 「車両データ確認 (バックガイドモニター) 画面の⑧ **車種選択** をタッチし、車種選択 I (バックガイドモニター) 画面を表示させる。



(10) 「車種選択 I (バックガイドモニター)」画面の⑨ (例 **アインス**) をタッチし、「車種選択 II」画面を表示させる。

👉アドバイス

- ・「車種選択 I (バックガイドモニター)」画面での車種選択は、搭載する車両を選んでください。
- ・該当する車種がない場合は P 632 からの「車両選択」画面に車種または車両タイプがない場合の要領を参照してください。



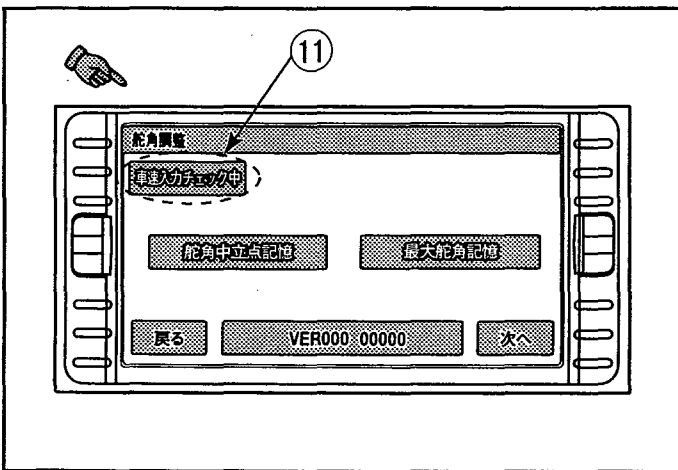
(11) 「車種選択II」画面の該当するタイプ
⑩(例 **電気PS 04.9~**) をタッチし、
「舵角調整」画面を表示させる。

△注意

⑩(例 **電気PS 04.9~**) をタッチしても
「舵角調整」画面が表示されない場合は、
舵角センサーの異常が考えられるため、
舵角センサーハーネスの接続を確認して
ください。

👉アドバイス

- ・該当するタイプは車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・該当する車種がない場合はP 632からの「車両選択」画面に車種または車両タイプがない場合の要領を参照してください。



(12) 「舵角調整」画面の⑪ **車速入力チェック中**
が赤表示の場合は、⑪ **車速入力チェック中**
をタッチし、オレンジ表示にする。

👉アドバイス

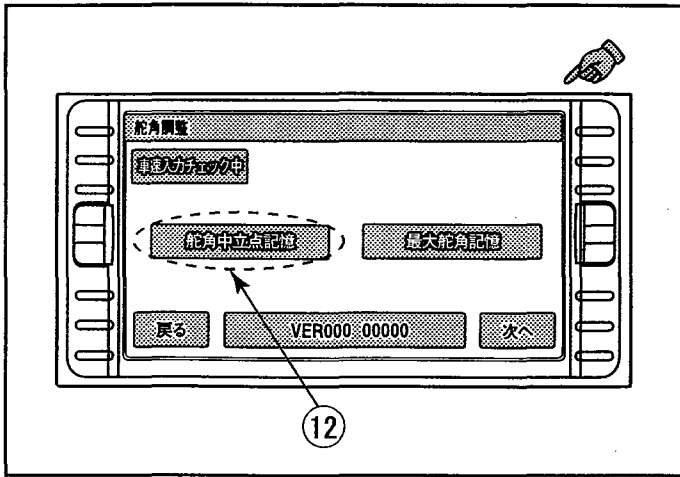
「舵角調整」画面で車速を入力するかず
でに車速が検知されていれば

車速入力チェック中 が **車速入力O.K.**

となっています。

その場合、**車速入力O.K.** をタッチし

車速入力チェック中 のオレンジ表示にして次
設定を行ってください。

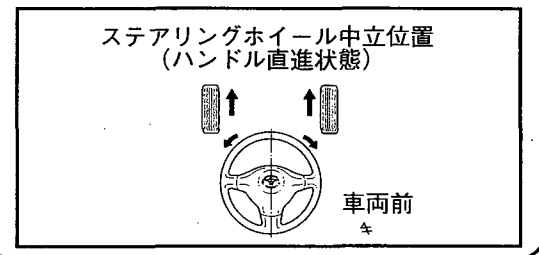


- (13) ステアリングホイール位置を中立位置（ハンドル直進状態）にしてから、「舵角調整」画面の⑫ **舵角中立点記憶** をタッチする。

△注意

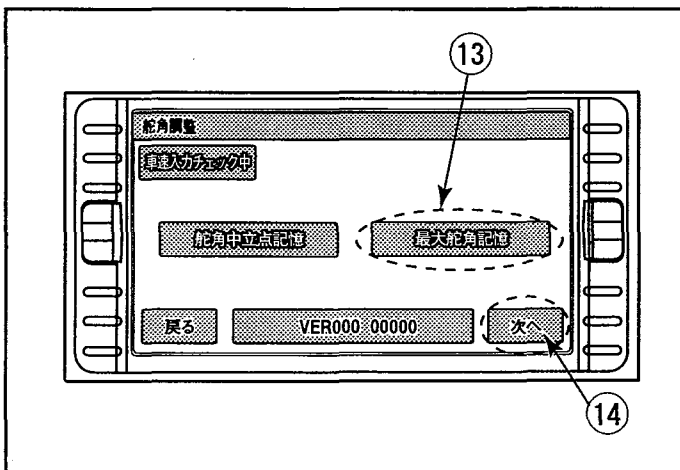
ステアリングホイール位置が中立位置でない状態で⑫ **舵角中立点記憶** をタッチすると、次の作業で記憶される最大舵角値が左右で異なる値となり、進路線が正しく表示されないので、必ずステアリングホイール位置が中立位置で

- ⑫ **舵角中立点記憶** をタッチしてください。



👉アドバイス

ステアリングホイール位置、タイヤ角度を目視で確認してから作業を行ってください。



- (14) ステアリングホイールを左に据え切りまで回す。
 (15) ステアリングホイールを右に据え切りまで回す。
 (16) ステアリングホイールを中立位置に戻す。

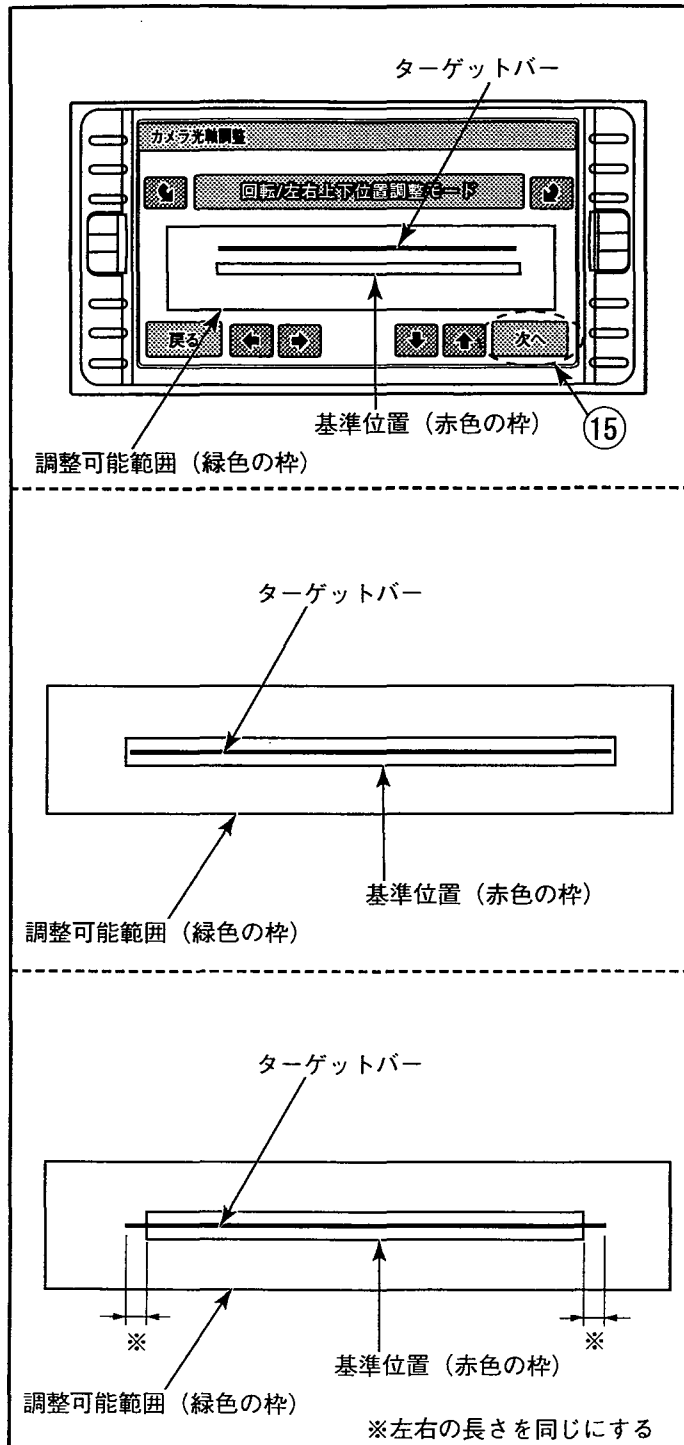
👉アドバイス

ステアリングホイールを回す方向は（右回り、左回り）どちらを先に回しても問題ありません。

- (17) 「舵角調整」画面の⑬ **最大舵角記憶** をタッチし、「カメラ光軸調整」画面を表示させる。

👉アドバイス

設定値が既に記憶されている場合は⑭ **次へ** をタッチし、「カメラ光軸調整」画面を表示させることができます。



- (18) 「カメラ光軸調整」画面の調整可能範囲 (緑色の枠) にターゲットバーが入っていることを確認する。

👉 アドバイス

調整可能範囲外 (緑色の枠外) にターゲットバーがある場合は、カメラの角度、もしくは車種選択が間違っている可能性があります。もう一度始めからやり直してください。

- (19) 「カメラ光軸調整」画面の矢印キー (👇、👆、👉、👈、👏、👎) を操作し、基準位置 (赤色の枠) の中央にターゲットバーが納まるように合わせる。

- (20) 「カメラ光軸調整」画面の⑮ **次へ** をタッチし「確認画面」を表示させる。

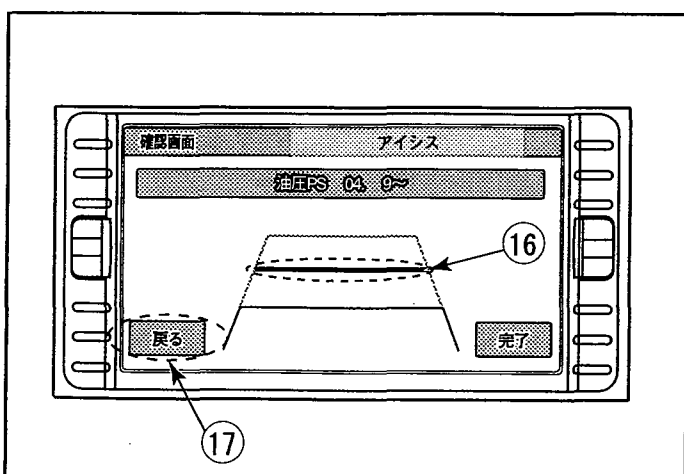
👉 アドバイス

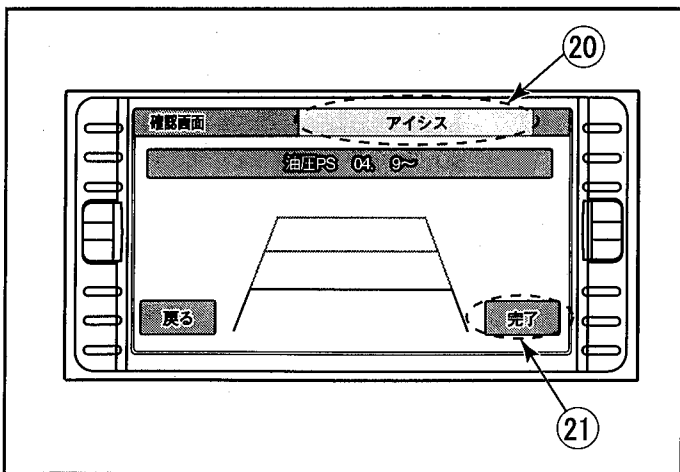
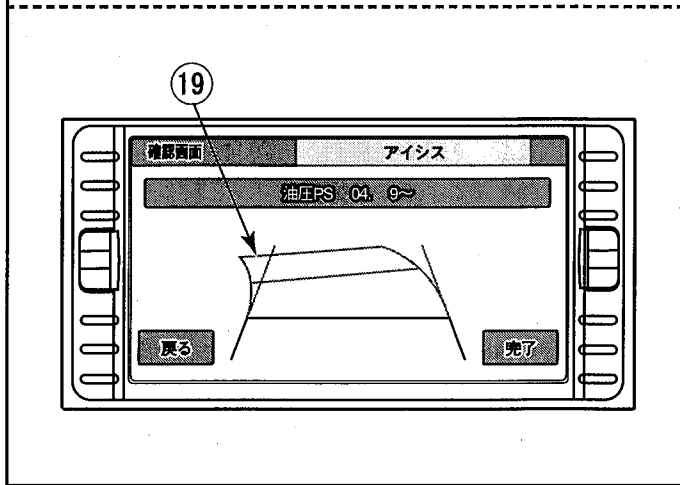
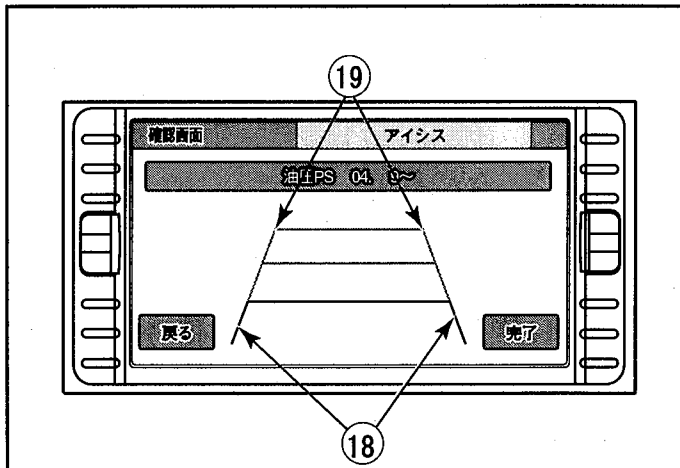
基準位置 (赤色の枠) の幅がターゲットバーより短い場合は、ターゲットバーのはみ出し部分が左右共に同じ長さになるように調整してください。

- (21) 「確認画面」の⑯ (後方1mライン) がターゲットバーと重なっていることを確認する。

⚠ 注意

ターゲットバーと⑯ (後方1mライン) が重なっていない場合は、[進路線が正しく表示されない。] [駐車ガイドが正しく表示されない。] などの不具合が occurs。この場合は、⑰ **戻る** をタッチし、ターゲットバーの再調整を行ってください。





- (22) ステアリングホイール位置が中立位置（ステアリングホイール直進状態）で⑱『車幅延長線（緑色）』と⑲『進路線（黄色）』が重なっていることを確認する。

⚠注意

車幅延長線（緑色）が見えている場合は、ステアリングホイールの中心位置（舵角中立点記憶）が合っていません。もう一度、舵角中立点記憶の作業（13）～（17）をやり直してください。

👉アドバイス

ステアリングホイールを左右に回すと⑲『進路線（黄色）』も動くことを確認してください。

- (23) 「確認画面」の⑳（表示された車種と車両タイプ）が、実際の車両と合っているかを確認する。

- (24) 「確認画面」の㉑『完了』をタッチし、ダイアグ検査メニュー画面に戻り、AVNの①（画質消）ボタンを長押しし、終了する。

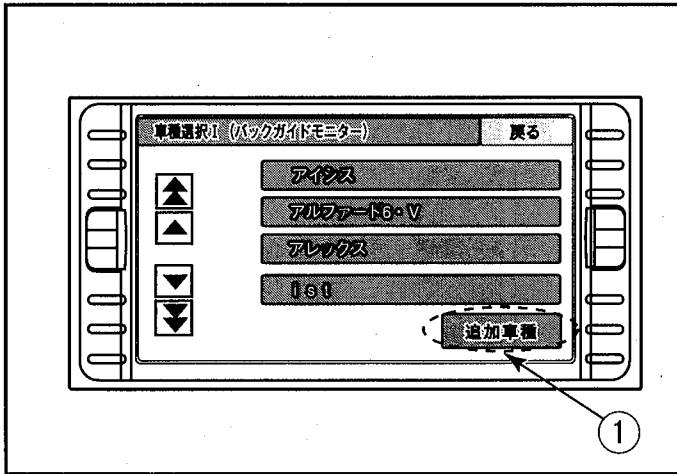
⚠注意

設定完了後、1分以内に下記の作業を行うと設定値が記憶されない場合があるため再調整が必要です。

- ・AVN背面の電源コネクタを外す。
- ・バッテリー端子を外す。

👉アドバイス

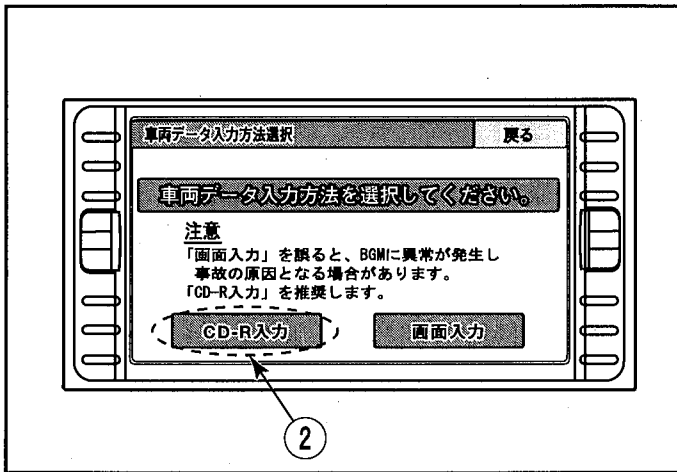
設定完了後、実際に縦列駐車と並列駐車（左右行う）を行ってください。画面と音声案内通りに縦列駐車が行えて、進路線通りに並列駐車が行えることを確認してください。



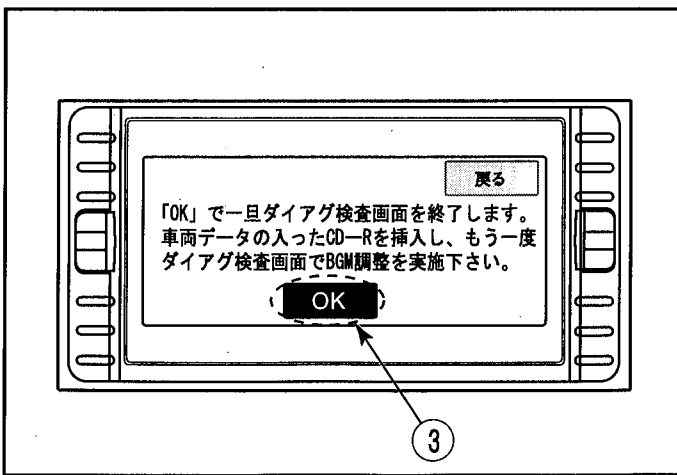
- 「車種選択」画面に車種または車両タイプがない場合
- (1) 「車種選択」画面の①「追加車種」をタッチし、「車両入力方法選択」画面を表示させる。

👉 アドバイス

左図のイラストは「車種選択I」の画面ですが、「車種選択II」画面の場合も同様に作業を行ってください。



- ・ 「CD-R入力」を選択した場合
- (1) 「車両入力方法選択」画面の②「CD-R入力」をタッチする。



- (2) ③「OK」をタッチしダイアグ検査メニューを終了し、オーディオ画面またはナビ画面を表示させる。
- (3) 車両データが格納されているCD-Rを挿入する。

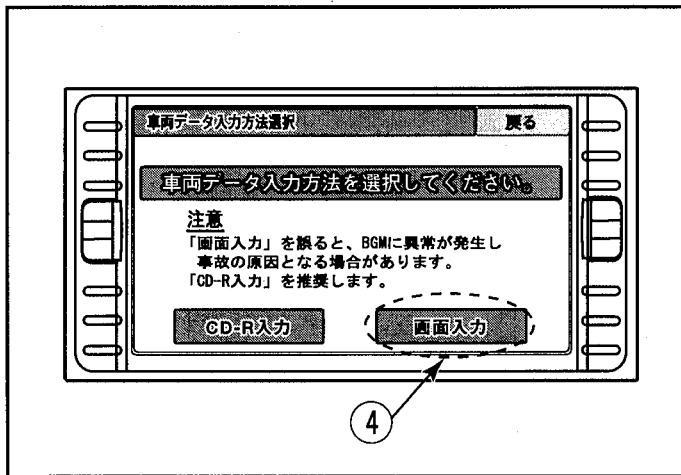
👉 アドバイス

HDDナビの場合は、「DVD」の場所にCD-Rを挿入し、DVDナビの場合は、地図ディスクを取り出した後に、「DVD」の場所にCD-Rを挿入してください。

- (4) AVNにCD-Rを挿入したまま、ダイアグ検査画面を表示させる。

👉 アドバイス

- ・ ダイアグ検査画面の表示方法はP 626を参照してください。
- ・ 再度P.626からの要領を参照し、車種選択→舵角調整→カメラ光軸調整を行ってください。

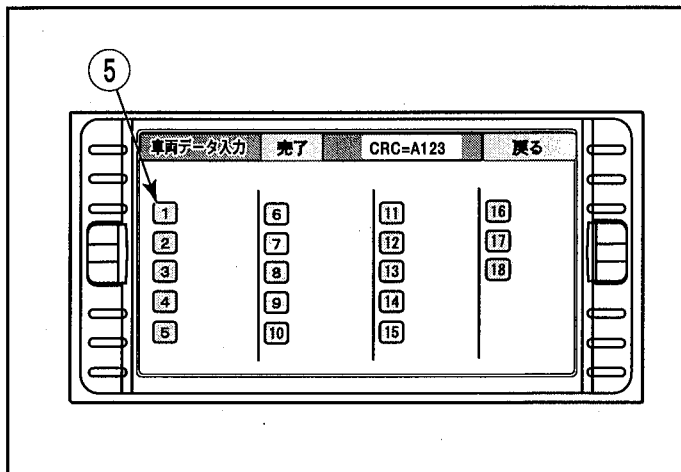


- ・「画面入力」を選択した場合
- (1) 「車両データ入力方法選択」画面の④「画面入力」をタッチし、「車両データ入力」画面を表示させる。

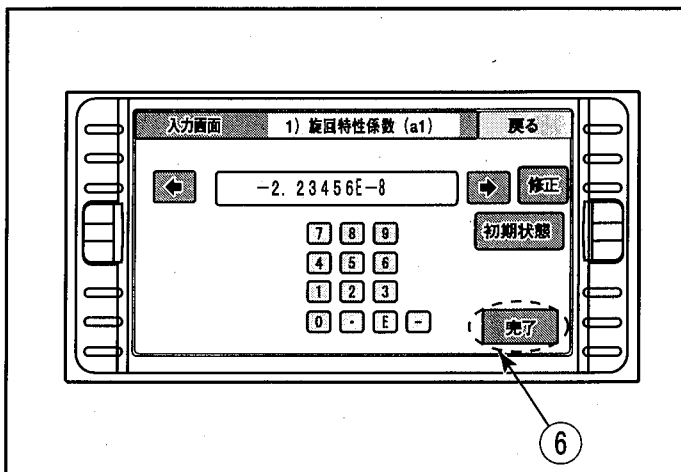
⚠注意

「画面入力」は手入力のため入力を誤ると、バックガイドモニターに異常が発生し事故の原因になる可能性があります。

「CD-R入力」を推奨します。



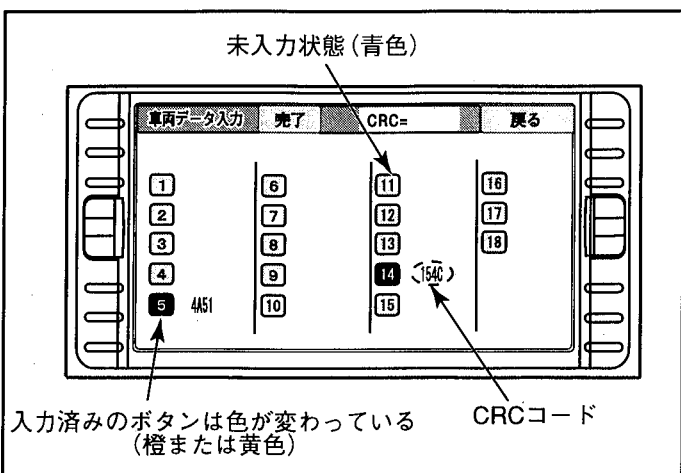
- (2) 「車両データ入力」画面の⑤「1」をタッチし、「入力画面」を表示する。



- (3) 入力キーを押して設定値を入力する。
- (4) ⑥「完了」をタッチし、「車両データ入力」画面を表示させる。
- (5) すべての項目に設定値を入力する。

👉アドバイス

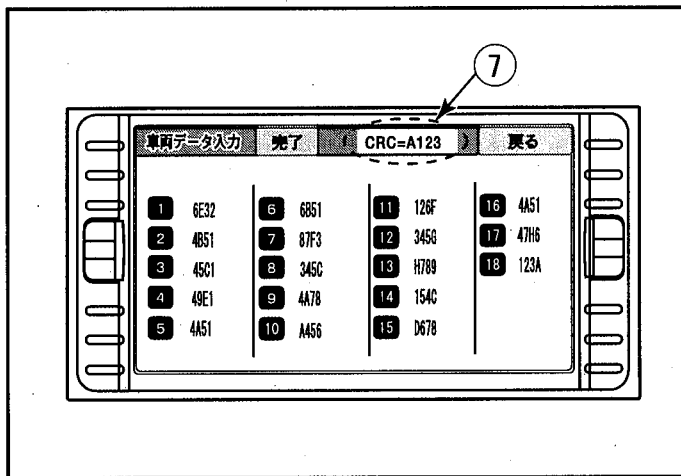
- ・設定値は車種により異なります。「車種別編取付要領書」を参照してください。
- ・「1」項目と同様に「2」～「18」項目も設定値を入力してください。



- (6) 設定値を入力済みボタンの色が変わり、CRCコード（4桁コード）が表示されていることを確認してください。

👉アドバイス

車種によりCRCコードは異なります。「車種別編取付要領書」を参照してください。



(7) 全ての項目に設定コードを入力し、全てのボタン(①～⑱)の色が橙または黄色に変わっていることを確認してください。

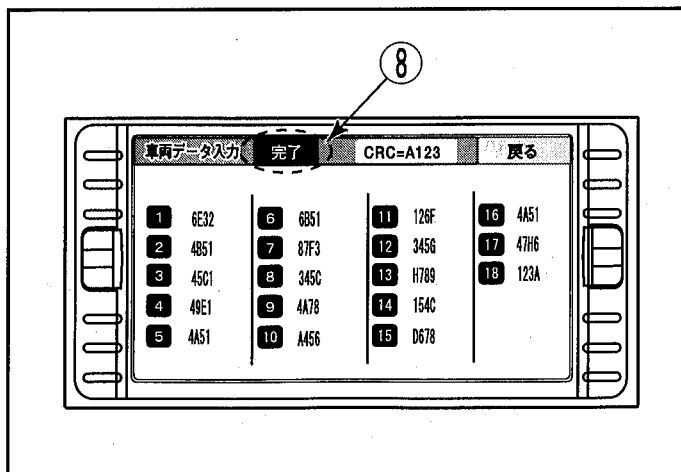
(8) ⑦(全項目確認CRCコード)にCRCコードが「車種別編取付要領書」の全項目確認CRCコードと合っていることを表示されていることを確認してください。

▲注意

CRCコードに間違いがあると、バックガイドモニターに異常が発生し事故の原因となります。必ずCRCコードに間違いがないかチェックしてください。

👉アドバイス

車種によりCRCコードは異なります。「車種別編取付要領書」を参照して、全19箇所(⑦及び①～⑱)のCRCコードをチェックしてください。



■全項目CRCコードが合っている場合

(1) ⑧「完了」をタッチし、「舵角調整」画面を表示させる。

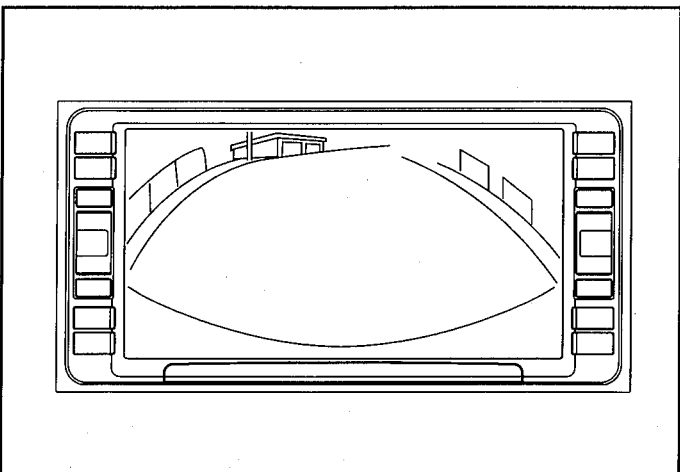
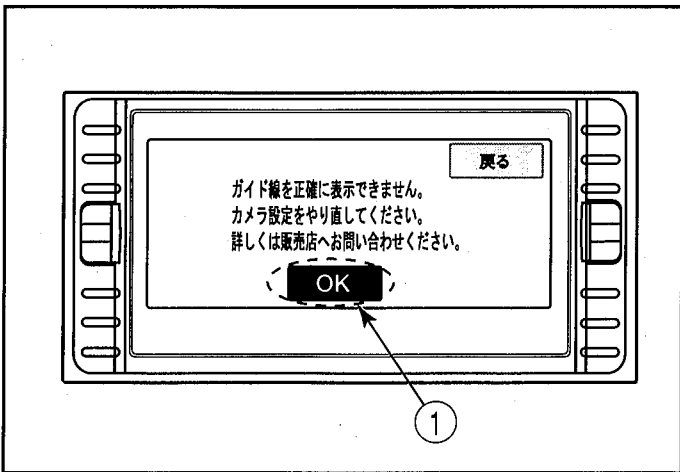
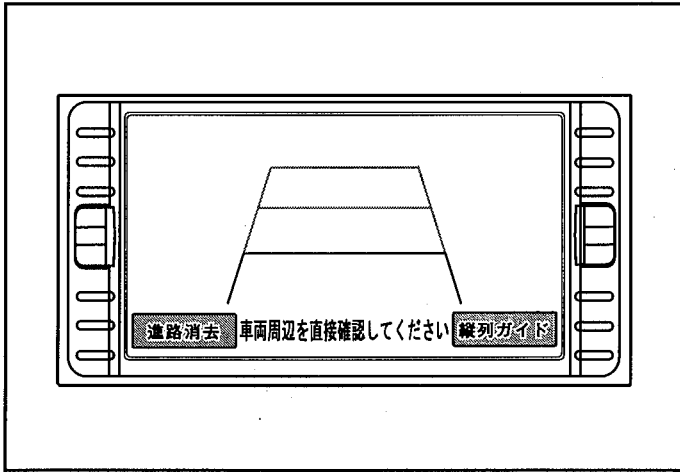
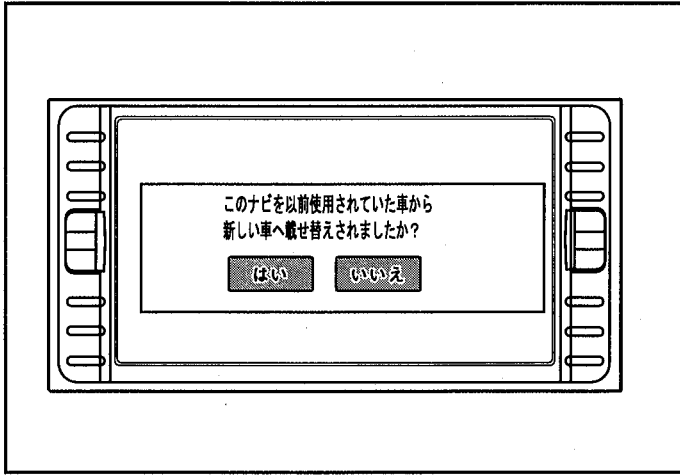
👉アドバイス

- ・「舵角調整」画面はP 628を参照してください。
- ・舵角調整はP 628の(12)から行ってください。

■全項目CRCコードが間違っている場合

(1) 個別項目CRCコード(①～⑱)のどれかが間違っている為、「車種別編取付要領書」の個別項目CRCコードと合っているか確認する。

(2) 個別項目CRCコード(①～⑱)の間違った項目について再入力する。



■ バッテリー⊖ターミナルを外した場合

- (1) 既にバックガイドモニターの設定が完了している状態で、一度バッテリー⊖ターミナルを外し、再度バッテリー⊖ターミナルを接続し、リバースをONにすると左図の様なメッセージが表示されます。

・ 「いいえ」を選んだ場合

- (2) 通常のバックガイドモニターの画面を表示します。

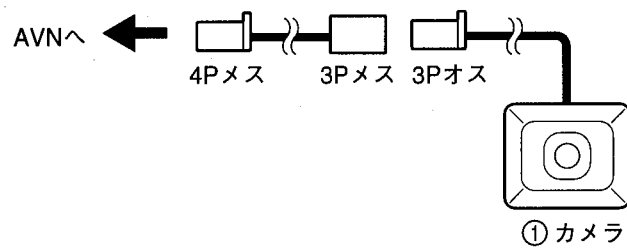
・ 「はい」を選んだ場合

- (3) ① **OK** をタッチして「後方映像」の画面を表示させる。
 (4) ガイド線を正確に表示させるために、車種・車両タイプに対応したデータを再設定してください。

👉 アドバイス

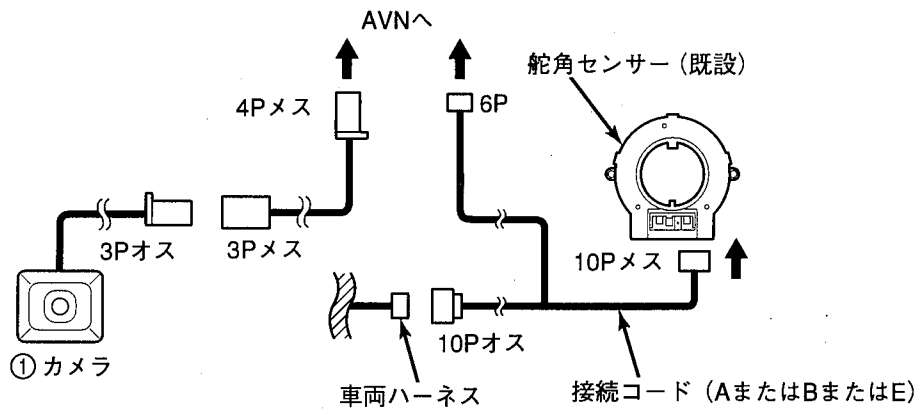
再度リバースをONにしてもガイド線は表示されません。

バックモニター結線方法

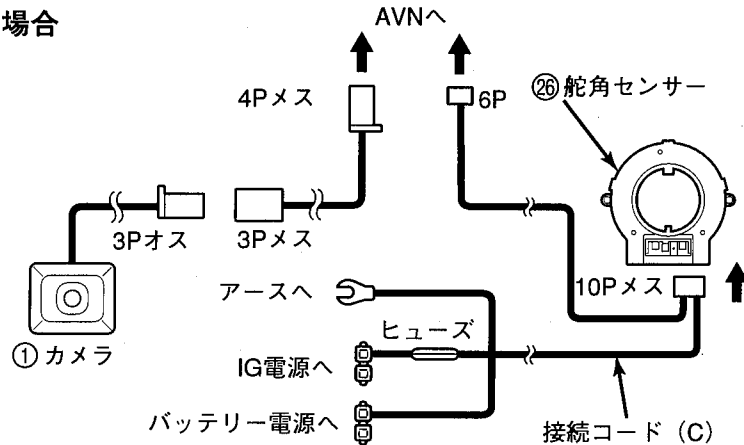


バックガイドモニター結線方法

■08634-00130、08634-00140、08634-00180の場合

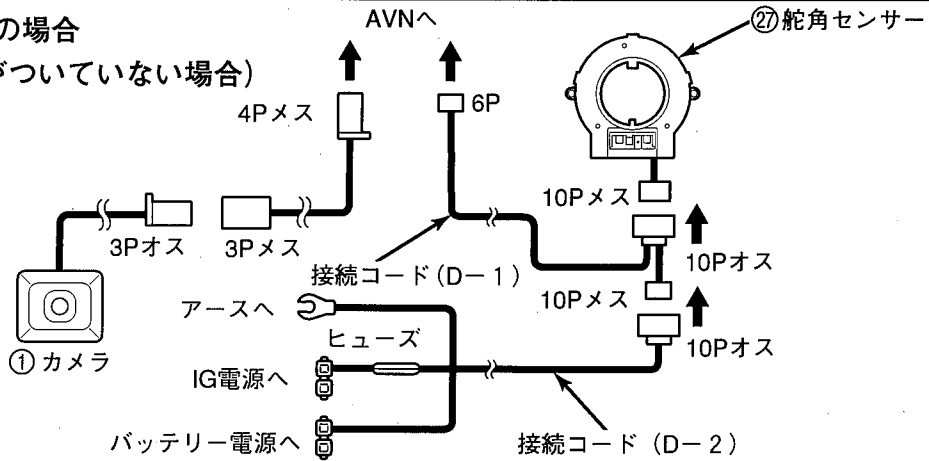


■08634-00150の場合



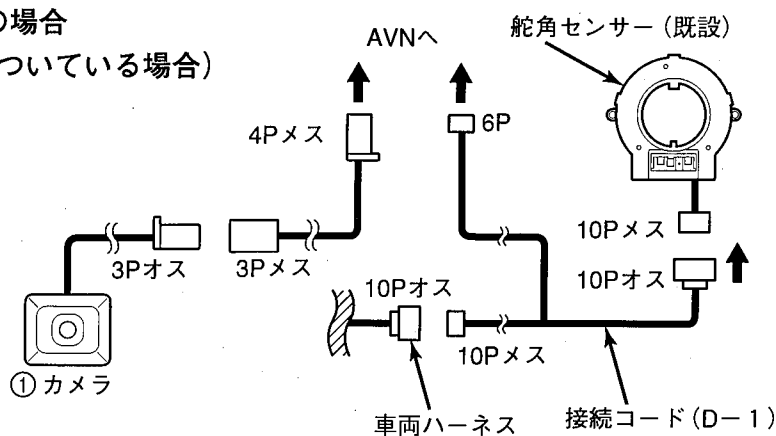
■08634-00160の場合

(舵角センサーがついていない場合)

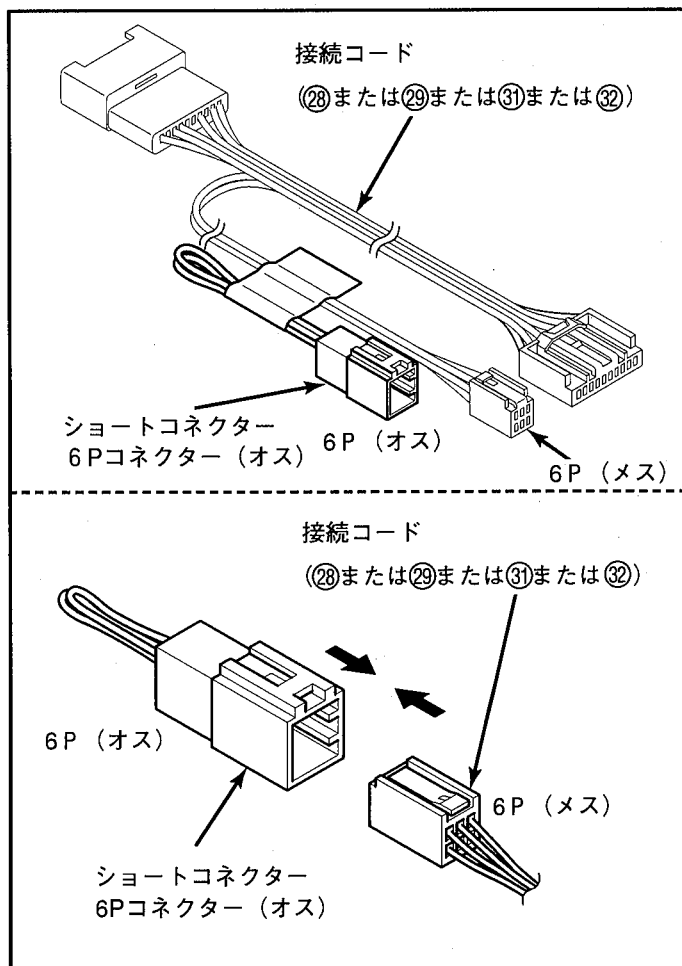


■08634-00160の場合

(舵角センサーがついている場合)



⚠ 注意



■修理等でAVNを取り外した状態で走行する場合

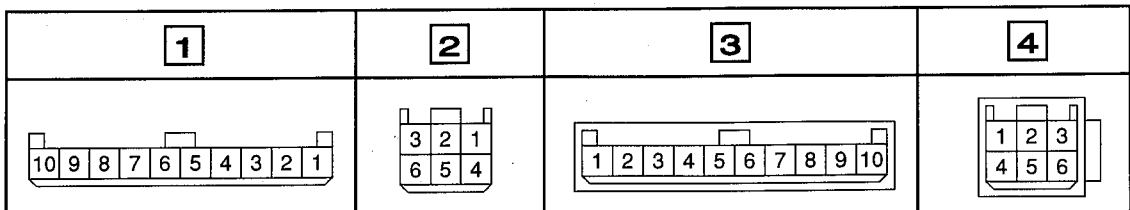
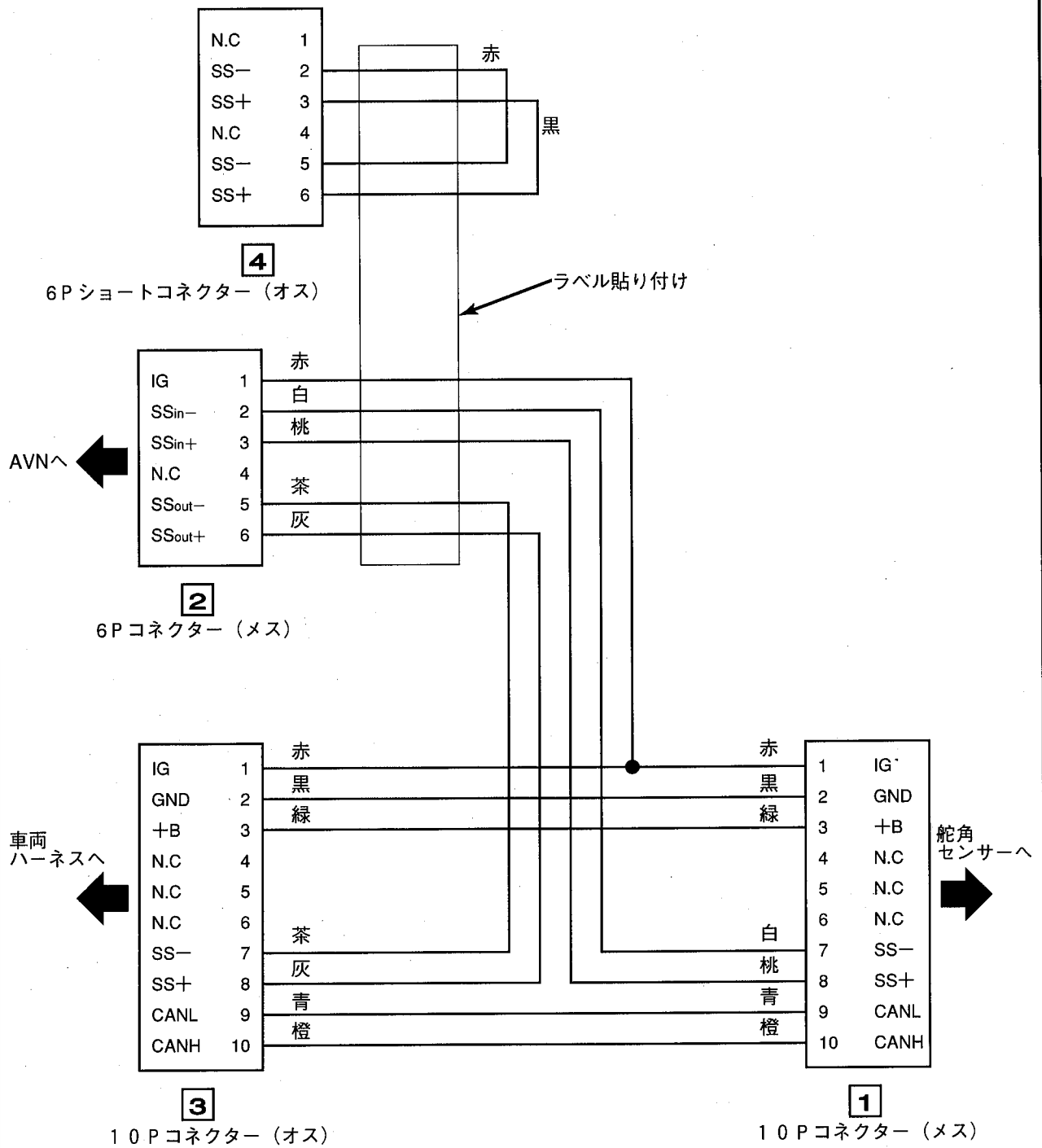
- (1) 接続コード(⑳または㉑または㉒または㉓)にテープで固定されているショートコネクタ(6Pオス)を取り外す。
- (2) AVNから取り外した、接続コード(⑳または㉑または㉒または㉓)の6Pコネクタ(メス)にショートコネクタを接続する。

⚠ 注意

AVNを取り外した状態で走行する場合はAVNから取り外した6Pコネクタ(メス)に、必ず6Pショートコネクタ(オス)を接続してください。ショートコネクタを接続しないと車両側電子機器等が正常に動作しない恐れがあります。

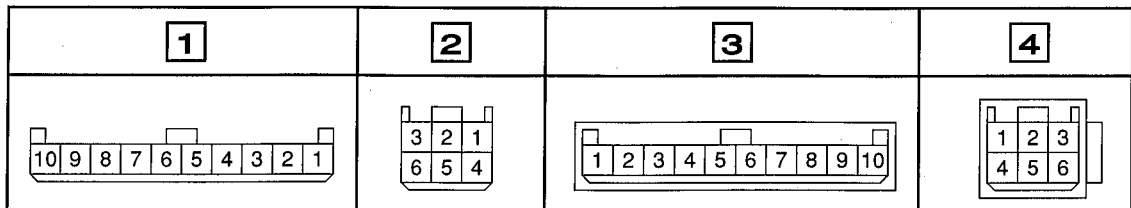
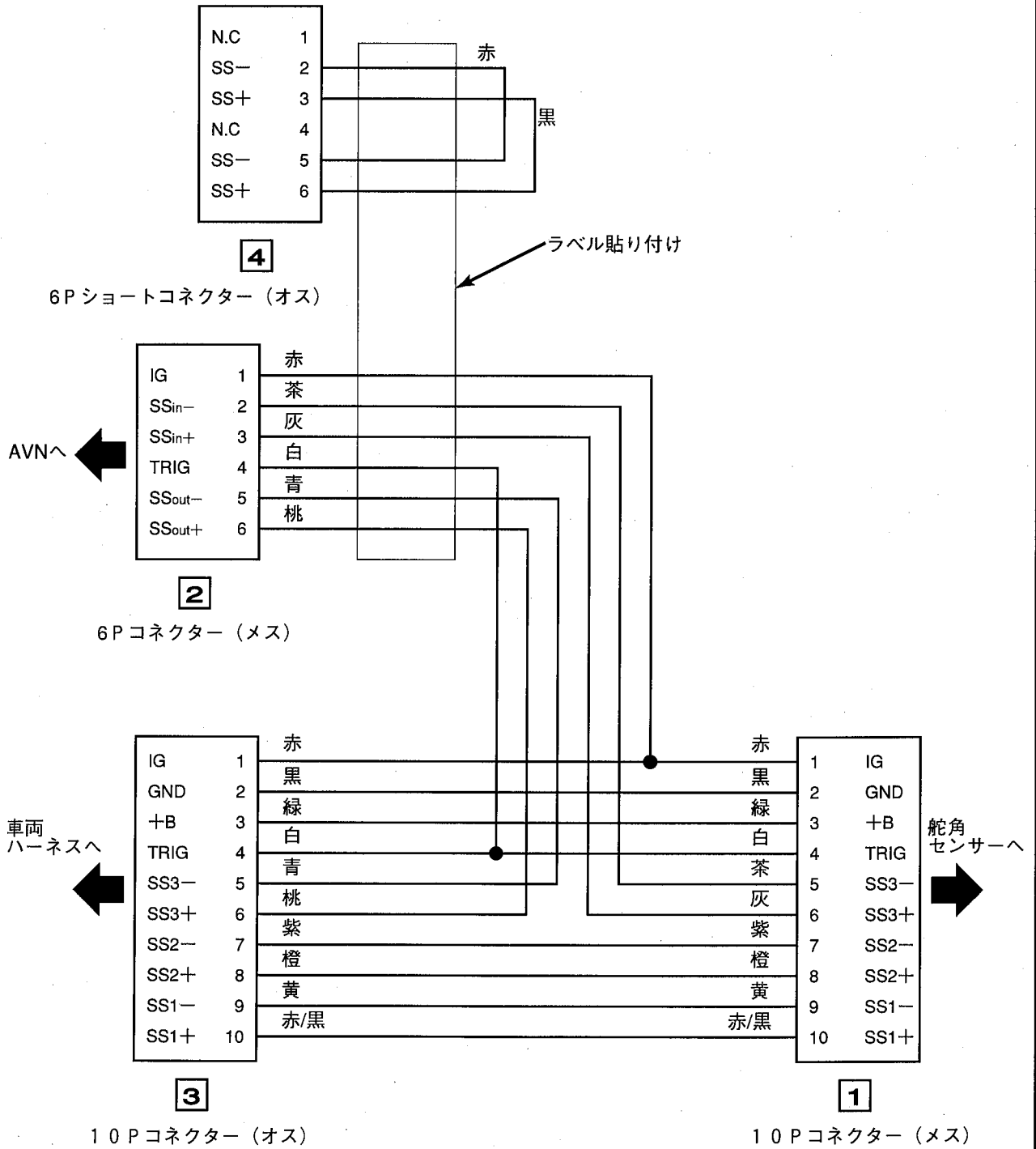
バックガイドモニターのシステム図

08634-00130の場合



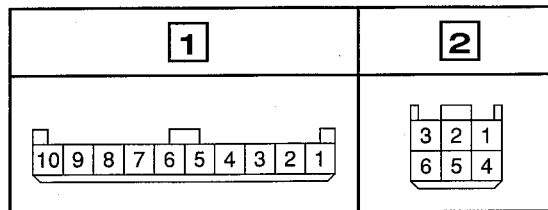
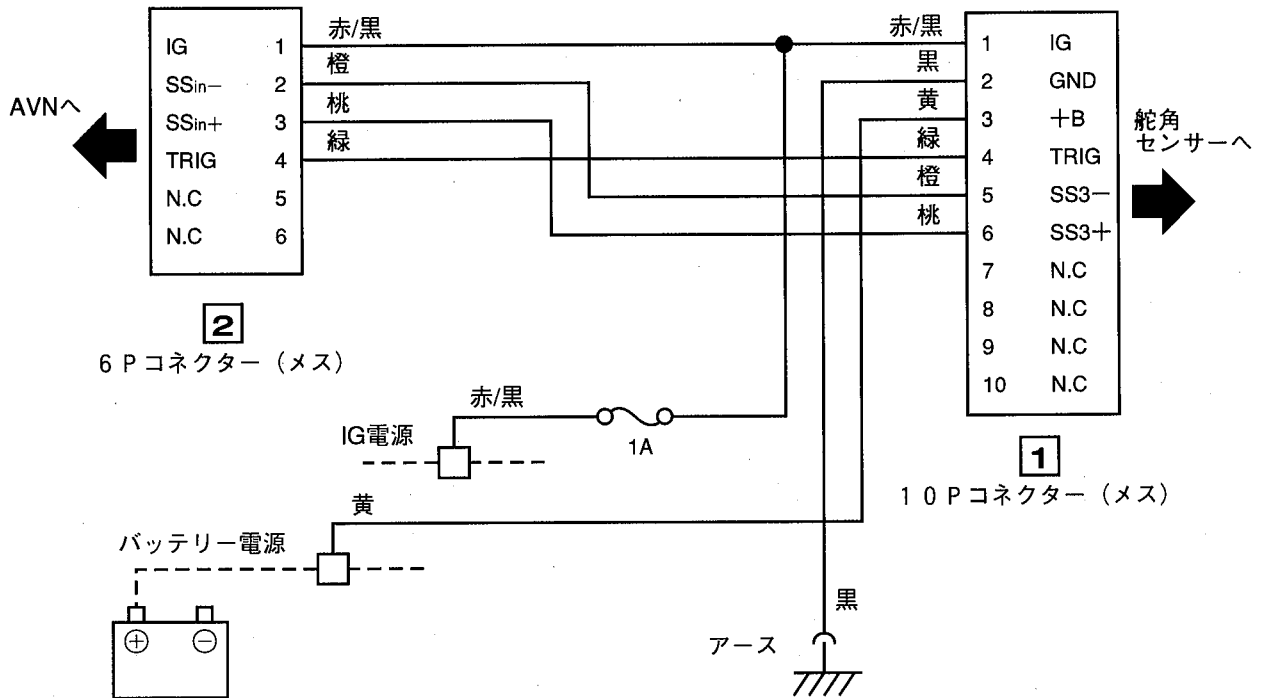
※図はハーネス側から見た図です。

■ 08634-00140の場合

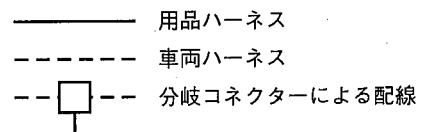


※図はハーネス側から見た図です。

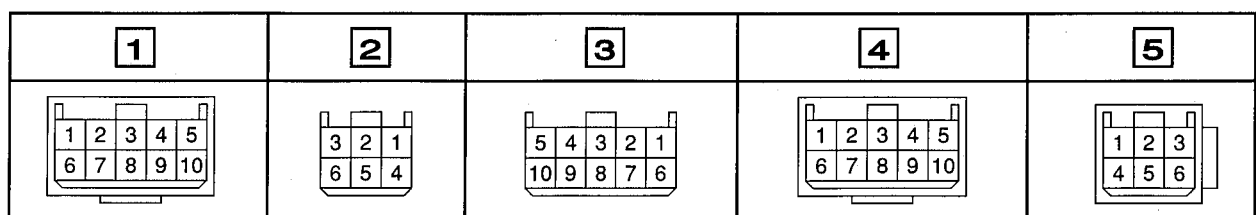
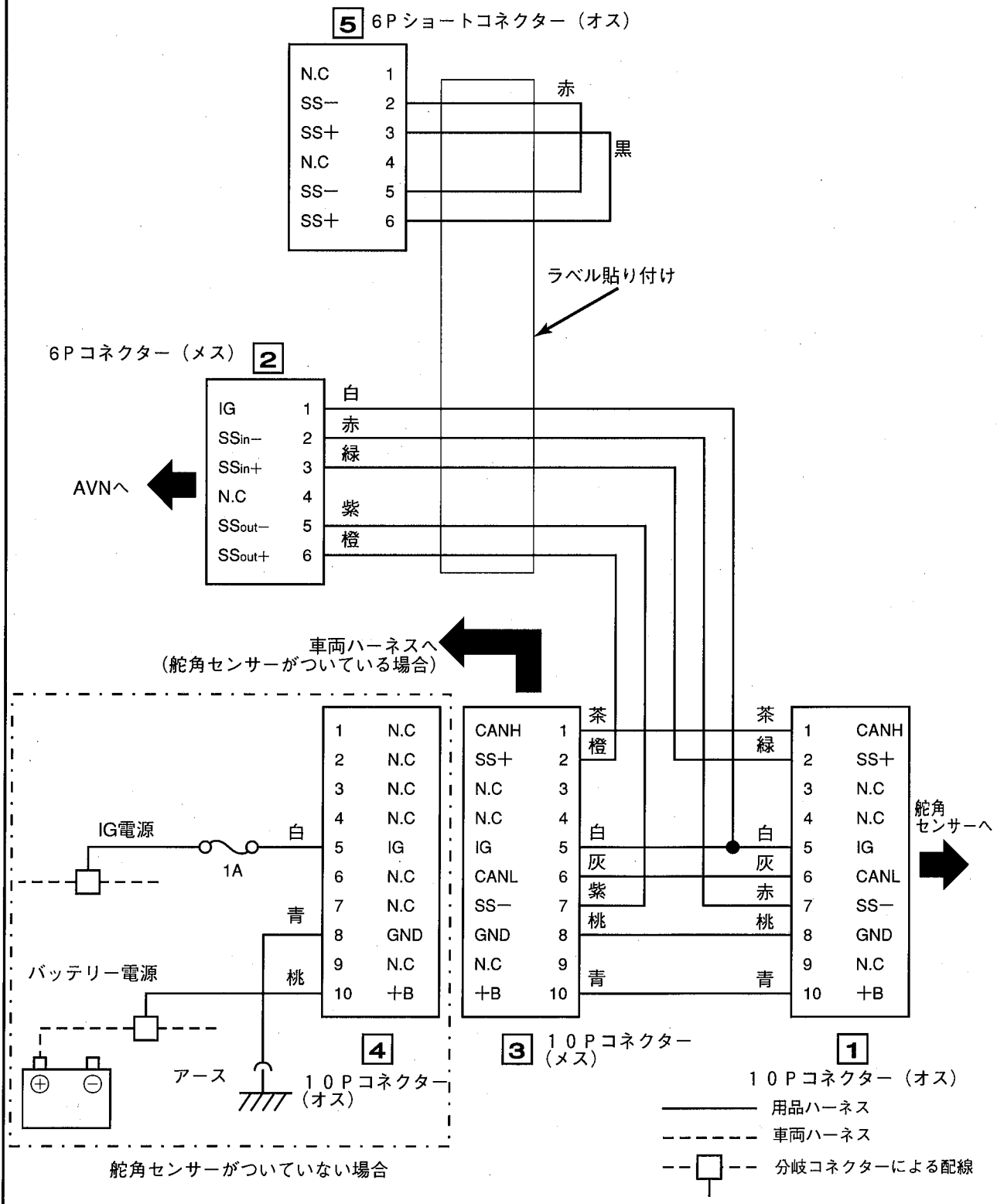
■ 08634-00150の場合



※図はハーネス側から見た図です。

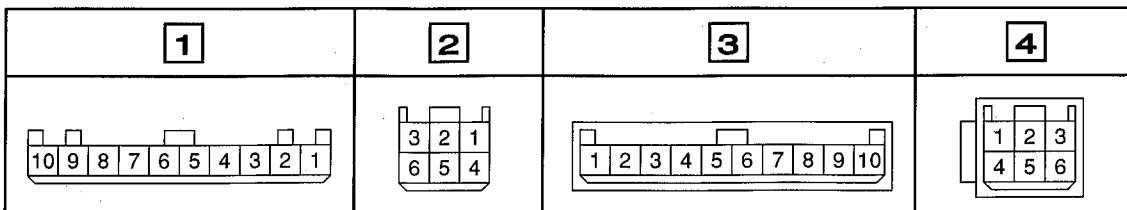
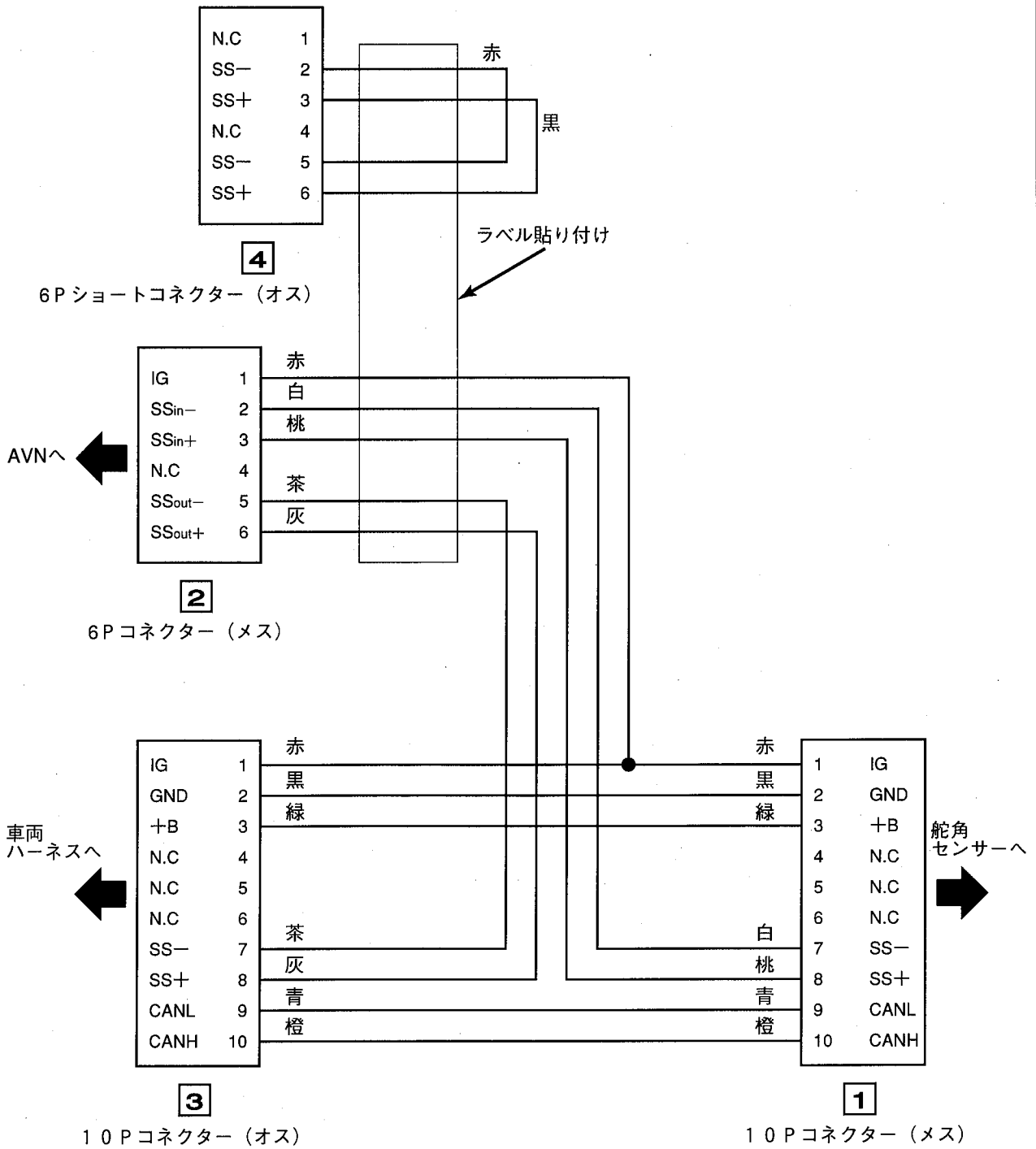


■ 08634-00160の場合



※図はハーネス側から見た図です。

■ 08634-00180の場合



※図はハーネス側から見た図です。